

インテリジェントパーク整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告

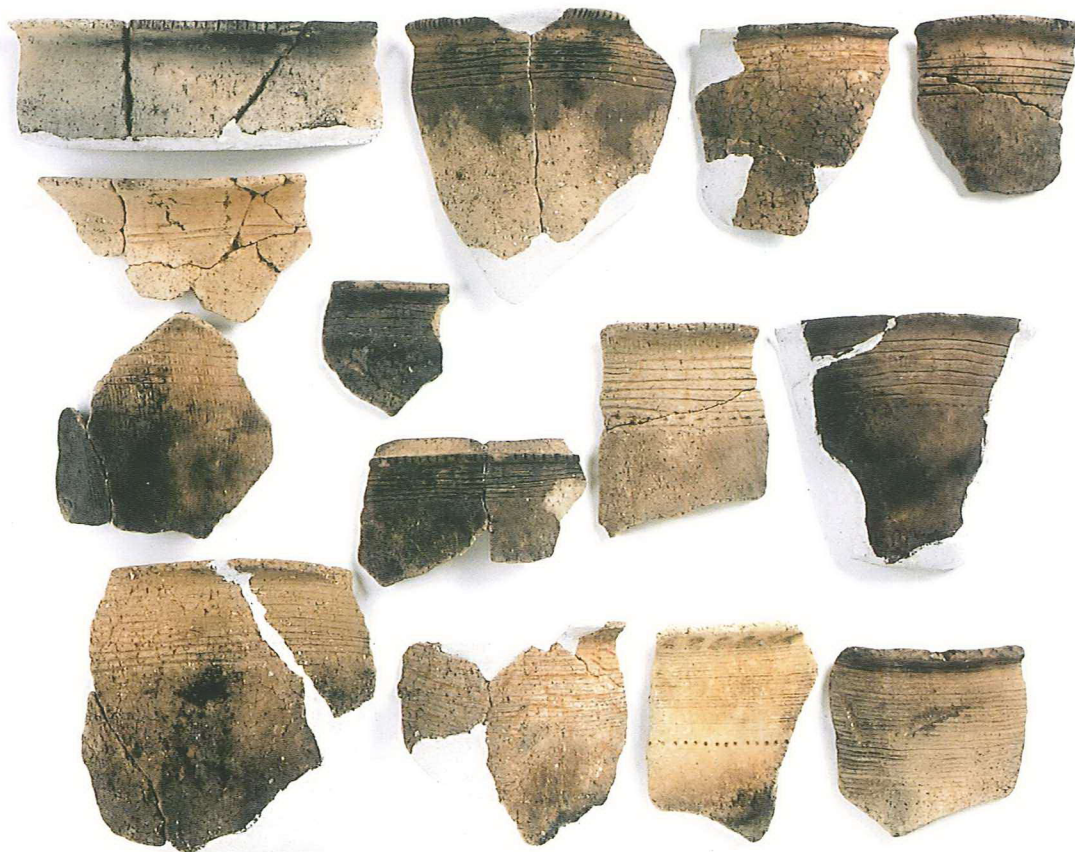
空港跡地遺跡 (K地区)

2003年10月

香川県教育委員会
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
香川県土地開発公社



SRk01 (下層) 出土遺物



SRk01 (下層) 出土遺物 (甕)



SDk03 出土遺物



SKk11 出土遺物

序 文

平成元年12月の新高松空港の開港に伴って高松市林町の高松空港跡地は再開発が実施され、研究情報機能および文化機能を有する技術・情報・文化の複合拠点となる香川インテリジェントパークとして生まれ変わりました。

高松空港跡地の整備事業に伴い、当センターでは平成2年度より香川県教育委員会から委託を受け、用地内の埋蔵文化財の発掘調査を実施いたしました。また、これと並行して平成6年度から出土文化財の整理業務を行い、その成果につきましては、平成8年度から発掘調査報告書として順次刊行いたしております。

このたび、「インテリジェントパーク整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 空港跡地遺跡（K地区）」として刊行いたしますのは、空港跡地遺跡の西半部で、香川大学工学部建設予定地の調査についてであります。この地域は奈良時代の絵図である重要文化財『弘福寺領讃岐国山田郡田図』の比定地の一部とされていますが、発掘調査では弥生時代前期後半～中期初頭の土器が多量に出土した自然河川を始め、弥生時代後期後半の周溝墓などの注目される遺構を検出しました。

本報告書が本県の歴史研究の資料として広く活用されますとともに、埋蔵文化財に対する理解と関心をいっそう深める一助となれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から出土文化財の整理・報告にいたるまでの間、土地所有者である香川県土地開発公社、委託者である香川県教育委員会、その他関係機関および地元関係各位には多大なご協力とご指導をいただきました。ここに深く感謝の意を表しますとともに、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成15年10月

財団法人香川県埋蔵文化財調査センター

所長 中村 仁

例 言

1. 本報告書は、インテリジェントパーク整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書であり、香川県高松市林町に所在する空港跡地遺跡（くうこうあとちいせき）K地区の報告を収録した。
2. 発掘調査は、香川県教育委員会が香川県土地開発公社から委託され、香川県教育委員会が調査主体、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが調査担当者として実施した。
3. 発掘調査は、予備調査を平成2年4月から同年9月まで実施し、本調査を平成2年12月から平成9年11月まで実施した。本報告書に収録したK地区については、平成8年10月～平成9年11月まで調査を実施した。
4. 調査に当たっては下記の関係諸機関の協力を得た。記して謝意を表したい。（順不同、敬称略）
プロジェクト推進総室、林地区開発協議会、地元各自治会、地元各水利組合
5. 報告書の作成は、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが実施した。本報告書の編集は同センター文化財専門員山元素子が担当した。
6. 本報告書で用いる方位は国土座標系第IV系の北であり、挿図中の北は国土座標第IV系の北を指す。標高は東京湾平均海水面（T.P.）を基準としている。
7. 遺構の略号は以下のとおりである。
SD 溝 SK 土坑 SR 自然河川 ST 墳墓 SX 性格不明遺構
8. 挿図中の石器の図面のうち、網目のスクリーン・トーンは磨滅痕、矢印は潰れ・敲打痕、黒塗りは新しい折損を示す。
9. 観察表の土器の色調は農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖1989年版』に拠った。
10. 挿図の一部に国土交通省国土地理院1/25,000地形図「高松南部」を使用した。

本文目次

第1章 調査の経緯と経過	
1. 発掘調査に至る経緯と経過	1
2. 整理作業の経過	5
第2章 立地と環境	8
第3章 調査の成果	
第1節 調査の概要と各調査区の概要	12
第2節 土層序	17
第3節 遺構・遺物について	
1. 弥生時代前期～中期の遺構・遺物	29
2. 弥生時代後期～古墳時代初頭の遺構・遺物	30
3. 古代の遺構・遺物	49
4. 中世の遺構・遺物	53
5. 自然河川の遺構・遺物	64
6. 近世以降の遺構・遺物	117
7. 包含層、その他の遺物	123
第4章 自然科学調査の成果	129
第5章 まとめ	134

挿 図 目 次

第1図	遺跡位置図 (1/50,000) ……………	1	第31図	SDk05平・断面図 (1/40) ……………	41
第2図	調査区割り図 (1/8,000) ……………	2	第32図	SDk05遺物出土状況 (1/20)、 STa05・SDa44平面図 (1/100) ……………	42
第3図	報告書地区割 (1/4,000) ……………	3. 4	第33図	SDk05出土遺物 (1/4) (1/2) ……………	43
第4図	周辺の主な遺跡 (1) (1/10,000) ……	9. 10	第34図	SKk07平・断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4) ……	44
第5図	周辺の主な遺跡 (2) (1/4,000) ……	11	第35図	SDk06平・断面図 (1/40) ……………	45. 46
第6図	主要遺構配置図 (1/1,000) ……………	13. 14	第36図	SDk06出土遺物 (1/4) ・ (1/2) ……………	47
第7図	土層位置図 (1/1,000) ……………	16	第37図	SDk04・13・SDa23平面図 (1/200) ……	48
第8図	調査区中央部南北土層図 (I-23~27)① (1/80) ……………	18	第38図	SDk04断面図 (1/40) ……………	49
第9図	調査区中央部南北土層図 (I-23~27)② (1/80) ……………	19	第39図	SDk11断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4) ……	49
第10図	調査区北壁土層図 (I-25~27) ① (1/80) ……………	20	第40図	SDk12断面図 (1/40) ……………	51
第11図	調査区北壁土層図 (I-25~27) ② (1/80) ……………	21	第41図	SDk12出土遺物① (1/4) ……………	52
第12図	調査区中央部東西土層図 (I-25・26) (1/80) ……………	22	第42図	SDk12出土遺物② (1/4) ・ (1/2) ……	53
第13図	調査区南壁土層図 (I-23~28) ① (1/80) ……………	24	第43図	SDk13断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4) ……	54
第14図	調査区南壁土層図 (I-23~28) ② (1/80) ……………	25	第44図	SDk14~18断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4) ……	54
第15図	調査区東壁土層図 (I-26) (1/80) ……	26	第45図	SKk11平・断面図 (1/20) ……………	56
第16図	調査区東壁土層図 (I-28) (1/80) ……	27	第46図	SKk11出土遺物① (1/4) ……………	57
第17図	I-24区トレンチ1~3土層図 (1/80) ……	28	第47図	SKk11出土遺物② (1/4) ・ (1/2) ・ (1/3) ……	58
第18図	SKk04平・断面図 (1/20) ……………	29	第48図	SKk12平・断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4) ……	59
第19図	SKk05平・断面図・出土遺物① (1/20)・(1/4) ……	30	第49図	SXk11断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4)・(1/2) ……	59
第20図	SKk05出土遺物② (1/3) ……………	31	第50図	SXk12平・断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4) ……	60
第21図	SKk06平・断面図・出土遺物 (1/20)・(1/4) ……	32	第51図	SDk19・20断面図 (1/40) ……………	61
第22図	SKk01平・断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4) ……	33	第52図	SDk21断面図・出土遺物 (1/40) ・ (1/4) ……	62
第23図	SKk02平・断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4) ……	33	第53図	SDk22断面図・出土遺物 (1/40) ・ (1/4) ……	63
第24図	SDk01断面図 (1/40) ……………	34	第54図	SDk23断面図・出土遺物 (1/40) ・ (1/4) ……	64
第25図	SDk01出土遺物 (1/4) ……………	34	第55図	SRk01断面図 (1/40) ……………	65. 66
第26図	SDk02断面図 (1/40) ……………	34	第56図	SRk01上層出土遺物① (1/4) ……………	67
第27図	SDk03・周溝墓平・断面図 (1/40) ……	35	第57図	SRk01上層出土遺物② (1/4) ……………	68
第28図	SDk03・周溝墓遺物出土状況 (1/20) ……	36	第58図	SRk01上層出土遺物③ (1/4) ・ (1/2) ……	70
第29図	SDk03・周溝墓出土遺物① (1/4) ……	37	第59図	SRk01下層 (I-25) 出土遺物① (1/4) ……	71
第30図	SDk03・STk01・周溝墓出土遺物② (1/4)、 STk01・02平面図 (1/100) ……………	38	第60図	SRk01下層 (I-25) 出土遺物② (1/4) ……	72
			第61図	SRk01下層 (I-25) 出土遺物③ (1/4) ……	73
			第62図	SRk01下層 (I-25) 出土遺物④ (1/4) ……	75
			第63図	SRk01下層 (I-25) 出土遺物⑤ (1/4) ……	76
			第64図	SRk01下層 (I-25) 出土遺物⑥ (1/4) ……	77
			第65図	SRk01下層 (I-25) 出土遺物⑦ (1/4) ……	78
			第66図	SRk01下層 (I-25) 出土遺物⑧ (1/4) ……	79
			第67図	SRk01下層 (I-25) 出土遺物⑨ (1/2) ……	80

第68図	SRk01下層 (I-25) 出土遺物⑩ (1/2) ……81	第98図	SRk03その他 (I-23・26・28) 出土遺物 (1/4)・(1/2) ……117
第69図	SRk01下層 (I-27) 出土遺物① (1/4) ……82	第99図	池台池堤防断面図 (I-25南壁部分) (1/80) ……118
第70図	SRk01下層 (I-27) 出土遺物② (1/4) ……83	第100図	池台池堤防断面図 (I-27北壁部分) (1/40) ……119. 120
第71図	SRk01下層 (I-27) 出土遺物③ (1/4) ……84	第101図	暗渠模式図・底ユル平面図(1/50) ……121
第72図	SRk01下層 (I-27) 出土遺物④ (1/4) ……85	第102図	トレンチ2 (I-24) 出土遺物 (1/4) ・(1/2) ……122
第73図	SRk01下層 (I-27) 出土遺物⑤ (1/4) ・(1/2) ……86	第103図	旧水路 (I-27) 出土遺物 (1/4) ……123
第74図	SRk01下層 (I-26) 出土遺物① (1/4) ……88	第104図	包含層出土遺物① (1/4)・(1/2) ……124
第75図	SRk01下層 (I-26) 出土遺物② (1/4) ……89	第105図	包含層出土遺物② (1/4)・(1/2) ……125
第76図	SRk01下層 (I-26) 出土遺物③ (1/4) ……90	第106図	包含層その他出土遺物① (1/4) ……127
第77図	SRk01下層 (I-26) 出土遺物④ (1/4) ……91	第107図	包含層その他出土遺物② (1/4) ……128
第78図	SRk01下層 (I-26) 出土遺物⑤ (1/4) ……92	第108図	空港跡地遺跡K地区周辺弥生時代 前期～中期初頭遺構配置図(1/4,000) ……134
第79図	SRk01下層 (I-26) 出土遺物⑥ (1/4) ・(1/2) ……93	第109図	遺構変遷図①② (1/1,600) ……135. 136
第80図	SRk01その他 (I-25) 出土遺物① (1/4) ……95	第110図	遺構変遷図③④ (1/1,600) ……137. 138
第81図	SRk01その他 (I-25) 出土遺物② (1/4) ……96	第111図	遺構変遷図⑤⑥ (1/1,600) ……139. 140
第82図	SRk01その他 (I-25) 出土遺物③ (1/4) ……97	第112図	A地区・K地区周溝墓群平面図(1/500) ……145
第83図	SRk01その他 (I-25) 出土遺物④ (1/2) ……98	第113図	弘福寺領田図南地区比定地位置図 (1/5,000) ……147
第84図	SRk01その他 (I-27) 出土遺物 (1/4) ・(1/2) ……99	第114図	SKk11出土土器法量分布 ……148
第85図	SRk01その他 (I-26) 出土遺物(1/4) ……100		
第86図	SRk02・03断面図① (1/40) ……101. 102		
第87図	SRk02・03断面図 (I-26東壁部分) ② (1/40) ……103. 104		
第88図	SRk02出土遺物 (1/4) ……105		
第89図	SRk03上層出土遺物 (1/4) ……106		
第90図	SRk03中層出土遺物① (1/4) ……108		
第91図	SRk03中層出土遺物② (1/4)・(1/2) ……109		
第92図	SRk03下層 (I-23) 出土遺物① (1/4) ……110		
第93図	SRk03下層 (I-23) 出土遺物② (1/4) ……111		
第94図	SRk03下層 (I-23) 出土遺物③ (1/4) ・(1/2) ……112		
第95図	SRk03下層 (I-26) 出土遺物① (1/4) ……114		
第96図	SRk03下層 (I-26) 出土遺物② (1/4) ・(1/2) ……115		
第97図	SRk03下層 (I-28) 出土遺物 (1/4) ・(1/2) ……116		

図版目次

- 図版1 I-23航測写真(上が北)
図版2 I-25・27航測写真(左が北)
図版3 I-26航測写真(上が北)
図版4 I-28航測写真(上が北)
図版5 I-23全景(北から)
I-25全景(北から)
図版6 I-26北部全景(東から)
I-26南部全景(南から)
図版7 I-27全景(西から)
I-28全景(東から)
図版8 I-26SKk04遺物出土状況(西から)
I-26SKk05遺物出土状況(北東から)
I-28SKk06土層断面(北西から)
I-28SKk06遺物出土状況(北西から)
I-23SKk01土層断面(西から)
I-23SKk01遺物出土状況(西から)
I-23SKk02土層断面(西から)
I-23SDk04遺物出土状況(北から)
図版9 I-23SDk03遺物出土状況(東から)
I-23SDk03完掘(東から)
図版10 I-23SDk03遺物出土状況(南から)
I-28SKk07炭出土状況(南から)
I-28SDk05遺物出土状況(南から)
I-28SDk05土層断面(南から)
I-28SDk06石出土状況(東から)
図版11 I-28SDk06完掘(東から)
I-28SDk06土層断面(西から)
I-28SDk06土層断面(東から)
I-24SDk13完掘(北から)
I-24SDk13土層断面(西から)
図版12 I-28SDk12土層断面(東から)
I-28SDk12土層断面(東から)
I-28SDk12土層断面(西から)
I-27SKk11土層断面(南から)
I-27SKk11石出土状況(西から)
図版13 I-27SXk12石出土状況(北から)
I-26SRk01(上層)遺物出土状況(東から)
I-26SRk01(上層)遺物出土状況(北から)
I-26SRk01(下層)遺物出土状況(南から)
I-27SRk01(下層)遺物出土状況(西から)
図版14 I-27SRk01(下層)遺物出土状況(南から)
I-27SRk01(下層)遺物出土状況(東から)
I-27SRk01(下層)遺物出土状況(南西から)
I-27SRk01(下層)遺物出土状況(西から)
I-27SRk01(下層)遺物出土状況(南西から)
I-27SRk01(下層)遺物出土状況(南西から)
I-28SRk03(下層)遺物出土状況(西から)
I-26SRk03(下層)遺物出土状況(西から)
図版15 I-25SRk01アゼa土層断面(東から)
図版16 I-25SRk02アゼa土層断面(東から)
図版17 I-26SRk01土層断面(南から)
I-23東壁土層断面(西から)
図版18 I-23SRk03土層断面(東から)
I-25木樋(東から)
I-25木樋(北西から)
I-25木樋(東から)
I-25木樋(北から)
図版19 SKk05出土遺物
SKk06出土遺物
図版20 SKk01・02出土遺物
図版21 SDK01出土遺物
SDK03出土遺物①
図版22 SDK03出土遺物②
図版23 SDK03・05・06・SKk07出土遺物
図版24 SDK06・11・12出土遺物
図版25 SDK12出土遺物①
図版26 SDK12出土遺物②
図版27 SDK13・14・16出土遺物
SKk11出土遺物①
図版28 SKk11出土遺物②
図版29 SKk11出土遺物③
SXk11出土遺物①
図版30 SXk11出土遺物②
SXk12出土遺物
SDK21出土遺物①
図版31 SDK21出土遺物②

	SRk01 (上層) 出土遺物①	図版50	SRk01その他 (I-26) 出土遺物
図版32	SRk01 (上層) 出土遺物②		SRk01その他 (I-27) 出土遺物
図版33	SRk01 (上層) 出土遺物③	図版51	SRk02出土遺物
図版34	SRk01 (上層) 出土遺物④		SRk03 (上層) 出土遺物①
	SRk01 (下層) (I-25) 出土遺物①	図版52	SRk03 (上層) 出土遺物②
図版35	SRk01下層 (I-25) 出土遺物②		SRk03 (中層) 出土遺物
図版36	SRk01下層 (I-25) 出土遺物③	図版53	SRk03下層 (I-23) 出土遺物①
図版37	SRk01下層 (I-25) 出土遺物④	図版54	SRk03下層 (I-23) 出土遺物②
図版38	SRk01下層 (I-25) 出土遺物⑤	図版55	SRk03下層 (I-23) 出土遺物③
図版39	SRk01下層 (I-25) 出土遺物⑥		SRk03下層 (I-26) 出土遺物
図版40	SRk01下層 (I-25) 出土遺物⑦	図版56	SRk03下層 (I-28) 出土遺物
	SRk01下層 (I-27) 出土遺物①		SRk03 (その他) 出土遺物
図版41	SRk01下層 (I-27) 出土遺物②	図版57	トレンチ2 (I-24) 出土遺物
図版42	SRk01下層 (I-27) 出土遺物③		包含層出土遺物①
図版43	SRk01下層 (I-27) 出土遺物④	図版58	包含層出土遺物②
図版44	SRk01下層 (I-27) 出土遺物⑤	図版59	包含層その他出土遺物
図版45	SRk01下層 (I-26) 出土遺物①	図版60	樹種同定の結果 (1)
図版46	SRk01下層 (I-26) 出土遺物②	図版61	樹種同定の結果 (2)
図版47	SRk01下層 (I-26) 出土遺物③	図版62	種実同定の結果 (1)
図版48	SRk01その他 (I-25) 出土遺物①	図版63	種実同定の結果 (2)
図版49	SRk01その他 (I-25) 出土遺物②	図版64	種実同定の結果 (3)

表 目 次

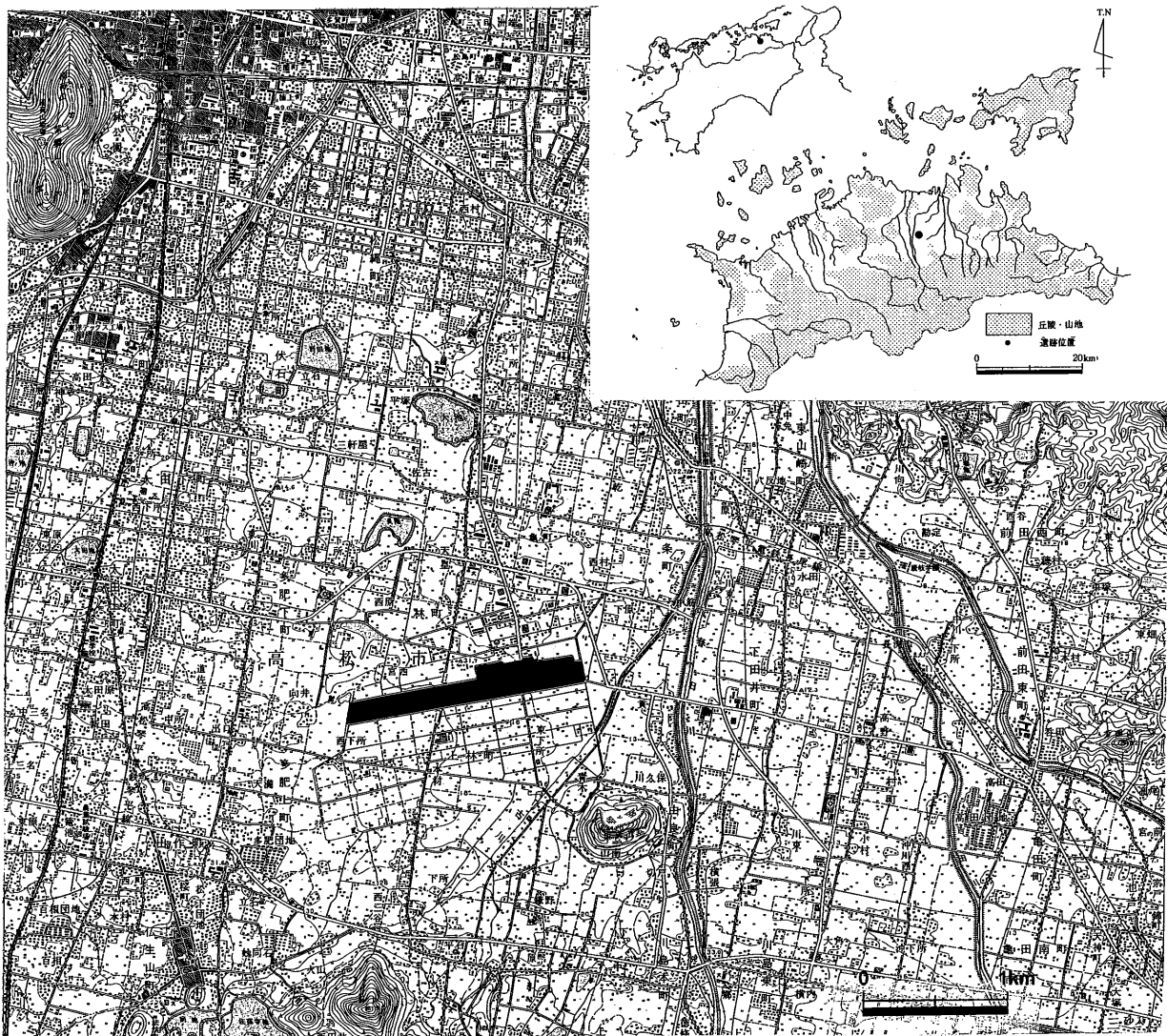
第1表	発掘調査および整理調査の体制	6
第2表	空港跡地遺跡各調査区の概要	7
第3表	K地区各調査区の概要	15
第4表	樹種同定の結果	133
第5表	種実同定の結果	133
第6表	SRk01~03壺文様構成一覧表	141
第7表	SRk01甕文様構成一覧表	142
第8表	SRk02・03甕文様構成一覧表	143
第9表	A地区・K地区周溝墓一覧表	146
第10表	SKk11器種一覧表	148

第1章 調査の経緯と経過

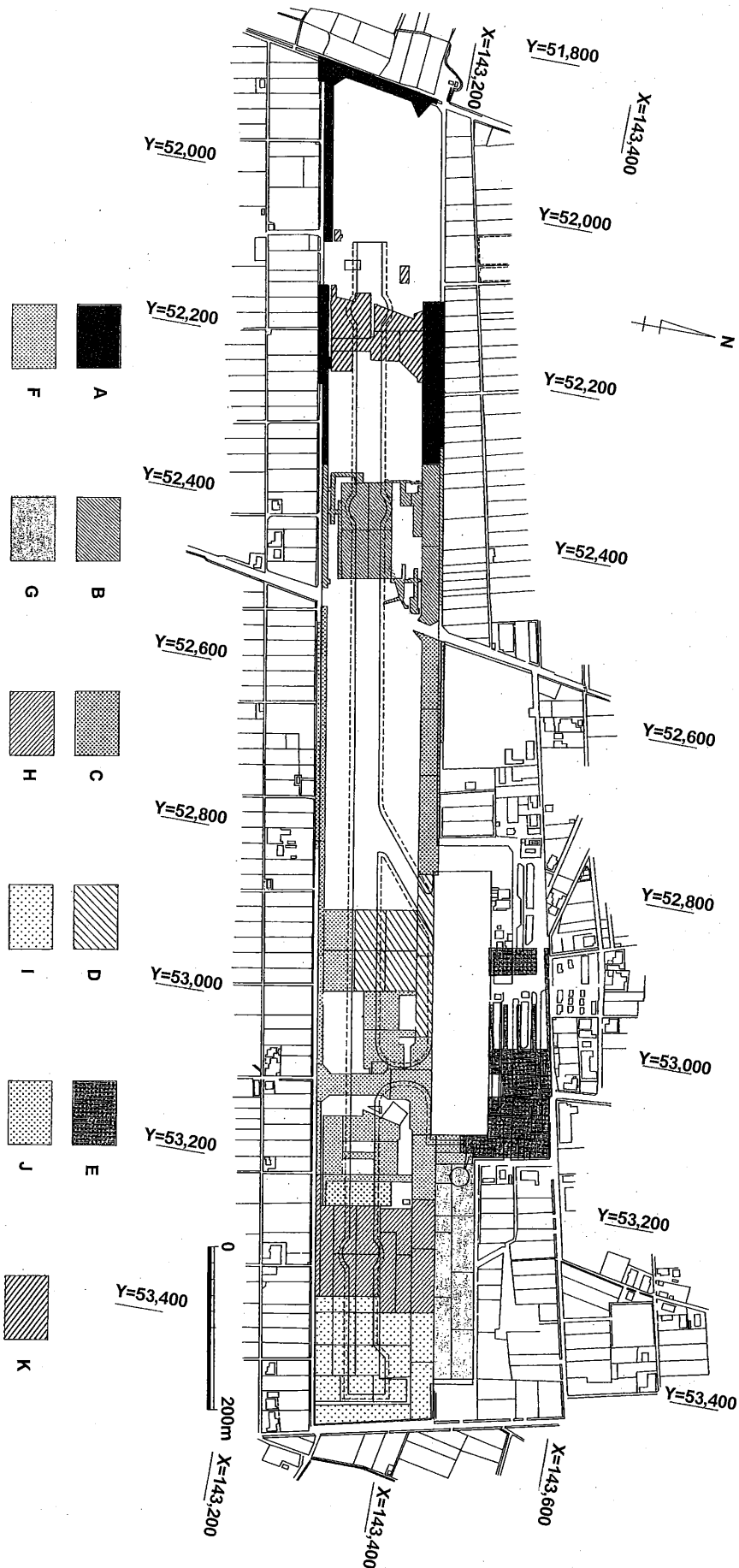
1. 発掘調査に至る経緯と経過

空港跡地遺跡は高松市林町に所在し、高松平野の中央部に位置する。第2次世界大戦の末期、昭和19年に陸軍の軍用飛行場として建設が進められ、戦後その一部が高松空港として供用された。しかし、路線の拡大やジェット化などに対応しきれなくなったため、香川郡香南町に移転することとなり、平成元年12月に新空港が開港した。林町の高松空港の廃止に伴って生じた約32万㎡の跡地利用について、香川県は空港跡地開発整備事業計画を策定した。香川県教育委員会ではこのような経過を受け、空港跡地の埋蔵文化財の包蔵状況やその取り扱いについて検討を進め、遺跡の所在が確認された範囲については財団法人香川県埋蔵文化財調査センターに発掘調査を委託することとなった。この空港跡地整備事業に伴う発掘調査は平成2年度から平成6年度に実施している。この詳細な経緯・経過については、本報告書シリーズ第1冊に詳述しているため、本報告書では省略する。

今回報告するインテリジェントパーク整備事業に伴う発掘調査は、その後新たに図書館・文書館の西側に香川大学工学部が新設されることになったため、関係諸機関の協議の結果、平成8・9年度に事前の埋蔵文化財調査を行うことになったものである。以下、本報告書に所収する香川大学工学部建設予定



第1図 遺跡位置図 (1/50,000)



第2図 調査区割り図 (1/8,000)



第3図 報告書地区割 (1/4,000)

地（K地区）の調査（平成8・9年度）の経緯を記す。

平成8年度

平成6年度をもって一段落した空港跡地遺跡の調査であったが、図書館・文書館の西側にあらたに香川大学工学部が新設されるのに伴い事前調査が必要となった。関係諸機関との協議の結果、建物や環境整備施工部分などが確定している範囲のうち、平成8年10月1日～平成9年3月31日まで5,700㎡を対象として発掘調査を実施し、残りは平成9年度に調査を実施することになった。なお、対象地のうち西側一部は空港の造成に伴って埋め立てられた池台池に当たっており、その内部は遺構が破壊されていることが想定されることから、その部分については3ヶ所の小区を設定して遺構の遺存状況を確認し、必要があれば小区を拡張して調査を実施することとした。調査は直営方式で実施した。

平成9年度

平成8年度に引き続き香川大学工学部用地の調査を実施した。期間は平成9年4月1日～11月30日までで、当初は6,000㎡を調査対象として着手し、最終的には6,500㎡の発掘調査を行った。調査区はI-25～28までを設定し、池台池の範囲と重なることが想定されるI-25の南・北側をトレンチ調査により、池台池の範囲を確定し、遺構の残存状況の確認を行った。池台池の浚渫により遺構が破壊されていると思われる個所については調査を行わなかった。調査は工事請負方式により実施した。

2. 整理作業の経過

空港跡地遺跡の整理作業は平成6年度より開始し、これまでにC地区、J地区、E地区、I地区、F地区、A地区、G地区の報告書が刊行された（地区割は第2図参照）。本報告書に掲載する香川大学工学部建設予定地については、空港跡地遺跡の整理作業の開始より後に発掘調査を行っているため、当初この地区をさす呼称がなかったが、これまでの空港跡地遺跡の呼称に倣ってK地区として報告することとする。

K地区の整理作業は平成14年4月1日から平成15年3月31日まで実施した。発掘調査および整理作業に係わる体制は第1表に示すとおりである。

整理作業に携わった方々は以下のとおりである。

整理員 猪木原美恵子

整理補助員 長谷川郁子、青屋真理

整理作業員 松崎千春、松本恭子、森川理恵、地崎裕子、木嶋直子

発掘調査		整理作業	
香川県教育委員会			
平成8年度		平成9年度	
総括	課長 藤原草夫 課長補佐 高木一義 課長補佐 北原和利 副主任 渡部明夫 係長 山崎隆 主査 星加宏明 主事 國方秀子 (～5.31) 主事 打越和美 (6.1～) 文化財専門員 木下晴一 技師 塩崎誠司	菅原良弘 北原和利 渡部明夫 山崎隆 星加宏明 (～5.31) 松村崇史 (6.1～) 打越和美 木下晴一 塩崎誠司	課長 北原和利 課長補佐 渡邊勇人 主任 香川浩章 主任主事 亀田幸一 副主任 大山真充
総務			
埋蔵文化財			主任 片桐孝浩 文化財専門員 古野徳久 文化財専門員 佐藤竜馬
財団法人香川県埋蔵文化財センター			
総括	所長 大森忠彦 次長 小野善範 係長 前田和也 主査 西村厚二 (～5.31) 主任主事 西川大 主事 佐々木隆 (6.1～) 参事 近藤和史	大森忠彦 小野善範 田中秀文 (6.1～) 前田和也 (～5.31) 佐々木隆 近藤和史 大山真充	所長 小原克己 次長 渡部明夫 副主任 野保昌弘 係長 多田敏弘 主査 山本和代 主任主事 高木康晴
総務			
調査	主任文化財専門員 廣瀬常雄 主任文化財専門員 大山真充 文化財専門員 宮崎哲治 主任技師 多田 慎 調査技術員 森澤千尋	主任文化財専門員 藤好史郎 文化財専門員 池田道雄 文化財専門員 山元素子 調査技術員 藤澤正則	主任文化財専門員 真鍋昌宏 文化財専門員 山元素子

第1表 発掘調査および整理調査の体制

地区名	面積(m ²)	主要遺構	主要遺物	報告書
A地区	12,200	弥生時代 竪穴住居、溝、土坑、自然河川 古墳時代 竪穴住居、前方後円形・前方後方形・方形周溝墓 古代 溝、土坑、水田 中世 溝、土坑、水田 近世 溝、土坑	銅剣・銅鐔・銅鏡	『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第5冊 空港跡地遺跡V』2002.3
B地区	16,033	弥生時代 竪穴住居、掘立柱建物、溝、土坑 古墳時代 竪穴住居 古代 掘立柱建物、溝、土坑墓 中世 掘立柱建物、溝、土坑、井戸 近世 溝、土坑		未刊
C地区	11,890	弥生時代 竪穴住居、掘立柱建物、溝、土坑 古墳時代 竪穴住居、掘立柱建物、土坑 古代 掘立柱建物、溝、井戸、土坑 中世 掘立柱建物、溝、土坑、井戸、自然河川 近世 掘立柱建物、溝、土坑	二彩陶器	『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第1冊 空港跡地遺跡I』1996.12
D地区	12,567	弥生時代 掘立柱建物、溝 古代 溝 中～近世 掘立柱建物、溝、土坑		未刊
E地区	14,599	弥生時代 掘立柱建物、溝、土坑 古墳時代 溝 中世 掘立柱建物？ 近世 溝、土坑、井戸、出水状遺構	人形土製品	『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第2冊 空港跡地遺跡II』1997.9
F地区	27,836	弥生時代 竪穴住居、掘立柱建物、溝 古代 溝 中世 掘立柱建物、溝、土坑、井戸、出水状遺構 近世 掘立柱建物？、溝、土坑、井戸		『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第4冊 空港跡地遺跡IV』2000.3
G地区	13,280	弥生時代 竪穴住居、溝、粘土採掘土坑群 中世 掘立柱建物、溝、土坑、井戸 近世 溝、土坑		『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第6冊 空港跡地遺跡VI』2003.3
H地区	19,375	弥生時代 竪穴住居、掘立柱建物、溝、土坑、出水状遺構 古代 溝 中世 掘立柱建物、溝 近世 溝、土坑、井戸	鉄形木製品	未刊
I地区	20,205	弥生時代 掘立柱建物、溝、自然河川 中世 掘立柱建物、溝、土坑 近世 掘立柱建物、溝、土坑		『空港跡地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第3冊 空港跡地遺跡III』1998.10
J地区	2,780	古代 掘立柱建物、溝 中世 掘立柱建物、土坑 近世 掘立柱建物、土坑		『四国工業技術研究所増築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 空港跡地遺跡』1997.3
K地区	12,200	弥生時代 円形周溝墓、溝、土坑、自然河川 古代 溝 中世 溝、土坑 近世 ため池、木樋		本書

第2表 空港跡地遺跡各調査区の概要

第2章 立地と環境

空港跡地遺跡の立地と環境については『空港跡地遺跡Ⅰ～Ⅵ』に詳しいので、ここでは今回の調査区付近に限定して記述する。

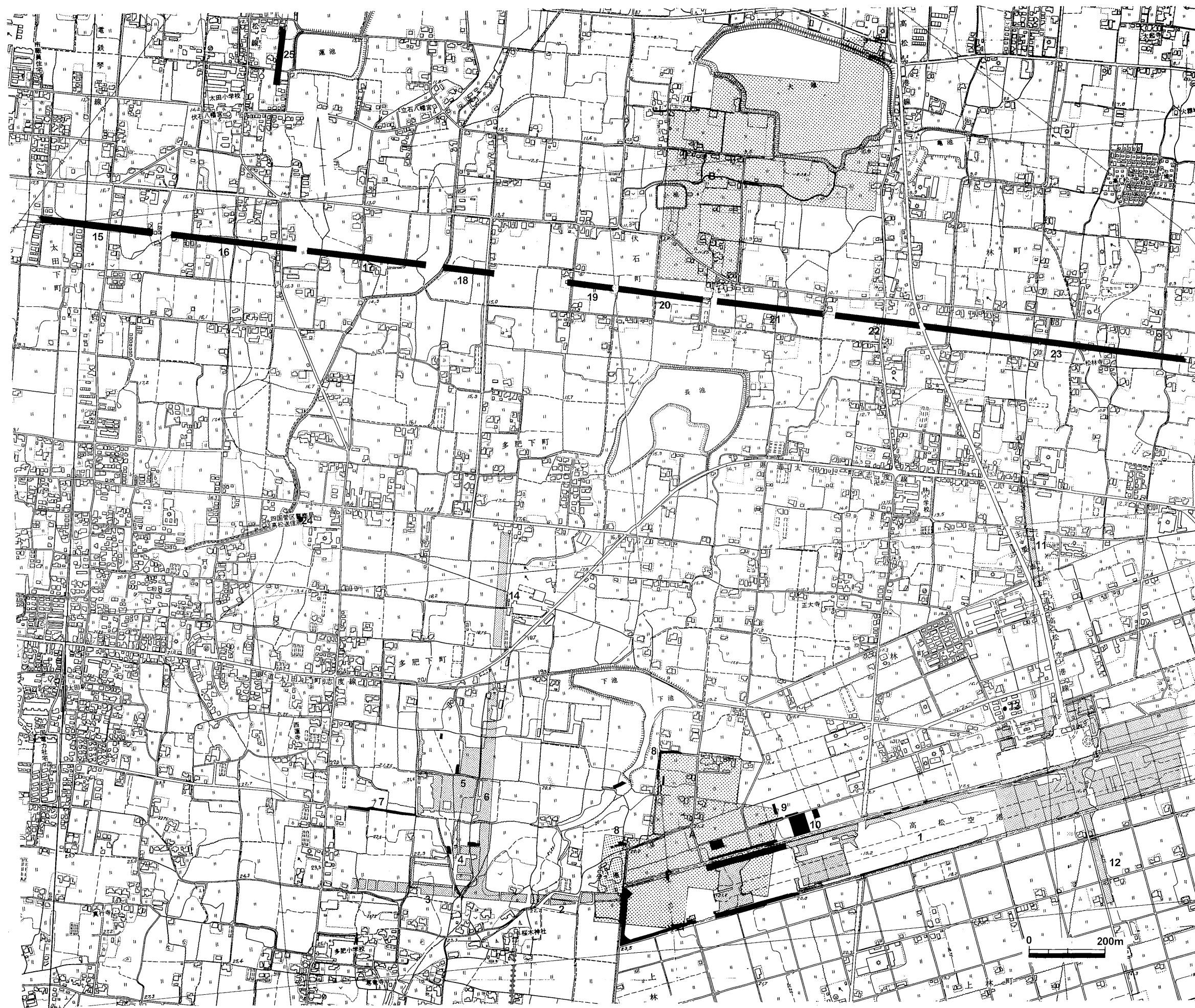
(1) 地理的環境

今回報告するK地区は空港跡地遺跡の西部に当たり、空港として造成する以前は池台池があった場所を西側に含む。江戸時代に描かれた順道図絵ではおおむね下田～中田が分布する部分であるが、この付近の中田・下田の部分を通っていけば帯状に旧河道が想定でき、かなり古い時代には旧河道であったことが想定できる。調査区の西側である池台池の西側には池台池・下池・大池と続く明瞭な地割の乱れが見て取れ、旧河道が想定できる。先述の順道図絵に拠ればそれぞれの池の間は下々田や下田が分布し、水はけの悪い土地であった場所と想定できる。K地区の中央部から北部にかけては、前者の古い旧河道上と2条の旧河道の間の微高地上に位置する。K地区の南部は池台池の南東部に相当するが、順道図絵に記載はないものの、明治21年地籍図には池台池の南から西側の堤防が描かれておらず、池のラインも入り組んでいる。このことから、K地区の南部・池台池の南西部は微高地上であったと考えられる。

(2) 歴史的環境

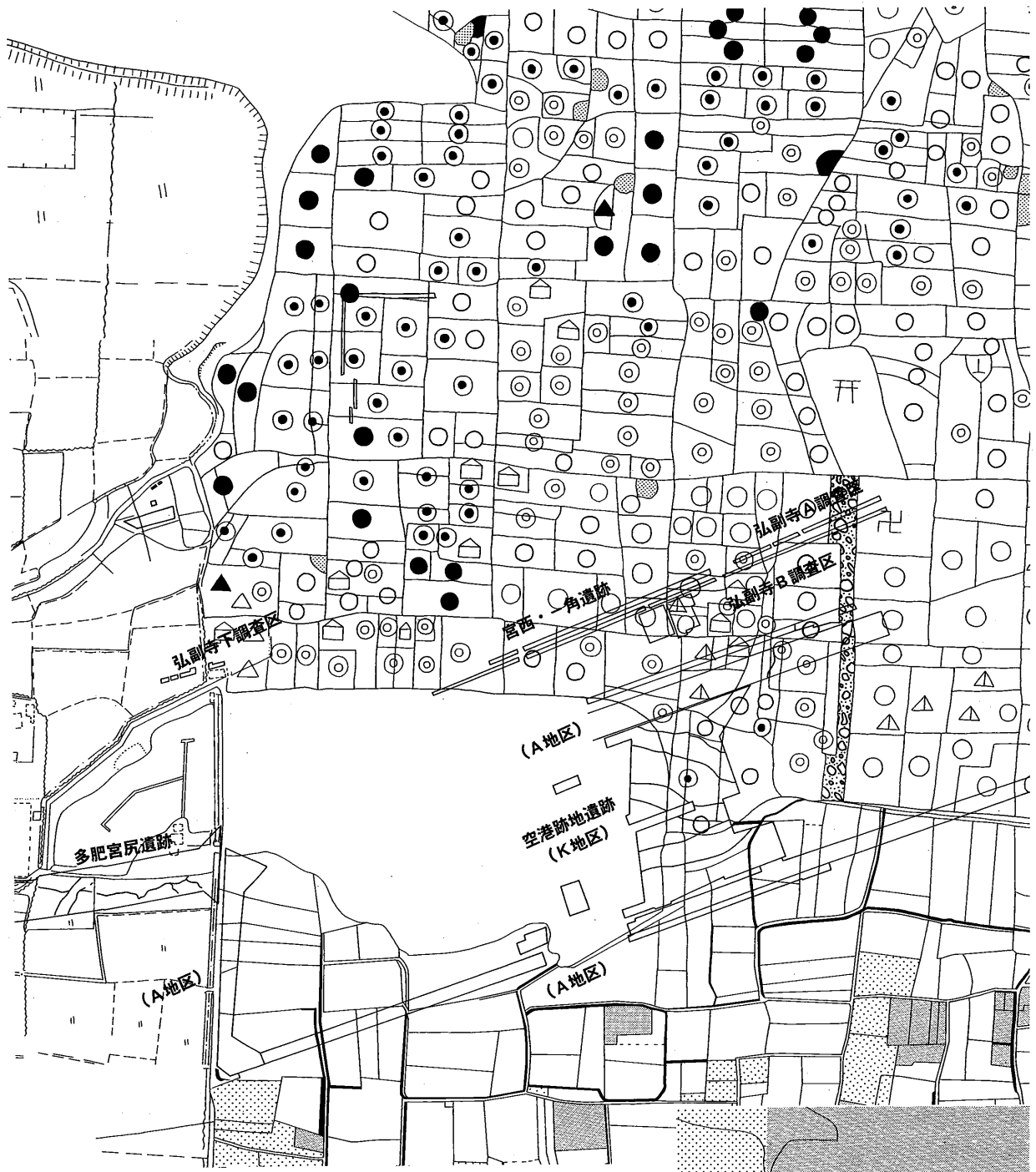
今回の調査区の周辺では、空港跡地遺跡のほかにその北側で弘福寺領田図南地区関連の調査、市道の調査、西側では県道事業や県立桜井高校・高松土木事務所建設に伴う調査（多肥松林遺跡群）などが行われている。

この周辺で遺跡が出現するのは弥生時代前期に入ってからである。汲仏遺跡では弥生時代前期前半～後半にかけての二重環濠と同時期の土坑群を検出し、さらに3km北側に位置する天満・宮西遺跡で同時期の環濠を検出している。弥生時代前期末～中期初頭では空港跡地遺跡A地区北地区やその50m北側に位置する宮西・一角遺跡で土坑群が検出され、浴・長池遺跡では小区画水田が検出されている。また浴・松ノ木遺跡や空港跡地遺跡A地区北地区、宮西・一角遺跡、多肥宮尻遺跡などで旧河道が検出されている。後期には空港跡地遺跡図書館・文書館地区で集落が営まれ、A地区南地区で検出された周溝墓群と集落との関連性が注目されている。古代においては本調査区は弘福寺領の南地区の一部に比定されており、周辺高松市教育委員会によって、関連調査が行われた。しかし、田図に関連するような遺構は検出されなかったようである。空港跡地遺跡A地区においては旧河道の上面で水田を検出したほか、条里型地割に沿う溝も数条検出しているが、中世に比べるとまだ溝は少ないようである。一方、西北側に位置する多肥松林遺跡群では掘立柱建物群を検出したほか、自然河川からは24点もの墨書土器が出土した。また、汲仏遺跡では大型の掘立柱建物が検出されたほか、「大」の字を12個線刻した石材が出土している。中世に入ると、空港跡地遺跡のF地区で堀を持つ居館が検出された。また、図書館・文書館地区でも中世の集落が検出されている。その他条里型地割に沿う溝も増加している。近世では空港跡地遺跡の東端部付近I地区で集落が検出された。本調査区付近で池台池が築造されたのも近世と考えられる。また文化十五年頃の様子を示した順道図絵が残されており、当時の地形環境や景観を知る手掛かりとなる。



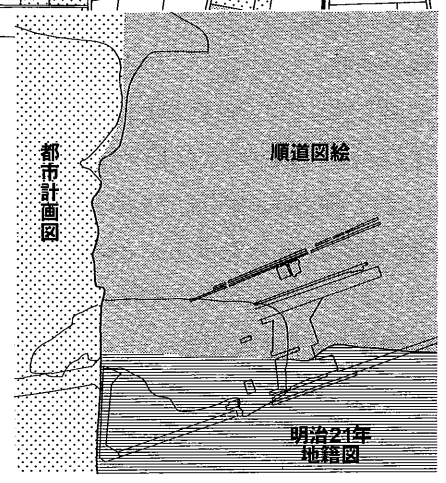
- 1 空港跡地遺跡
- 2 多肥宮尻遺跡
- 3 多肥松林遺跡 (県道)
- 4 多肥松林遺跡 (高松土木)
- 5 多肥松林遺跡 (高校)
- 6 日暮松林遺跡
- 7 松林遺跡
- 8 弘福寺領田図関連調査地
- 9 宮西・一角遺跡
- 10 一角遺跡
- 11 宗高、坊城遺跡
- 12 上林遺跡
- 13 公務員宿舎遺跡
- 14 凹原遺跡
- 15 太田下、須川遺跡
- 16 蛙股遺跡
- 17 居石遺跡
- 18 井出東Ⅱ遺跡
- 19 井出東Ⅰ遺跡
- 20 浴・長池Ⅱ遺跡
- 21 浴・長池遺跡
- 22 浴・松ノ木遺跡
- 23 林坊城遺跡
- 24 汲仏遺跡
- 25 キモンドー遺跡
- A 弘福寺領田図比定地南地区
- B 弘福寺領田図比定地北地区

第4図 周辺の主な遺跡(1) (1/10,000)



- 上々田
- 上田
- 中田
- 下田
- 下々田
- △ 上畑
- △ 中畑
- ▲ 下々畑
- 家
- ⊙ 古墳・塚・石原
- ☉ 出水
- 卍 神社、祠
- 卍 寺庵
- 卍 墓地

- 水路
- ▨ 畑
- ▨ 宅地



第5図 周辺の主な遺跡 (2) (1/4,000)

第3章 調査の成果

第1節 調査の概要と各調査区の概要

1. 調査の方法

空港跡地遺跡全体を通しての調査の方法については『空港跡地遺跡Ⅰ～Ⅵ』に詳述されているので参照されたい。K地区の調査についても、空港跡地遺跡の一部であるので、これまでの調査の方法に準じて行った。

①調査区および区画の設定

基準杭については、これまで空港跡地遺跡の調査の際に使用したグリットをそのまま使用した。当時使用していた基準杭自体は残っていなかったため、座標値から位置を復元して杭を打設した。

調査区の設定は、調査範囲・面積と調査期間を勘案しながら、おおむね1ヶ月に1,000㎡程度調査が実施できるよう設定し、特に基準杭を基準にすることはなかった。

②記録の作成

記録作成の方法についてもこれまでの空港跡地遺跡の方法に準じて行った。詳細は『空港跡地遺跡Ⅰ～Ⅵ』を参照されたい。

検出した遺構については調査区全体の実測図と遺構個別の平面・断面図および調査区壁面の断面図を作成した。

調査区全体の实測図については専門業者に航空測量を委託して作成した。これは対象地が広大であるため、航空測量により実測作業の手間を省いて時間の短縮を図るとともに、国土座標により各調査区間の図面の整合を容易にさせるためであった。航空測量による作図は1/50および1/100とし、特に詳細な図面が必要と考えられた場合は1/20による図化も行った。特に遺構内容が重要である場合は、調査担当者が割り付け作業を行い、手書きにより平面図を作成した。

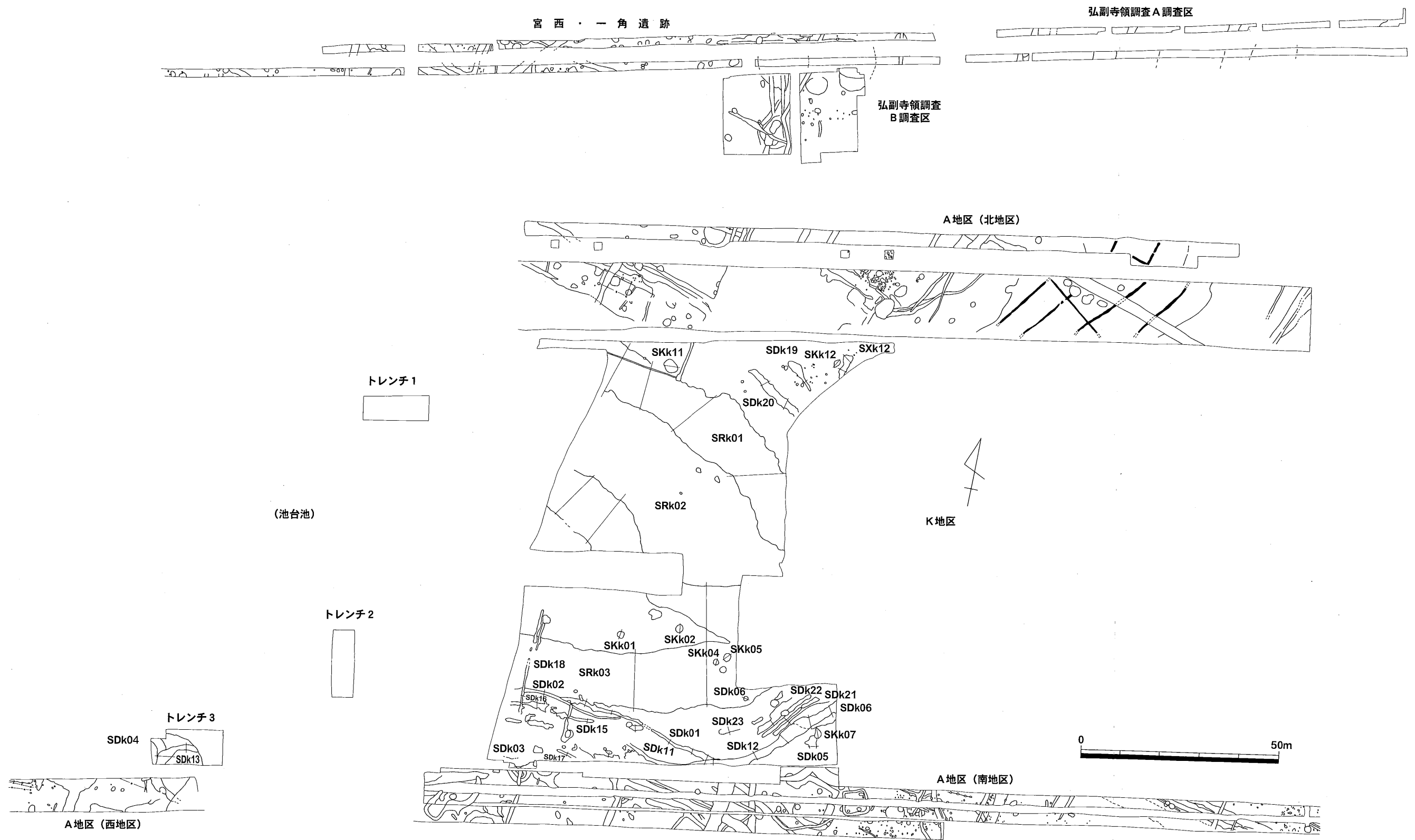
遺構と土層の断面図は1/20により作成した。調査区壁面の断面図については、おおむね1調査区につき東西方向で1ヶ所、南北方向で1ヶ所の断面図を作成した。また、調査地と調査地外の境界に当たる壁面は西側の池台池部分を除いて作成するようにした。

2. 調査区の概要

I-23 K地区の南西部に当たる。その西半部は池台池の浚渫により遺構は残らないと考えられる。調査区の北側2/3～3/4程度は弥生時代前期末～中期初頭の自然河川に当たり、自然河川埋没後も低地を形成していた。この自然河川はA地区北地区で検出した水田層の下部に堆積する自然河川の延長部であるが、この地区では水田層は認められなかった。自然河川の南側は急激に遺構面が高くなっており、その部分に弥生時代後期～中世の遺構がある。ここではA地区で検出した周溝墓群の延長部も検出した。

I-24 池台池の内部であることが想定される地区であり、3ヶ所にトレンチを設定して調査を行った。その結果、トレンチ1・2は池台池の内部で、遺構は検出されず、遺構面は削平されていると考えられる。トレンチ1・2とも深さ1～2mの埋立土と厚さ40cm程度の濁灰緑色～灰色粘土の池台池の堆積土を検出したただけであった。トレンチ3では池台池の外側になる南西部で、円弧状に回る溝を検出した。この溝は北側では2条であったものが、南側では合流し、A地区西地区で検出した溝へ続く。西側への延長部は調査対象範囲外であり確認はできなかった。

I-25 K地区北西部、I-23の北側に位置する調査区である。調査区の西半分は池台池の内部であることが想定されたため、調査区の北側と南側で東西方向のトレンチを設定して池台池の範囲、遺構の遺存



第6図 主要遺構配置図 (1/1,000)

状況を確認した後、遺構の遺存していない池台池は調査地から除き、池台池の外側の部分を調査した。I-25もI-23北側から続く低地であり、弥生時代前期末～中期初頭の自然河川を2条検出した。そのうちの北側の1条からは当該期の多量の土器が出土した。また、この地区の北西隅からは池台池の底ユルを検出した。

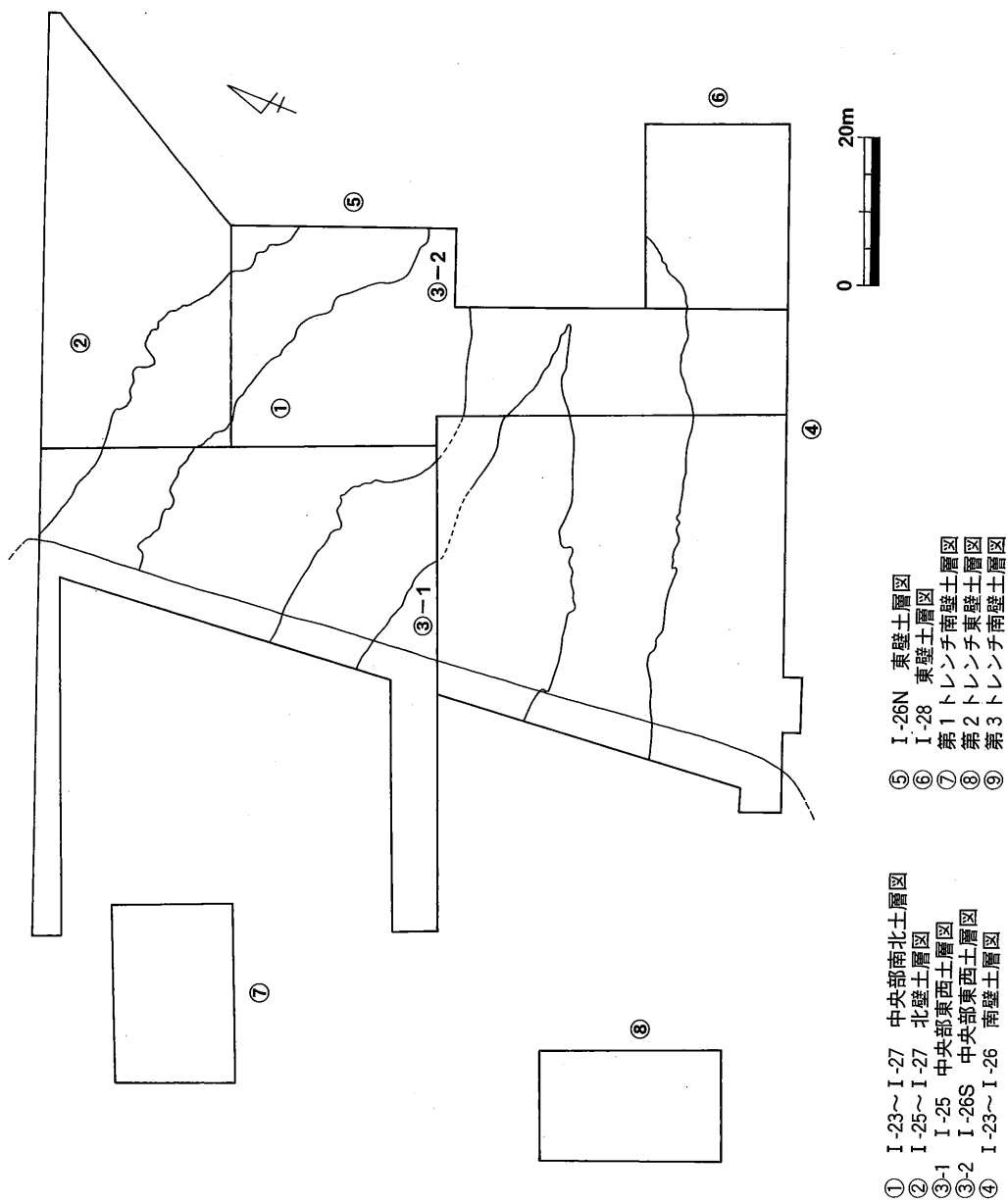
I-26 I-23の東側～北東側に設定した調査区である。I-23同様南側の一部を除いて低地となっており、弥生時代前期末～中期初頭の自然河川を3条検出した。このうちの最も南側の1条はI-23からの延長部であり、前述のA地区北地区の、上部に水田層を検出した自然河川へ続くものであるが、ここでも水田層は検出できなかった。調査区南側の微高地では、I-23から続く弥生時代後期後半の溝の延長部を検出している。

I-27 I-25の東側、I-26の北側で設定した調査区である。調査区の南西部でI-25から続く弥生時代前期末～中期初頭の自然河川を1条検出した。北東側は微高地となっている。ベースの上面には、自然河川の上面に広く堆積する包含層が及ぶ。遺構が形成されるのは中世以降で、遺構密度も低い。

I-28 I-26の南半東側に設定した調査区で、調査期間中に追加された調査区である。調査区全体がおおむね微高地になるが、北側部分は空港造成時の攪乱のため遺構面はほとんど残っていない。この調査区ではI-23・26南側から続く弥生時代後期や古代・中世の溝群を検出したほか、埋土中から多量の礫が出土した円形に巡る溝を検出している。この溝は遺構の切り合い関係や弥生時代後半頃の遺物が出土していることから周溝墓の可能性が高いと考えられ、隣接するA地区南地区から広がる墳墓群の一部と考えられる。

地区名	調査年度	面積(m ²)	担 当	遺 物 量
I-23	平成8年度	5,700	宮崎 哲治・多田 慎・森澤 千尋	コンテナ25箱
I-24				コンテナ5箱
I-25	平成9年度	6,500	山元 素子・池田 道雄・藤澤 正則	コンテナ34箱
I-26				コンテナ28箱
I-27				コンテナ28箱
I-28				コンテナ16箱
合 計		12,200		コンテナ126箱

第3表 K地区 各調査区の概要



第7図 土層位置図 (1/1,000)

第2節 土層序 (第7図)

空港跡地K地区の地形はおおまかに捉えれば南端部と北東隅が微高地、西端が旧池台池、その他の大部分が弥生時代まで自然流路であった低地である。したがって、地形は南西側から北東側へ傾斜している。土層位置図は現在の地割りに沿うラインで南北方向に3ヶ所、東西方向に3ヶ所、旧池台池部分で3ヶ所を掲載した。

① I-23～I-27調査区中央部南北土層図 (第8・9図)

調査区の中央部を南北に縦断する土層である。北からI-27、I-26、I-23の土層に当たる。調査区北側約9m分では上部に池台池堤防盛土が観察できる。

調査地は、空港の造成時に全体にL=20.20～20.40m程度の高さになるよう造成されており、調査時にはさらに高さ1mの盛土が成されていた。池台池の堤防がかかっている場所については空港造成時に盛土はほとんど行っていない。

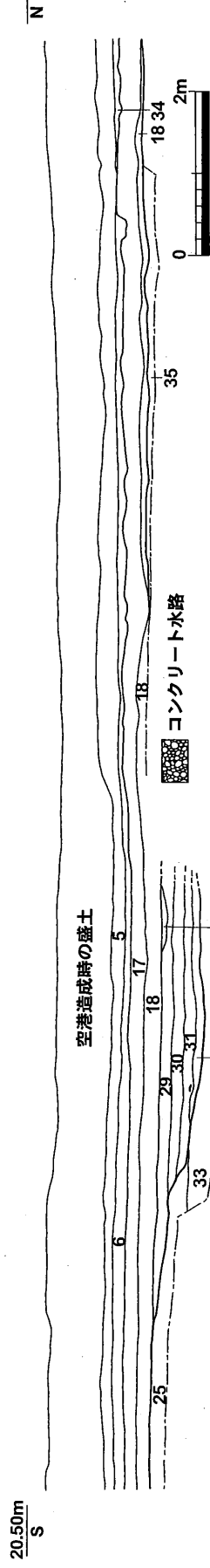
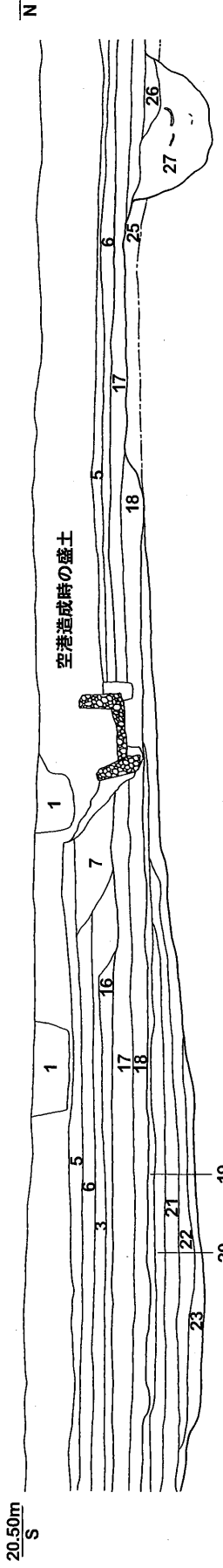
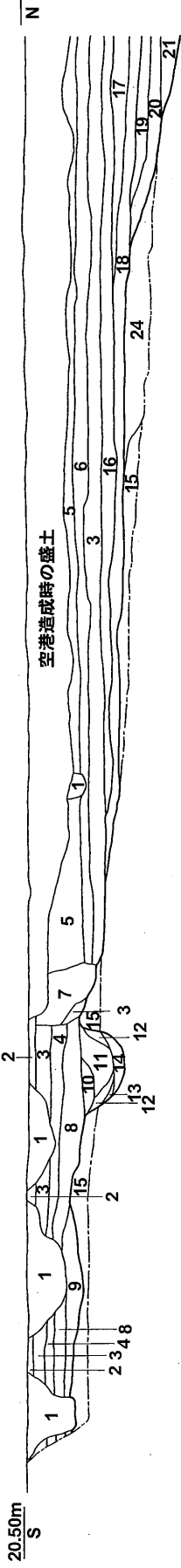
空港造成以前は調査地の南から約5.5mの地点から北側では水田面が低くなり、南側の水田面が約40cm高い。この部分が南側の微高地に当たる。ここでは近世以降の耕作土と考えられる厚さ約30cmの黄褐色・淡橙褐色粘質土層の下部に、調査区南部ほぼ全体を覆い、一部はSRk03の南岸に広がる不定形の遺構群の埋土となっている淡灰褐色細砂・礫混粘質土層が30cm程度堆積し、その下部に明黄褐色粘土の比較的安定したベースがある。遺構面のレベルは19.90mである。水田面が1段下がった場所から北側は自然河川が埋没したあとの低地であり、土層序は、おおむね旧耕作土の下部に灰褐色粘土層、暗灰褐色粘土層が厚さ20～30cm程度堆積する。これらの層は古代～中世の遺物を含み、弥生時代に自然河川であった低地をほぼ全体に覆う。これらの包含層の形成時期は、出土遺物の下限の年代により13世紀代と考えられる。『空港跡地遺跡V』ではSRk03 (『空港跡地遺跡V』ではSRa01) の上面で水田面があったことが報告されており、この包含層の層位がそれに相当すると考えられるが、今回の調査では包含層をA地区のように細分することはできず、水田層も検出することはできなかった。これらの包含層はSRk01～03までの上部を覆い、壁面北端にまで及ぶ。包含層の下部では3条の自然河川を検出した。自然河川の下部のベースは灰色～黄褐色砂礫、自然河川の北岸では黄色シルトであった。

② I-25～27調査区北壁土層図 (第10・11図)

調査区の北端の東西方向の土層図である。基本的な層序は、耕作土・床土の下部にベースが広がり、包含層の堆積はほとんど認められない。この壁面では、I-25西半部分は池台池部分、I-25東半部分～I-27西部は池台池堤防で占められる。池台池埋立土の下部にはわずかにSRk01の埋土が残る。堤防部および池台池の東側については堤防盛り土または耕作土・旧耕土直下に褐色・灰色砂礫のベースが見られる。SRk01部分を除くベース面のレベルは19.90m程度で、東西方向の傾斜はほとんど認められない。壁面の東端付近では砂礫の上部に砂層やシルト層が堆積し、ベースを形成している。

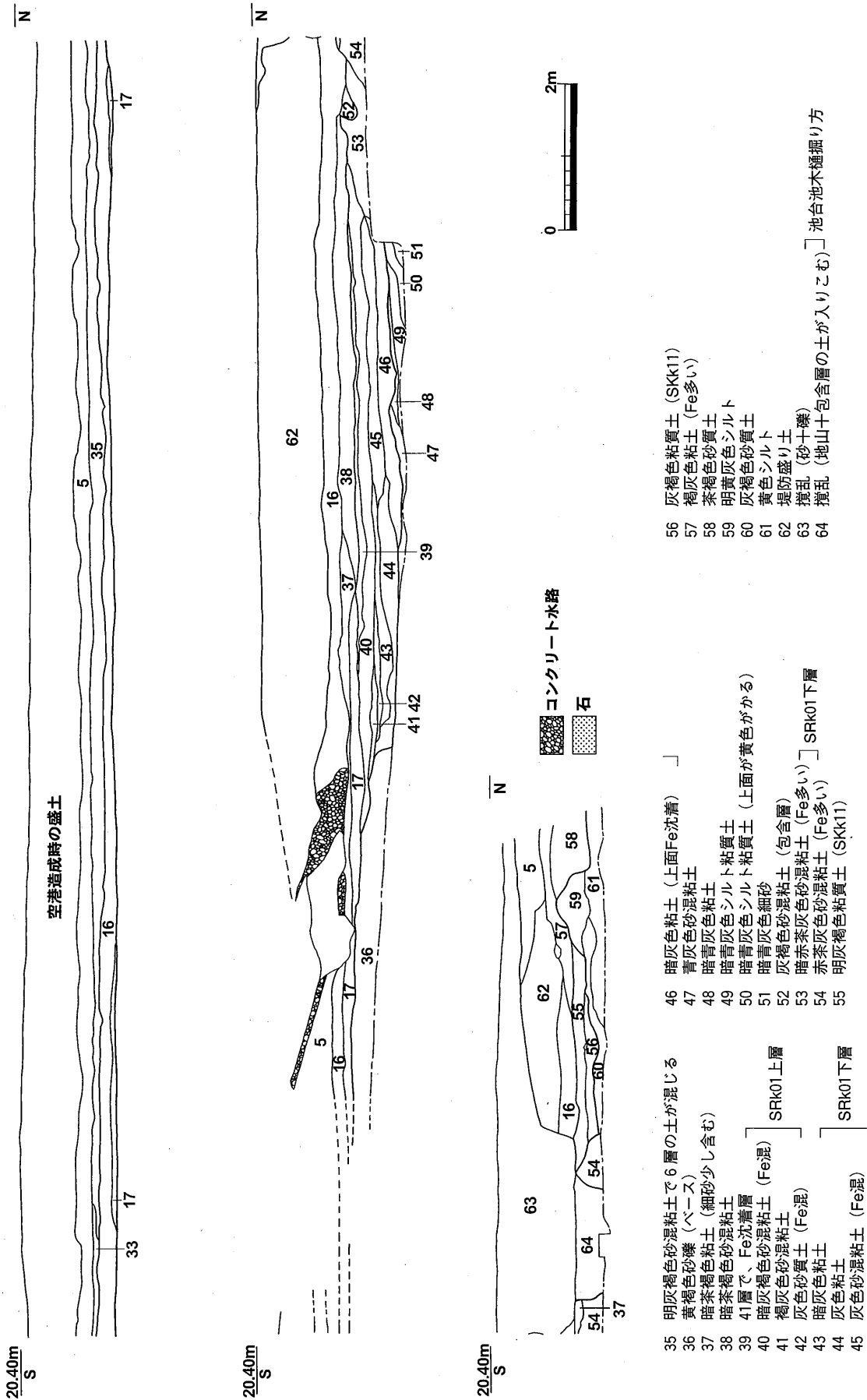
③ I-25・26調査区南壁土層図 (第12図)

調査区のほぼ中央部を東西方向で作成した土層図である。③-1はI-25南壁土層断面図で、調査区全体のほぼ中央部の東西方向の西半の断面図に当たる。③-1の基本層序は耕作土・床土の下部に旧耕作土と考えられる明黄灰色砂質土・明褐色砂質土層を挟んで、灰褐色・暗灰褐色粘土の古代～中世の遺物を含む包含層が堆積し、その下部に厚さ10cmほどの明褐色砂層を挟んでSRk02の断面が観察できる。包含層は、SRk02の西岸に位置する場所では堆積は薄くなり、池台池にかかる付近で消失していく。遺構面のレベルは西側が若干高く、SRk02の東側(L=約19.80m)との比高差は約10cmである。包含層は池台池の浚渫による削平ではなく、遺構面が高かったためももとなかったと思われる。この部分では池の内部より堤防部および池台池の外側のほうが池浚渫前までは遺構面のレベルは高かったと思われる。ベ-

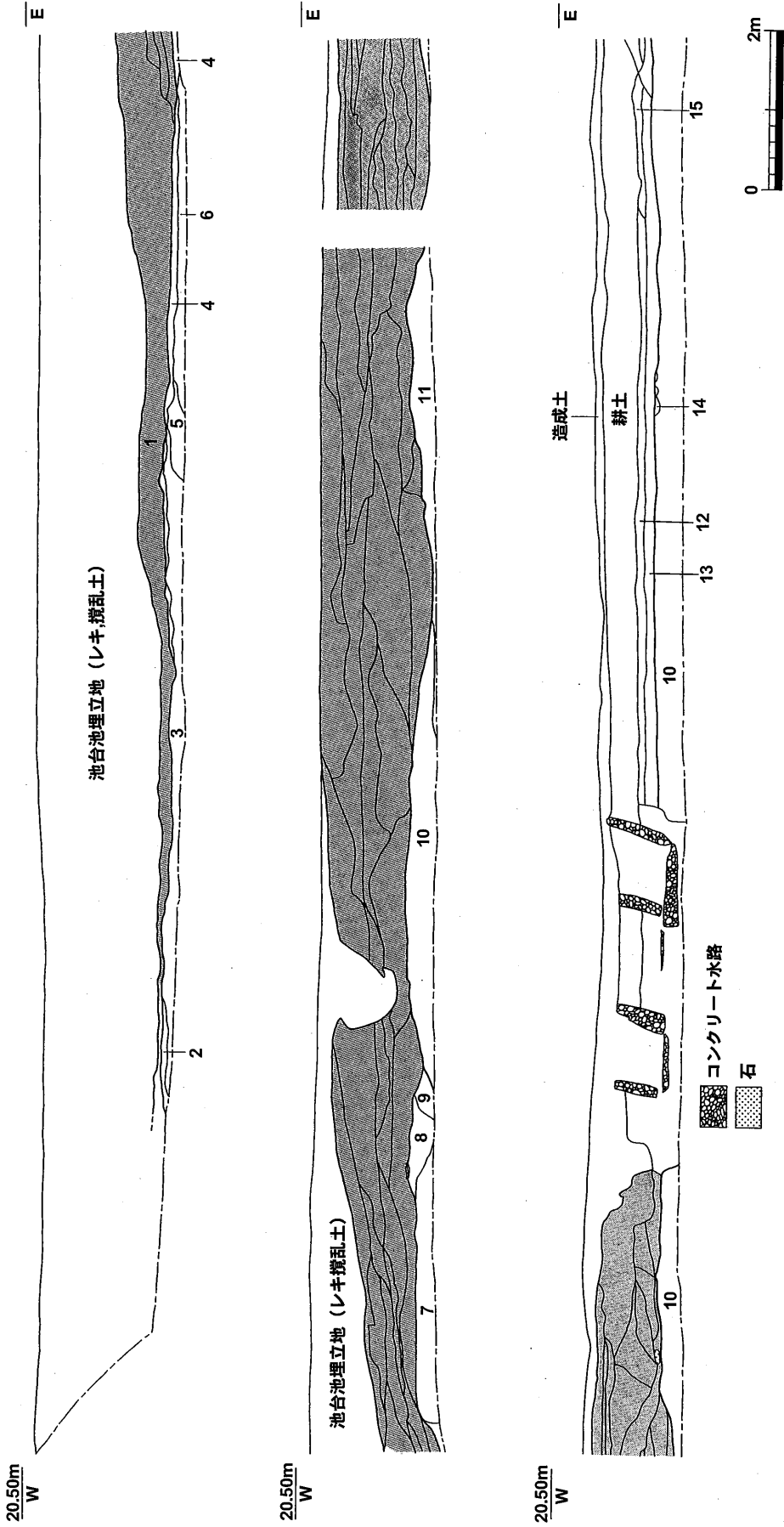


- | | | | | | |
|----|------------------------|----|-----------------------------------|----|------------------------------------|
| 1 | 淡灰色粘質土 (近現代の土坑) | 13 | 淡茶褐色中砂 | 25 | 暗茶褐色礫混粘質土 (5cm以下のくさり礫を含む) |
| 2 | 灰色粘質土 (植物の根を多く含む) | 14 | 茶褐色粘質土 (地山) | 26 | 黒褐色礫混粘質土 (10~20cm大の垂円礫多く含む)]SKK02 |
| 3 | 黄褐色粘質土 (Fe、Me少し含む) | 15 | 明黄褐色粘土 (包合層) | 27 | 灰白色細~中砂 |
| 4 | 淡黄褐色粘質土 (Feが多い) | 16 | 灰褐色粘土 (包合層) | 28 | 暗茶褐色粘土 |
| 5 | 濁灰色粘質土 (旧耕作土) | 17 | 暗灰色粘土 (SRK01全体を覆う) | 29 | 暗茶褐色細砂混粘質土 |
| 6 | 濁灰色粘質土 (旧床土か?) | 18 | 黒褐色粘土 (SRK03上層) | 30 | 黒灰色礫混粘質土 (5~10cm大のくさり礫多い)]SRK02 |
| 7 | 淡灰色粘質土 (Fe少し含む) | 19 | 暗灰色細砂混粘質土 (SRK03中層) | 31 | 黒灰色粘土 |
| 8 | 淡灰色細砂混粘質土 (Fe、Mn少し含む) | 20 | 黒灰色粘土 (SRK03下層) | 32 | 灰色砂礫 (10~20cm大の垂円、円礫多い) |
| 9 | 淡灰色礫混粘質土 (5cm以下の垂円礫多い) | 21 | 淡里灰色礫混砂質土 (5cm以下のくさり礫を含む、SRK03下層) | 33 | 明灰色細砂混粘土 |
| 10 | 灰白色細砂 | 22 | 淡灰色細砂粘質土 (SRK03下層) | 34 | 黄褐色くさり礫 (地山) |
| 11 | 暗茶褐色粘質土 | 23 | 淡灰色細砂 (シルト質、Fe多い、地山) | | |
| 12 | 淡灰色粘質土 | 24 | 淡茶褐色礫混粘質土 (10~20cmの垂円礫多い、地山) | | |

第8図 調査区中央部南北土層図 (I-23~27) ① (1/80)

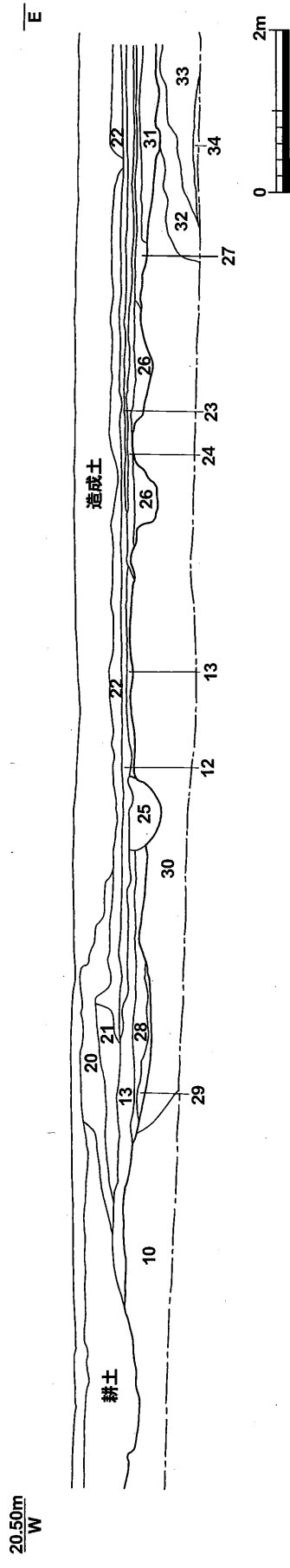
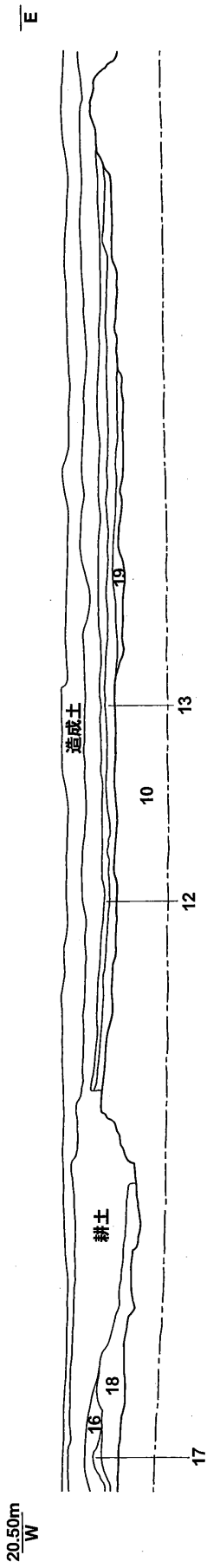


第9図 調査区中央部南北土層図 (I-23~27) ② (1/80)



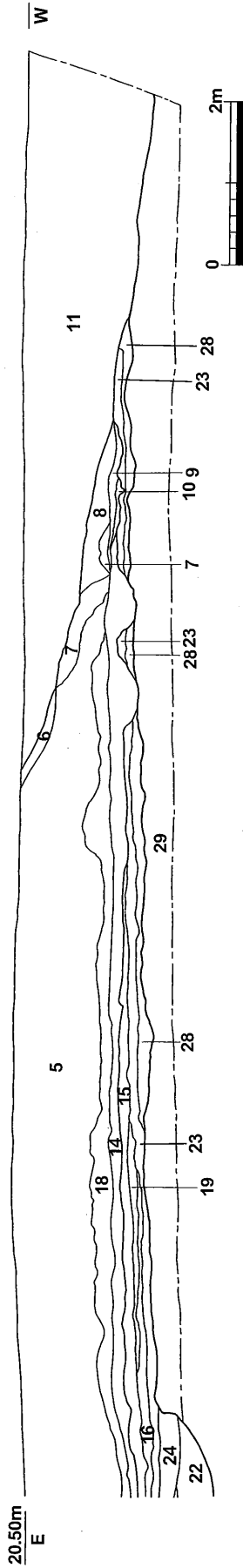
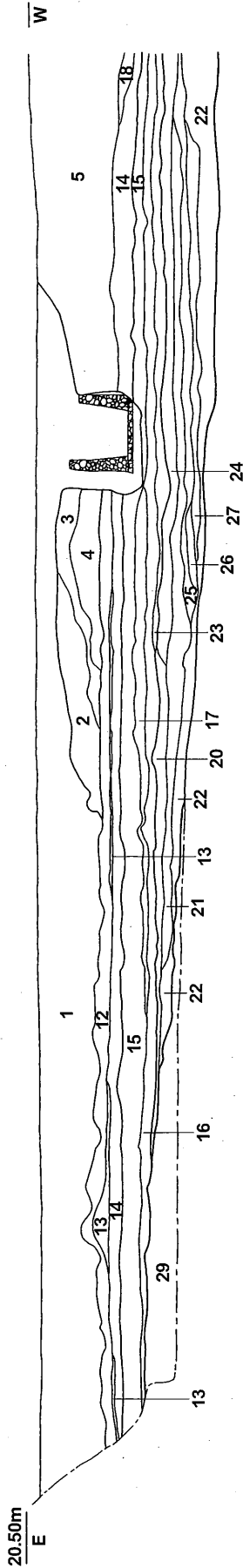
- | | | | |
|----|-------------------------|-------|--|
| 1 | 池台堤防盛土 | | |
| 2 | 黒灰色砂質土 | SRk01 | |
| 3 | 黒灰色粘土 (灰色砂混) | | |
| 4 | 暗灰色粘土 (灰色砂混) | | |
| 5 | 暗灰色砂質土 | | |
| 6 | 灰色砂質土 (ベタベタ) | | |
| 7 | 暗茶褐色粘質土 (固い) | | |
| 8 | 橙茶褐色粘質土 | | |
| 9 | 橙褐色粘質土 | | |
| 10 | 灰褐色砂礫 (地山) | | |
| 11 | 褐色砂礫 (地山) | | |
| 12 | 赤茶褐色粘質土 (床土) | | |
| 13 | 明灰褐色粘質土 (入り混じったような汚れた土) | | |
| 14 | 明灰色粘質土 | | |
| 15 | 褐色砂質土でFe混 | | |

第10図 調査区北壁土層図 (I-25~27) ① (1/80)



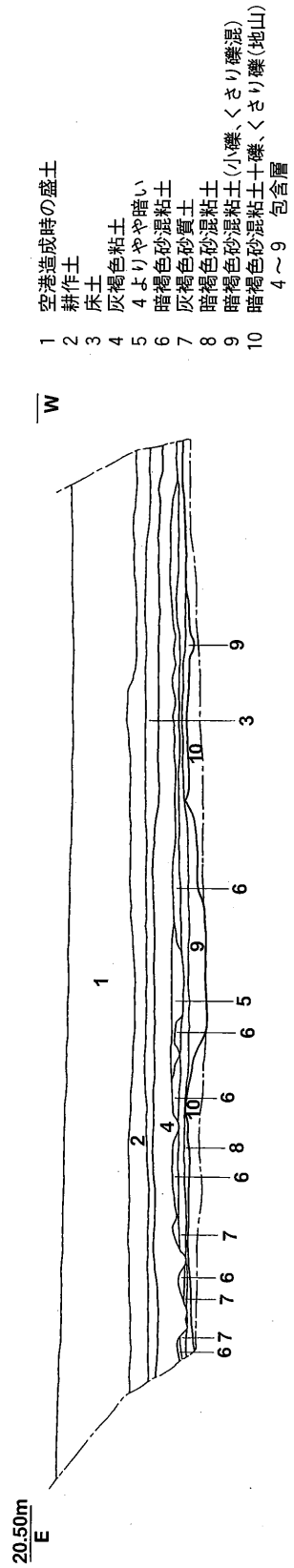
- | | | | | | |
|----|-------------|-----|--------------------------|----------|---------|
| 16 | 褐色礫混砂質土 | 旧畦畔 | 29 | 黄褐色弱粘質土 | |
| 17 | 褐色砂質土 | | 30 | 明黄色弱粘質土 | |
| 18 | 礫 | 23 | 明灰褐色砂質土 | 31 | 赤茶褐色シルト |
| 19 | 明褐色砂質土 | 24 | 明黄灰色粘質土 (床土) | 32 | 褐白色シルト |
| 20 | 褐色腐食土 (旧耕土) | 25 | 褐色砂質土 (礫を多く含む) | 33 | 褐色砂 |
| 21 | 褐色腐食土 (旧耕土) | 26 | 褐色粘質土 | 34 | 砂礫 |
| 22 | 旧耕土 | 27 | 赤茶褐色粘質土 (Min含む) | 30・32~34 | 地山 |
| | | 28 | 褐灰色砂質土 (暗褐色土ブロック混じる、包含層) | | |

第11図 調査区北壁土層図 (I-25~27) ② (1/80)



コンクリート水路

- | | | | |
|----|---------------------|----|---------------------------|
| 1 | 空港成時の盛土 | 21 | 暗褐色粘土 (砂少し) |
| 2 | 明灰色砂質土 (2~10cm大の礫) | 22 | 暗褐色粘土 (21より少し明るい) |
| 3 | 明灰色砂質土 | 23 | 明褐色砂 |
| 4 | 明灰色砂質土 (5~10cm大の礫混) | 24 | 暗褐色粘土 |
| 5 | 池台堤防盛土 | 25 | 黒灰色シルト |
| 6 | 黄褐色砂・黄褐色粘土 (版築状) | 26 | 暗灰色細砂 |
| 7 | 明灰色粘土 | 27 | 暗褐色粘土 |
| 8 | 明黄褐色砂・青灰色粘土 (版築状) | 28 | 灰色砂混粘土 (明灰色土がまばらに混じるFe含む) |
| 9 | 青灰色粘土 | 29 | 暗褐色砂混粘土 (砂多い) |
| 10 | 青灰色粘土・明褐色砂混粘土 | | 暗褐色砂混粘土 (砂多い) |
| | 5~10・18 堤防盛土 | | 20~22・24~27 SRK02 |
| | | | 20 暗褐色砂混粘土 |
| | | | 19 暗褐色砂混粘土 (砂多い) |
| | | | 18 暗褐色砂混粘土 (包含層) |
| | | | 17 暗褐色砂混粘土 (包含層) |
| | | | 16 灰色粘土 (包含層) |
| | | | 15 明褐色砂混粘土 (包含層) |
| | | | 14 明褐色砂混粘土 |
| | | | 13 明黄色砂質土 |
| | | | 12 池埋立土 |
| | | | 11 旧耕土 |



第12図 調査区中央部東西土層図 (I-25・26) (1/80)

スは暗灰色礫で、安定しない低地であつたらしい。この断面の中央付近から西側にかけては池台池堤防および池内部に当たる。包含層や明褐色砂質土（旧耕作土）の上部にはほぼ堤防盛土全体にわたって明灰色粘土が約20cm堆積し、その上部に堤防の盛土がみられる。この明灰色粘土は他の壁面では観察できない層であり、堤防に伴うものと考えられる。

③-2でも基本的な層序は③-1と同様で、耕作土・床土の直下に灰褐色粘土層を主体とする古代～中世遺物包含層が厚さ約30cm堆積する。ベースは暗褐色砂混粘土に礫やくさり礫が混じる層である。遺構面のレベルは約19.70mで、やはり地形がやや西から東へ向けて傾斜する様子が窺える。

④ I-23～I-28南壁土層図（第13・14図）

調査区の南端部を東西方向に作成した土層図である。西からI-23・I-26・I-28区に当たる。現地表ではわずかに西が東より高い地形になっているが、遺構面のレベルは東端が若干高く、中央付近でやや低くなり、I-23西端付近、周溝墓の付近で急激に遺構面が上がる。

I-28では耕作土・床土直下で遺構面が認められるが、ベースは茶褐色・褐色砂質土などで、あまり安定しない。I-26～I-23東半にかけてはややベースが低く、耕作土と遺構面の間に包含層が堆積する。旧地表面のレベルは東端より若干上がっているが、I-26では耕作土の下部には厚さ約20cmのシルト層、その下部には厚さ10cm程度の砂層が複雑に堆積し、遺構面はI-28部分より約25cm下がる。ここで見られた砂層はI-28で検出したSDk21・22と埋土が類似しており、溝とした部分はその層の一部、深く抉れたところであった可能性がある。この付近はSDk11・12の土層断面が壁面に現れている部分とほぼ重なるが、遺構面の上面も砂層やシルト層が複雑な堆積を見せている。ベースは黄褐色や白灰色のシルト層である。

I-23東半ではシルト層・砂層は消失していくが、遺構面の上部には淡灰褐色粘質土の中世の遺物を含む包含層が厚さ10～20cm程堆積する。I-23南端部分では同じ埋土を持つ不定形の遺構群や溝群があるが、この埋土がおおむねこの層位と類似しており、この層の堆積は凹凸があつたと思われる。これらの包含層は調査区の西端では見られなくなり、遺構面は急激に高くなる。ベースはI-23部分では明黄色粘土や濁黄褐色粘質土層で安定した層であつた

⑤ I-26東壁土層図（第15図）

I-26北部の東壁土層図である。南半部ではSRk01が土層断面にかかる。基本層序は耕作土・床土の下部に古代～中世の遺物を包含する包含層が堆積し、北・南部ではベースが、中央部分ではSRk01がかかる。ベースは調査区の北部では褐色砂質土、その下部で黄色砂礫であるが、南部のSRk01南肩から南側では暗褐色砂混粘土に礫・くさり礫が混ざる層で、自然河川の肩は上がるものの、一帯が湿地であつたことが窺える。中世包含層はSRk01の北肩のやや北側から堆積を始め、厚さ40cm程度で南端まで堆積する。包含層は灰褐色粘土層が主体であるが、下部のほうでは暗褐色砂混粘土が堆積する。

⑥ I-28東壁土層図（第16図）

I-28東壁土層図で、調査区の南東隅の土層図に当たる。基本的な層序は造成土・耕作土・床土の直下で厚さ約20cmの茶褐色砂質土のやや不安定なベースが認められ、その下部に褐色砂質土、明黄灰褐色粘質土が堆積する。遺構面の高さは19.9m～19.8mで、わずかに北側へ傾斜している。基本的な層序はほとんど変わらないが、調査区北部、SDk06・12が壁断面にかかっている場所ではベースは安定した黄色粘土である。なお、調査区の北側は空港造成時の深い攪乱により残っていない。

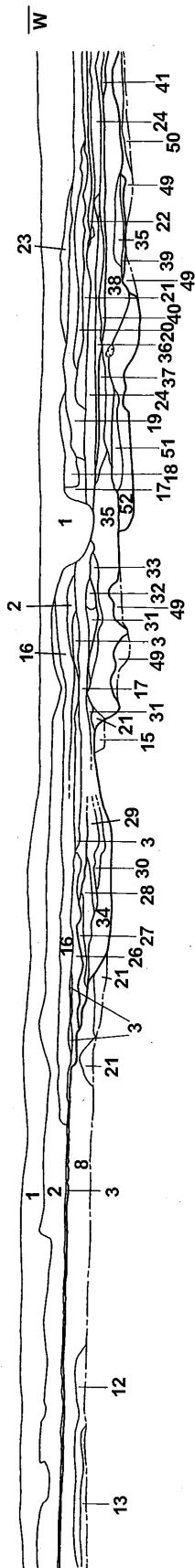
⑦・⑧・⑨ I-24トレンチ1～3土層図（第17図）

⑦はトレンチ1の南壁土層図である。トレンチ1は池台池の中央やや北東寄りに位置する。ベースは暗灰色砂礫層で安定していない。底にはヘドロが固まったような暗灰緑色粘質土が堆積し、菱の実が混じる層と、その下部に灰色細砂混（シルト質）粘質土層が堆積する。これは池台池の堆積土である。そ

20.50m
E



20.50m
E



石

- 1 空港造成時の盛土
- 2 耕土
- 3 黄色粘土 (床土)
- 4 暗茶褐色粘質土
- 5 暗茶褐色粘土
- 6 暗茶褐色粘質土
- 7 明茶褐色砂質土 (地山)
- 8 茶褐色砂質土
- 9 茶褐色砂質土
- 10 褐色砂質土
- 11 青灰色砂質土 (地山)
- 12 茶褐色砂質土 (固い)
- 13 明茶褐色粘土 (地山)
- 14 明黄褐色粘土
- 15 黄褐色シルト
- 16 明褐色砂質土
- 17 明褐色砂質土
- 18 黄褐色シルト

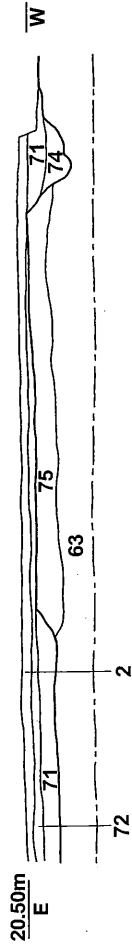
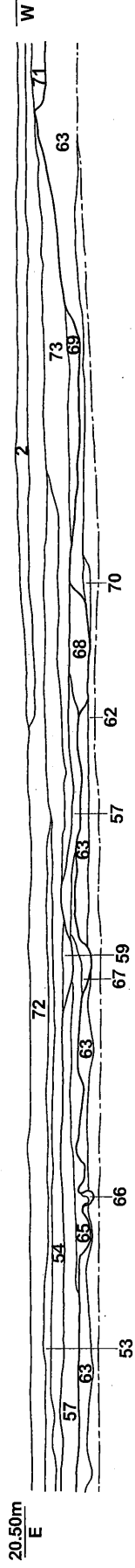
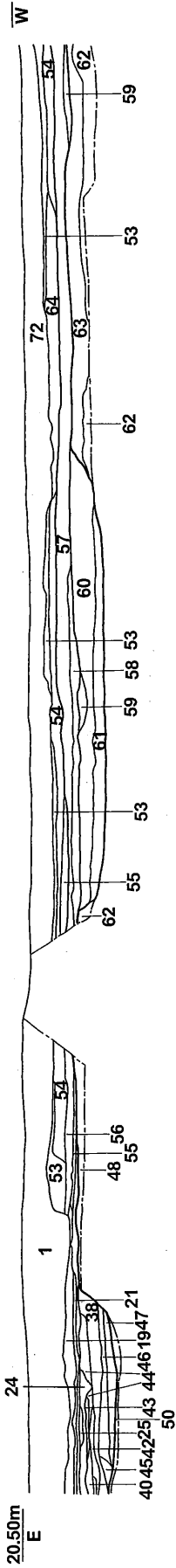
- 19 灰褐色シルトで明褐色と砂が入り混じる
- 20 茶褐色シルト
- 21 明茶褐色シルト
- 22 灰褐色中砂
- 23 灰白色粘質土 (Fe混、旧耕作土)
- 24 褐色シルト (上面にFe)
- 25 灰褐色砂礫 (礫+小礫)
- 26 黄褐色砂質土
- 27 黄褐色砂 (ラミナ状)
- 28 赤茶褐色砂 (ラミナ状)
- 29 灰褐色粘質土
- 30 明黄褐色砂 (ラミナ状)
- 31 明褐色砂質土
- 32 31層+33層
- 33 灰褐色シルト (Fe沈着)
- 34 褐色細砂質土
- 35 灰褐色シルト
- 36 明灰褐色細砂

- 37 灰褐色シルト (灰白色砂少し混)
- 38 灰褐色粘質土 (小礫混)
- 39 褐色砂礫
- 40 灰褐色細砂+灰白色細砂
- 41 白灰褐色シルト
- 42 灰褐色シルトで灰白色砂がブロック状に混じる
- 43 白灰褐色細砂
- 44 白色細砂
- 45 灰白色細砂 (灰褐色シルト混入)
- 46 黄灰白色細砂
- 47 灰褐色細砂+灰白色砂 (ラミナ状)
- 48 灰褐色粘質土 (Feや多い)
- 49 白灰褐色シルト (地山)
- 50 黄灰白色粘質土
- 51 褐灰色粘土
- 52 褐灰色シルト (明褐色と砂混じる)

8~16 地山

4~7 SDK05

第13図 調査区南壁土層図 (I-23~28) ① (1/80)



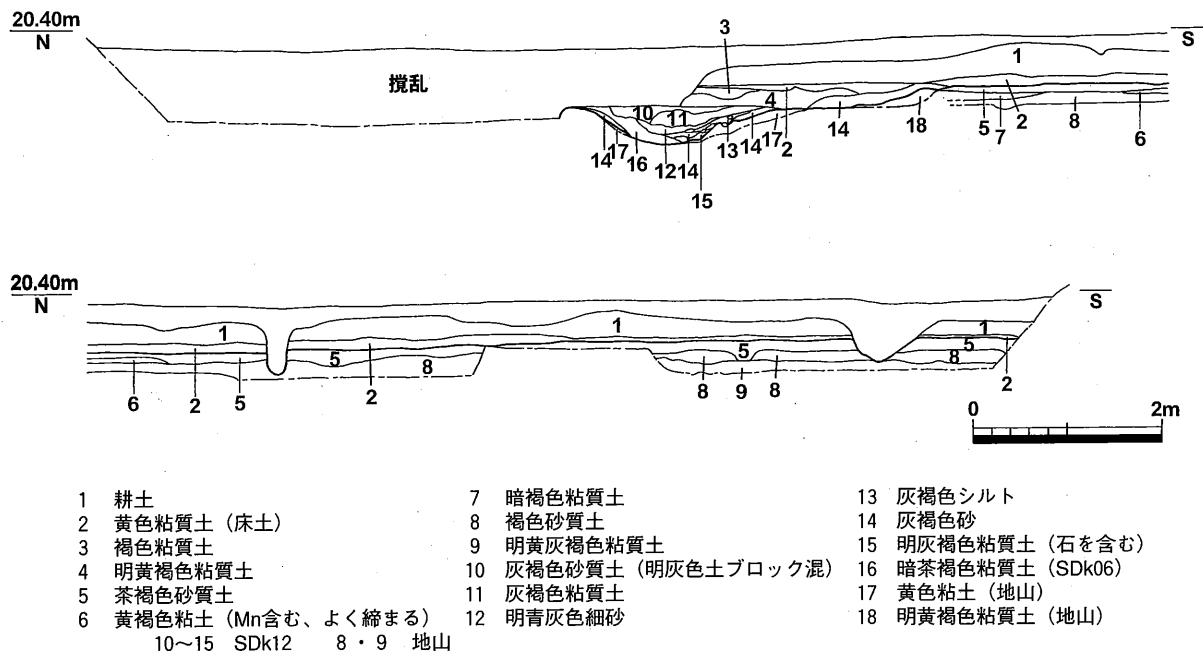
- 53 明黄灰色シルト (旧耕土)
- 54 明褐灰色シルト (旧耕土)
- 55 白色細砂
- 56 明黄灰色粘質土
- 57 灰褐色礫混粘質土 (5~10cm大の珪円礫を少し含む、包含層)
- 58 淡灰褐色礫混中砂 (59層のラミナが混じる、包含層)
- 59 白色細砂
- 60 灰褐色礫混粘質土 (5 cm以下の小円礫少し含む、SDK11)
- 61 灰褐色礫混砂質土 (10cm以下の円礫多い、粗砂が混じる、SDK11)
- 62 明黄色粘土 (Fe、Mn少し、地山)
- 63 暗黄褐色細砂混粘質土 (Fe多い、地山)
- 64 淡灰色粘質土 (Fe少し含む)
- 65 灰褐色礫混粘質土 (5 cm以下の円礫多い、包含層)
- 66 灰色粗砂
- 67 灰色細砂混粘質土
- 68 淡灰褐色細砂混粘質土 (SxK11)
- 69 濁黄褐色細砂混粘質土 (Fe多い、SDK11)
- 70 灰褐色シルト
- 71 暗茶褐色粘質土 (SDK03)
- 72 淡灰白色粘質土 (Fe、Mn少し)
- 73 淡灰褐色細砂混粘質土
- 74 黄褐色細砂混粘質土 (SDK03)
- 75 濁黄褐色粘質土 (地山)

第14図 調査区南壁土層図 (I-23~28) ② (1/80)

の上部はすべて空港造成時の埋め立て土で、その堆積状況から、東側から土を入れて埋め立てていった様子が窺える。埋め立ては粘質土と礫混じりの粘質土層を混ぜ合わせた土で行っている。埋め立て土の厚さは1.2m、堆積土の厚さは約10cmで、池台池の底のレベルは約19.20mである。

⑧はトレンチ2の東壁土層図である。トレンチ2は池台池の南部中央付近である。ベースは明黄色粘土またはこの層がグライ化した淡青灰色粘土層である。池の底には濁灰緑色粘土層、淡灰色粘土層がそれぞれ約20cmずつ堆積している。これらの層はトレンチ1の層とそれぞれ対応する。その上部はすべて空港造成時の埋め立て土で、厚さ約2.0mに及ぶ。埋め立て土は淡灰色～淡青灰色粘質土～砂質土で、中には礫を多く含む層位もある。堆積状況から南側から土を入れて埋め立てた様子がわかる。池の底のレベルは18.60mである。なお、トレンチ2出土遺物の項で記述するように、池台池埋立土のうち、淡灰色粘土層から12世紀頃の、比較的磨滅の少ない遺物がまとまって出土している。

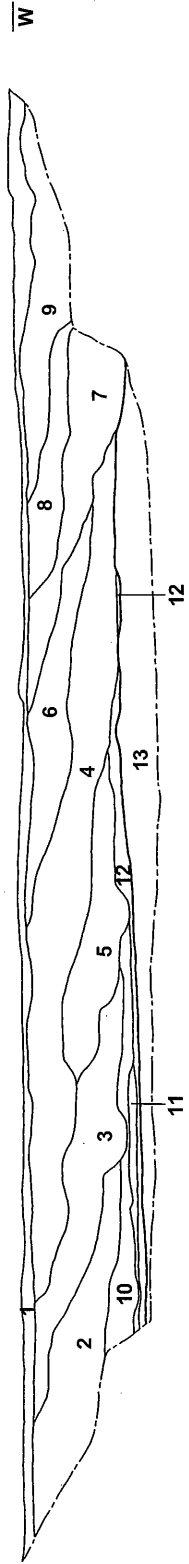
⑨はトレンチ3の南壁土層図である。トレンチ3は池台池南西隅部分にあたる。トレンチ3では池台池の南西隅が検出された他、円弧状に回る溝が検出されている。池台池の西外側の部分では空港造成時の表土の直下は安定した明黄色粘土層のベースがある。池台池内部はすべて埋め立て土によって構成され、埋め立て土には礫のほか瓦などの廃棄物も含まれている。遺構面の高さは21.00mである。



第16図 調査区東壁土層図 (I-28) (1/80)

20.60m
E

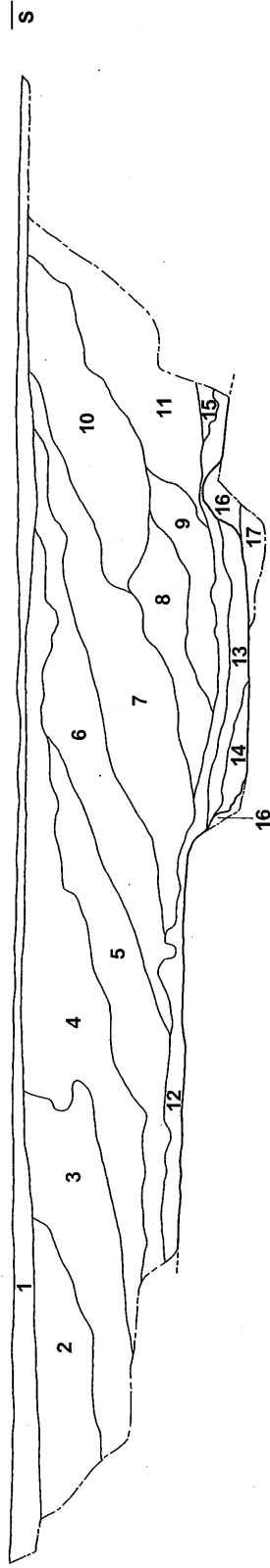
トレンチ1



- 1 暗灰色粘質土 (旧表土)
- 2 濁灰色礫混粘質土 (10~15cm大の亜角礫少し含む)
- 3 淡黄色粘質土
- 4 濁灰色粘質土 (15~20cm大の亜角礫少し含む)
- 5 淡灰色粘質土 (やや黄色味を帯びる)
- 6 淡灰色粘質土
- 7 淡黄灰色粘質土 (10cm大の亜角礫少し含む)
- 8 灰色礫混粘質土 (5~10cm大の亜角礫多く含む)
- 9 淡灰色礫混粘質土
- 10 濁青灰色砂混粘質土 (10cm以下の亜角礫多い)
- 11 暗灰緑色粘質土 (ヘッドロ口が固まったもの、ひしの実が混じる)
- 12 灰色細砂混粘質土 (シルト質)
- 13 暗灰色砂礫 (10~30cm大の亜角礫、円礫を多く含む、地山)

20.80m
E

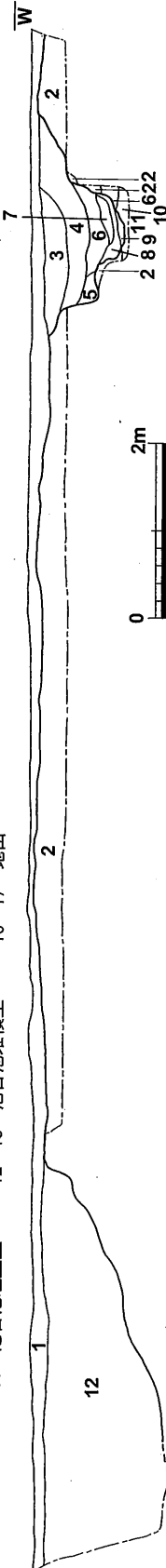
トレンチ2



- 1 暗灰色粘質土 (旧表土)
- 2 濁灰色礫混粘質土 (10~30cmの亜角礫多く含む)
- 3 青灰色粘質土
- 4 灰色礫混粘質土 (10~30cm大の亜角、亜角礫多く含む)
- 5 淡灰色粘質土 (やや礫混じり)
- 6 淡青灰色粘質土
- 7 淡灰色粘質土
- 8 濁青灰色粘質土
- 9 灰色粘質土 (やや礫混じり)
- 10 淡青灰色粘質土
- 11 青灰色粘質土
- 12 濁灰緑色粘土 (シルト質、池底のヘッドロ口が固まったもの)
- 13 淡灰色粘土
- 14 淡青灰色粘土
- 15 淡灰色シルト
- 16 濁青灰色粘土 (17がグライ化したもの、地山)
- 17 明黄色粘土 (地山)

21.40m
E

トレンチ3



- 1 暗灰色粘質土 (植物の根多く含む、旧表土)
- 2 明黄色粘土 (ややシルト質、地山)
- 3 茶褐色粘質土
- 4 茶褐色細砂混粘質土
- 5 暗茶褐色粘質土
- 6 茶褐色粘質土 (地山粘土ブロックを少し含む)
- 7 地山粘土ブロック
- 8 暗茶褐色粘土 (灰白色細砂ラミナを含む)
- 9 淡灰褐色粘土
- 10 灰色砂礫 (10cm以下の亜角礫、粗砂多い、地山)
- 11 黄褐色シルト (地山)
- 12 灰色粘質土 (10~30cm大の礫、近代瓦等を多量に含む、池台池埋立土)

3・4 SDK13 5~9 SDK04

第17図 I-24区トレンチ1~3土層図 (1/80)

第3節 遺構・遺物について

1. 弥生時代前期～中期の遺構・遺物

SKk04 (第18図、図版8)

I-26区SRk03の内部、SKk05の約1m西側で検出した土坑である。規模・形状ともSKk05に類似し、おおむね同じ時期に掘削された可能性が高い。検出したのはSRk03の掘り下げ後であるが、SKk05と同様、SRk03が埋没を始めた後、ある時点で掘り込まれた可能性が高い。やや歪つな隅丸方形で、一辺1.2m、深さ26cm、埋土はおおむね暗灰色～暗褐色粘土で、上層には砂が少し混じる。断面形状は逆台形である。埋土中からは桃核、ウリ類、ヒョウタン類の種子が出土している。これらはいずれも栽培植物である(第4章参照)。埋土や出土遺物の類似性からSKk05と関連する遺構の可能性が高い。遺構の時期が明らかになるような出土遺物はなかったものの、SKk05との類似性から、時期はSKk05同様弥生時代中期後半頃と考えられる。

SKk05 (第19・20図、図版8・19)

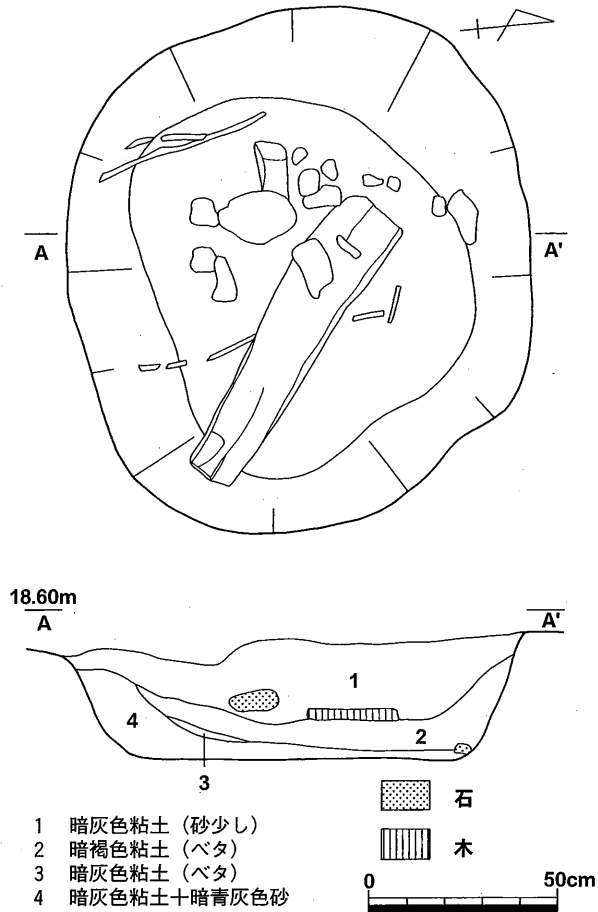
I-26区SRk03の内部で検出した土坑である。SKk04の東側約1mに位置する。検出したのはSRk03の掘り下げ後であるが、埋土中からは弥生時代中期後半頃の遺物が含まれており、SRk03が埋没を始めた後、ある時点で掘り込まれた

可能性が高い。平面形状は楕円形で、長径2.2m、短径1.5m、深さ31cm、埋土は暗灰色砂混粘土で、断面形状は浅い皿状である。埋土中からは他になすび型膝柄又鍬をはじめとする加工木や桃核、クリの果実、木葉などが出土した。木葉は損傷が著しく、広葉樹であるということしかわからなかった(第4章)。

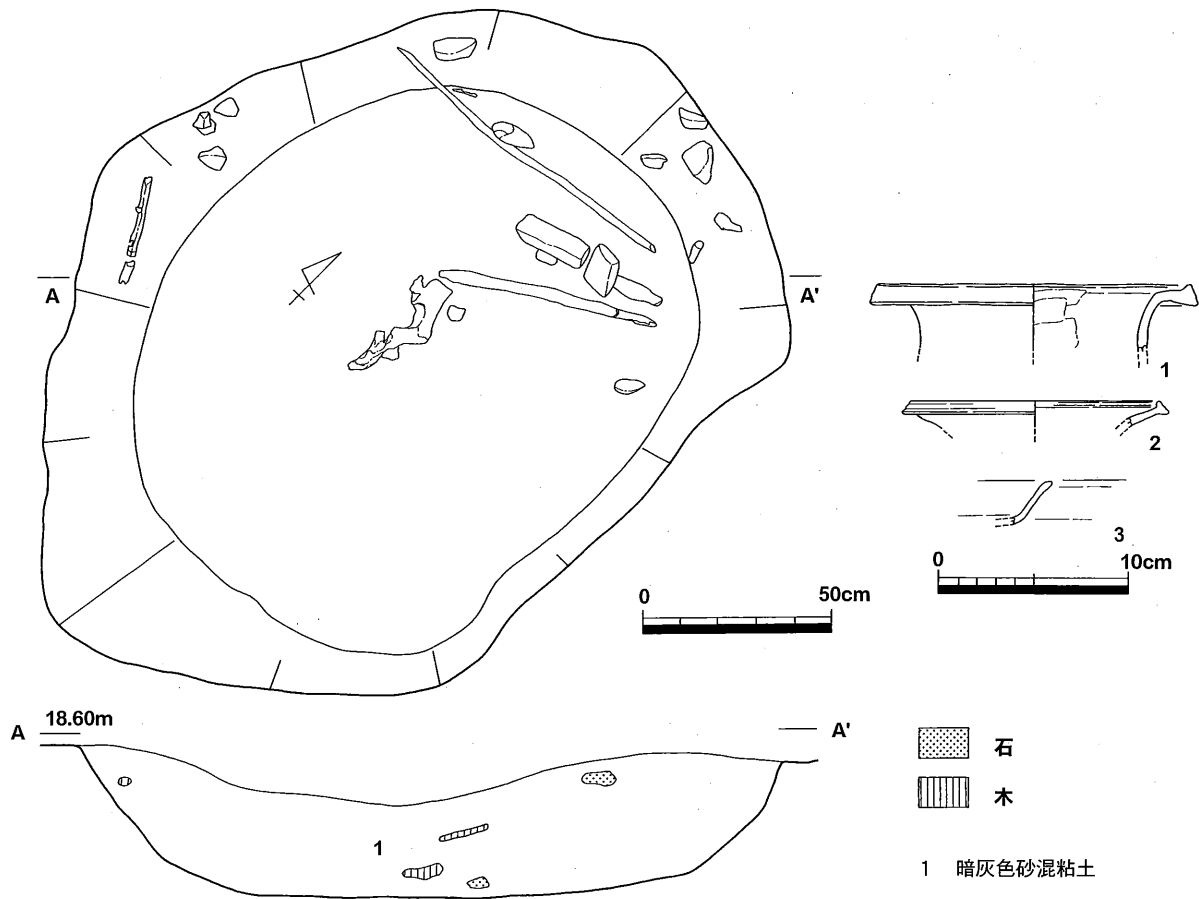
1・2は弥生土器壺。ともに下川津B類。1は直立する長い頸部を持ち、口縁端部を上下にやや拡張させる。弥生時代中期後半頃。3は土師器坏小片。混入。4は加工木。上部は折損、下部は若干尖らせる。コナラ属クヌギ属。I-23区SRk03から同種の自然木が出土している。5はなすび型膝柄又鍬。上部と片刃が欠損。着柄部には鈍い三角形の張り出しがある。材質はコナラ属アカガシ亜属で、SKk06から出土した自然木にも同種のものであった。

SKk06 (第21図、図版8)

I-28区SRk03の内部、SRk03の肩付近で検出した土坑である。円形で直径1.2m、深さ約90cm、埋土は黒褐色粘土で、断面形状は逆台形である。埋土中からは弥生時代前期の土器とともにヒョウタン類の果皮や種子、木葉などが出土している。やや離れた場所にあり、土器の時期も整合しないが、遺構の性格は、SRk03の内部にあり木製品や種子・木葉が出土すること、形状や埋土の類似性から、SKk04・05と同様のものと考えられ、時期も同様の時期としたい。出土土器はSRk03からの紛れ込みと考えられる。なお、ここで出土した自然木および枝は樹種同定の結果コナラ属アカガシ亜属であったことが判明して



第18図 SKk04平・断面図 (1/20)



第19図 SKk05平・断面図・出土遺物① (1/20)・(1/4)

おり、これはSKk05で出土したなすび型膝柄又鍬と同じである。

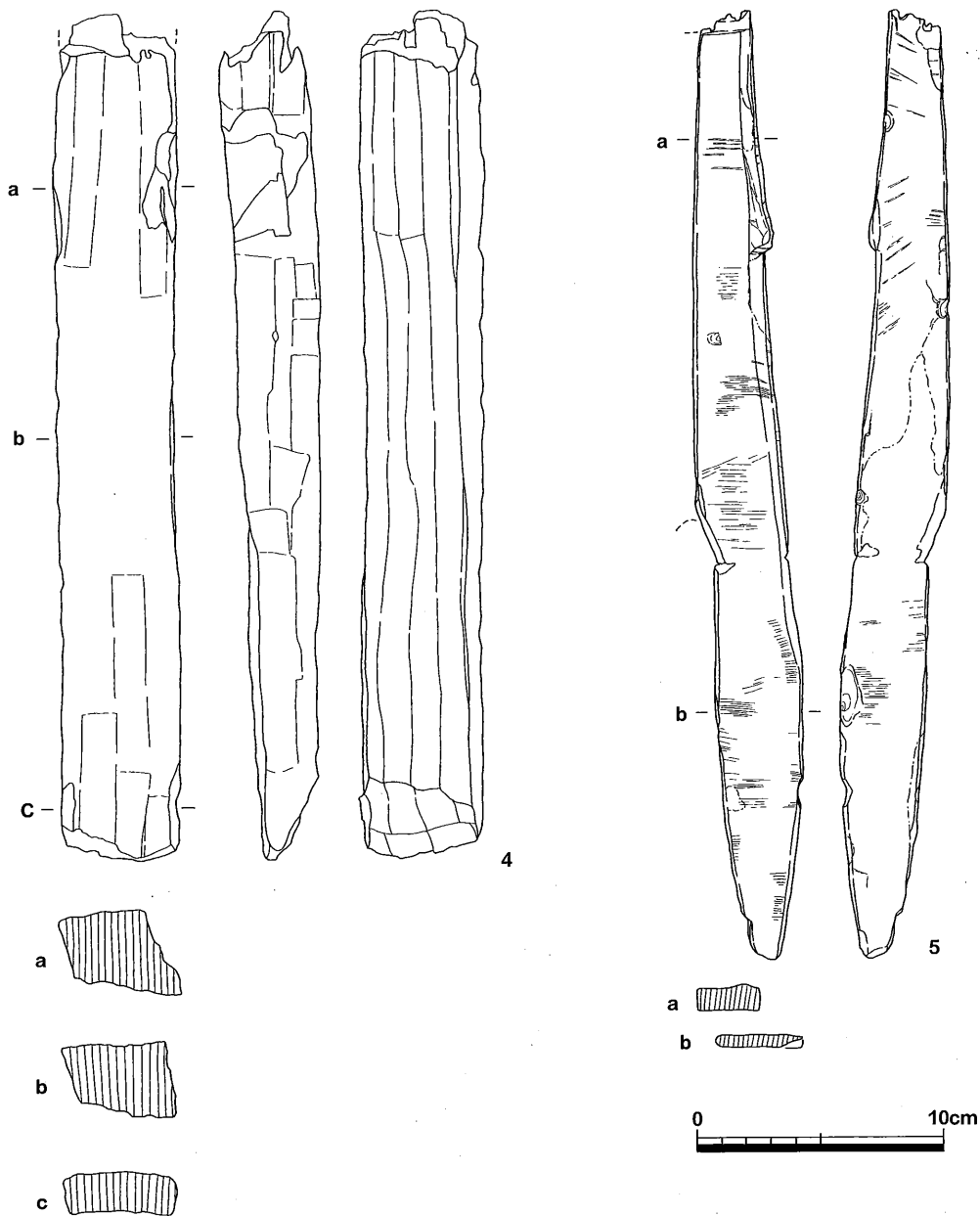
出土したのはすべて弥生土器である。6は壺。口縁部内面に2段の刺突文を施し、頸部外面には7条の櫛描沈線を施す。7・8は甕。7は如意状口縁に櫛描沈線を施す。6・7は摩滅が著しい。8は逆L字型口縁を持ち、外面はハケメ調整で仕上げる。いずれも弥生時代前期末頃。9は甕底部。外面は密にヘラ磨きし、内面はヘラ削りして薄くする。胎土中に角閃石を含む。弥生時代中期後半頃。

2. 弥生時代後期～古墳時代初頭の遺構・遺物

SKk01 (第22図、図版8・20)

I-23区北東部で検出した円形の土坑である。東側がやや突出したような形状である。長径1.9m、短径1.7m、深さ30cmで、埋土は上層が暗茶褐色礫混粘質土(礫多い)、下層が黒褐色粘土、断面形状は浅い皿状である。土坑の底付近で、礫とともに多量の弥生土器が出土した。廃棄土坑と考えられる。土器は破片が小さく、摩滅の進んだものが多かった。

出土したのはすべて弥生土器である。10・11は壺。10は直立する頸部に開く口縁部を持つ。11は口縁部の開いた部分しか残っていないが、10のようなほぼ直立した頸部が付くと考えられる。10は下川津B類土器。12～16は甕。12は摩滅が著しいものの、口縁部が鋭く屈曲し、体部内面は指押さえが顕著である。外面下半部にはヘラ磨きが密に残る。上半部と下半部は直接接合はしないが、胎土や調整などの類似性から同一個体と考えられる。下川津B類。13は口縁部が欠けているものの、体部外面にハケメ、内面には指押え痕と板ナデ痕が残る。17は大型の鉢。胎土中に角閃石をわずかに含む。18・19は底部。遺



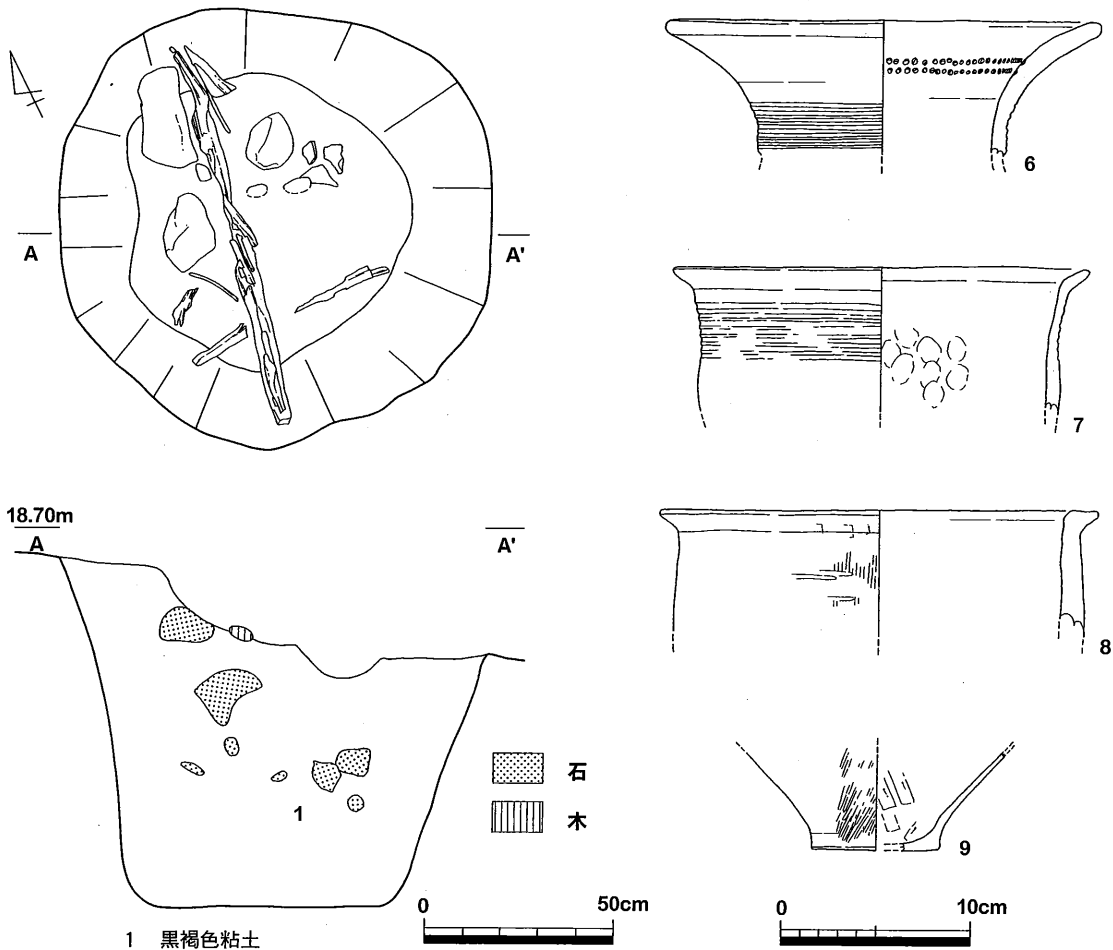
第20図 SKk05出土遺物② (1/3)

構の時期はおおむね弥生時代後期後半（V-4期）頃と考えられる。

SKk02（第23図、図版8・20）

I-23区北東端付近で検出した土坑である。一部はI-26区へ跨っている。平面形はおおむね円形で、直径1.8m、深さ87cm、埋土は上層が暗茶褐色礫混粘質土、下層が黒褐色礫混粘土で、断面形状はボウル状である。下層から弥生土器が出土しているが、SKk01と同様、土器は摩滅するものが多い。廃棄土坑と思われる。

出土したのはすべて弥生土器である。20・21は壺。長い頸部に緩やかに開く口縁部を持つと思われる。22は甕。口縁部は鋭く屈曲し、外面にはハケメ、内面上半には指押さえ痕、下半にはヘラ削り痕が残る。下川津B類土器。23～25は高坏。いずれも下川津B類。23・24は坏部。いずれも内外面とも4方向の分割ヘラミガキを施す。23は充填していた底部が剥離して、底部は欠損する。26・27は底部。26は大型の壺になると思われ、外面はヘラミガキで仕上げる。27は甕の底部。平底で外面にはヘラミガキを施す。



第21図 SKk06平・断面図・出土遺物 (1/20)・(1/4)

下川津B類。遺構の時期はおおむね弥生時代後期後半 (V-4) ~ 終末期1頃と考えられる。

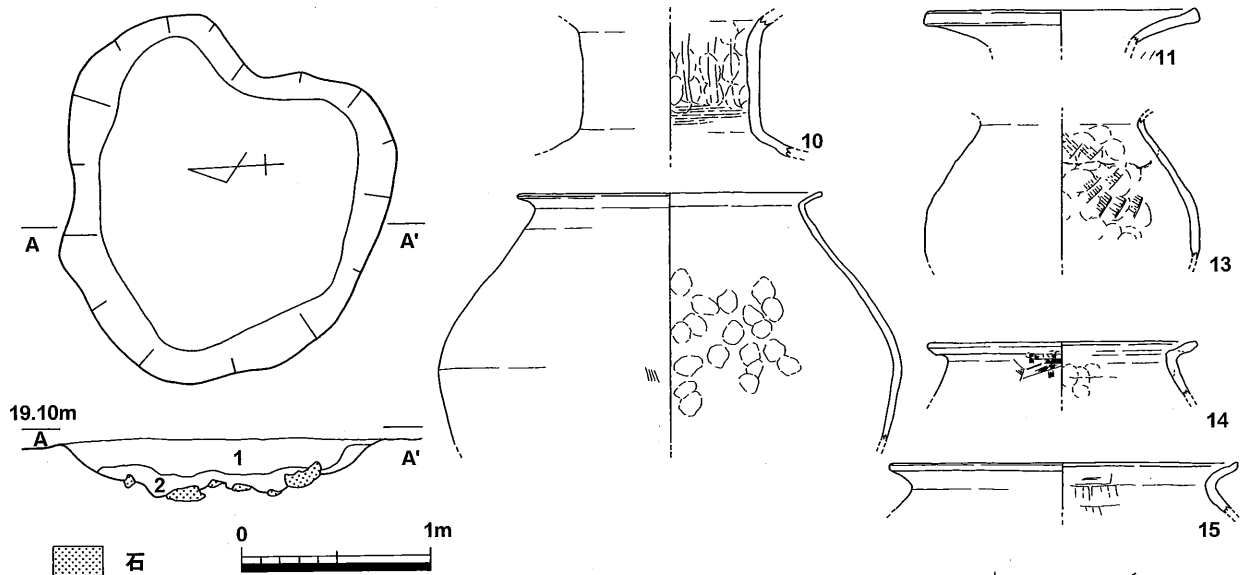
SDk01 (第24・25図、図版21)

I-23区からI-26区へ続く、北西から南東方向へ向く溝である。この溝はSDa39へと続く (『空港跡地遺跡V』)。幅は0.7m~1.5m、深さ約50cmで、断面形はおおむね逆台形~U字状である。I-23区ではSDk02に切られ、SRk03を切る。断面観察から1度掘り直しが行われたようである。埋土は上層が暗茶褐色粘質土・暗灰褐色粘土、下層が淡茶褐色粘質土・明灰褐色礫混砂質土などである。埋土中からは弥生土器がコンテナ1箱程度出土した。遺物量はI-23区部分の方がI-26区部分より多いようである。土器は摩滅の進んだ、比較的破片の小さいものが多い。

出土遺物はすべて弥生土器である。28~31は壺。31以外はいずれも小破片であるが、いずれも大きく開く口縁部に直立する頸部を持つと思われる。28・29・30は下川津B類。32~35は甕。いずれも下川津B類。摩滅が著しく、調整は不明。36・37は高坏。36は坏部。内面は調整不明だが、外面には4方向の分割ヘラミガキを施す。充填していた底部は剥離している。37は脚部。いずれも下川津B類。38は鉢底部。外面にタタキ目が残る。溝の時期はおおむね弥生時代終末期1~2と考えられる。

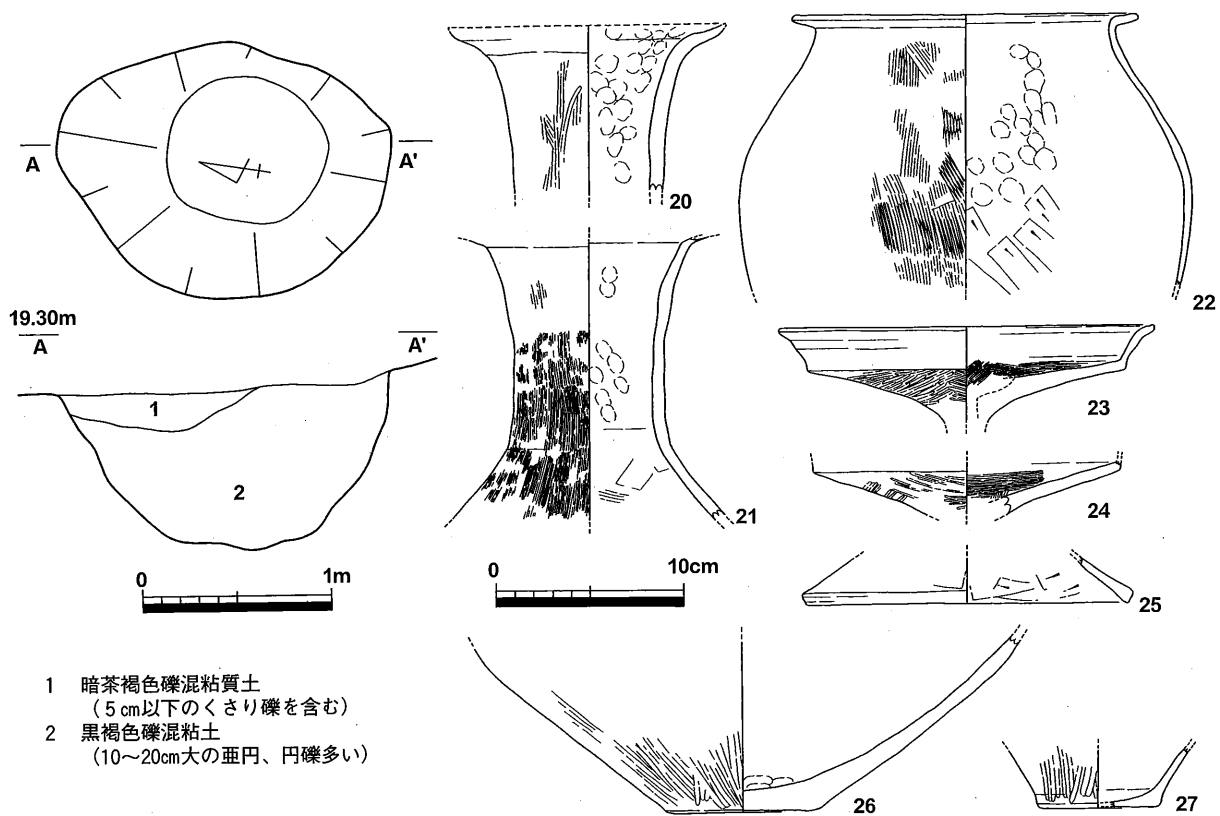
SDk02 (第26図)

I-23区中央付近を北西から南東方向へ向く溝である。幅45cm、深さ16cm、埋土は暗茶褐色粘質土で、断面形状は逆台形である。この溝はSDk01に切られるが、埋土はSDk01とよく似る。埋土中からは弥生土器小破片が出土したが、図化できるような遺物はない。時期は出土遺物と埋土・遺構の切り合い関係から弥生時代終末期としておく。



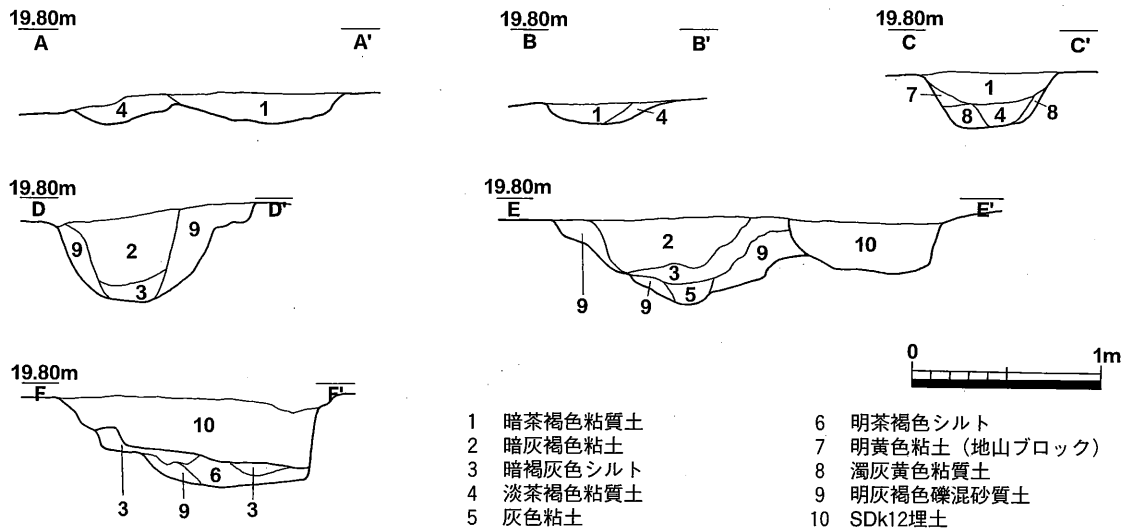
- 1 暗茶褐色礫混粘質土
 (5~10cm大の垂円礫が多い)
 2 黒褐色粘土

第22図 SKk01平・断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4)

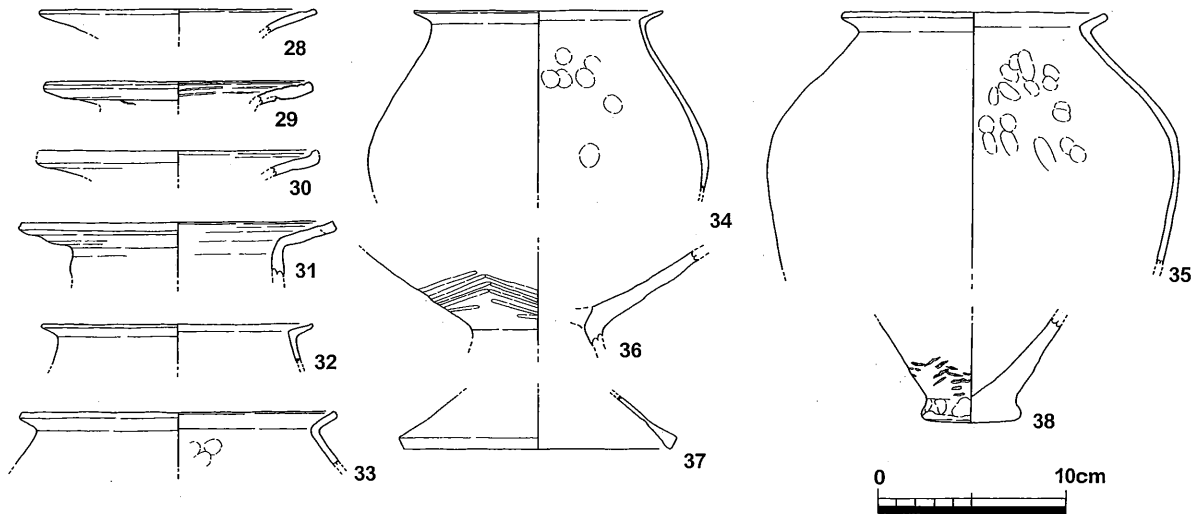


- 1 暗茶褐色礫混粘質土
 (5cm以下のくさり礫を含む)
 2 黒褐色礫混粘土
 (10~20cm大の垂円、円礫多い)

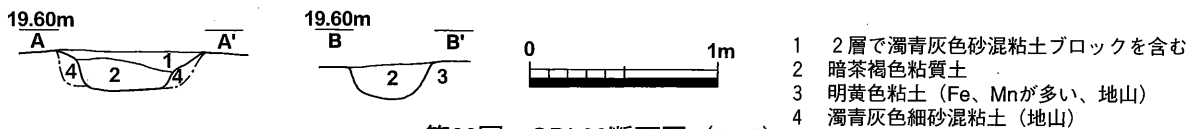
第23図 SKk02平・断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4)



第24図 SDk01断面図 (1/40)



第25図 SDk01出土遺物 (1/4)

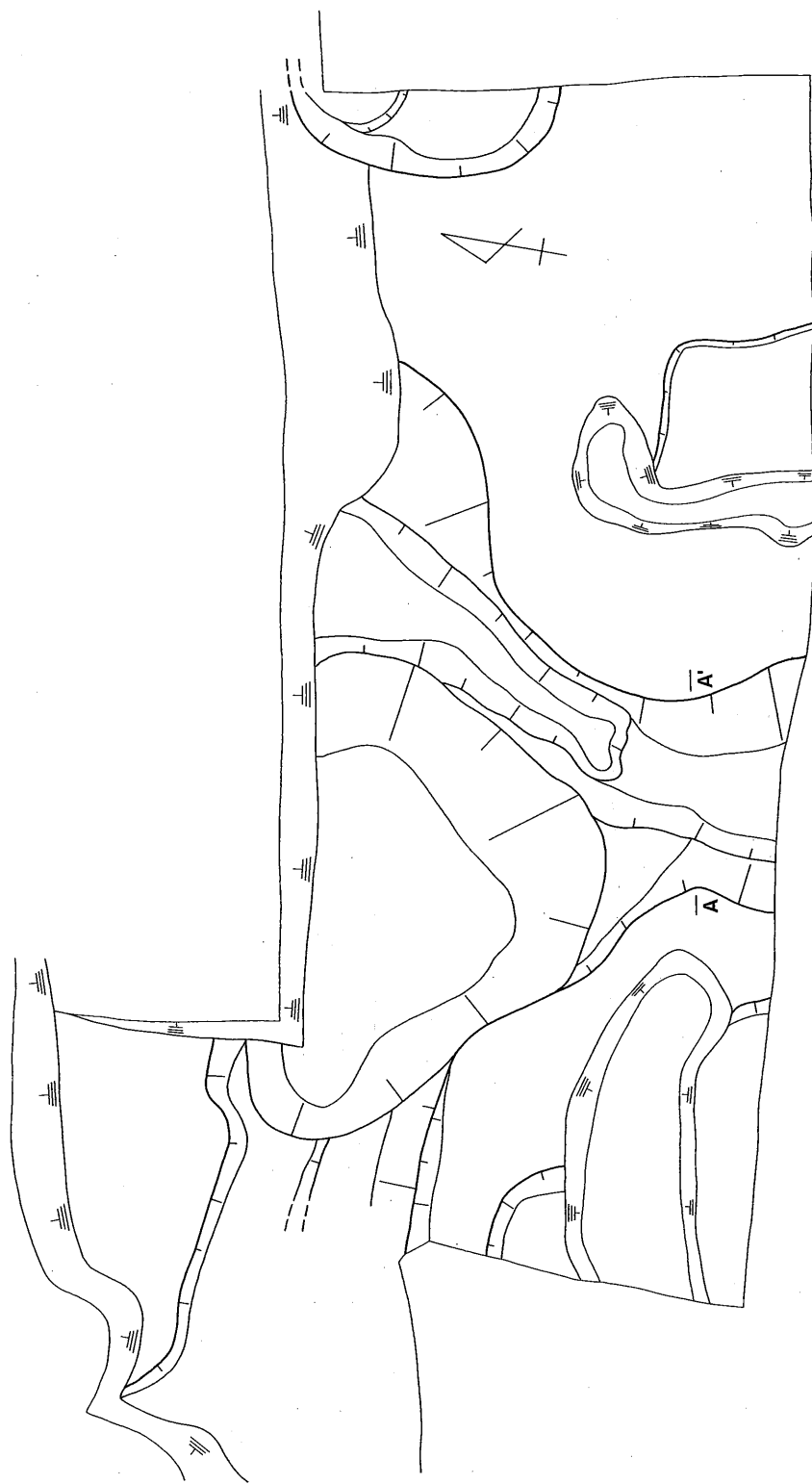


第26図 SDk02断面図 (1/40)

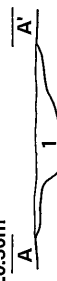
SDk03 (第27~30図、図版9・10・21~23)

1-23区南西端部で検出した溝である。調査区の南端から北へ向き、約1.5mの位置で東西2方向へ分岐する。溝の規模は調査区の南端付近で幅1.03m、深さ12cm程度で、底のレベルは20.27m、西側へ伸びる溝は幅1.1m、深さ10~20cm、底のレベルは20.22m、東側へ延びる溝は幅不明、深さは30~38cm程度、底のレベルは20.18~20.08mである。東側へ延びる溝は溝の肩に緩い稜を持ち、中央部分が深くなっており、その深い部分は北東方向へ向いている。埋土は暗茶褐色粘質土、断面形状は南端部付近では浅い皿状である。溝が東方向と西方向へ分岐する付近には土坑状の落ち込みがある。落ち込みは楕円形状を呈し、長軸2.7m、短軸2.0m、断面形状は皿状で、深さは遺構面から約30cmを測る。出土遺物の大半はこの落ち込みからのものである。

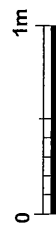
この二又に分岐する溝は平成8・9年度の概報の時点ではA地区南地区から続く円形周溝墓STa03・04の北半部として報告をし、両者を航測図面で合成した場合形状が歪むのは、調査年度に5年の隔たり



20.50m



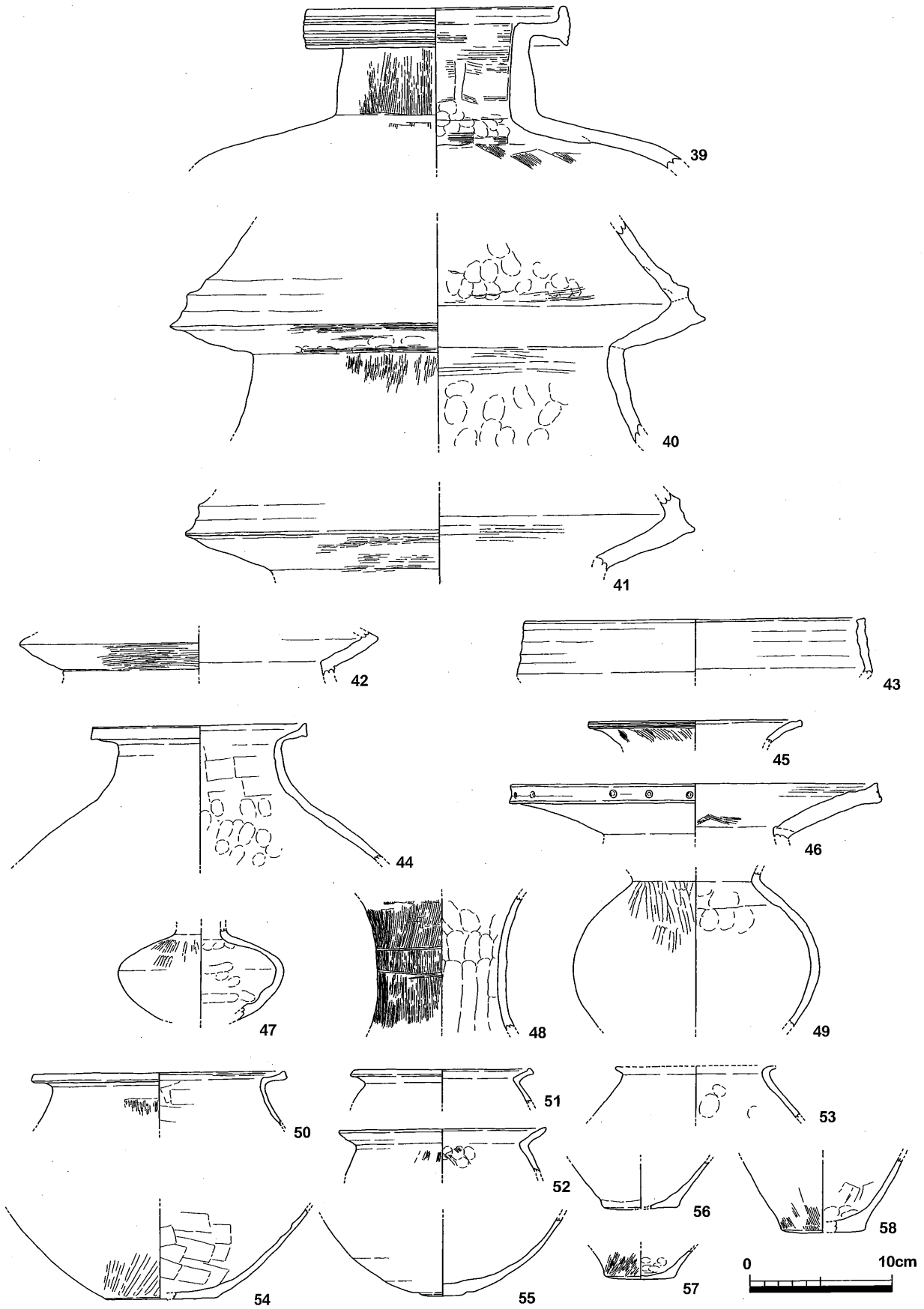
1 暗茶褐色粘質土



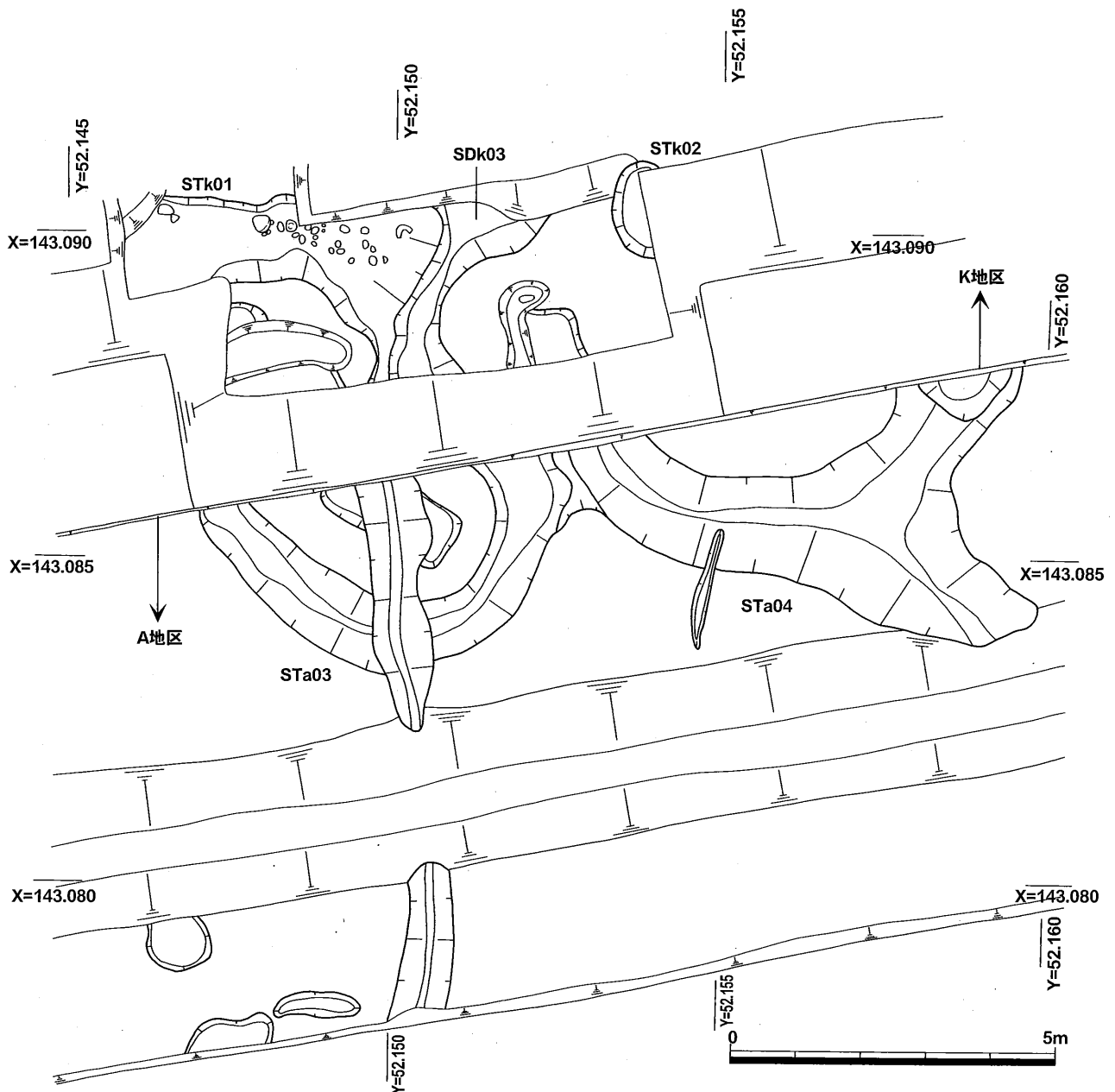
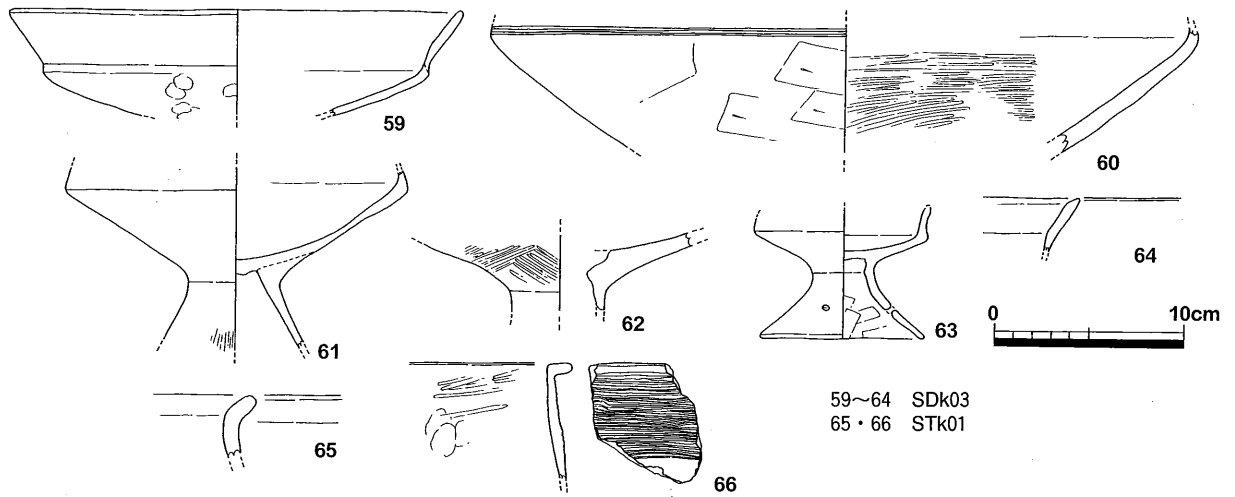
第27図 SDK03・周溝臺平・断面図 (1/40)



第28図 SDK03・周溝墓遺物出土状況 (1/20)



第29图 SDK03·周溝墓出土遺物① (1/4)



第30图 SDk03·STk01·周溝墓出土遺物② (1/4)、STk01·02平面图 (1/100)

があるため座標にずれが生じたためとした。今回報告書の作成に当たり改めて図面を合成してみたところ、①両地区の溝の分岐部分を連続させようとする1.7~2.0mものずれが生じるにも拘らず、他の遺構の連続性には特に不自然な点がないこと。

②西側の周溝墓の形状が南半部と北半部とでは異なること。

③SDa37から連続する弥生時代後期の溝が検出されておらず、航測図面を座標どおりに合成すればSDk03はSDa37の位置に近いこと。

を考え合わせれば、SDk03は円形周溝墓の一部ではなくSDa37の延長部の可能性も考えられよう。

しかし、SDk03から出土した遺物の中には大型の二重口縁の壺が数個体みられるなど、SDa37から出土したとするには不自然な感も否めない。SDk03のうち東へ向く溝がSDa37の延長部で、西へ向くものがSTa03の延長部である、という可能性もあろう。なお、SDa37の出土遺物はSTa04と重複している部分が多い平成3年度調査部分からしかなく、平成4年度調査部分からの出土遺物はなかった。

遺物の大半は溝の分岐点付近の落ち込み状の部分から出土したものであり、出土地点が判明しているものでSDk03の西側へ曲がった溝(STa03側)から出土したのは47と61だけであった。この落ち込みはSDk03の他の部分よりさらに30cm程低く、遺構面からは深さ35~40cm程度を測る。

出土遺物の大半は弥生土器であるが、わずかに土師器が混じっていた。39~49は壺。39は二重口縁壺。拡張した口縁部には多条の沈線が巡る。頸部は直立する。下川津B類。40~42は大型の二重口縁壺。40では頸部はやや内傾気味に立ち上がり、口縁部は斜め上方に大きく開き、さらに内傾する立ち上がりを持つ。41・42も同様の形態を持つと思われる。すべて胎土中に角閃石を含むが、40・41は角閃石の量が少ない。43は二重口縁壺の口縁の立ち上がり部分。下川津B類。46は口縁部に3個1対の竹管文を施す。47は算盤形の体部で、外面にはヘラ磨きを施す。下川津B類。48は長頸壺の頸部。頸部中程付近に2条の沈線が入る。下川津B類。49は丸い体部外面を丁寧に磨き上げる。土師器壺で、古墳時代前期まで下る。50~53は甕。50・53は下川津B類。いずれも内面の指押えは目立たない。54~58は底部。54・55は壺、残りは甕と思われる。54・56・58は下川津B類。59~64は高坏。すべて下川津B類。摩滅が著しいものが多い。62は外面に4分割と思われるヘラミガキを施し、充填していた底部が剥離してなくなっている。60は大型品。底部と立ち上がり部の境のやや上側に浅い沈線状の窪みが2条巡る。

出土土器はおおむね弥生時代後期中葉~後半であるが、終末期と見られる大型の二重口縁壺(40~42)や、古墳時代前期と思われる土師器壺(49)が出土しており、時期幅を持つ。

STk01 (STa03)・STk02 (STa04)

A地区南地区から連続することが想定される円形周溝墓の北半部である。西側をSTk01、東側をSTk02とした。A地区ではSTa03を楕円形の周溝墓で、規模を周溝の内側で長径4m、短径2.7mに復元し、楕円の軸と同方向の主体部を検出している。今回の調査区ではSTa03の延長部の可能性として考えられるのは、SDk03のうち溝が西側へ屈曲する部分があげられる。この場合、SDk03の南端部、溝が二又に分かれる前の部分のラインはSDa37からの延長部とし、切り合い関係は見つけることはできなかったが、これに切られるSTa03周溝の延長部を想定することもできよう。この場合STa03は長径6.3m、短径2.7mの楕円形の周溝墓に復元できる。SDk03(西側)の南西部で検出は、深さ約10cmの淡茶褐色粘質土の落ち込み認められるが、一部攪乱で破壊されていて形状が不明確であるものの、図面を合成したときに不自然さがあり、出土遺物の時期も合わないことで周溝墓の延長部である可能性は低いと考えられる。

STa04はA地区では溝の内側で直径4.4mを測る円形周溝墓に復元されている。今回の調査区では拡張部部分の北東隅で検出した落ち込みとSDk03の東側で検出した落ち込みがそれぞれ連続するのではないか。その想定が正しければ、A地区で想定したとおりの規模・形状で復元でき、北西部に陸橋部を持つ構造になる。この方向はSTa03の主体部と方向が揃う。周溝の底のレベルがA地区側の北端で20.25mに

対し、K地区の南端では20.38m程度まで上がるという不自然さが残るが、陸橋部に近いことを勘案すればあり得ないことではないであろう。STa04は上記のように復元したい。

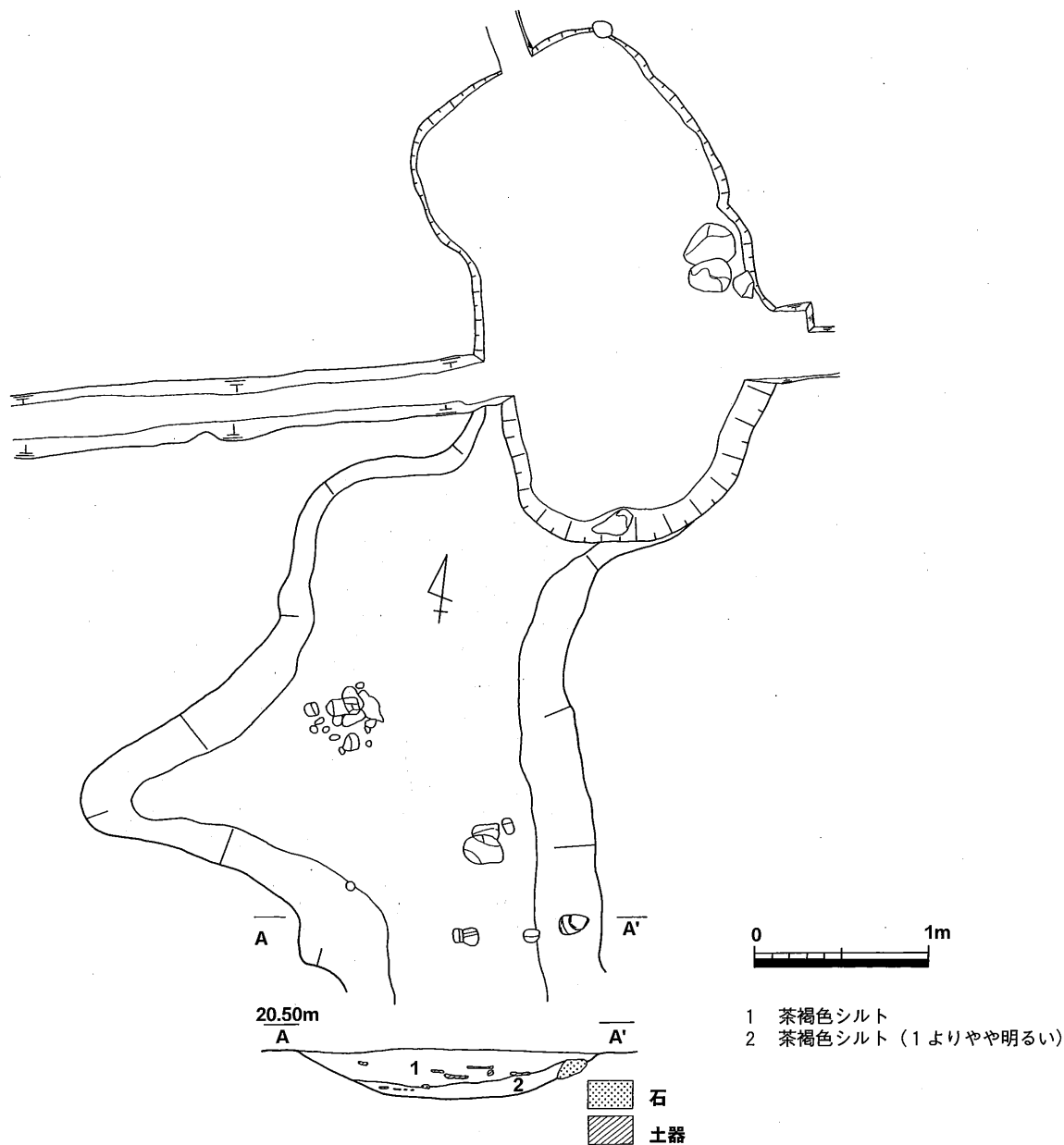
65・66はSTa03の北側の土坑状落ち込み内から出土したものである。ともに弥生土器甕の小片。65は如意状口縁を持つ。66は逆L字型口縁をもち、外面に櫛描沈線を施す。ともに弥生時代前期末～中期初頭。

SDk05 (第31～33図、図版10・23)

I-28区南東部で検出した溝状遺構である。南半分は後世の削平により消失している。調査区南端部では、南壁土層の観察から、幅4.1m、深さ48cmであったものが、約4.5m北側へ寄った位置では幅1.76m、深さ30cmまで規模が縮小し、SDk06の手前で消失する。埋土はおおむね茶褐色シルトである。この溝は南辺道路で検出しているSDa44へ連続するものと考えられ、SDk05は、断面図の比較からSDa44の上部半分程度の埋土が堆積していると思われる。SDk05の中央部付近からは弥生土器壺がほぼ完形で出土した。SDk05の北端付近で焼土が多く堆積するSKk07を検出し、SDk05はそこで途絶えている。なお南辺道路部分SDa44では須恵器が出土していることから、溝の時期は古墳時代中期としている。また、この溝は周溝墓STa05を切っている。SDk05で出土した土器はおおむね弥生時代後期後半に位置づけられようが、これらの溝の所属時期は慎重に検討する必要がある。なお、SDk05/SDa44を円形周溝墓の一部と見た場合、その直径は溝の内側でおおよそ14m程度となる。

67～87は弥生土器。67～71は壺。67～69は広口壺でいずれもやや内傾気味に立ち上がる頸部に大きく開く口縁部が付く。67・68・69は胎土中に角閃石を含む。67は頸部から口縁部にかけてはほぼ完形に復元できる。71は胴部中央付近に摩滅した突帯が付く。72～81は甕。72～74・76・77・80は逆L字型の口縁部を、78は如意状口縁を持つ。77には体部に5条1単位の櫛描沈線を施し、他は無文である。80は口縁部直下に穿孔が1孔残る。75は丸みを持つ体部が残り、体部は櫛描沈線(3条1単位)+波状文(2条1単位)+櫛描沈線(3条1単位)で飾る。79・81は小破片。胎土中に角閃石を少し含む。82～85は底部。しっかりとした平底を持ち、84は横方向に丁寧に磨く。86・87は高坏。86は内外面を4分割でヘラミガキし、充填していた底部は剥離している。下川津B類。87は脚部。下川津B類。88は須恵器。壺頸部小破片。2条の突帯の間に波状文を配する。89～92は打製石器。いずれもサヌカイト製。89・90は石鏃。いずれも凹基式。91は楔形石器。上部・下部ともに潰れ痕があり、稜線部がわずかに磨滅する。92は石斧か。上部は折損。

71～78・80・82～85は弥生時代前期後半～中期初頭の遺物で、SDk05の北側を流れるSRk03からの流れ込みと思われる。88はSDa44で出土した須恵器壺と同時期のものと思われる。これらを除けば、おおむね弥生時代終末期1頃と考えられるが、遺構の時期については88のような須恵器が出土していること、A地区南地区へ連続するSDa44が古墳時代中期の年代観が与えられ、しかもこの溝に切られる前方後円形の周溝墓が弥生時代終末期～古墳時代初頭に比せられていることから、弥生時代終末期とすると矛盾が生じる。出土した土器の量や破片の大きさ、出土状況から、溝の時期は弥生時代終末期へ置きたいが、A地区の成果と重大な齟齬が生じることとなり、結論は留保したい。可能性としては遺構の切り合い関係の誤認(SDk05で弥生時代終末期の土器がやや集中して出土したのが溝がやや膨らんでいる場所なので、別遺構があった、SDa44の二又の溝には実は切り合い関係があり、2時期の溝がある、など。)が考えられよう。

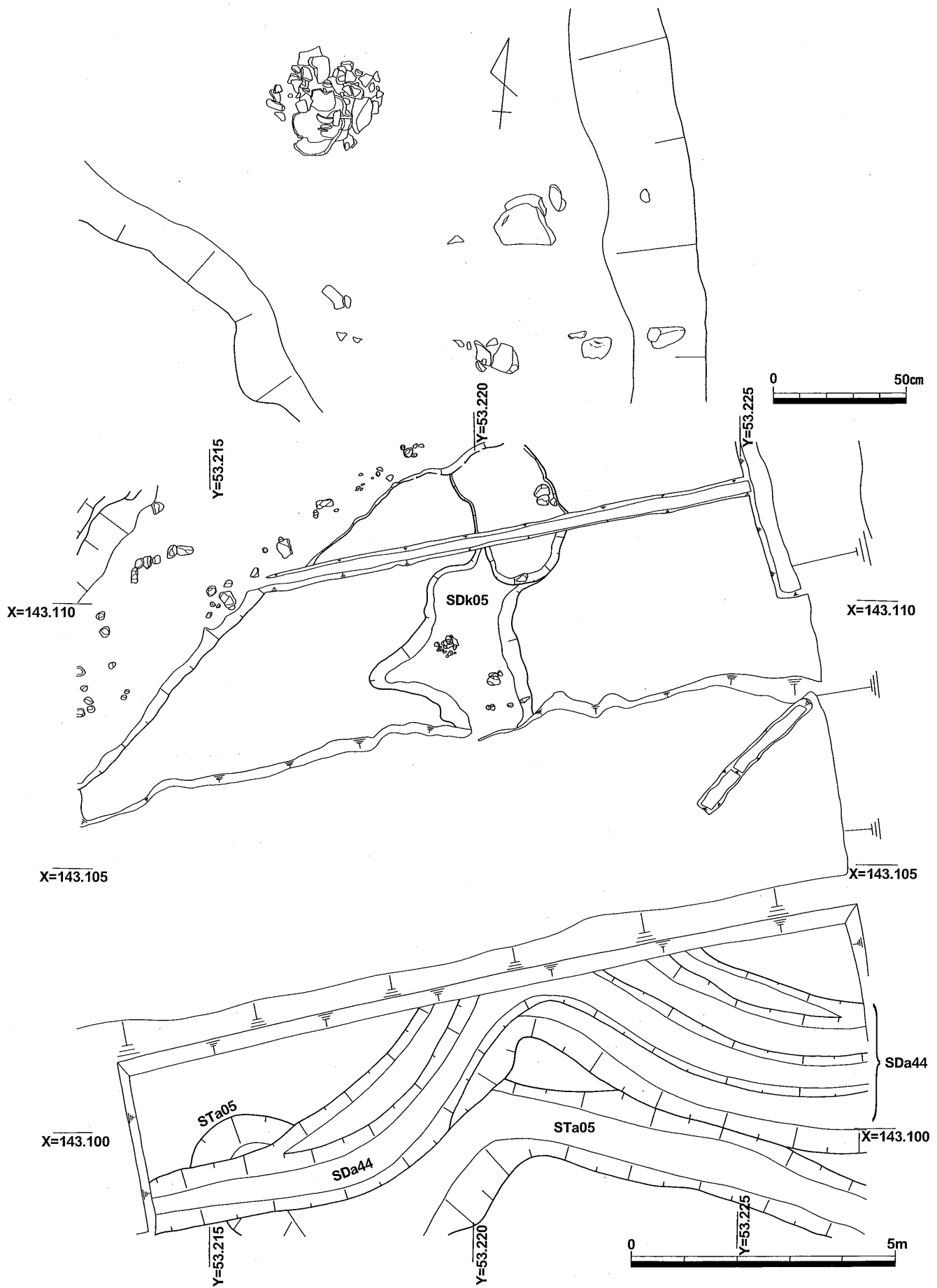


第31図 SDk05平・断面図 (1/40)

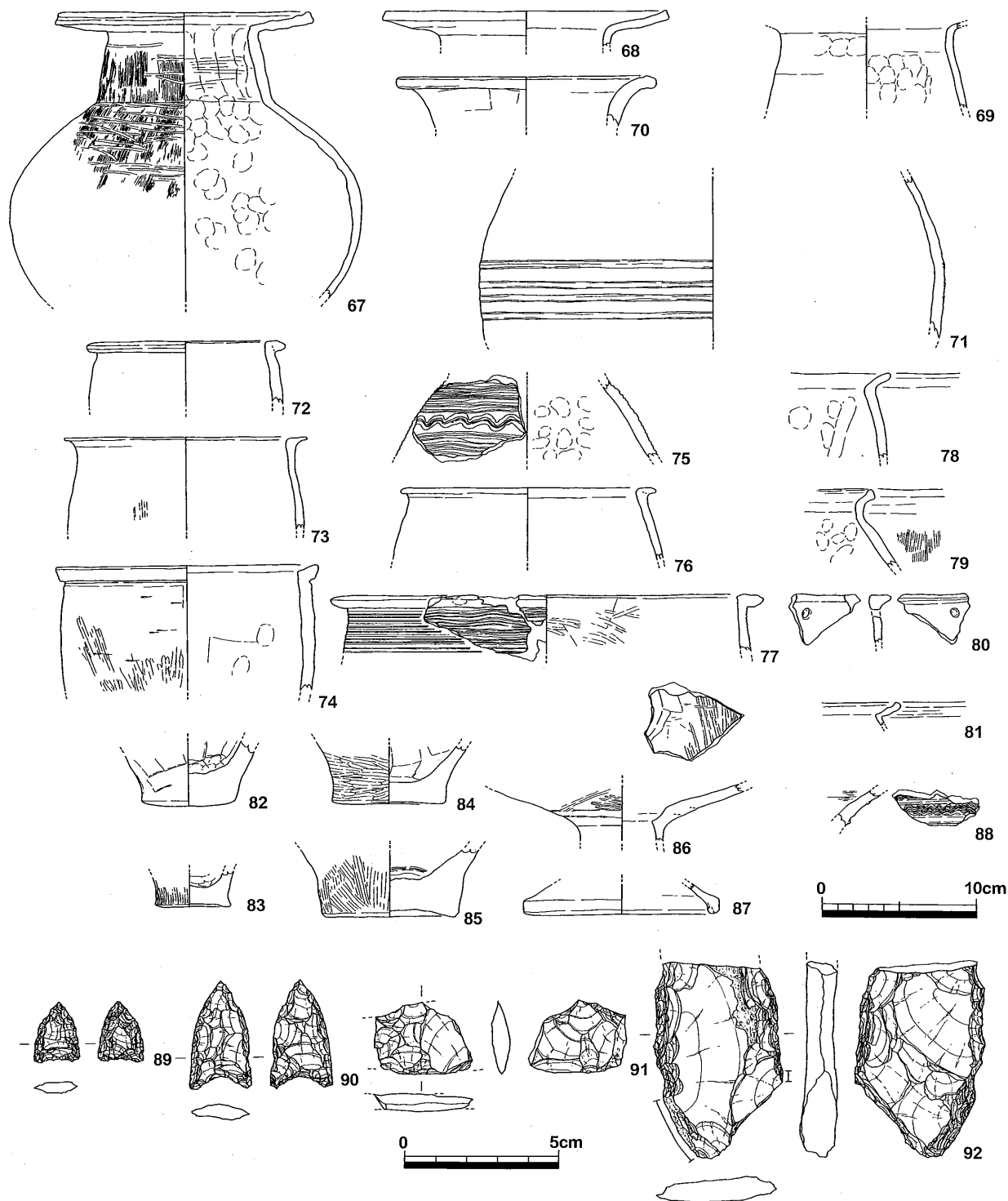
SKk07 (第34図、図版10)

I-28区東部で検出した土坑である。SDk05の北端部分を掘り下げた後に検出した。SDk05はSKk07の手前で途切れており、両者は関連する遺構である可能性もある。平面形状は楕円形で、長径2.9m、短径1.6m、深さは21cmで、断面形状は浅い皿状である。埋土中には多量の焼土・炭が含まれていた。特に土坑の北半部で焼土ブロックの堆積がみられ、南半部では土坑の周縁で焼土が集中して出土した他、10~30cm程度の礫も土坑の周縁で検出した。また、土坑の中央付近では炭がやや集中して出土している。土坑の南半部でも焼土を除去後に炭を集中して検出している。炭の上部では土坑の南半部を除いては灰褐色~黄褐色~明褐色粘質土層が堆積している。したがって、埋土の堆積順序としては土坑の周縁部で焼土・礫が堆積した後に中央付近で炭が堆積し、その後自然堆積により埋没したと思われる。火を焚いた痕であろうと考えられるが、それ以上のことは不明である。位置関係からSDk05・06と関連する可能性はあろう。埋土中からは出土遺物はほとんどなかった。

93は弥生土器壺。口縁部小破片。94は黒色土器A碗。小破片。9世紀後半頃。94はSDk12からの紛れ



第32図 SDk05遺物出土状況 (1/20)、STa05・SDa44平面図 (1/100)

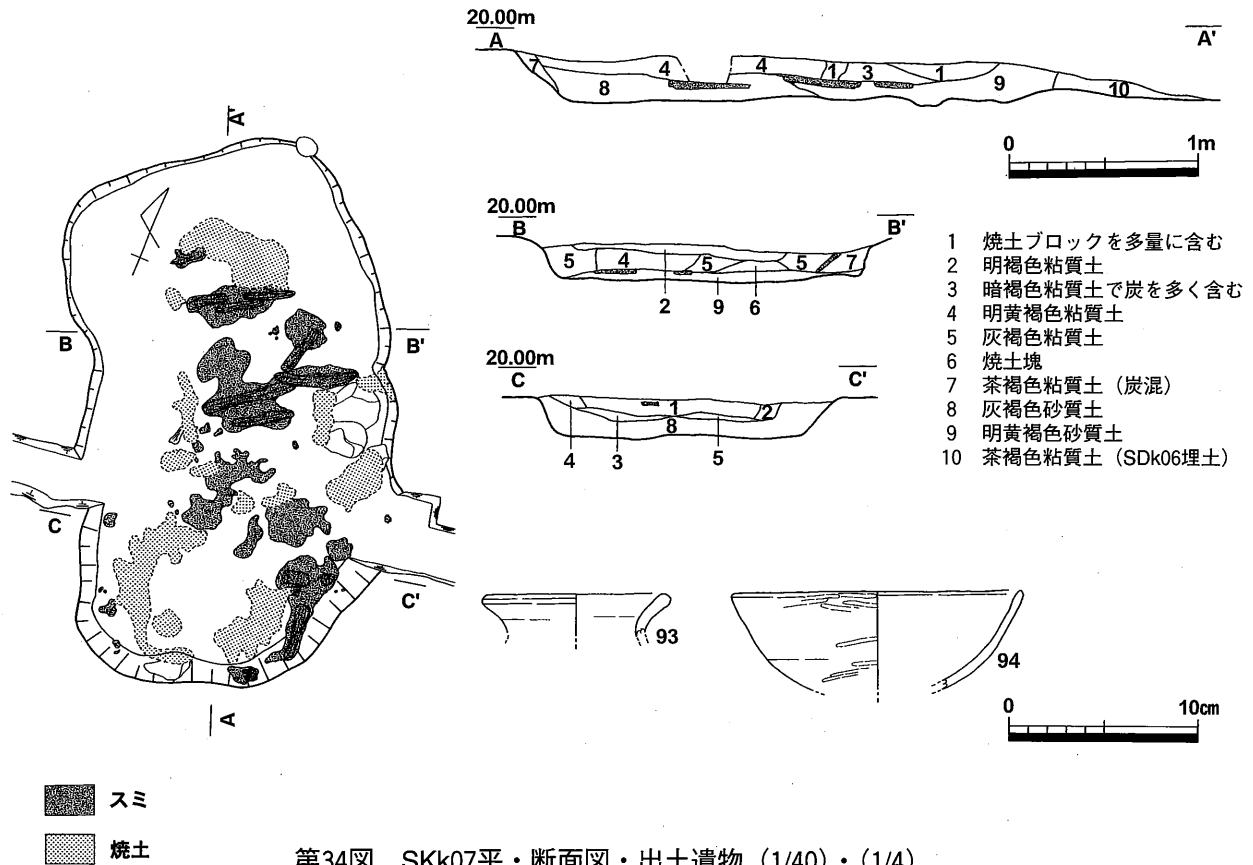


第33図 SDk05出土遺物 (1/4) (1/2)

込みと考えられる。

SDk06 (第35・36図、図版10・11・23・24)

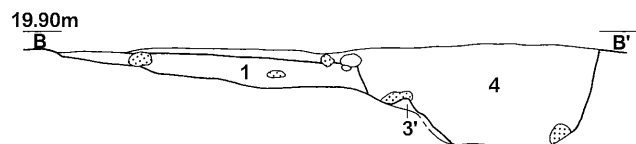
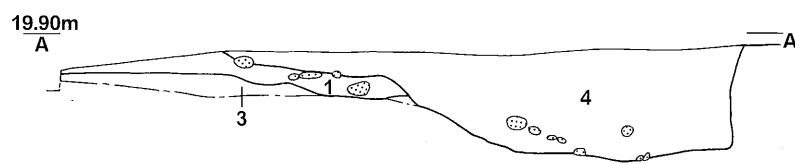
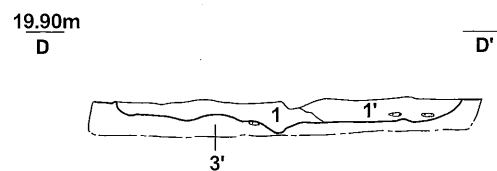
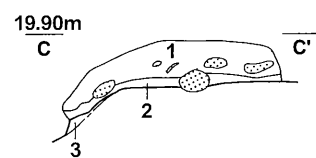
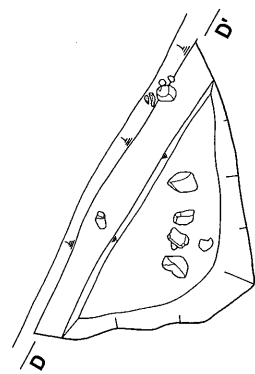
I-28区で検出した円弧状の溝である。おおむねSDk12の東半部にラップして検出し、湾曲して北側へ向きを変える部分ではSDk21・SDk22に分断されて、溝の全体の形状・規模はつかみにくい。しかし、SDk12東半部の底付近からは5～50cm大の礫がほぼ一面に検出された。この礫はSDk12の底のラインとはわずかに異なって緩やかに弧を描いており、この礫集中部はSDk12の中央付近からSDk12と分かれて北へ方向を変えること、SDk12東半部で作成した土層断面や調査区東壁の土層断面からも時期の異なる遺構の埋土が検出されたことから、SDk12の東半部で、それに先行する溝がラップして存在し、この溝



第34図 SKk07平・断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4)

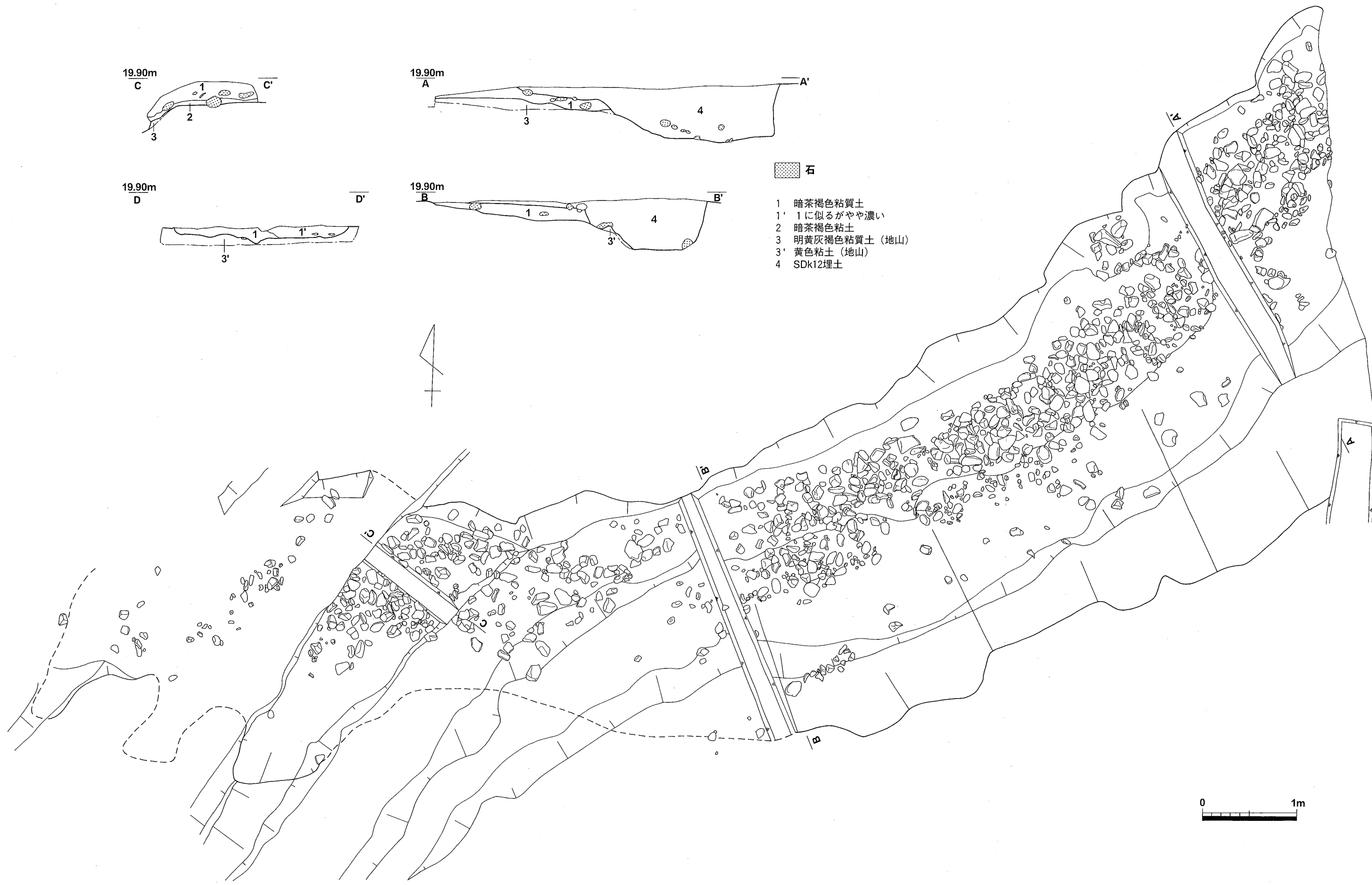
は緩く弧を描いて北へ向くことが想定される。この礫集中部はSDk12の西半部ではほとんど検出できていないことから、溝の底付近で検出した礫はこの古いほうの溝に伴うと考えられる。おおむね幅3.0m、深さ20~40cmで、断面形状は後世の遺構に破壊されて不明であるが、土層観察用の畦や調査区東壁の断面にわずかに残されている埋土から、周溝の内側はなだらかな逆台形状、外側は非常に緩やかに立ち上がる。SDk12と分離する付近から溝の底は急激に40cm程度浅くなり、礫の集中もSDk12の北肩を駆け上がるようにして検出している。急激に溝が浅くなるあたりから約4.5m北西で一旦溝は途切れる。1.5m~4.5mの間隔を開けて、同遺構と思われる遺構を約1m検出しているが、その北側延長部は空港造成時の攪乱のために消失している。この溝は規模・形状から円形周溝墓の周溝である可能性が高いと考えられる。現存していた溝の平面の形状は楕円形で、欠けている部分が多く規模の復元はむずかしいが、長径15.0m程度、短径12.0m程度で、周辺の周溝墓より若干大きく復元される。礫は10cm大程度のは溝の内側におおむね底に接して検出したものの、それ以上の礫については溝の底付近でやや底から浮いた状態で検出しており、大部分は落ち込んだ状態であったと考えられる。また、溝が途切れる部分は、後世の洪水砂によると考えられる削平により、ベースのレベルがSDk06の浅い部分の底のレベルより低いため溝がなかったとは断言できず、陸橋部の役割を担っていたかどうかは不明である。溝の埋土中からはおおむね弥生時代終末期と考えられる土器が出土したが、大半は破片が小さく摩滅の進んだものであった。なおSDk06に重複するSDk12から碧玉製の勾玉が出土したが、もともとはSDk06に由来するものと考えられる。

98・102以外はSDk12と重複する部分の最下部から出土した。95~97は壺。95は口縁部が長く上方へ立ち上がり、二重口縁に近い形態である。いずれも下川津B類。98~102は甕。いずれも頸部の屈曲がきつく、口縁部はほとんど上を向いている。いずれも下川津B類。103~107は底部。103は大型で底が厚い。底部と底部から体部へ立ち上がる部分がきれいに剥離していて、剥離面には指押さえと考えられる凹凸が顕著に残る。103~106はしっかりした平底を持つ。107は小振りなもの。108~114は高坏。108

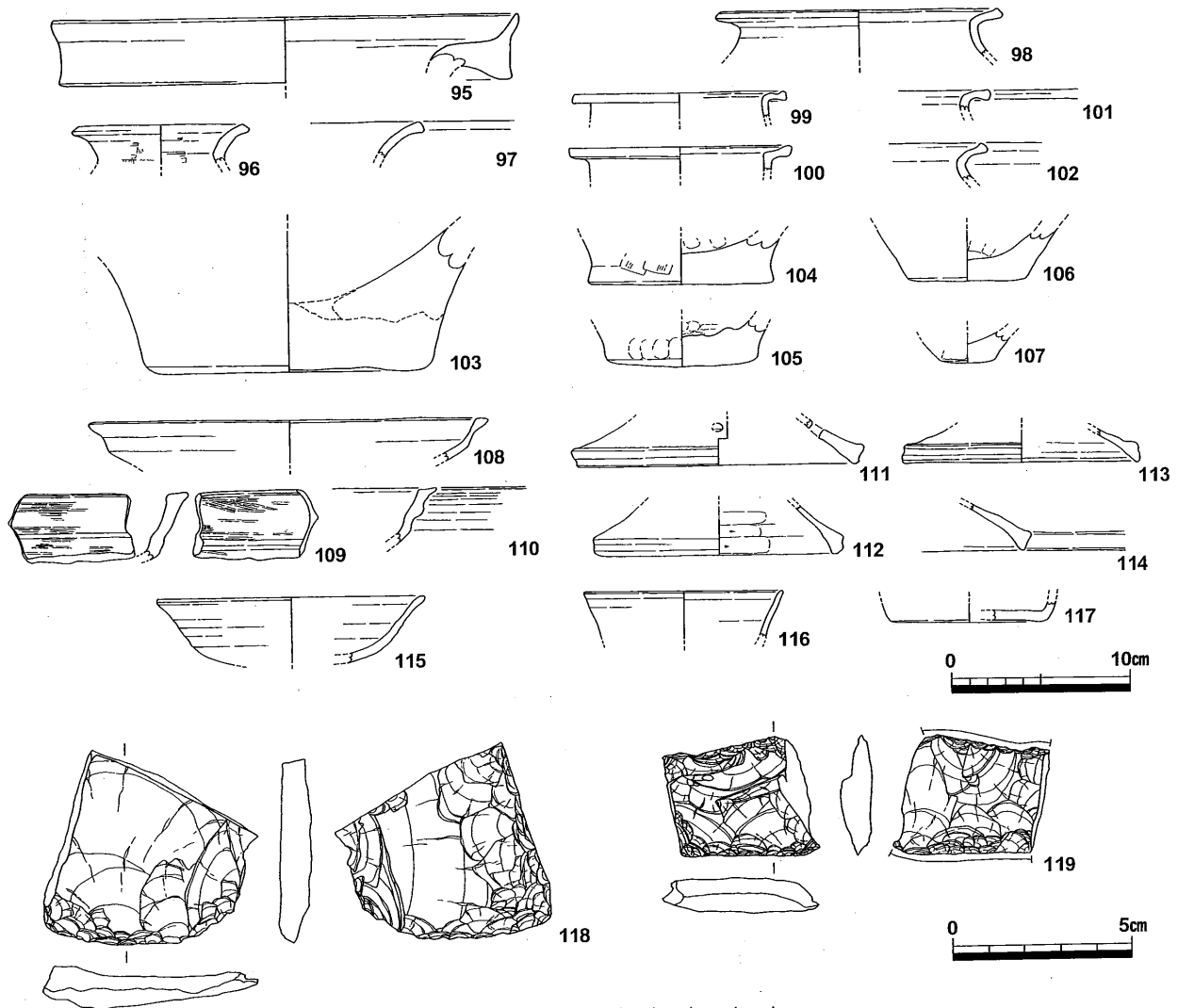


石

- 1 暗茶褐色粘質土
- 1' 1に似るがやや濃い
- 2 暗茶褐色粘土
- 3 明黄灰褐色粘質土 (地山)
- 3' 黄色粘土 (地山)
- 4 SDK12埋土



第35図 SDk06平・断面図 (1/40)



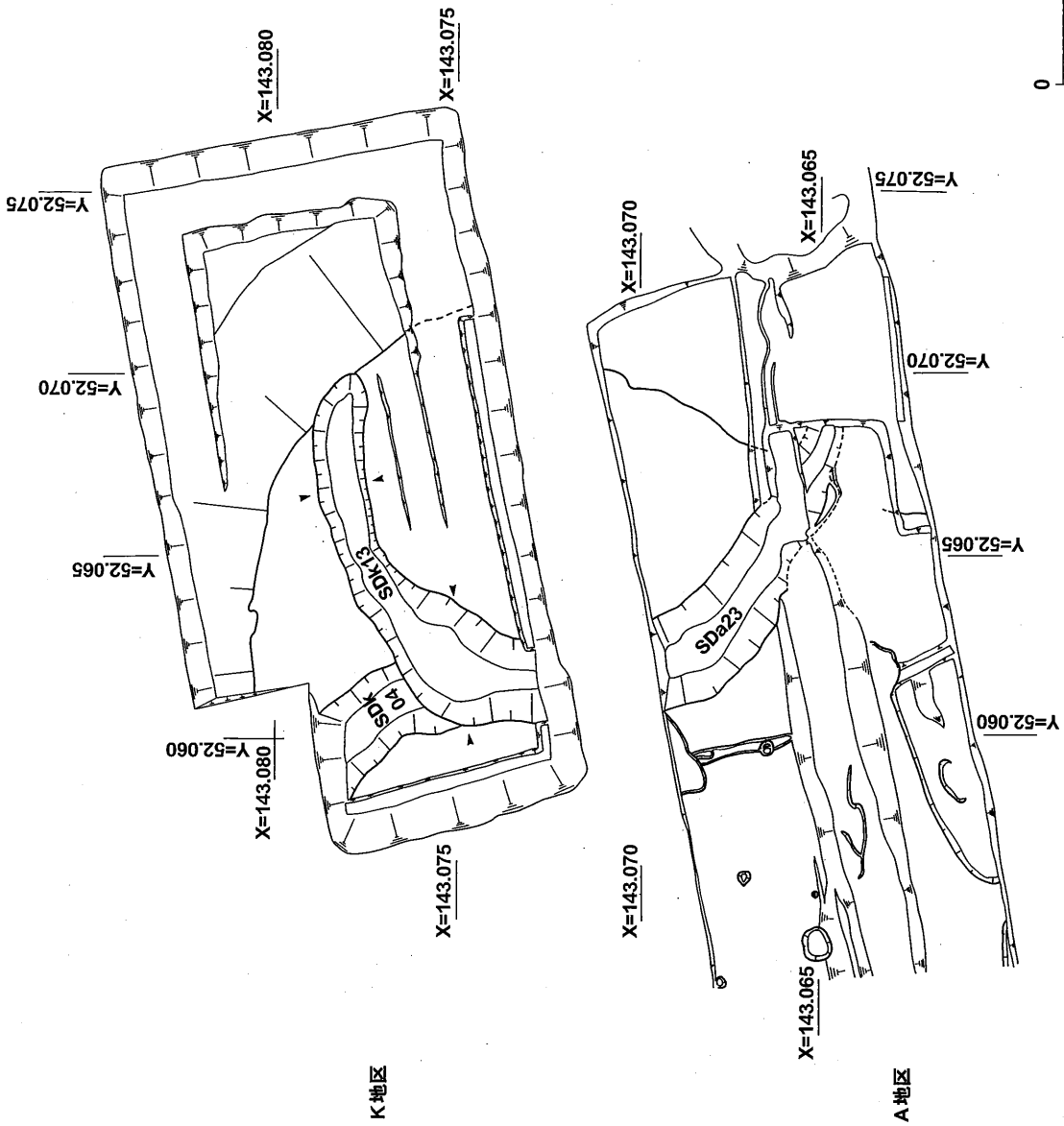
第36図 SDk06出土遺物 (1/4)・(1/2)

～110は坏部。いずれも口縁端部上面を平らにし、口縁端部は外側へ延びる。111～114は脚部。111には1ヶ所に穿孔が認められる。端部はまっすぐに立ち上がるものとやや外側へ立ち上がるものがある。111・112以外は下川津B類。115～117は須恵器。115は碗。西村産のもので、体部の轆轤目がはっきりしている。116・117は坏。116は焼成が極めて堅緻で、体部にゴマ状降灰が見られる。117は底部。115は13世紀前半、116・117は8～9世紀代のもので、取り上げ時にあやまってSDk12、SDk21のものが紛れ込んだものと思われる。118・119は打製石器。いずれもサヌカイト製。118はスクレイパー。119は上・下部ともに刃を潰している。楔形石器。

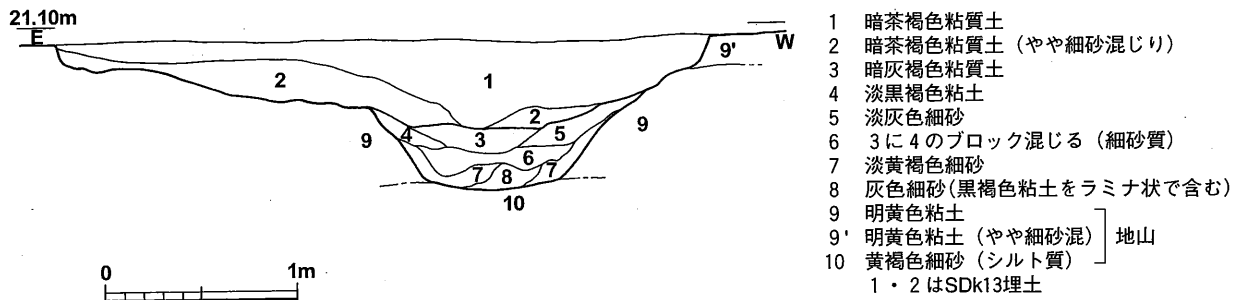
出土遺物の時期は紛れ込みを除けば、弥生時代後期中葉頃～終末期2と考えられる。

SDk04 (第37・38図)

I-24区トレンチ3で検出した溝である。トレンチ3は池台池の南西部に当たり、A地区西地区の南東端に北接する。トレンチの北東部は池台池の浚渫で遺構面は削平されている。SDk04は調査区の南側から北方向へ向かい、緩やかに北西方向へ向く。途中でSDk13と枝分かれする平面形状であるが、断面観察により、SDk04の方が古い。SDk04は幅3.4m、深さ78cm、埋土は暗灰褐色粘質土、淡黒褐色粘土などで、下部には地山ブロック・細砂の堆積層がみられ、一定量の流量があったことが窺える。断面形状は逆台形を示す。A地区西地区ではSDk04・SDk13に連続する溝はSDa23しかなく、この溝の断面形状や土層の堆積状況から、2条の溝は重複したままSDa23へ続くと考えられる。遺物はいずれもSDk04とSDk13部分の重なっている部分から出土したが、取り上げ時の絵符の注記の埋土からいずれもSDk13に



第37图 SDK04·13·SDa23平面图 (1/200)



第38図 SDK04断面図 (1/40)

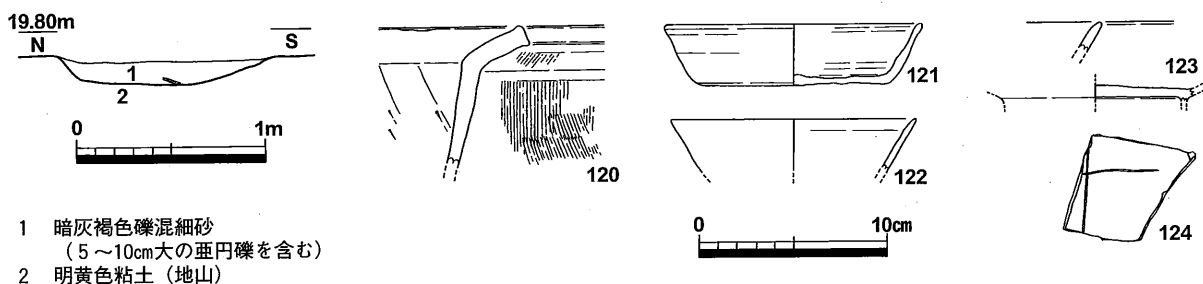
よるものと考えられる。なおSDa23では弥生時代後期の土器の細片が出土しており、溝の時期もその時期におかれているが、今回は明らかにSDk04の埋土から出土したと考えられる遺物はなかった。

3. 古代の遺構・遺物

SDk11 (第39図、図版24)

I-23区南東隅で検出した北西から南東方向へ向く溝である。幅1.1m、深さ10cm、底のレベルは19.56m、埋土は暗灰褐色礫混細砂である。埋土中からは土師器甕小片、須恵器坏などが出土した。この溝の延長部分がA地区南地区で検出されていないこと、I-26、I-28で検出したSDk12の延長部もまた同地区で検出されず、両者の規模や埋土、出土遺物の時期が類似することから、両者は屈曲する同一の溝の可能性が高い。SDk11は連続するSDk12とは直交していない。この溝の時期は出土遺物から8世紀後半～9世紀前半頃と考えられる。

120は土師器甕。胴部は丸みを持たず、口縁端部は四角くする。121～124は須恵器。121は坏A。焼成は悪く、底部には時計回りのヘラ切り痕を残す。122は口縁端部に重ね焼き痕跡を残し、内面にはゴマ状降灰がみられる。123は口縁端部小片。124は高台坏底部。細い高台痕跡がみられるが、大半は欠けている。底部には十字のヘラ描きがみられる。



第39図 SDK11断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4)

SDk12 (第40～42図、図版12・24～26)

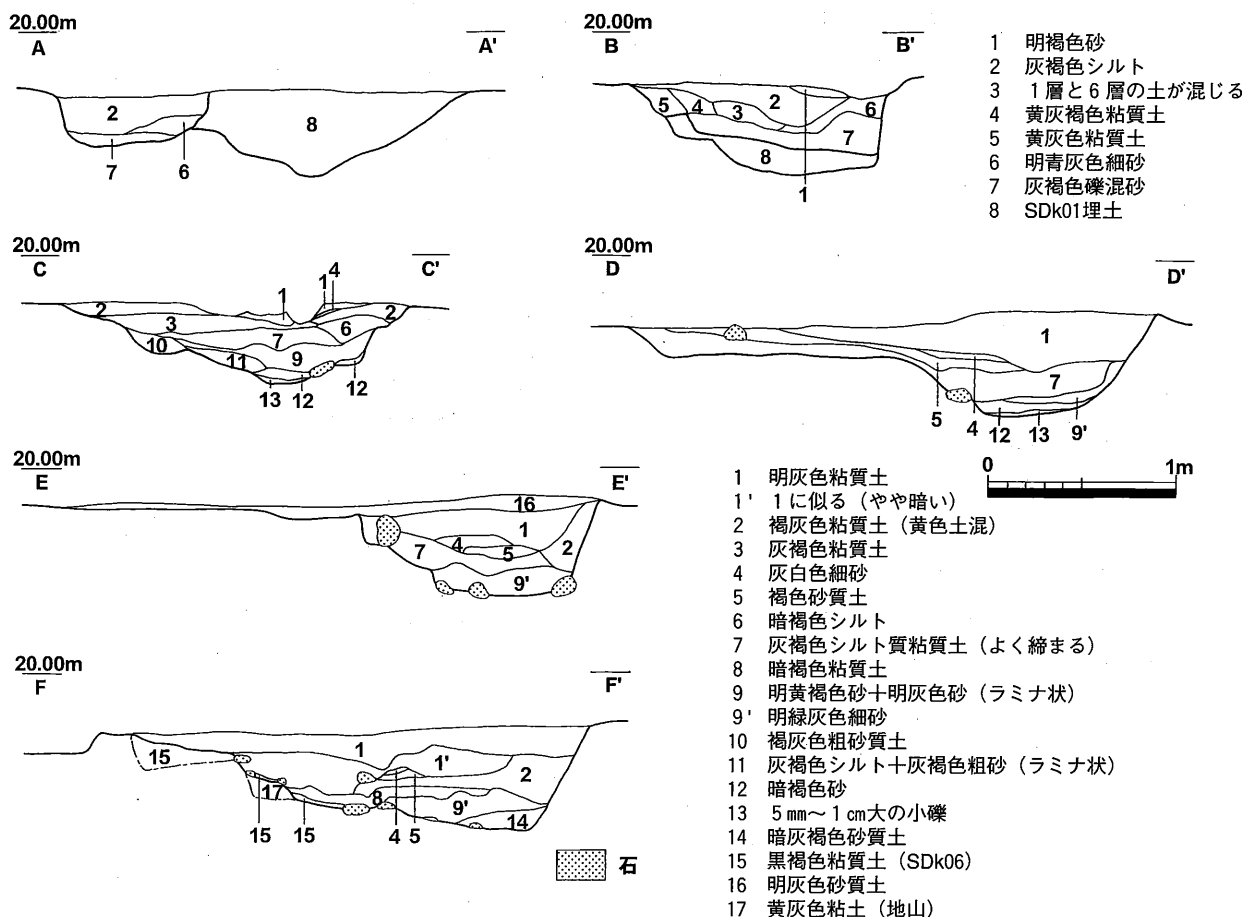
I-26・28区の南端部付近で検出した溝である。I-26区南端部中央付近から北東方向へ延びる溝で、幅1.2m前後、深さ45～50cm、断面形状は逆台形である。埋土は大まかに言えば上層に褐灰色～灰褐色粘質土、中層によく締まった灰褐色シルト質粘質土、下層は砂層を中心とする層で、最底部に小礫が混じる部分もある。この溝はSDk11が屈曲して延長してくる溝で、SDk11の土層はおおむねこの中では下層の砂層を中心とする層に該当する。溝は当初一定量の流量を持っていたものが、徐々に流れが悪くなり、埋没していったと考えられる。SDk11は周囲の条里型地割とほぼ方向が同じであるが、SDk12へは直角には曲がらず、SDk11からSDk12へ続く溝のラインはSRk03の南肩とほぼ同方向である。この溝の方向は当時の地形に傾斜に規制されたと考えられ、同様の地割りは明治21年の地籍図にまで認められる。

この溝は I-26区でSDk01を切り、I-28区東半部分でSDk06とほぼ全体に重複する。断面観察によりSDk12のほうが新しい。

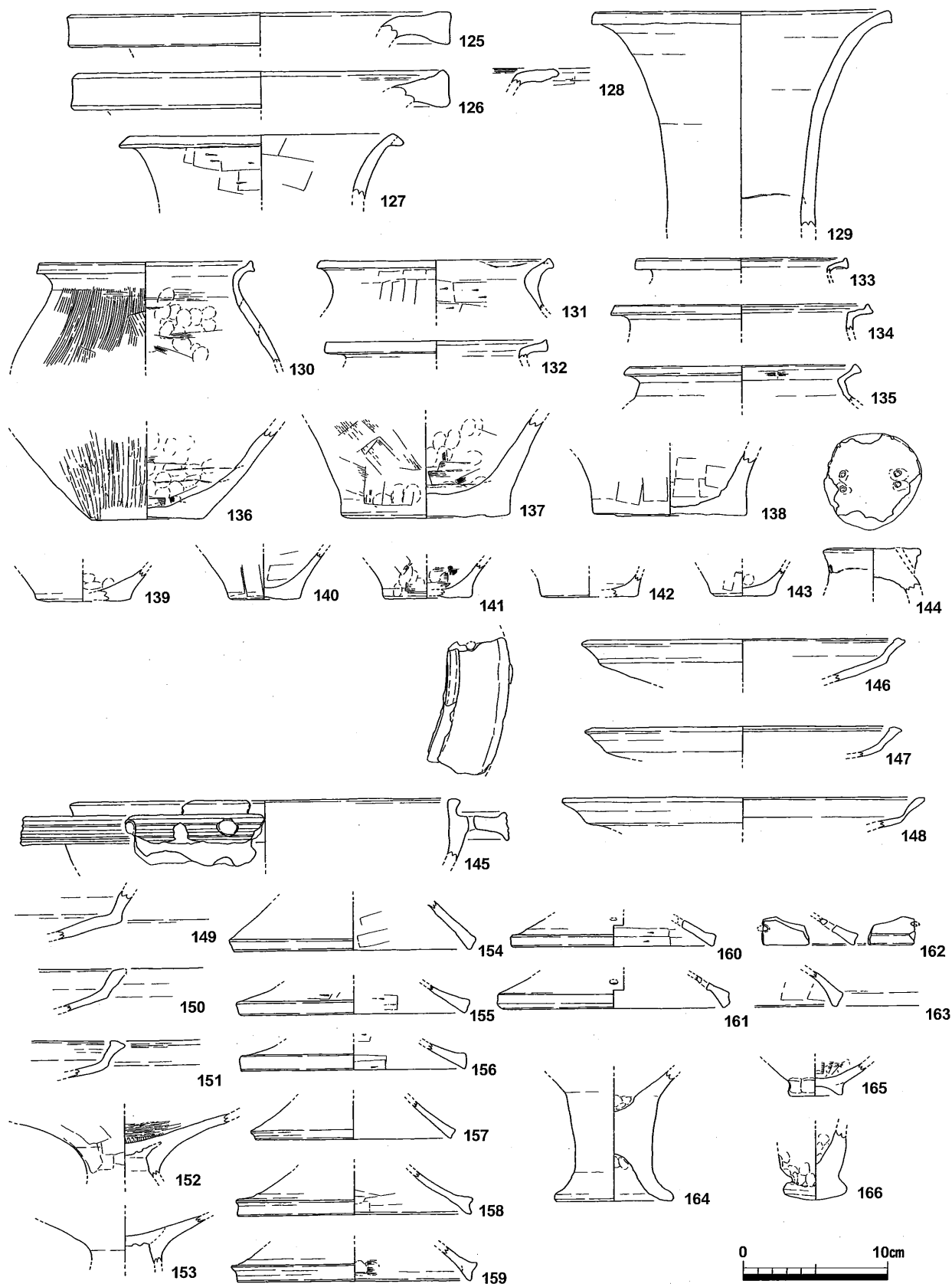
遺物の大半はその種類を問わずSDk06と重複する部分から出土した。

125~166は弥生土器。125~129は壺。125・126は大型の広口壺。127・129は長い頸部を持つもの。130~135は甕。131以外は下川津B類。134・135は頸部と胴部の間にやや直立する部分がある。136~143は底部。136は壺の、その他は甕の底部。136・141は下川津B類。144は蓋。対角線上に2孔1対の穿孔がある。145~163は高坏。145・162以外は胎土中に角閃石を含む。145~153は坏部。145は口縁部下部に突帯を貼り付け、そこに凹線を施した後、円形浮文を貼り付ける。突帯部には1ヶ所穿孔が残る。他の坏部は、口縁端部が四角いものと(146・147・150・151)と丸いもの(148)がある。152・153は坏部と脚部の接合部。152は内面に4方向のヘラミガキが観察できる。153は底部に接合痕跡がみられ、底部を充填した様子がみられる。154~163は脚部。端部を四角く収めるもの(154・155・157・160・162)、やや下方に拡張させるもの(156・161)、端部に緩い凹線があるもの(158・159)がある。内面はおおむねヘラ削りまたは板ナデである。160~162は脚部に穿孔が見られる。164は支脚。165・166は鉢底部。165は碗状で底部を高台風に作っている。166は指押さえ痕を顕著に残し、底部は押し潰したようにして作っている。遺物の時期は一部弥生時代中期のものも含むが、おおむね弥生時代後期前半頃で、これはSDk06の時期を示していると考えられる。

167~169は土師質土器。167は小皿。168は碗。底部小破片。169は鍋。体部はまっすぐで口縁端部は四角くする。170~187は須恵器。170・171は坏口縁部小破片。172・173は坏底部。174~176は坏B底部。177~180は皿A。178は底部に、179は内面に火櫛が掛かる。177は焼成状況が悪く、一部土師質のような焼成状況になっている。181~183は蓋。181は外面上半部をヘラ削りで調整する。焼成状況は悪く、

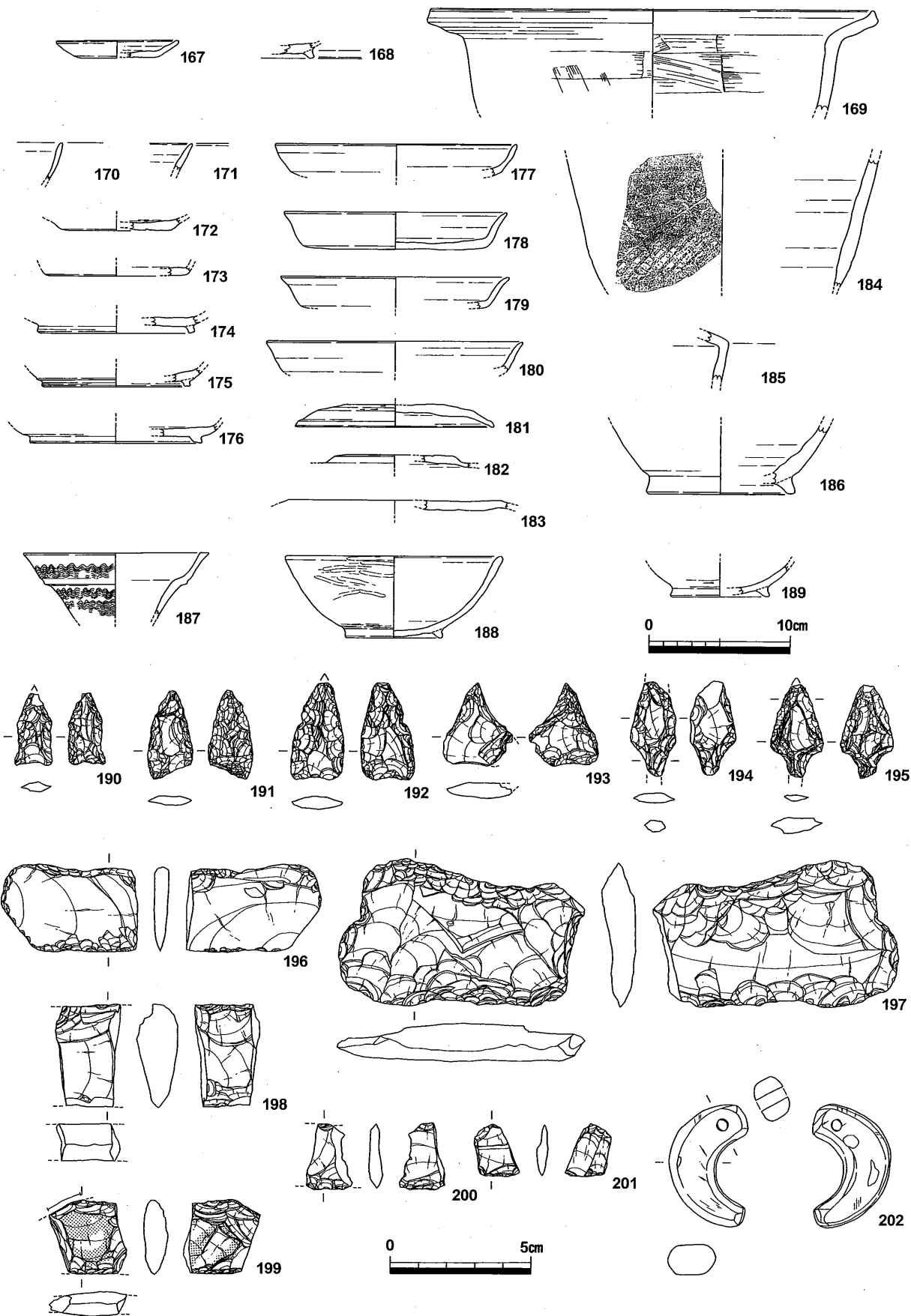


第40図 SDk12断面図(1/40)



第41図 SDK12出土遺物① (1/4)

土師質のような色合いになっている。これはSDk11、I-26区・I-28区SDk12の接合資料で、SDk11とSDk12が同時併存であることが裏付けられる。182も頂部にヘラ削りをする。184は壺体部。外面に右上がりの格子タタキを施す。上半部はナデにより消されている。185は壺肩部。肩部が稜線を持って屈曲する。186は壺底部。187は甕口縁部。頸部に3段の波状文を施す。SDa44で出土したものとはほぼ同時期



第42図 SDK12出土遺物② (1/4)・(1/2)

のもの。188・189は黒色土器A碗。188では外面に横方向のヘラミガキが、189では外面高台の外側に横方向のヘラ削りが観察できる。190～201は打製石器。サヌカイト製。190～195は石鏃。190～193は凹基式。193は未製品。194・195は有茎式。いずれも上部と下部がやや欠損。196はスクレイパー。下部にわずかに刃を作る。197は石庖丁。1ヶ所に抉りが残る。198・199は楔形石器。199は上部に敲打痕があり、両面とも磨滅痕がある。200・201は調整痕のある剥片。202は勾玉。碧玉製。勾玉はSDk06からの混入と考えられる。

混入と考えられる遺物を除けばおおむね9世紀前半頃の遺物が出土しており、遺構の時期はその頃と考えられる。

SDk13 (第37・43図、図版11・27)

I-24区トレンチ3で検出した2条の溝のうちの1条である。調査区の南側から北方向へ向かい、すぐ東方向へカーブするが、大半は池台池の浚渫により失われる。幅1.32m、深さ42cm、断面形状はボウル型を呈する。埋土はおおむね暗茶褐色砂質土または粘質土で、間層に灰白色細砂のラミナ層が堆積する。この2つの溝は土層断面からSDk13が新しく、その下部にSDk04が堆積する。この2つに溝は南部で重なってSDa23へ続くと考えられる。

203・204はSDk04との重複部分から、205・206は重複していない部分から出土した。203・204は出土した層位からSDk13から出土したと判断した。

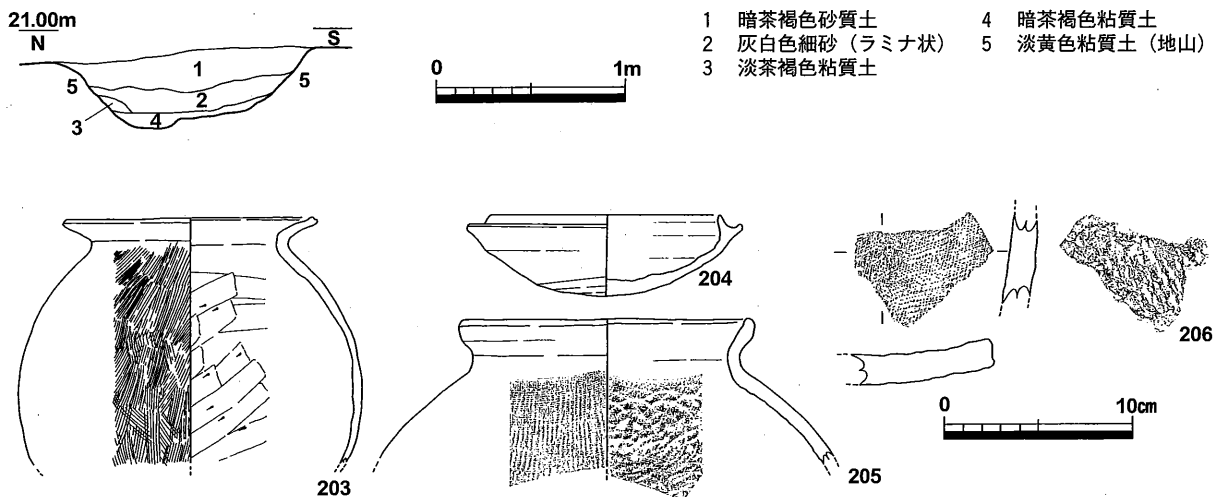
203は土師器甕。丸みを持つ体部で、外面はハケメ、内面はヘラ削りする。204は須恵器坏身。退化した返りを持ち、底部をヘラ削りする。205は須恵器甕。外面は格子タタキを施した後、カキ目を施す。内面には青海波文が残る。206は平瓦。須恵質で凹面に布目痕、凸面に縄タタキ目が残る。

溝の時期は、平瓦の時期より下がるものの、埋土中からは遺存状態のよい6世紀末頃の遺物が多く出土しており、溝の時期もその頃としたい。延長部であるSDa23からはコンテナ1/8ほどの弥生時代後期の土器細片が出土しており、溝の時期もその時期とされていたが、この溝はSDk04・13が重なっていることから、SDk04部分を弥生時代後期の、SDk13部分を6世紀末頃の所産としたい。

4. 中世の遺構・遺物

SDk14 (第44図、図版27)

I-23区東部やや南寄り、SRk03の南側の低地部分で検出した東西方向の溝状遺構である。溝のラインは不定形で、幅1.2m、深さ20cm、埋土は淡灰褐色細砂混粘質土（地山粘土ブロック少し含む）である。SDk15・16とは同一のライン上に並び、別遺構として報告したが、同一遺構の可能性が高い。また、



第43図 SDk13断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4)

I-23区南壁土層では遺構面の上部に遺構の埋土と同様の土層が堆積しており、深い部分が遺構として残ったと考えられる。溝の時期は出土遺物から13世紀代と考えられる。

207・208は土師器坏。208の底部は、残存部分が少なく明確ではないが、糸切り痕の可能性がある。

SDk15 (第44図)

I-23区中央部南寄り、SDk14とSDk16の中間で検出した。幅40cm、深さ8cm、埋土は淡灰褐色細砂混粘質土(地山ブロックを少し含む)で、SDk14・16と同じである。埋土中からは摩滅した下川津B類の弥生土器が出土しただけであった。

SDk16 (第44図、図版27)

I-23区SDk15の東側約1mの位置で検出した溝である。幅1.3m、深さ14cm、埋土は淡灰褐色細砂混粘質土である。SDk14・15とはほぼ同じライン上に位置し、埋土も類似することから、これらとは同一の遺構である可能性が高い。埋土中からは紛れ込みと思われる摩滅した弥生土器のほか、9～13世紀代の須恵器坏、土師器坏などが出土した。遺構廃絶の時期はおおむね13世紀代と考えられるが、掘削の時期は9世紀まで遡れるかどうかは検討を要する。

209は土師器坏。底部には糸切り痕が残る。13世紀中頃。210・211は須恵器坏。210は内外面に火襷が残る。9世紀代。211は底部に粗いヘラ削りがある。6世紀代か。

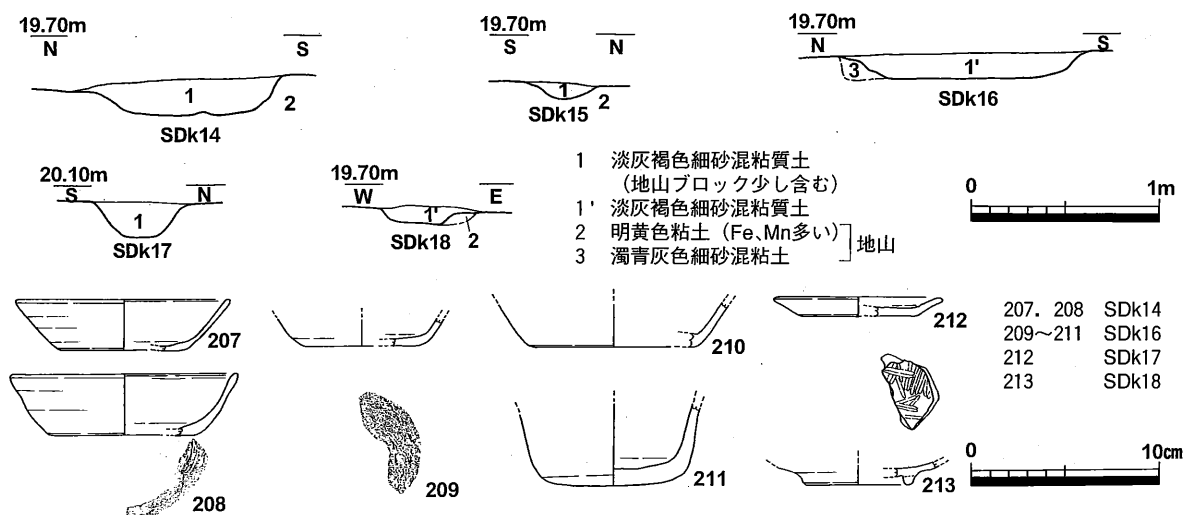
SDk17 (第44図)

I-23区南端部で検出した溝である。北西から南東方向を向き、SDk11と方位はほぼ同じで、周辺の条里型地割とほぼ同方向である。幅52cm、深さ18cm、底のレベルは19.82mで、埋土は淡灰褐色細砂混粘質土(地山粘土ブロック少し含む)である。埋土中からは摩滅した弥生土器のほか、土師質土器小皿、坏底部が出土した。遺構の時期は土師質土器小皿から12世紀後半～13世紀前半と考えられる。A地区南地区SDa47～49と連続する位置にあり、底のレベルがおおむね一致することから、やや規模は小さいものの、その延長部と考えられる。

212は土師質土器小皿。

SDk18 (第44図)

I-23区西端部で検出した南から北へ流れる溝である。SRk03、SDk02、SDk16を切る。幅52cm、深さ8cm、埋土は淡灰褐色細砂混粘質土(地山粘土ブロック少し含む)で、SDk16等と類似する。埋土中からは黒色土器A碗が出土している。遺構の切り合い関係から溝の時期は13世紀以降としたい。なお、この溝は池台池堤防の下部に当たる。



第44図 SDk14～18断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4)

213は黒色土器A碗。内面にヘラミガキ痕跡が残る。

SKk11 (第45～47図、図版12・27～29)

I-25区とI-27区にまたがって検出した円形の土坑である。直径3.0m、深さ75cm、埋土は上層が灰褐色粘土、下層は褐灰色砂混粘質土で、中央部直径70cmの範囲で暗褐灰色粘土が堆積する。埋土中には多量の川原石が投棄されていた。礫は直径1.7mの範囲のおおむね縁辺上に集中して検出できたが、組んでいるような痕跡は認められず、井戸などの構造物とは考えにくい。調査時に湧水もあまり見られなかった。礫に混じって土師器坏・小皿・足釜、須恵器坏などの土器が多量に出土したほか、センダンの果実が出土した。センダンは特に中世の集落で多い傾向が見られる(第4章 自然科学調査の成果)。また、底付近からは板状の木片が出土した。

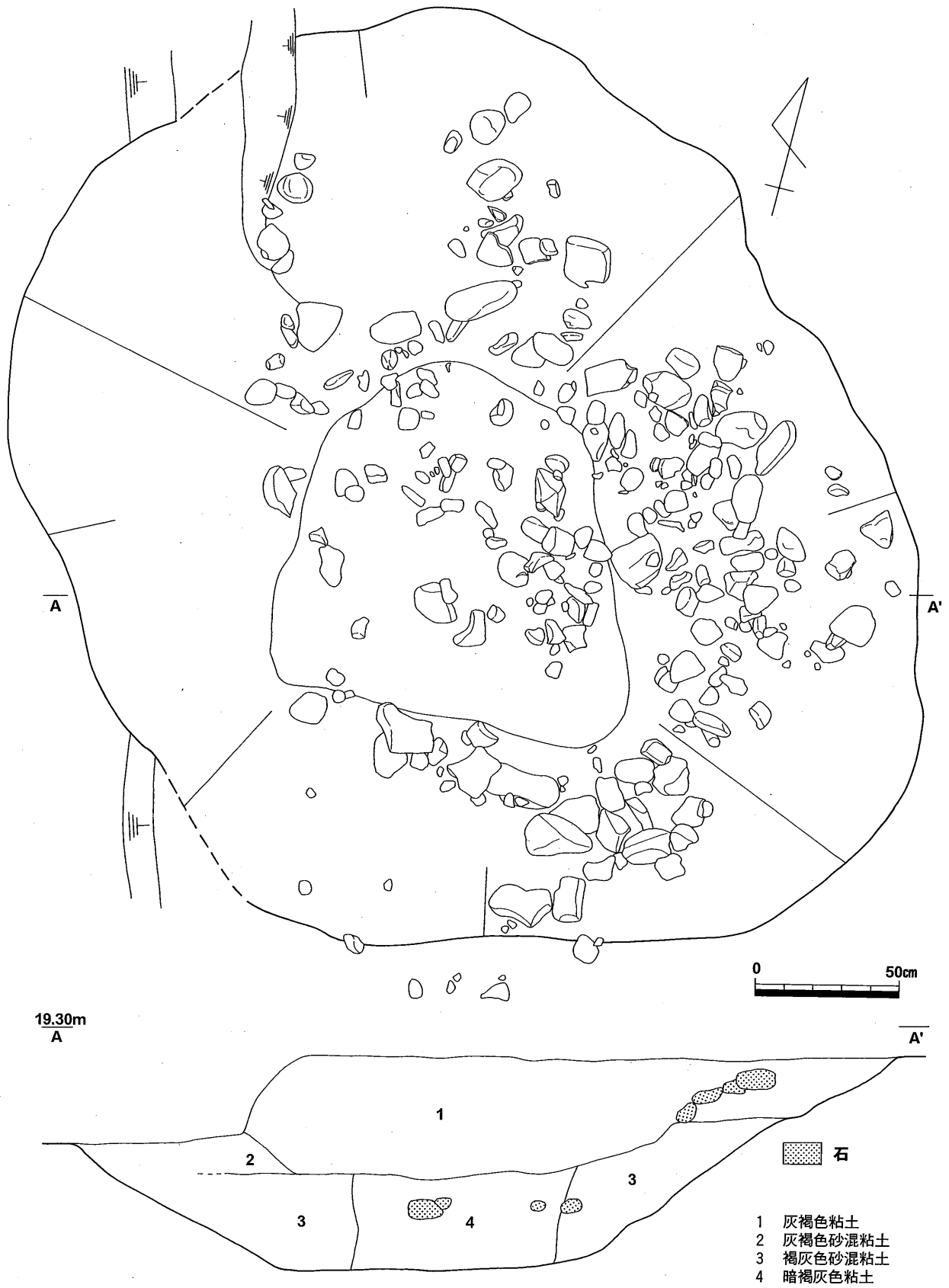
214～216は弥生土器。214・215は壺頸部。214は頸部から胴部にかけて多条のヘラ描き沈線を施し、頸部中ほどには刺突文を施す。215は頸部に12条のヘラ描き沈線が残り、その中ほどには刺突文が残る。214とは同一個体の可能性がある。216は甕底部。しっかりした平底を呈し、内外面はていねいにヘラミガキする。いずれも弥生時代前期末頃と考えられ、SRk01からの紛れ込みと考えられる。217～222は土師質土器小皿。いずれも底部にヘラ切り痕を残し、口径は5.7～6.2cm、器高は0.8～1.1cmに収まる。222は底部に板状圧痕を残す。221は口縁端部まで残っていないが、底部径から小皿の可能性が高いと考えられる。ヘラ切り方向は判明するものはいずれも時計回りである。223～249は坏。口径9.4～12.3cmで、底部切り離し痕が残るものはいずれもヘラ切りで、ヘラ切り方向のわかるものはいずれも時計回りである。器壁の薄いものが目立つ。223は轆轤目が顕著に残る。226・231・238は体部に粘土の継ぎ目痕跡が1～2ヶ所に残る。いずれもおおむね坏D II-5～7に当たる。232・238は口縁端部に重ね焼きの痕跡が、233・234は底部に板状圧痕が、231には体部内面と底部外面の一部に煤が付着する。250～253は鍋。250は内外面を板ナデで調整し、口縁端部は上部へ引き上げる。外面には煤が付着する。253は口縁端部を四角くし、体部は丸みを持つ。外面には煤が付着する。251・252は口縁部破片。254～263は足釜。おおむね楠井分類B II形態。254は底部に右上がり、左方向への格子タタキ痕跡が残る。256は外面に縦方向のハケメを施す。内面はいずれも横方向の板ナデを施す。その他は板ナデ、指押さえ以外の調整痕跡はほとんど残さない。いずれも鐔はやや短めで、鐔から上は長め、外面鐔から下側には煤が付着する。鐔の接合方法は258・259でわずかに鐔から口縁にかけてを接合した痕跡を観察できただけで、大半は断面観察ではわからなかった。楠井編年II-1(14世紀前半)。265～267は足釜脚部。268は播鉢。口縁端部が上方へ大きく引き上げられる形態で、14世紀末～15世紀前半に見られる形態。269は竈の鐔部か。270～277は須恵器。270～273は坏。270・271は底部にいずれも時計回りのヘラ切り痕を残し、轆轤目を顕著に残す。口径は12.1～12.6cm、器高は3.1～3.7cmである。271・273は口縁端部に重ね焼き痕跡を残す。273は外面にわずかにヘラミガキを観察できる。274は甕口縁部。口縁端部に段を持ち、外面は斜め方向のカキ目を施す。275は甕底部。亀山焼。外面は右下がり、右から左への格子タタキ痕跡が見られる。内面は板ナデ。276・277は東播系捏鉢。276は口縁端部を上方へ引き上げる形態、277は端部を丸く収める形態である。277はわずかに片口部分が残る。278は打製石器。スクレイパー。サヌカイト製。279は板状の木製品。半分程度は折損。角は丸くしてある。片面側には斜め方向の擦痕を観察できる。

出土した遺物はおおむね佐藤編年II-5期の時期に収まるもので、遺構の時期はおおむね13世紀後半～14世紀前半頃と考えられる。

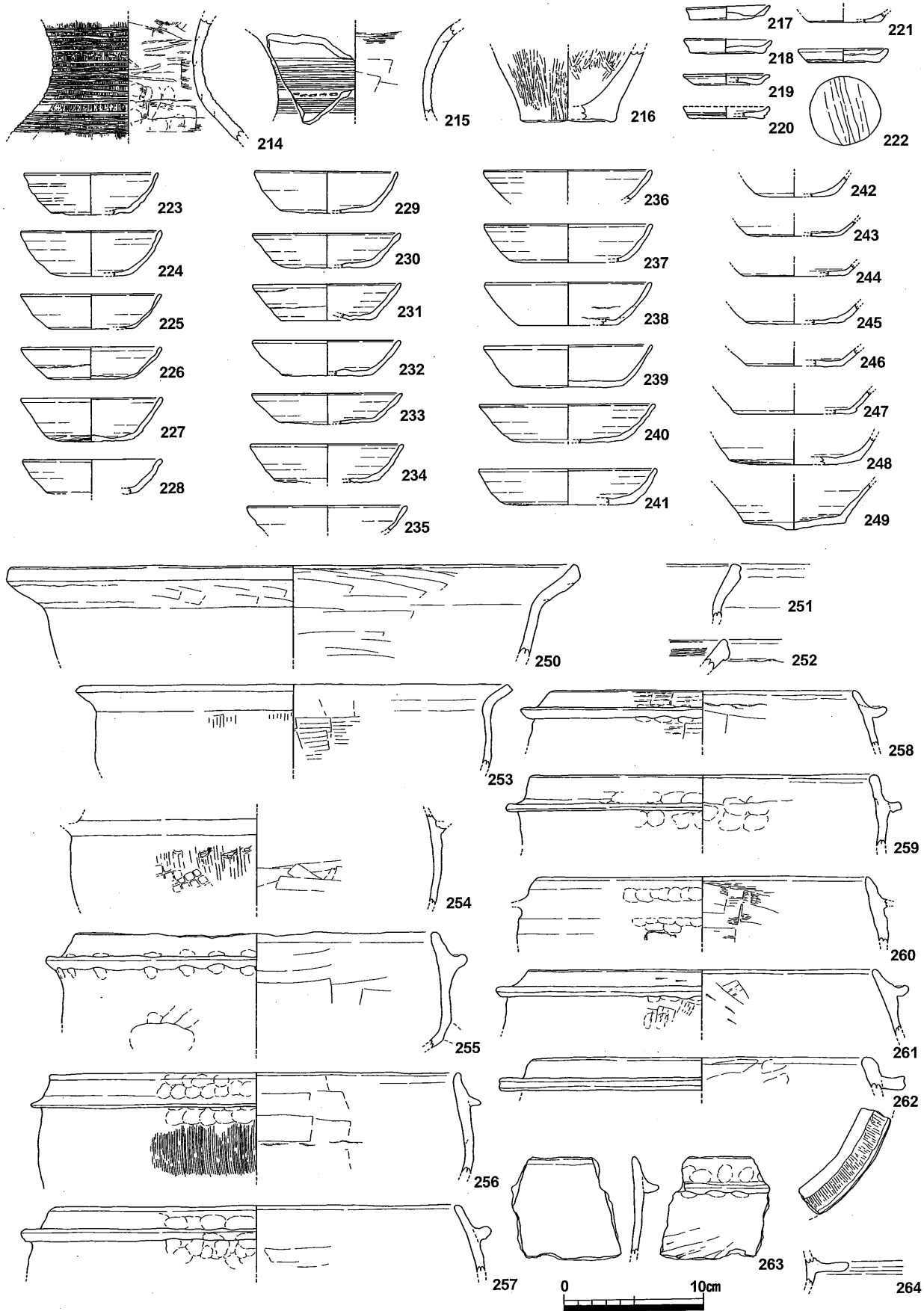
SKk12 (第48図)

I-27区北東部で検出した土坑である。長楕円形で、長径1.8m、短径1.1m、深さ17cm、埋土は褐灰色砂質土である。埋土中からは土師質土器鍋口縁部破片が出土した。

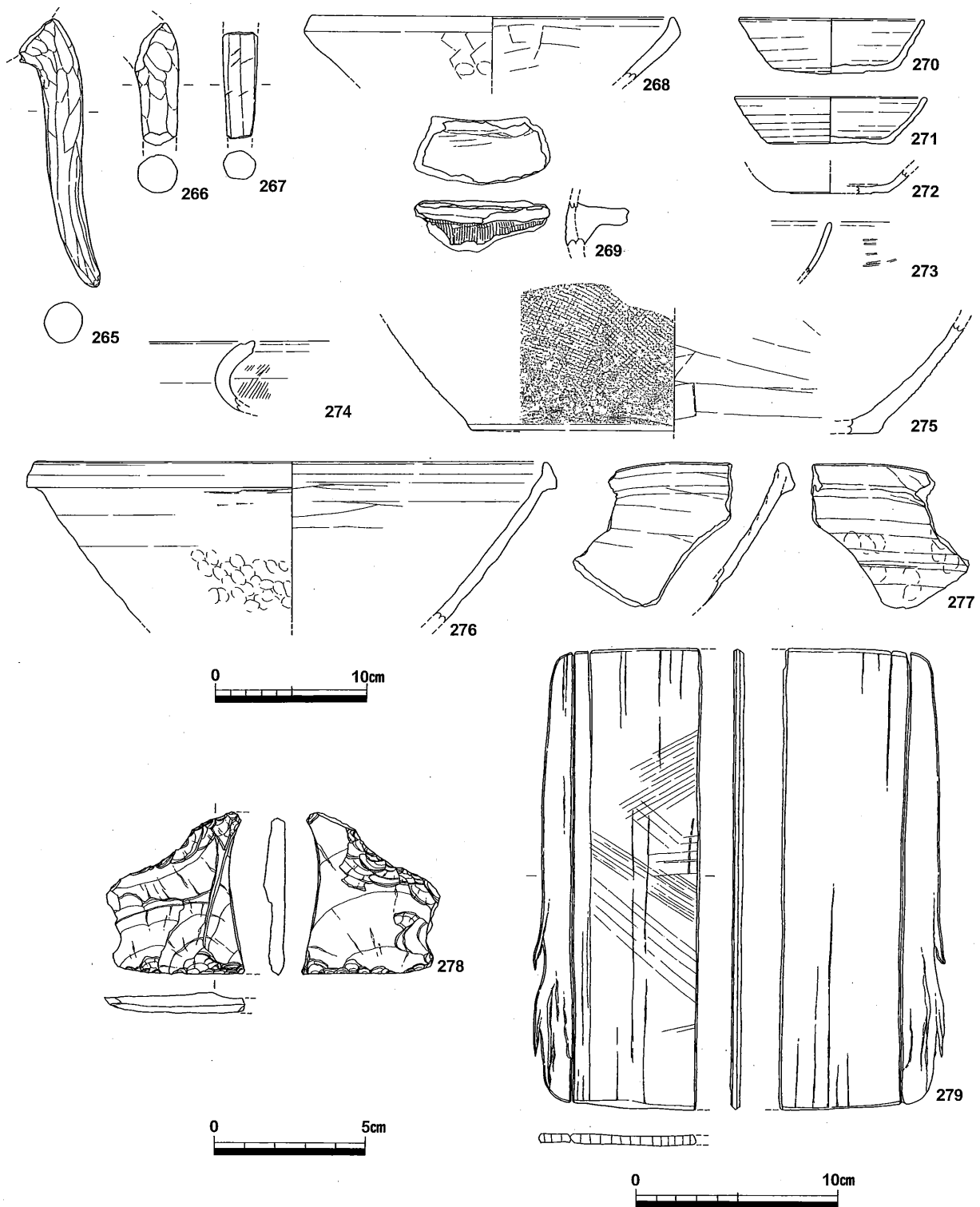
280は土師質土器鍋。口縁端部は四角く、口縁部と体部の境の屈曲が緩い。



第45图 SKk11平·断面图 (1/20)



第46図 SKK11出土遺物① (1/4)

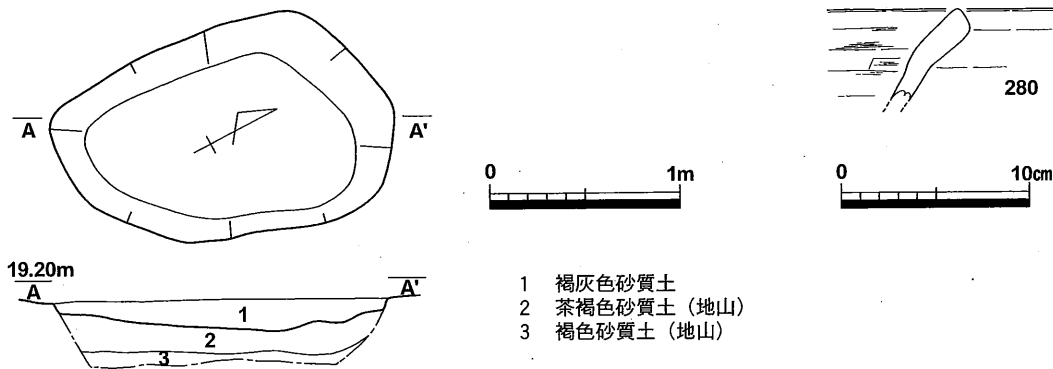


第47図 SKk11出土遺物② (1/4)・(1/2)・(1/3)

SXk11 (第49図、図版29・30)

I-23区南端部、中央付近で検出した不定形の遺構である。深さはおおむね14cmで、埋土は淡灰褐色細砂混粘質土(地山粘土ブロックを少し含む)である。同様な埋土や灰白色細～中砂の埋土を持つ不定形の遺構はSRk03の南側一帯に広がり、いずれも洪水砂層の残骸と考えられる。この洪水砂はI-26・28などでもSRk03の南岸で検出されている。埋土中からは摩滅の進んだ弥生土器のほか、土師質土器杯、小皿、平瓦、須恵器甕などが出土した。

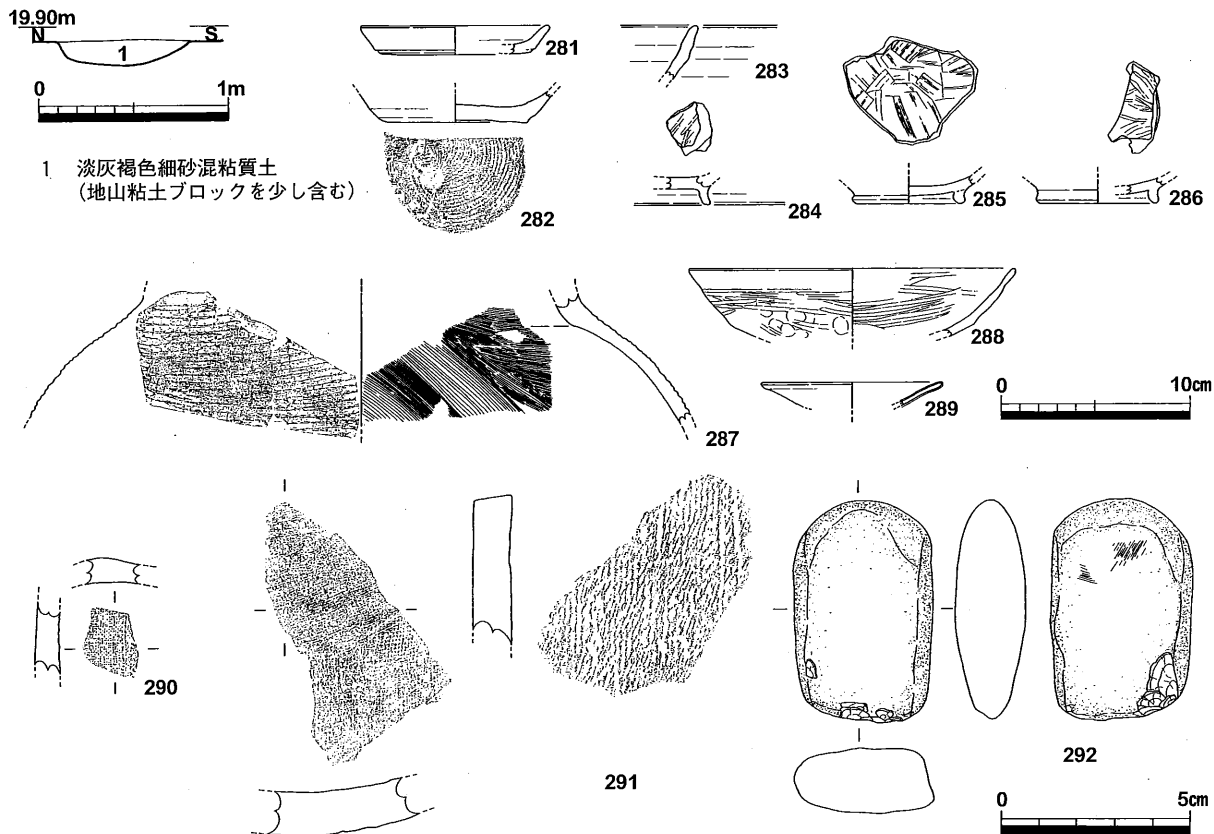
281～283は土師質土器。281は小皿。口径9.8cmを測る。282は坏底部。底部は回転糸切りによる。283



第48図 SKk12平・断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4)

は坏D口縁部片。轆轤目が顕著。284は黒色土器A碗。小破片。内面にヘラミガキ痕が残る。285～287は須恵器。285・286は碗。285は底部内面に放射状に広がる板ナデ痕跡が残る。底部外面には時計回りのヘラ切りと板状圧痕を残す。286は内面にヘラミガキをする。287は亀山焼甕体部。外面は格子タタキ目、内面にはハケメ痕を残す。小片のため傾きは不確か。288は瓦器碗。内外面ともにヘラミガキを施し、外面には指押さえが残る。289は白磁皿。290は丸瓦。須恵質の作りで凸面に横方向の板ナデ痕を残す。291は平瓦。須恵質で、凹面には布目圧痕があるが、端部近くはやや広い範囲で布目をなで消している。凸面には縄タタキ目痕を残す。292は全体に磨滅してすべすべしている。石材不明。道具ではなくただの川原石の可能性もある。

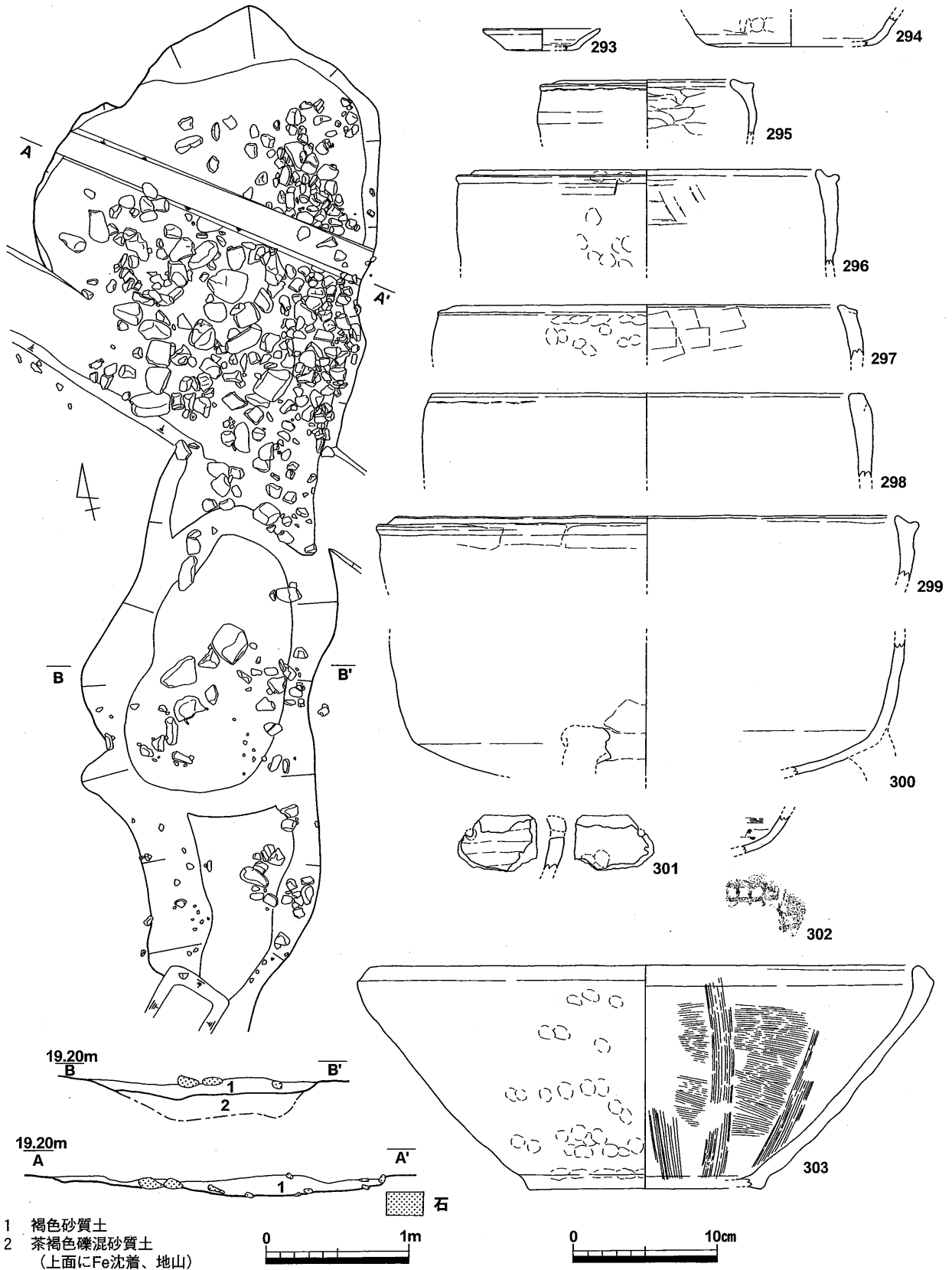
遺構の時期はおおむね12世紀後半～13世紀中頃と考えられる。この砂層は地形に合わせてI-26でも点々と残る。SXk11南端では、西側と東側で一部に南側へ溝状に延びる遺構があり、これらはそれぞれA地区南地区SDa47～49へ続くと考えられる。



第49図 SXk11断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4)・(1/2)

SXk12 (第50図、図版13. 30)

I-27区北東部で検出した集石遺構である。長楕円形状に礫が広がるが、主に北半部の直径約2.3mの範囲に集中し、残りは疎らである。礫は直径10cm程度~25cmまであり、大きめの礫には一部焼けている



第50図 SXk12平・断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4)

ものもある。深さは12cm程度で断面形状は浅い皿型、埋土は褐色砂質土である。礫に混じって土師質土器・播鉢・足釜・坏、備前焼播鉢、サヌカイト小片などが出土した。礫を集めて盛り上げた、これと類似する遺構はA地区北地区でも2基検出しており、時期もほぼ同時期である。この時は畦道を想定して調査を進めたが、結局性格を明らかにできなかった。明治21年地籍図の遺存地割にもこれに沿うような地割りはなかった。遺構はI-27に広範に広がる包含層の上面で検出した。

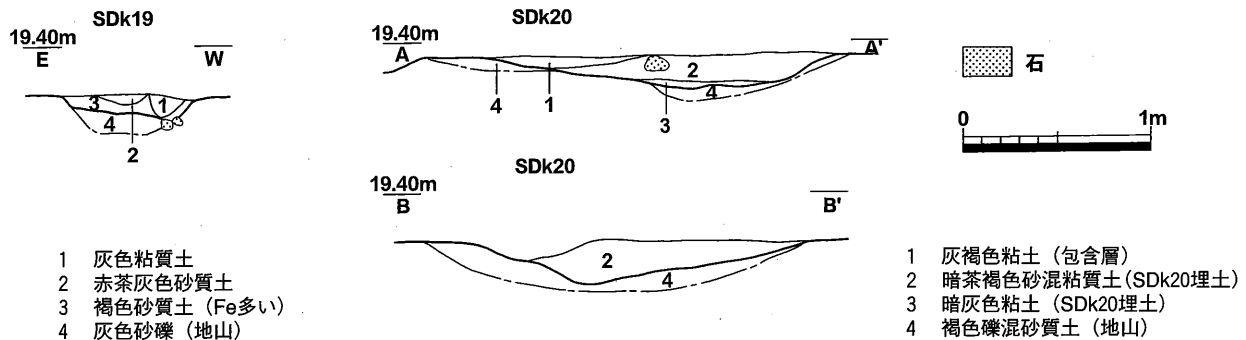
293～303は土師質土器。293は小皿。口径8.2cm、器高1.5cmを測る。294は坏。小破片。295～302は把手付鍋。302は底部に格子タタキ目を持つ。301は体部に1ヶ所穿孔が見られる。303は播鉢。内面に横～斜め方向のハケメを施した後、6条1単位の卸目を施す。遺構の時期は出土遺物から16世紀頃と考えられる。

SDk19 (第51図)

I-27区中部付近で検出した南東から北西方向へ向かう溝状遺構である。検出長9.4m、幅65cm、深さ9cm、埋土はおもに褐色砂質土で、上部に赤茶灰色砂質土・灰色粘質土が堆積する。方向はSDk20やSRk01と同じである。埋土中からはサヌカイトの小剥片がわずかに出土しただけであった。この溝は『山田郡下村順道図絵』(文化15年、1819)に現れる地割のラインや明治21年地籍図に記載される溝、またはそれに先行する溝である可能性が高く、やや湾曲しながらA地区北地区SDa05またはSDa12、SDa17へと連続する可能性がある。SDk19の約7m南西方向に、方向を同じくするSDk20があり、相前後して営まれた溝であるか、またはやや幅は広いものの、道状遺構をなす可能性もある。溝の時期は不明であるが、A地区で中世の溝としているSDa05がSDk19またはSDk20に連続すると思われるので、この溝の時期も中世としておきたい。

SDk20 (第51図)

SDk19の南西側約7m離れた位置で検出した溝状遺構である。検出長17m、幅2.1m、深さ22cmで、埋土は暗茶褐色砂混粘質土である。埋土中からは摩滅した弥生土器のほか須恵器坏・壺などが出土した。SDk19と同様、『順道図絵』や明治21年地籍図に記載される溝またはそれに先行する溝である可能性が高い。また、前述したSxk12はこれらの溝に直交する方向を示す。埋土中からは須恵器坏・壺等や土師器小片が出土したが、所属時期を示しているかどうかの決定は難しい。この遺構は灰褐色粘土の中世遺物包含層の下部にある。A地区北地区で、溝の番号は付けられていないが、SDa05の約7m南西側に溝状遺構があり、屈曲しながらA地区北地区へ続いていく可能性がある。溝の時期はSDk19と同じ理由で中世としておきたい。



第51図 SDk19・20断面図 (1/40)

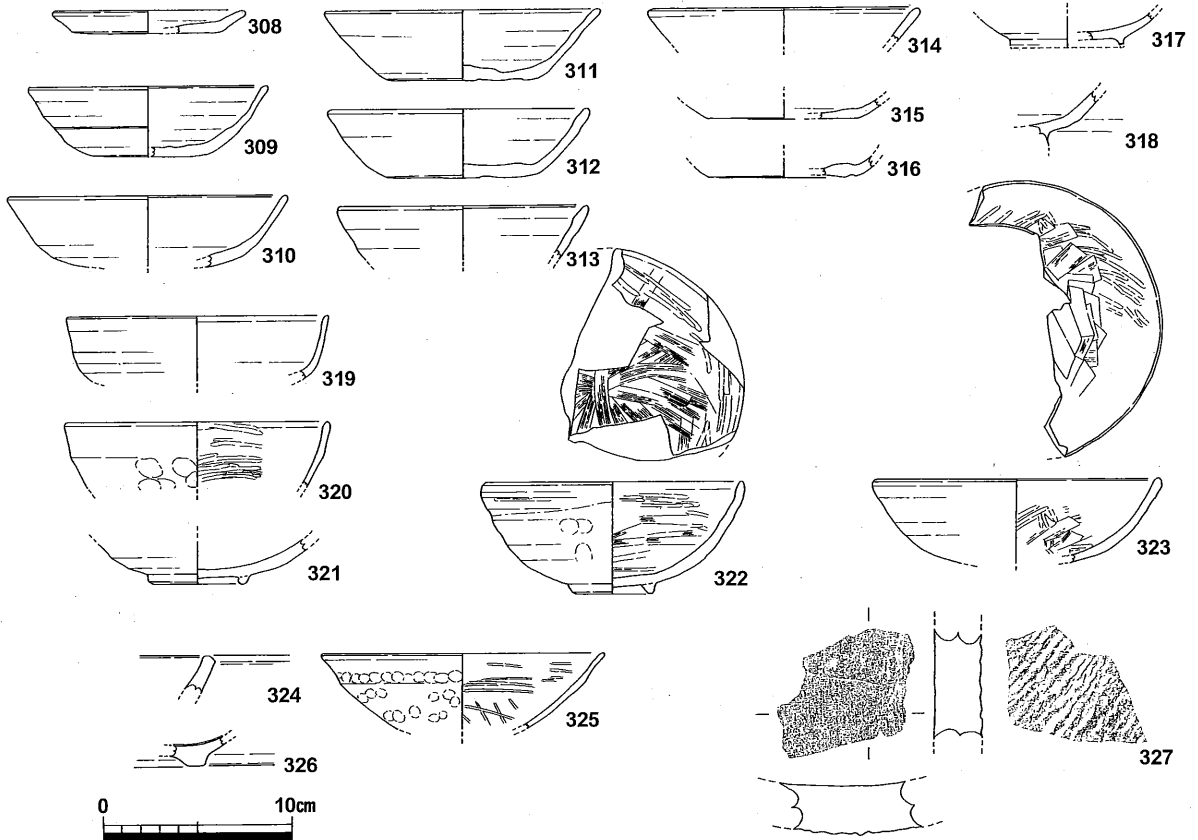
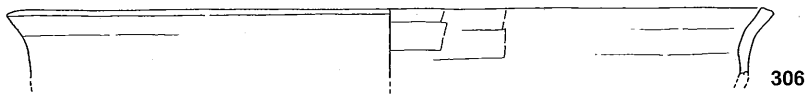
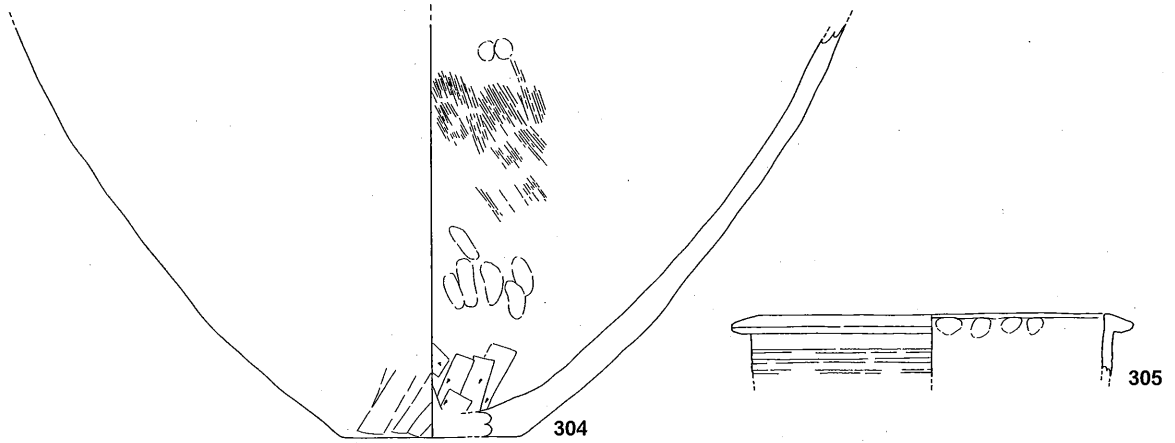
SDk21 (第52図、図版30・31)

SDk12の北側30cm～2.4m、SDk22の南側約50cmの位置に平行して流れる溝である。幅2.3m、深さ30cm、底のレベルは18.5mで、埋土は上層が明褐～明灰褐色粘質土、下層は黄褐色～白褐色砂である。溝の底部は二又状になっており、2条の溝が1条につながったような形状である。下層部は砂層で、SDk

19.00m
N

S

- 1 明褐色粘質土(暗褐色土ブロック混)
- 2 明灰褐色粘質土
- 3 明褐色細砂質土(暗褐色土ブロック混)
- 4 明褐色細砂(褐色砂ラミナ状)
- 5 黄砂色砂
- 6 白褐色砂
- 7 褐灰色シルト(黄褐色砂ラミナ状)
- 8 暗褐色粘土(SDk06埋土)



第52図 SDk21断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4)

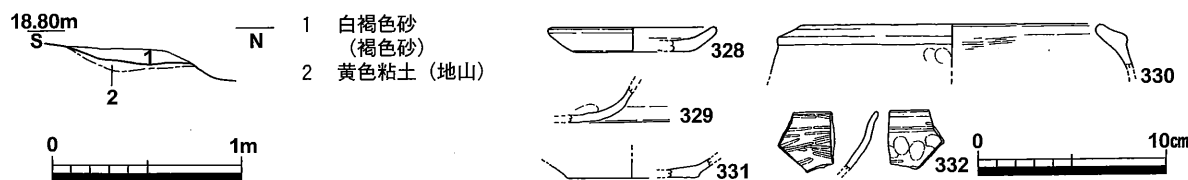
22と同様洪水砂の残りと考えられる。埋土中から紛れ込みと思われる弥生土器のほか、須恵器坏・甕、土師器坏などが出土した。溝の時期はSDk22と同様と考えられ、極めて近接した時期の遺構と考えられる。I-23区でもSRk03の南側に並行する溝SDk14～16が検出されており、これらとも同一の遺構の可能性も考えられる。

304～307は弥生土器。いずれもSDk06またはSRk03からの混入と考えられる。304は壺底部。大型のもの。305は甕。弥生時代前期末頃。逆L字型口縁で、ヘラ描き沈線が3条残る。摩滅が著しい。SRk03からの紛れ込みか。306・307は高坏。いずれも小破片で、口径・傾きは不確か。306は角閃石を含む。304・306・307はSDk06からの紛れ込みと考えられる。308～318は土師質土器。308は小皿。底部はヘラ切りによる。309～316は坏。おおむね口径は12.6cm～14.7cm、器高は3.6cm前後である。底部が残るものはすべてヘラ切りで、311、312は時計回りのヘラ切り痕跡が確認できる。317・318は碗。319～323は須恵器。319は坏。320～323は碗。320は内面に横方向のヘラミガキを施し、口縁端部から体部外面上半部にかけて重ね焼きの痕跡が残る。321は底部。ヘラミガキの痕跡はみえない。322・323は内面の上半を横方向にヘラミガキし、下半を中心から放射状に薄いハケメを施す。外面にはヘラミガキ痕跡はみえない。須恵器碗はいずれも西村産のもの。324は甕または壺の口縁端部。小破片。焼成は瓦質。325は瓦器碗。内面の見込みには格子状の、体部には横方向のヘラミガキを施す。外面には指押さえ痕を顕著に残す。和泉産。326は白磁碗底部。内面は施釉、外面には残存範囲では釉は認められない。327は平瓦。須恵質。外面は斜め方向の縄タタキ痕、凹面は布目圧痕を残す。出土遺物から遺構の時期は12世紀後半～13世紀前半頃と考えられる。

SDk22 (第53図)

I-28区を南東から北西へ流れる溝である。SRk03の南側縁辺部約5mの場所を同じ方向で流れ、SDk21の北西側に接して流れる。幅1.0～2.0m、深さ20cm、底のレベルは18.6m、北側の肩はSRk03の影響でベースが低く、はっきりとはしない。埋土は白褐色砂、褐色砂である。溝の肩が不明確で、埋土も砂が中心であることから、恒常的な溝ではなくて、洪水砂が及んだものかもしれない。埋土中からは土師器坏、瓦器碗、須恵器甕などが出土した。

328～330は土師質土器。328は小皿。底部はヘラ切り。329は坏。小破片。330は足釜口縁部。口縁端部は退化が著しく、16世紀代のもと考えられる。他の遺物に比べ後出する。331は須恵器坏。底部。9世紀後半頃。332は瓦器碗小片。内面にヘラミガキ、外面には指押さえ痕が残るが、ヘラミガキもわずかに残る。出土遺物の時期に幅があるが、おおむね12世紀後半～13世紀前半頃のものが多く、溝の時期もそのころと考えられる。

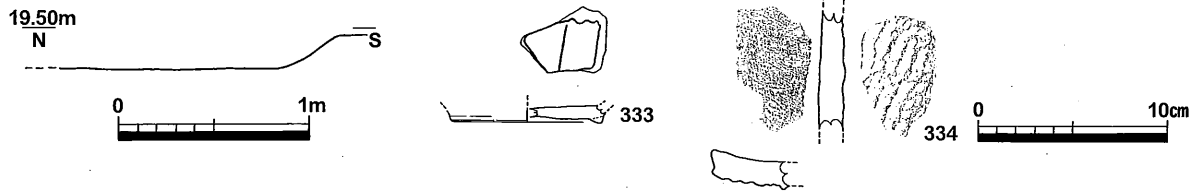


第53図 SDk22断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4)

SDk23 (第54図)

I-26～28区の南部を西北西から東北東へ向けて流れる溝状遺構である。SDk21・22の北西に接して流れるが、SDk22同様溝の肩は不明確で、北側の肩はSRk03の影響でベースが下がっていて検出できない。埋土は砂層であった。埋土中からは須恵器坏や瓦などが出土した。

333は須恵器坏B。高台の退化が著しい。底部内面にヘラ描きがある。摩滅が著しい。334は平瓦。側端部は横方向の擦痕が残り、凸面側の近くにやや太目のバリ状の痕跡が残る。凹面には布目圧痕、凸面



第54図 SDK23断面図・出土遺物 (1/40)・(1/4)

には縄タタキ目痕が残る。

5. 自然河川の遺構・遺物

SRk01 (第55図、図版15・17)

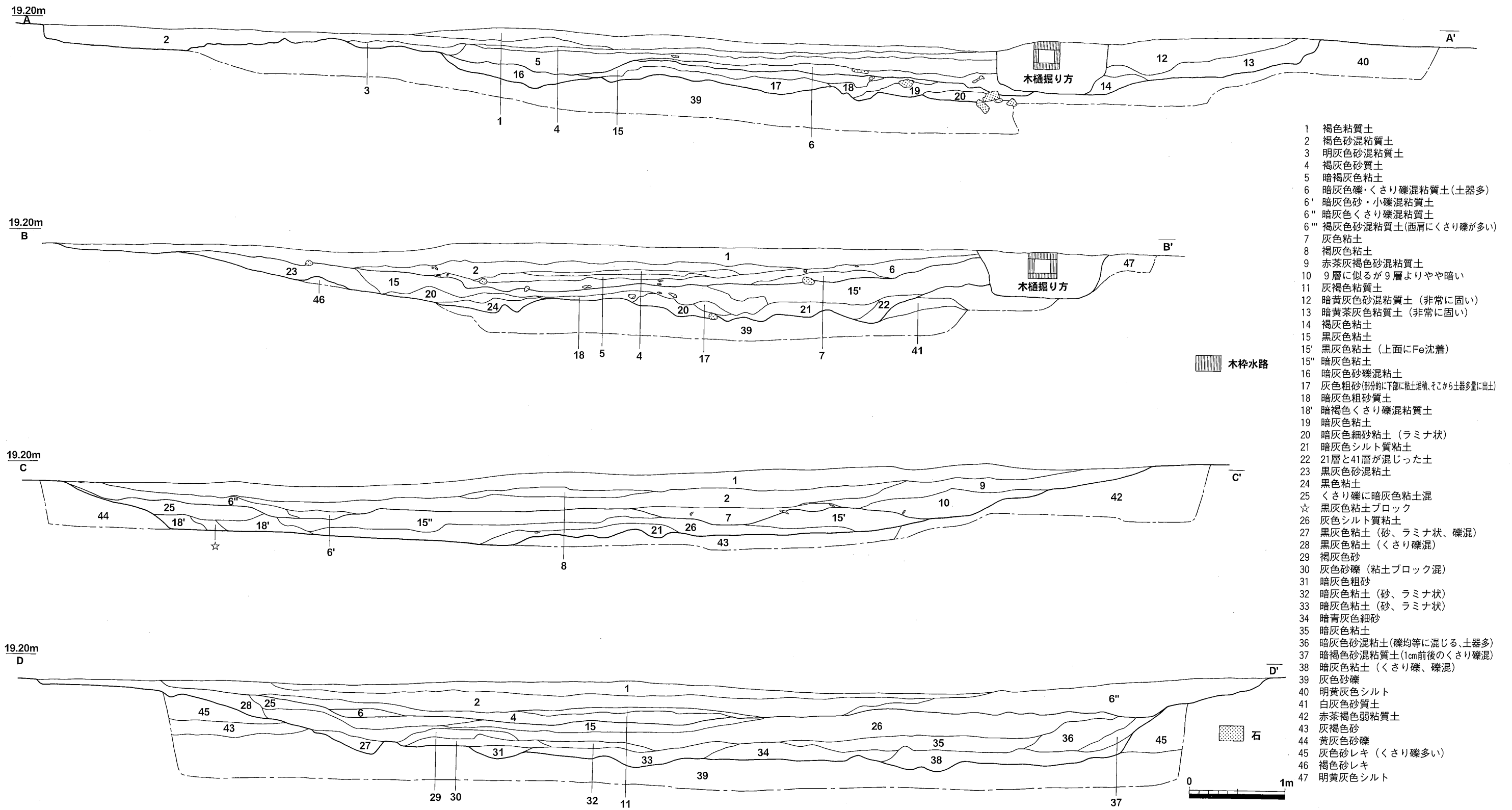
I-25・I-27・I-26に亘って検出した自然河川である。この流路はA地区北地区の池台池の下部で検出したSRa02の延長部である。幅は、一部後世の暗渠水路に破壊されているものの、10.5m～12.4m、深さは67cm～80cmである。底のレベル差は北西側が南東側より40cm程度高いことから、水の流れは北西から南東方向へ流れていたと考えられる。断面形状は浅い皿状である。埋土はおおまかに上層と下層に分層し、遺物の取り上げもそれに拠った。上層は層厚が37.5cm、埋土は上部が主に灰褐色粘質土・砂混粘質土・砂質土層で、土壌化が進んでいると見られる。下部は暗灰色礫・クサリ礫・粗砂混粘質土層で、この層がおおむね上層の最下部となり、上層では出土遺物の多くがここから出土した。下層は層厚27.5cm程度、埋土は上部が黒灰色粘土層、下部が黒灰色粘土で、部分的にシルト、砂、小礫などが混じる。A地区北地区では下層のうちの上部を上層、下部を下層としており、上層部分は池台池の浚渫により遺存していなかった。滞水状態が長く続いたような堆積状態で、自然河川というより湿地状態が続いたと思われる。下層では底付近から土器がまとまって多量に出土した。埋土中からは28ℓ入りコンテナで、I-25から30箱、I-27から17箱、I-26から17箱分の土器が出土し、3条の自然河川のうちで最も多くの土器が出土した。一部弥生時代中期後半頃まで下がるものも含まれるが、おおむね弥生時代前期後半～中期初頭までのものである。

遺物の掲載は、上層出土のものは各地区を通して器種ごとに掲載したが、下層出土遺物は大量にあるため、地区ごとに掲載し、そのなかで器種ごとに掲載した。出土層位不明の遺物についても地区ごとに掲載した。

〈上層出土遺物〉 (第56～58図、図版31～34)

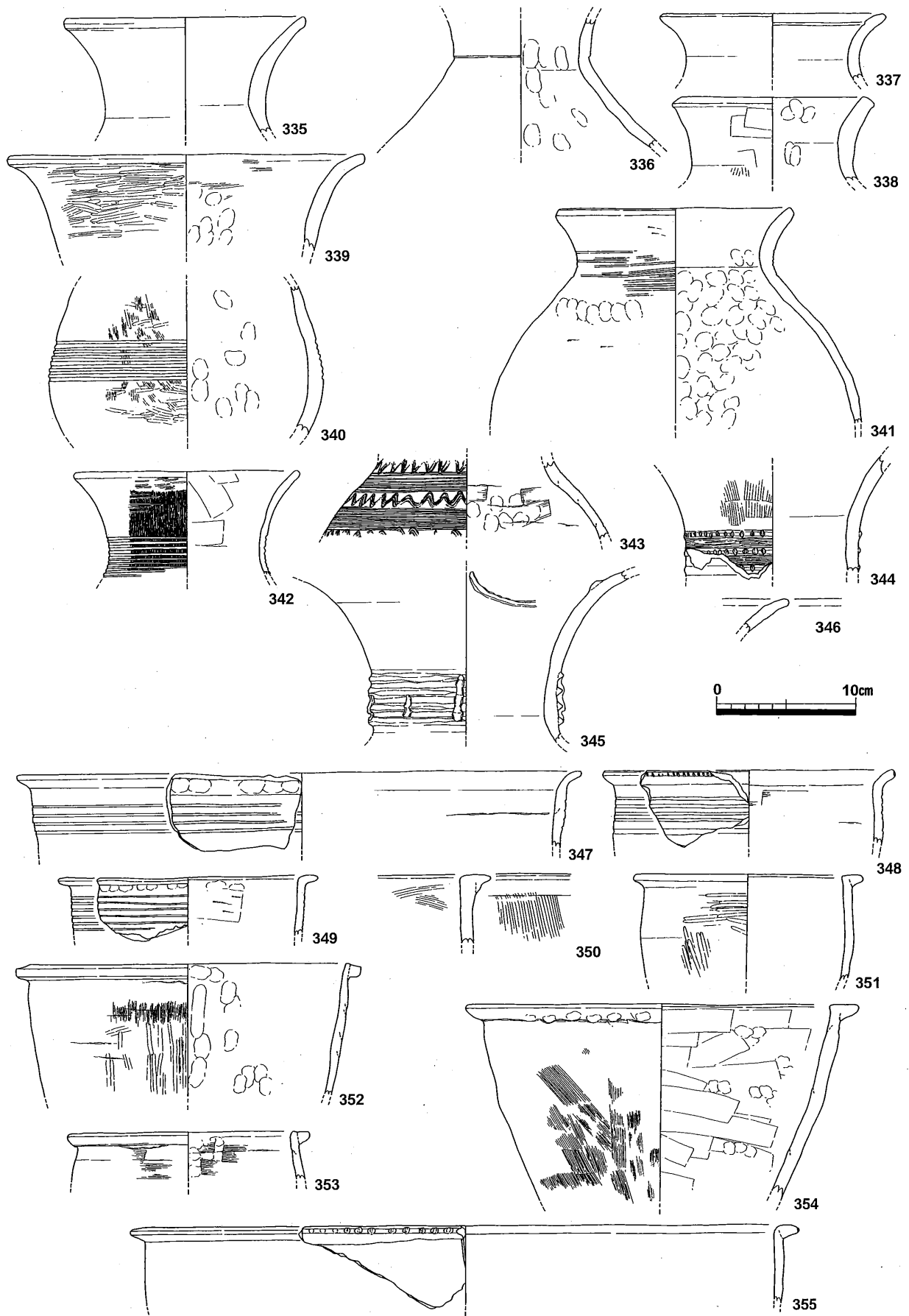
335～394は上層から出土した遺物である。335～346は壺。335・337・338は頸部が無文のもの。頸部がやや長めのもの(335)と短めのもの(337・338)がある。337は頸部内面に沈線が1条巡る。336は頸部に段があるもの。340～343は頸部または胴部にヘラ描きまたは櫛描沈線を持つ。340は頸部から上を欠くが、胴部最大径よりやや上に7条のヘラ描き沈線を施す。341・342は頸部に多条の櫛描沈線を施す。341は短めの頸部で体部は丸みを持つ。342はやや長めの頸部を持つ。343は体部上半の破片。櫛描沈線の間に櫛描波状文を施す。344・345は頸部の括れ部に突帯を持つ。344は3条の貼付突帯が残り、貼付突帯の上面に刻目を付ける。突帯と突帯のあいだはヘラミガキをする。345は内面加飾の壺。頸部には4条の貼付突帯を付け、その上から縦方向の棒状の突帯を付ける。棒状の突帯は貼付突帯の最上段から最下段まで及ぶものが1ヶ所、最下段から3条目までしか及ばないものが3ヶ所残る。頸部の残存量は3/8程度であり、長めの棒状突帯は多くて2ヶ所、残りは短めの棒状突帯であろう。貼付突帯は一部剥離している個所があるが、その部分には浅い沈線が残されており、突帯を貼る部分に目印を付けたと考えられる。内面には連弧状に貼り付けた突帯が残る。

347～375は甕。347～349は如意状口縁を持つ。347・349は口縁部を折り曲げた際の指押さえの痕跡を

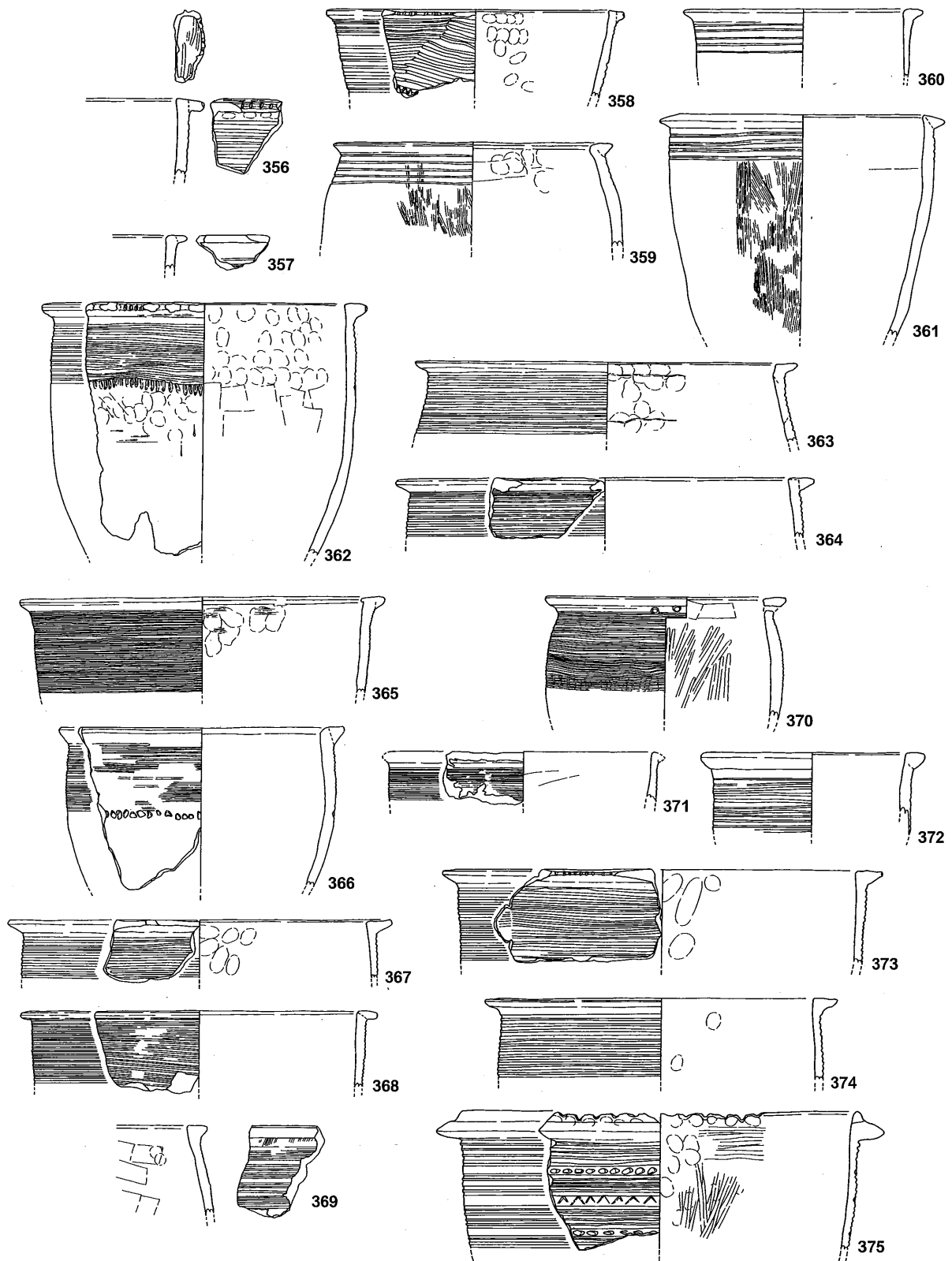


- 1 褐色粘質土
- 2 褐色砂混粘質土
- 3 明灰色砂混粘質土
- 4 褐色砂質土
- 5 暗褐色粘土
- 6 暗灰色礫・くさり礫混粘質土(土器多)
- 6' 暗灰色砂・小礫混粘質土
- 6'' 暗灰色くさり礫混粘質土
- 6''' 褐色砂混粘質土(西肩にくさり礫が多い)
- 7 灰色粘土
- 8 褐色粘土
- 9 赤茶褐色砂混粘質土
- 10 9層に似るが9層よりやや暗い
- 11 灰褐色粘質土
- 12 暗黄灰色砂混粘質土(非常に固い)
- 13 暗黄茶灰色粘質土(非常に固い)
- 14 褐色粘土
- 15 黒灰色粘土
- 15' 黒灰色粘土(上面にFe沈着)
- 15'' 暗灰色粘土
- 16 暗灰色砂礫混粘土
- 17 灰色粗砂(部分的に下部に粘土堆積,そこから土器多量に出)
- 18 暗灰色粗砂質土
- 18' 暗褐色くさり礫混粘質土
- 19 暗灰色粘土
- 20 暗灰色細砂粘土(ラミナ状)
- 21 暗灰色シルト質粘土
- 22 21層と41層が混じった土
- 23 黒灰色砂混粘土
- 24 黒色粘土
- 25 くさり礫に暗灰色粘土混
- ☆ 黒灰色粘土ブロック
- 26 灰色シルト質粘土
- 27 黒灰色粘土(砂、ラミナ状、礫混)
- 28 黒灰色粘土(くさり礫混)
- 29 褐色砂
- 30 灰色砂礫(粘土ブロック混)
- 31 暗灰色粗砂
- 32 暗灰色粘土(砂、ラミナ状)
- 33 暗灰色粘土(砂、ラミナ状)
- 34 暗青灰色細砂
- 35 暗灰色粘土
- 36 暗灰色砂混粘土(礫均等に混じる、土器多)
- 37 暗褐色砂混粘質土(1cm前後のくさり礫混)
- 38 暗灰色粘土(くさり礫、礫混)
- 39 灰色砂礫
- 40 明黄灰色シルト
- 41 白灰色砂質土
- 42 赤茶褐色弱粘質土
- 43 灰褐色砂
- 44 黄灰色砂礫
- 45 灰色砂レキ(くさり礫多い)
- 46 褐色砂レキ
- 47 明黄灰色シルト

第55図 SRk01断面図 (1/40)

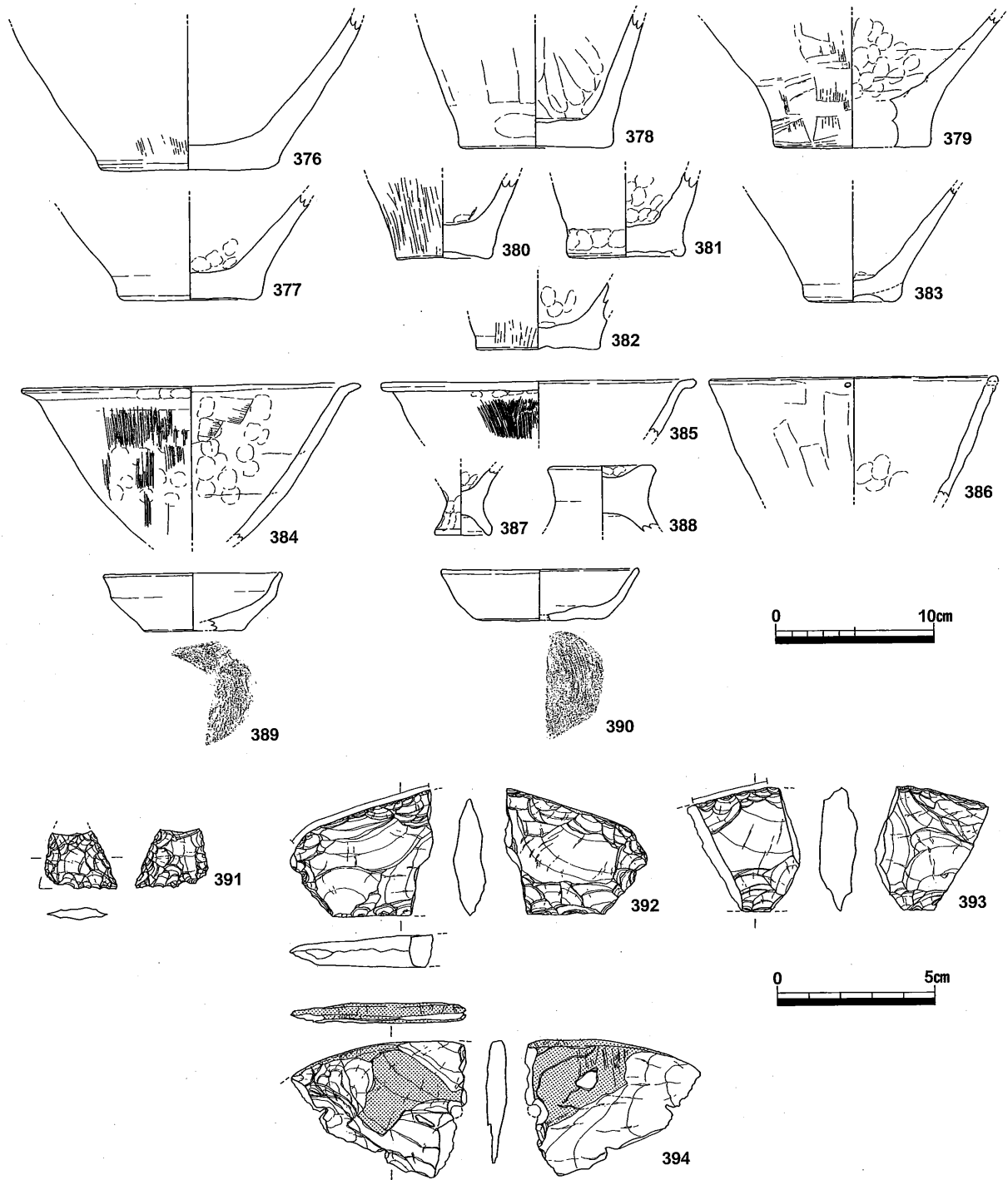


第56图 SRk01上層出土遺物① (1/4)



第57図 SRk01上層出土遺物② (1/4)

顕著に残す。349は逆L字型口縁に近い形状である。いずれも体部にヘラ描き沈線を持ち、347は4条、348は5条以上、349は6条以上の沈線を施す。348は口縁端部に刻目を持つ。350～374は逆L字型口縁部を持つ。350～355は外面が無文のもの。外面にハケメを残すもの(350・354)、ヘラミガキをするもの(351)、両方の調整痕があるもの(352)がある。350のハケメは特に顕著に残る。355は口縁端部に



第58図 SRk01上層出土遺物③ (1/4)・(1/2)

刻目を持つ。356～364は体部にヘラ描き沈線を持つ。356・358・362は口縁端部に刻目を持つ。沈線は4～5条程度のもの(359～361)と8～13条のもの(356・358・362～364)がある。358は沈線の下部に三角形の刺突文を、362は楕円形の刺突文を入れる。359・361は外面にハケメが残る。

365～374は櫛描沈線を施す。373以外は口縁端部に刻目は持たない。366は沈線の下部に三角形の刺突文を持つ。370は口縁部直下に2孔1対の穿孔が1ヶ所に残る。櫛描沈線の下部には押し引き風の直線文が施される。375は口縁端部を波状にし、突帯は口縁部よりやや下がった位置に付く。体部は5条ヘラ描き沈線+円形刺突文+5条ヘラ描き沈線+山形刺突文+5条ヘラ描き沈線+楕円形刺突文+ヘラ描き沈線(以下欠損)を施し、内面はヘラミガキをする。逆L字型口縁部の突帯の形態は断面がやや幅広の

四角形のもの（352・353・358）、幅の狭い四角形のもの（351・356・357・367・368）、緩い三角形のもの（354・360・362・364・369・373・374）がある。

376～383は底部。382は先端で剥離痕跡が見える。383は蓋の可能性もある。

384～386は鉢。384・385は口縁端部を外反させ、体部は斜め上方に立ち上がる。386は口縁端部直下に孔が1ヶ所みられる。387は製塩土器である。388は蓋。

389・390は土師質土器坏。底部はともに回転糸切りによる。口径は10.9～12.4cm、器高は3.3～3.7cmである。坏EⅢ-1・4、13世紀前半中頃。

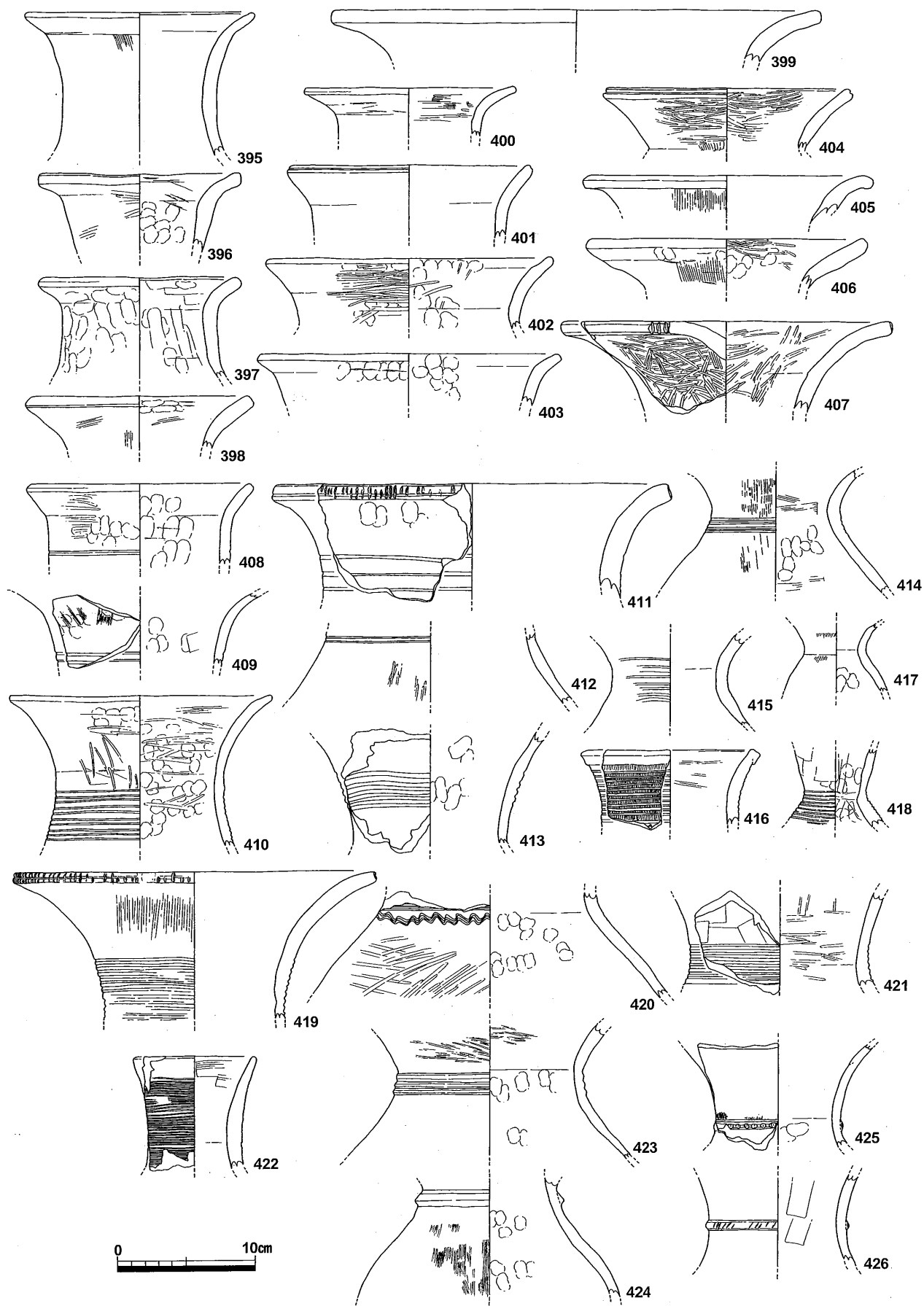
391～393は打製石器。サヌカイト製。391は石鏃。平基式。392は石庖丁。上部は敲打し、側縁にわずかに抉りを持つ。393は楔形石器。上部は敲打する。394は磨製石庖丁の未製品。穿孔が1ヶ所に残り、上部に縦方向の擦痕が残る。千枚岩製。

遺物は、土師質土器坏を除けば、おおむね前期Ⅱc期～中期初頭と考えられるが、中期初頭のものが多い。

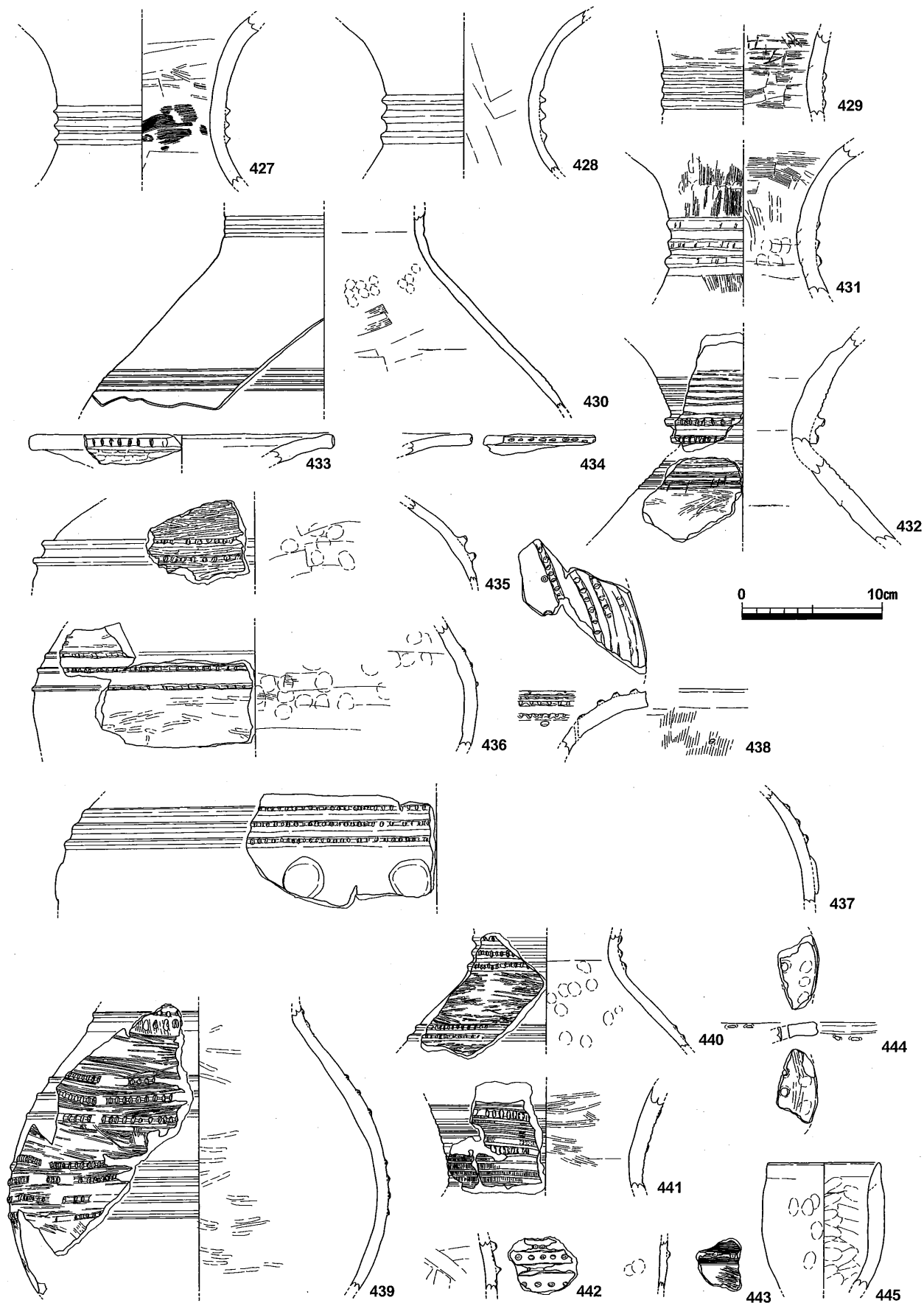
〈Ⅰ-25下層出土遺物〉（第59～68図、図版34～40）

395～612はⅠ-25部分の下層から出土した。土器はすべて弥生土器。395～445は壺。395～407は沈線や突帯がみられないもの。ただし、頸部まで残っていないものがあるので、この中でも沈線や突帯がめぐるものがある可能性はある。頸部は最も括れた場所から大きく緩やかに開くものと、直立気味に立ち上がる頸部から、口縁端部近くでさらに緩く屈曲して開くものがある。404は口縁端部に沈線を1条巡らせる。407は口縁端部に刻目が3ヶ所に残る。他の残存部分でも刻目のある場所とない場所があり、刻目は全体に施されたわけではない。402・404・407は内外面を横方向にヘラミガキする。408～422は頸部に沈線をめぐらせるもの。頸部はやや直立気味に立ち上がって端部で開くもの、全体に大きく開くものが多いが、416のように、直立気味に上がる頸部で、口縁部があまり開かないものもある。沈線はヘラ描きのもの（408・409・411～413・416・418）、半裁竹管によるもの（410・414）、櫛描きによるもの（420～422）がある。411・419は口縁端部に沈線を1条施した後、縦方向に刻目を入れる。420は頸部の櫛描沈線の下部に波状文が描かれる。422は頸部ほぼ全面に櫛描沈線を施す。423・430は頸部に削出突帯を持つ。430は頸部と体部上半部にヘラ描き沈線を施し、頸部沈線の下端部と体部沈線の上端部に段を持つ。424～429・431・432は頸部に突帯を貼り付けるもの。頸部は長めで体部と頸部の境が緩やかなものが多い。424は無文の貼付突帯が1条残存するが、その上部にさらに1条はあるようである。425・426は刻目を持つ貼付突帯を頸部に1条巡らせる。427～429・431は頸部に3条の貼付突帯を持つ。431には貼付突帯に刻目が付く。432は頸部に2条の刻目貼付突帯を配し、その上部にヘラ描き沈線を描く。433・434は口縁部小破片。口縁端部は大きく開き、端部に刻目（433）や刺突文（434）を持つ。435～437は体部に刻目の付く貼付突帯が残る壺。体部最大径からやや上部に435は2条、436・437は3条の貼付突帯が残る。435・436は体部に密なヘラミガキが残る。437は突帯の下部に円形浮文を貼り付ける。438は内面加飾の壺口縁部小片。4条の刻目貼付突帯を貼り、その下部に2孔の小孔がある。439～441は器面を多条の沈線で飾るもの。439は刻目貼付突帯が体部に7条、頸部に2条、440は体部に2条、頸部に3条残り、441は頸部に2条の刻目貼付突帯と多条のヘラ描き沈線を組み合わせる。442・443は体部小破片。貼付突帯に442は竹管文、443は押し付けたような刻目を持つ。いずれも439・440のような装飾性の強い壺の体部片と考えられる。444は口縁部小破片。2ヶ所に穿孔がみられる。445は砲弾型の器形。指押さえ痕を多く残す。

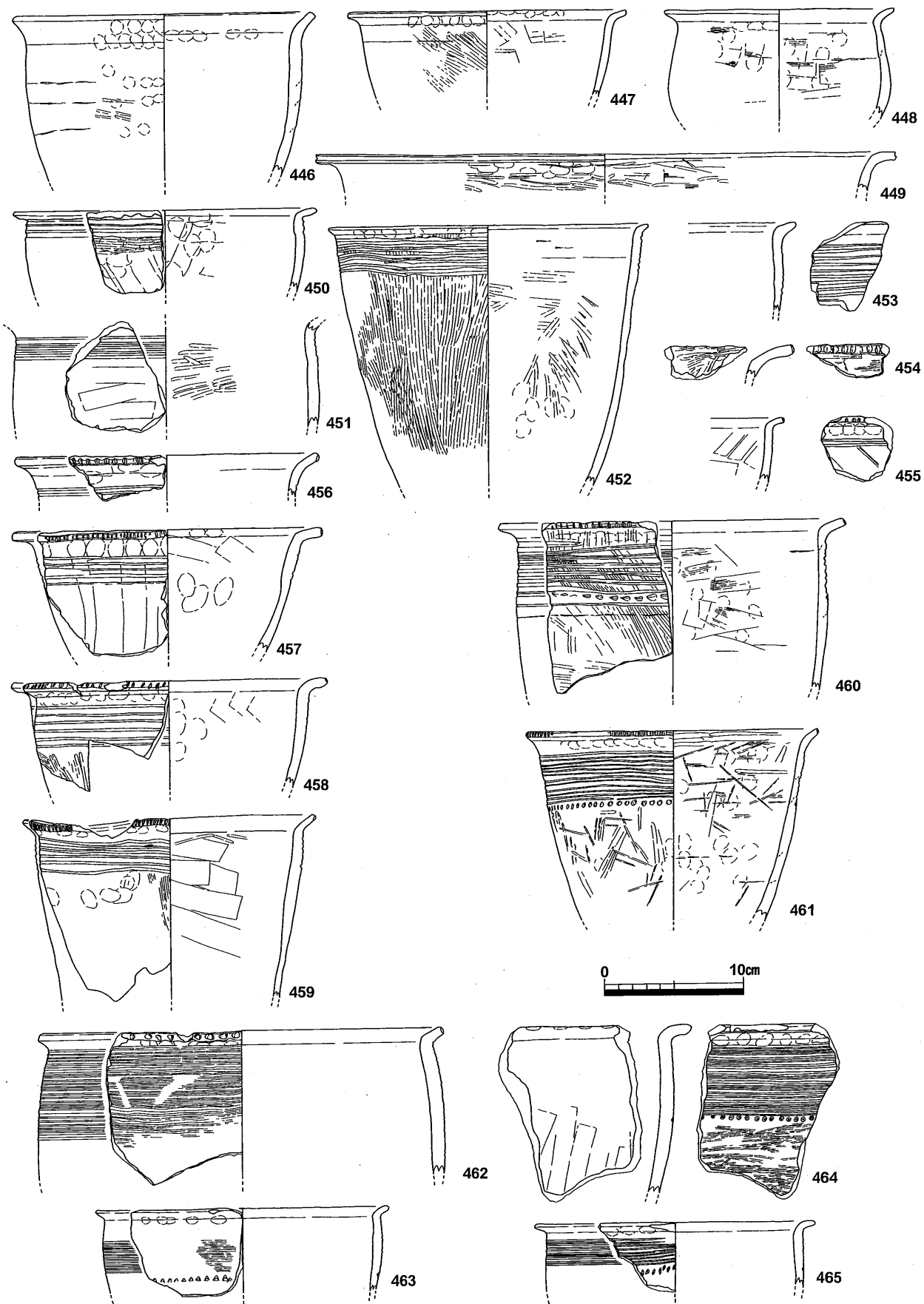
壺はヘラ描き沈線、貼付突帯はともに多条化したものが多く、両者を併用したものもある。時期はおおむねⅡc期～中期初頭に収まるものと考えられる。



第59図 SRk01下層 (I-25) 出土遺物① (1/4)



第60図 SRk01下層 (I-25) 出土遺物② (1/4)



第61圖 SRk01下層 (I-25) 出土遺物③ (1/4)

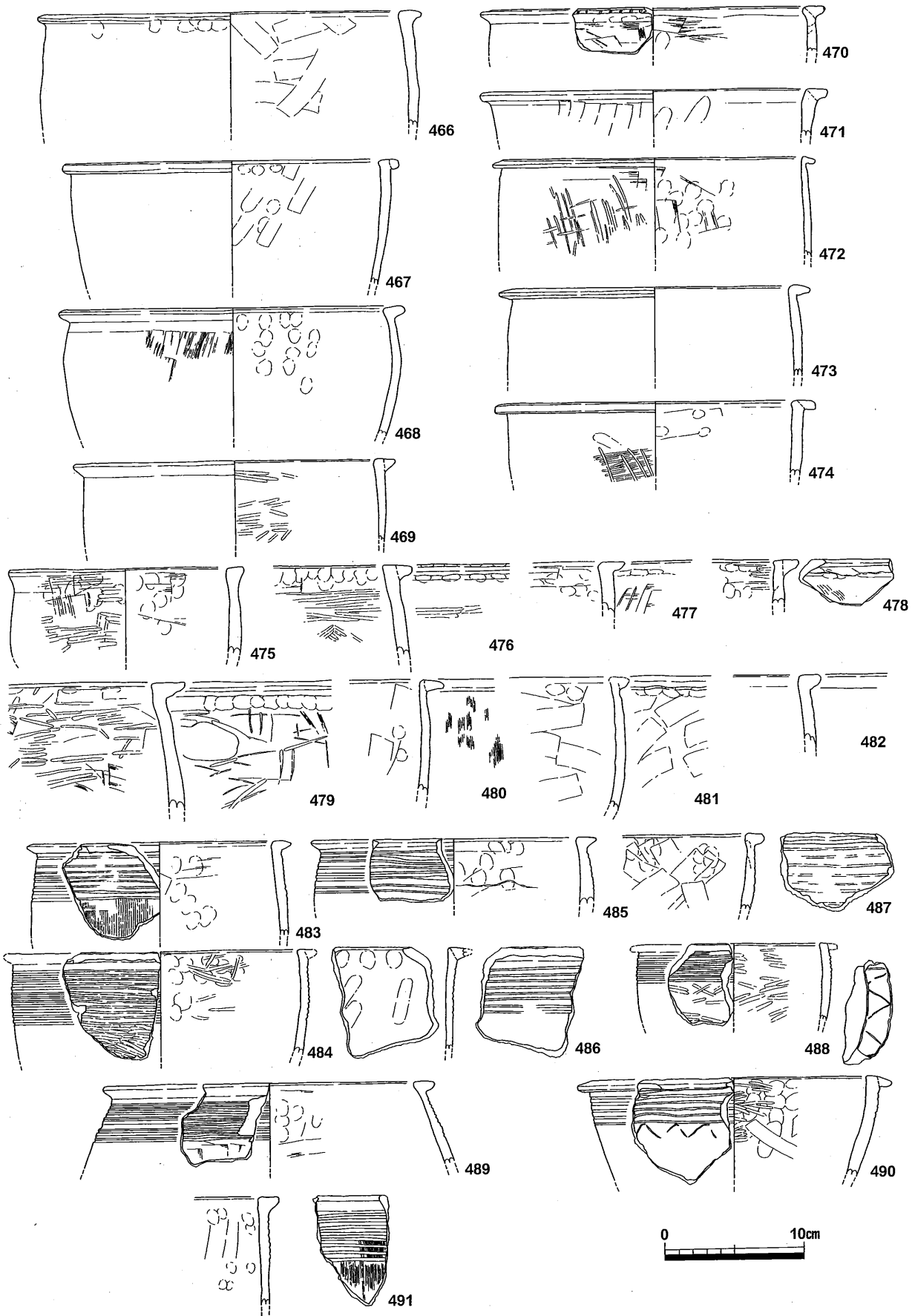
446～529は甕。446～465は如意状口縁を持つもの。446～449は無文。外面はヘラミガキを施す。449は口縁端部が大きく外へ反り、沈線が巡る。内外面は横方向へ密にヘラミガキを施す。450～460はヘラ描き沈線を持つもの。ヘラ描きは5～7条ものが多数を占めるが、453のように10条程度施されるものもある。455～460までは口縁端部に刻目を持つ。454は口縁端部の反り方や胎土、ヘラミガキ調整などが449と類似し、他のものとは若干異質である。460は9条のヘラ描き沈線の下部に左が細い水滴状の楕円形の刺突文を配し、その下部にさらにヘラ描き沈線を描く。461は口縁端部の刻目は一定間隔を開けながら付けられ、体部の沈線は深い沈線と浅いの沈線が交互に配される。深い沈線と浅い沈線の1セットが平行して描かれており、細い竹管で施文したと考えられる。最下段には竹管の幅とほぼ同じ直径の円形刺突文が施される。462～465は櫛描沈線を施すもの。462の口縁端部の刻目は太く、指頭圧痕に近い形状。他は刻目を持たない。櫛描沈線の下部には三角形の刺突文(463)、円形刺突文(464)、楕円形の刺突文(465)が施されている。櫛の単位は462・463で6本/単位と考えられる。465は沈線間の間隔が狭く3本/単位で規則性があると思われるが、文様帯が狭くヘラ描き沈線かもしれない。

466～520は逆L字型口縁を持つもの。466～482は無文。479は体部の一部に剥離痕が見え、把手状のものが付いていたと考えられる。外面調整はヘラミガキを施すものとハケメのものがある。口縁端部の刻目は470だけ認められる。483～509・518はヘラ描き沈線を施すもの。483～491・505・510・518は口縁端部に刻目を持たない。ヘラ描きの条数は、全容のわからないものもあるが、8条のものが最も多く、おおむね6条～10条程度で、それ以上のものも含まれる。概して沈線間の幅は狭く、櫛描沈線と判別が付きがたいものもあるが、沈線間の間隔に規則性が見られないものはヘラ描き沈線とした。507は沈線が2条1単位で施されているようで、竹管による施文である可能性が高い。外面はハケメ調整を残すものとヘラミガキ調整を残すものがある。490は沈線の下部に浅く山形にヘラ描きし、口縁部上面にも同様の浅い山形文を描く。492～509(505は除く)は口縁端部に刻目または刺突文をもつ。492・498・509は棒状の工具で刺突して施文しており、残りは刻目を施す。ただし493・494の刻目は口縁端部摩滅のため、全容は不明。503はヘラ描き沈線の下部に2条で縁取りした山形文が2段分残る。511～520(518以外)は櫛描沈線を施すもの。516・517は口縁端部に刻目を施す。511～513は櫛描き文+波状文。512は沈線文帯の間に波状文を入れる。514は崩れた波状文の下部にさらに三角形の刺突文を加える。515は沈線は確認できないが、器表が非常に摩滅しているので、櫛描沈線が摩滅した可能性がある。下部には円形の刺突文がある。516は沈線文の下部に三角形の刺突文を、517には円形浮文を施す。521は頸部がすぼまって丸い体部を持つ器形。体部には櫛描沈線を施し、その下部には円形の竹管文を配する。頸部に2孔1対の穿孔が1ヶ所認められる。522・523も521と同様の器形である。522は櫛描沈線+波状文、523は波状文を描く。櫛描の単位はわかる範囲では5条/単位(512・518・520)、4条/単位(511・513・514・516)であった。多くは突帯で隠れる部分にまで沈線が及んでいたと思われる。524～526は口縁端部から少し下がった場所で突帯が付く。ヘラ描き沈線を4～6条施し、突帯には刻目が付く。524・526の体部にはハケメが明瞭に残る。526は口縁部を波状にする。527は小型のもの。如意状口縁を持ち、無文、目立った調整痕を残さない。528は突帯部分に穿孔が2ヶ所残る。529は鉢状の器形。ヘラ描き沈線を10条施す。突帯は認められないが、剥離して欠損した可能性もある。

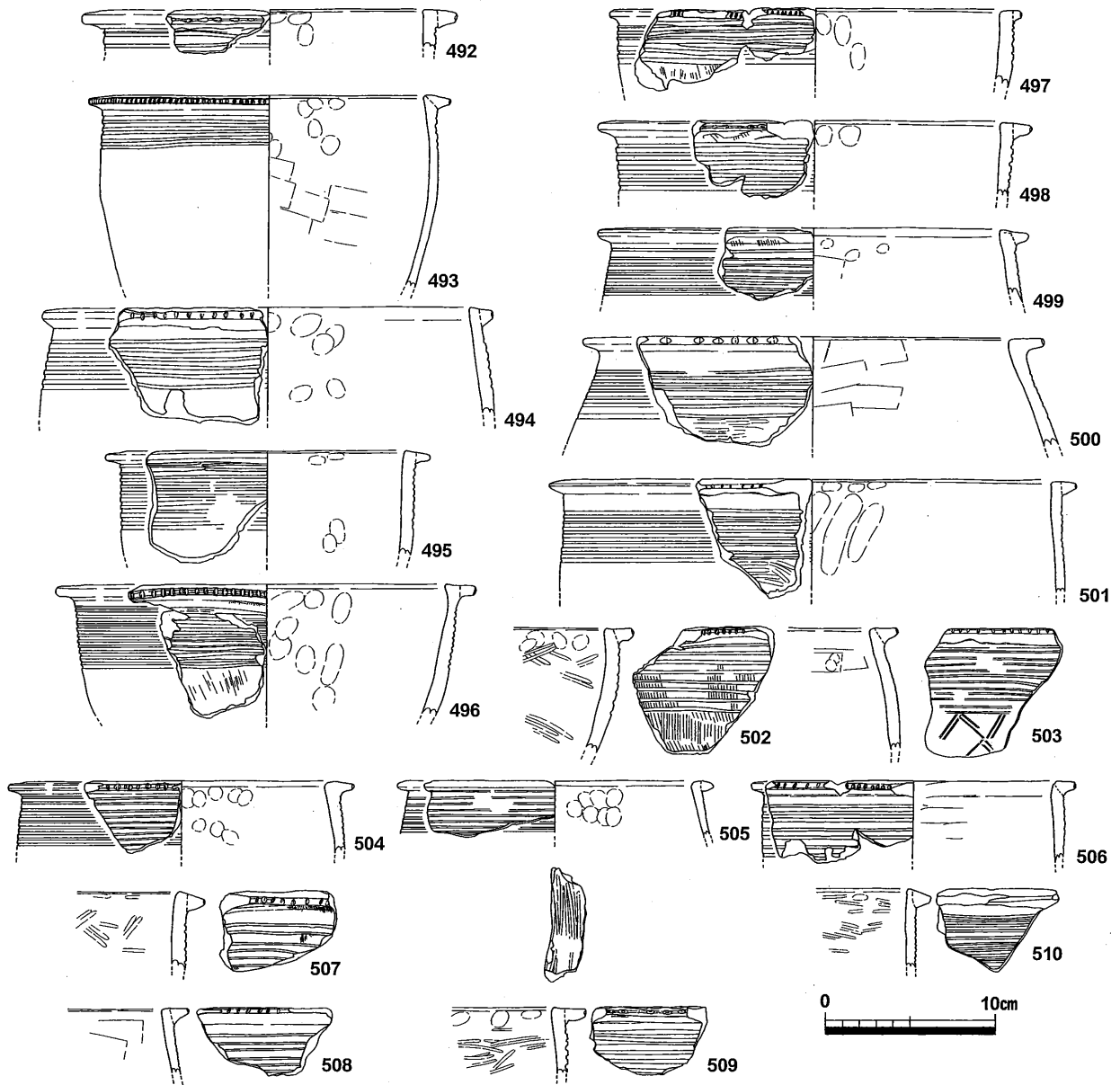
甕の口縁部形態は如意状口縁が26%、逆L字型口縁が70%、その他が4%であった。器表面は無文のものが26%と最も多く、次いでヘラ描き沈線7条以上のもの、櫛描沈線に刺突文や波状文が付くもの、4～6条のヘラ描き沈線のものが多い。

530～558は平底の底部から体部が開き気味に立ち上がるもの。おおむね壺底部になると考えられる。

536は断面に粘土を継ぎ合わせた痕跡が見える。外面にはハケメが残るもの、ヘラミガキを施すもの、板ナデするものがある。559～583は平底の底部から体部の立ち上がりが急なもの。おおむね甕の底部に



第62図 SRk01下層 (I-25) 出土遺物④ (1/4)

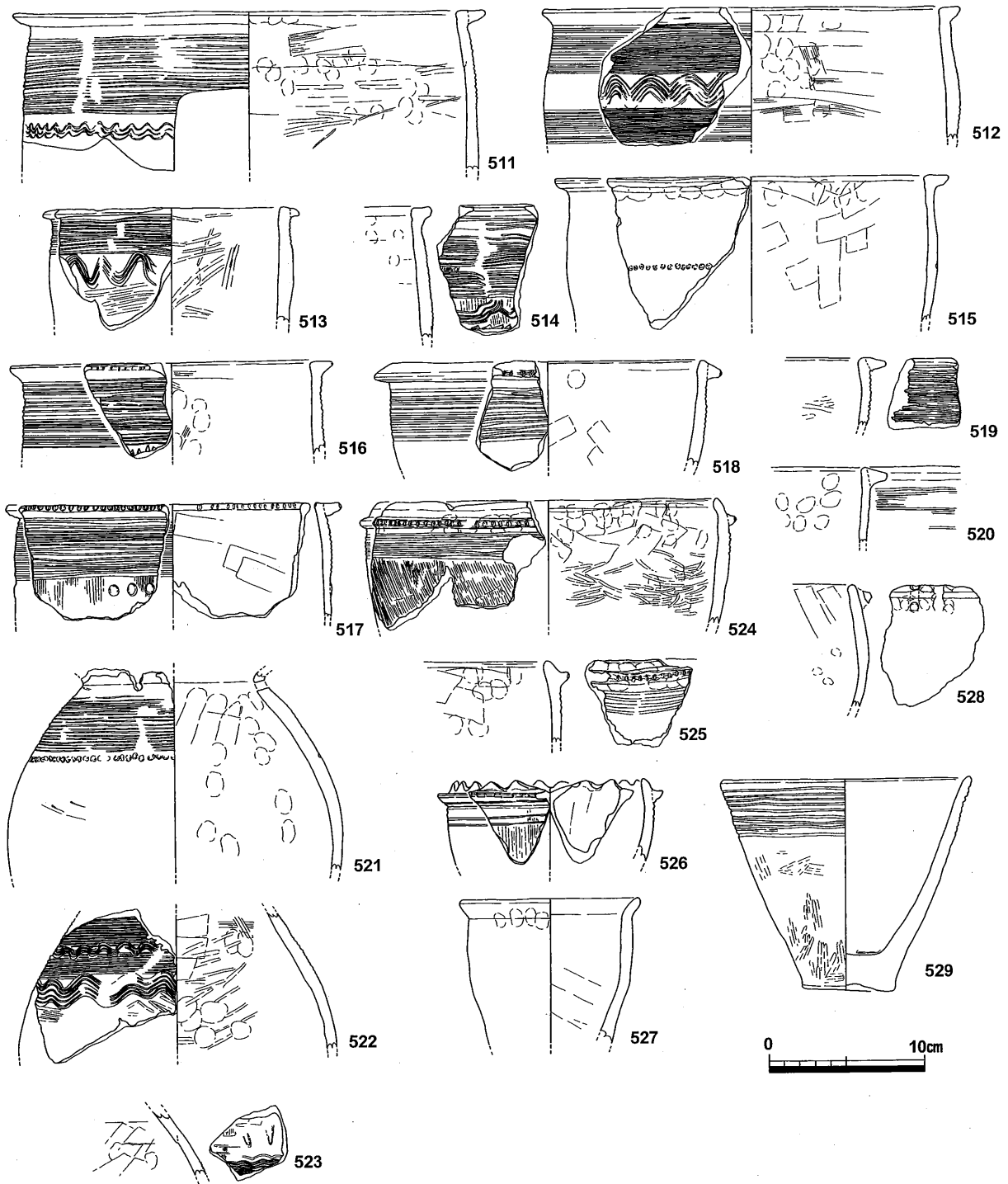


第63図 SRk01下層 (I-25) 出土遺物⑤ (1/4)

なると考えられる。581は小型の壺か。584～588は底部に穿孔したもの。いずれも焼成後に穿孔する。584・586・587には外面にハケメ調整を施す。

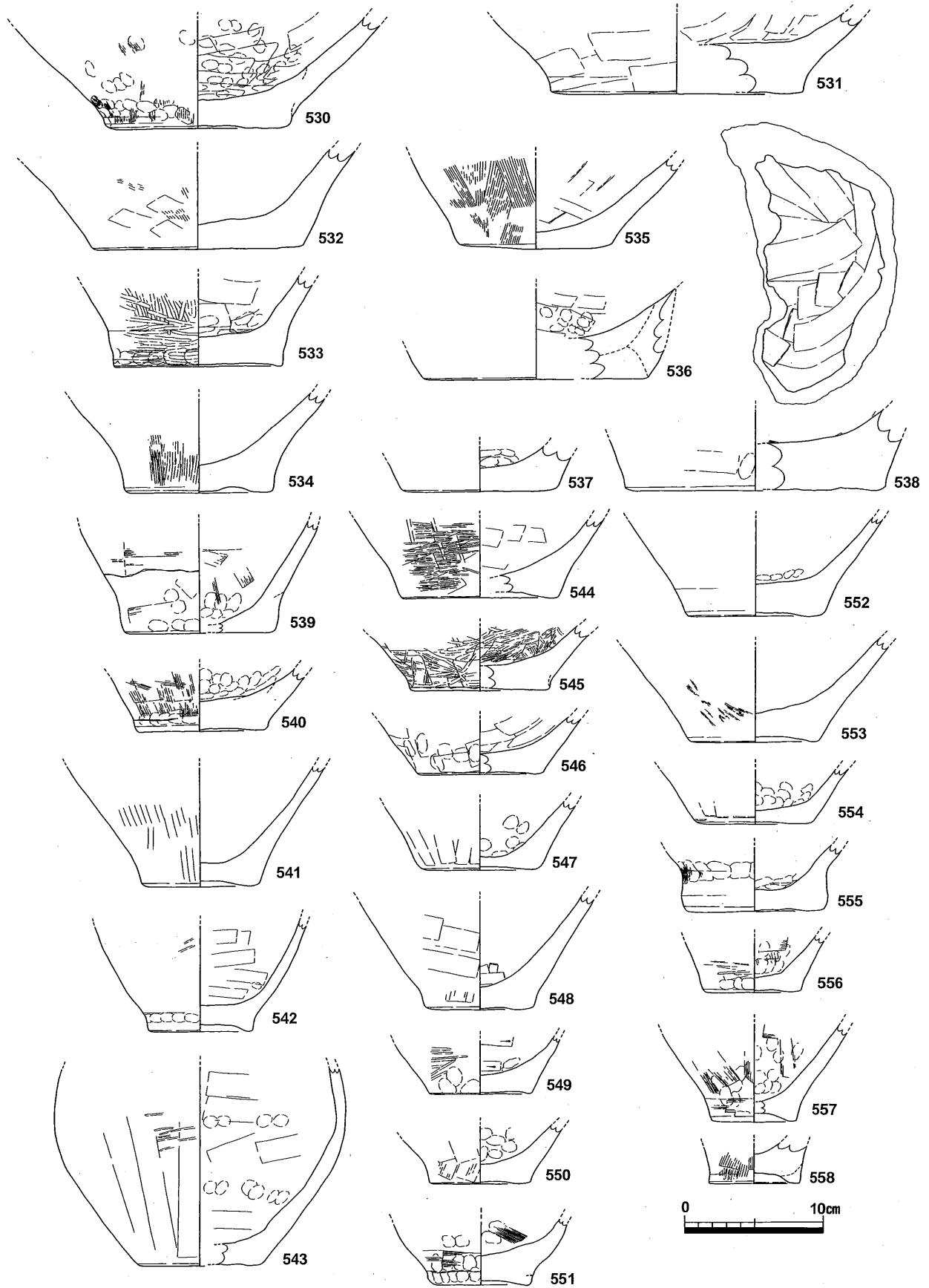
589～595は蓋。589・590・590・595は頂部がやや扁平で薄く、頂部と体部の境のくびれは小さい。591・593・594は頂部径が小さく厚く、頂部と体部の境のくびれが大きい。594は対角線上に1孔ずつ2孔の、595は2孔1対の穿孔が1ヶ所に残る。596～598は鉢。596・597は口縁端部を如意状にし、体部を斜めに立ち上げる。598は口縁端部を平たくし、口縁部の下部に粘土を貼り付ける。599は高坏。脚部と坏部の境部分が残る。600は不明。括れ部分の指押さえ痕が顕著。601は管状土錐。表面にあまり調整痕跡を残さない。

602～608は打製石器。いずれもサヌカイト製。602はスクレイパーか。側縁部の数ヶ所に敲打痕を残すが、ほとんど加工されず刃を作り出すこともない。603～605はスクレイパー。606は打製石斧の基部。上・下部が欠損。607は石鋏で全側縁に刃を作り出している。風化が著しい。608は楔形石器。上部に敲打痕、下部には磨滅痕を残し、表面に自然面を残す。

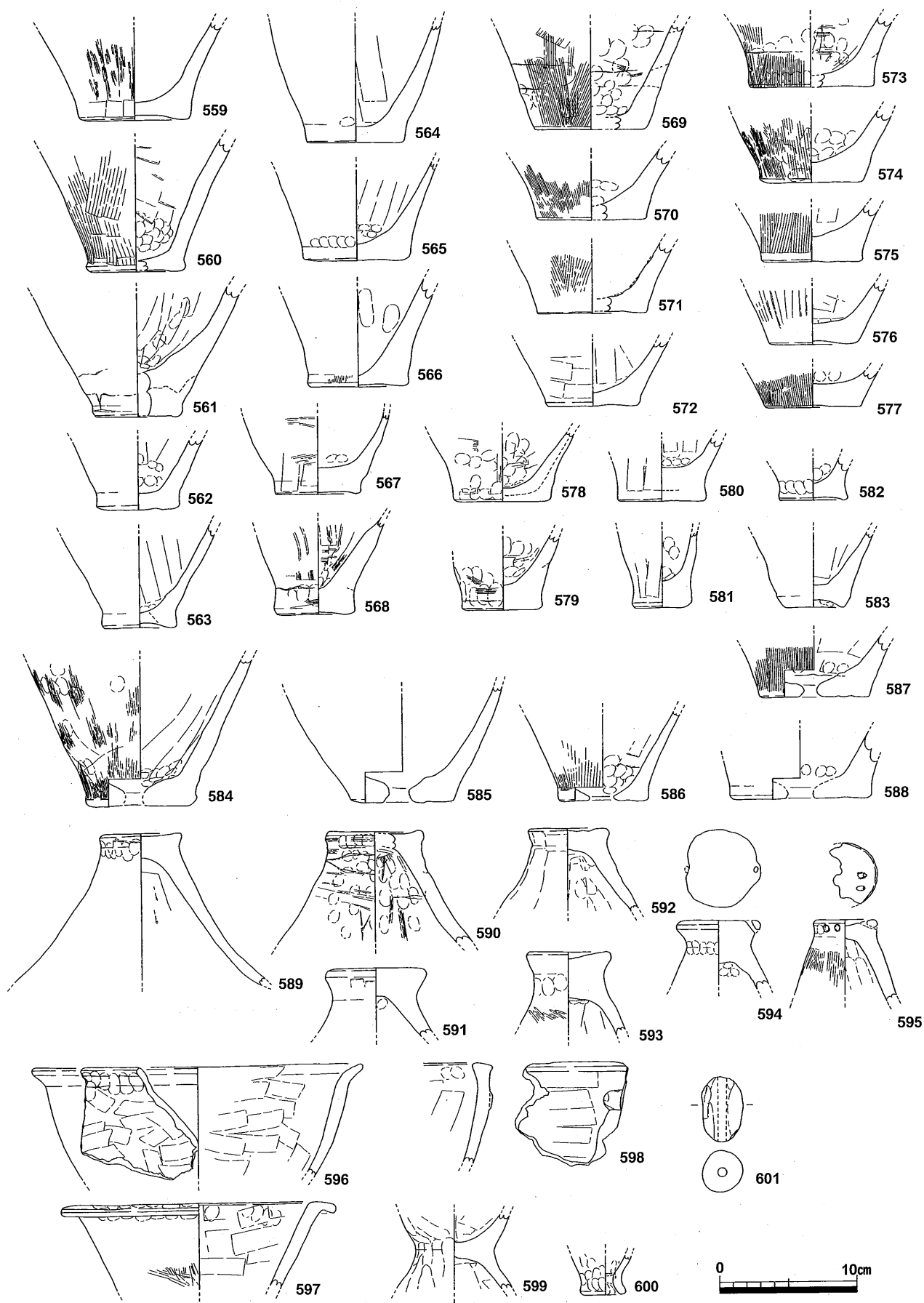


第64図 SRK01下層 (I-25) 出土遺物⑥ (1/4)

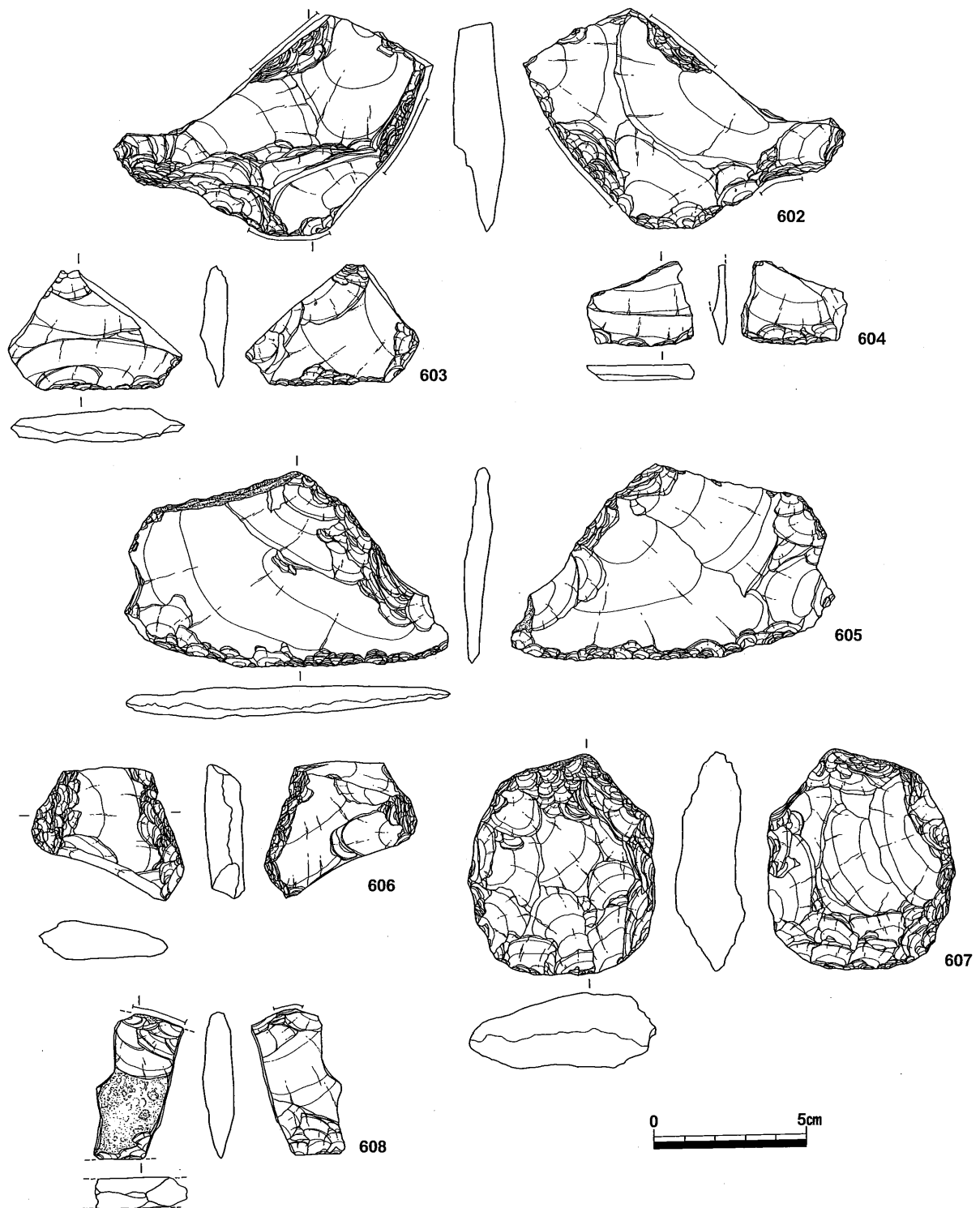
609～612は磨製石器。609・610は石庖丁。609は流紋岩で、上部の一部と表面の一部に敲打痕を残す。穿孔が1ヶ所残る。610は未製品か。表・裏面とも端部分を研磨し、中央部分は未調整である。安山岩。611は環状石斧。側縁に敲打痕を残す。表・裏面ともに擦痕がある。側縁中央付近と上部に抉りを入れている。後に石錘などに再利用したものか。半深成岩製。612は柱状片刃石斧か。擦痕を残す。石材不明。



第65図 SRK01下層 (I-25) 出土遺物⑦ (1/4)



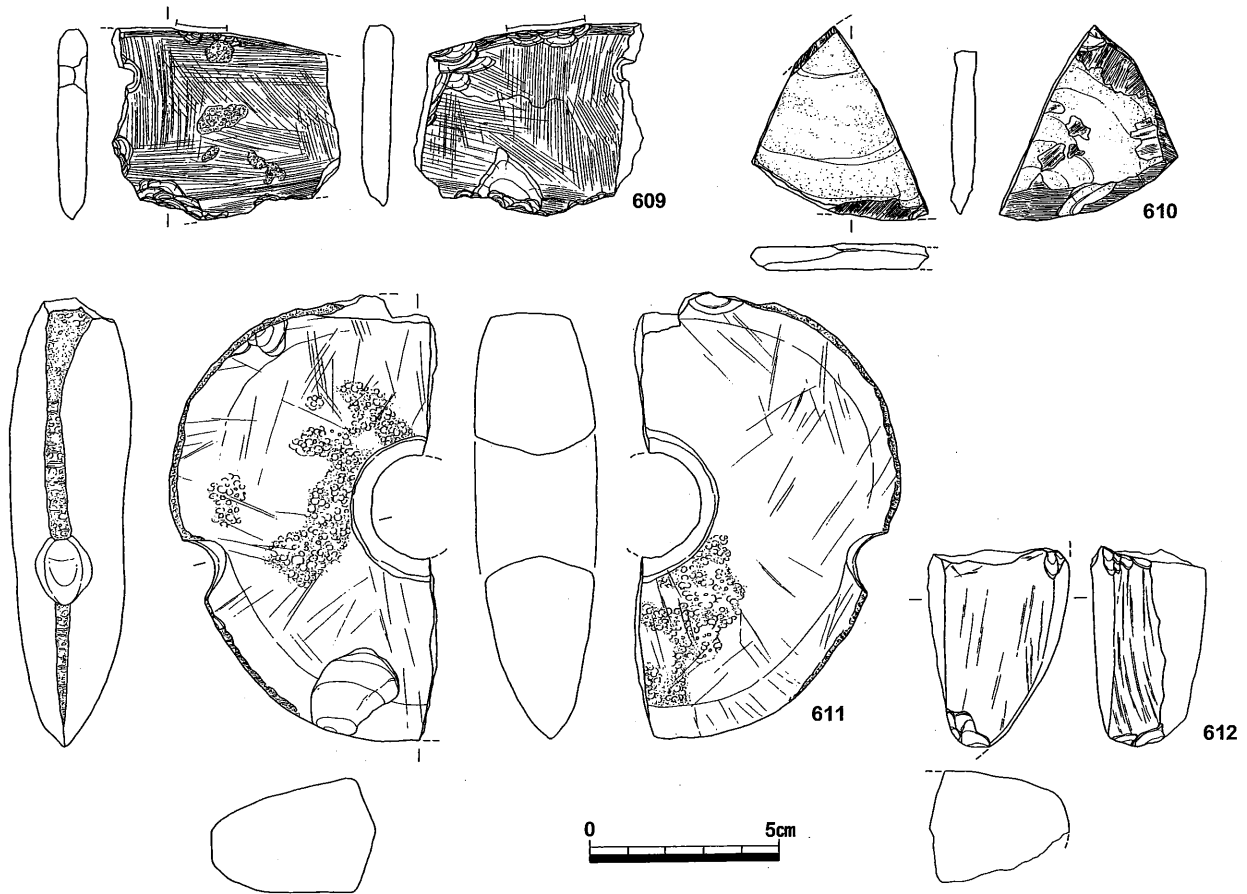
第66图 SRk01下層 (I-25) 出土遺物⑧ (1/4)



第67図 SRk01下層 (I-25) 出土遺物⑨ (1/2)

〈I-27下層出土遺物〉 (第69~73図、図版14、40~44)

613~695はSRk01下層のうちI-27で出土したものである。613~642は壺。613は頸部に1条の沈線を巡らせる。614~621は沈線や貼付突帯が認められないもの。ただし、頸部の下部まで残っていないものも含まれており、必ずしも無文とはいえない。614~617はやや長めの頸部から口縁部が緩く開く。617は口縁端部に沈線を1条巡らせる。619・622も同様の器形と考えられる。621は口縁端部に凹線を巡らせ、その後刻目を付ける。624~631は頸部や体部をヘラ描き沈線で飾るもの。624・625は頸部と胴部最

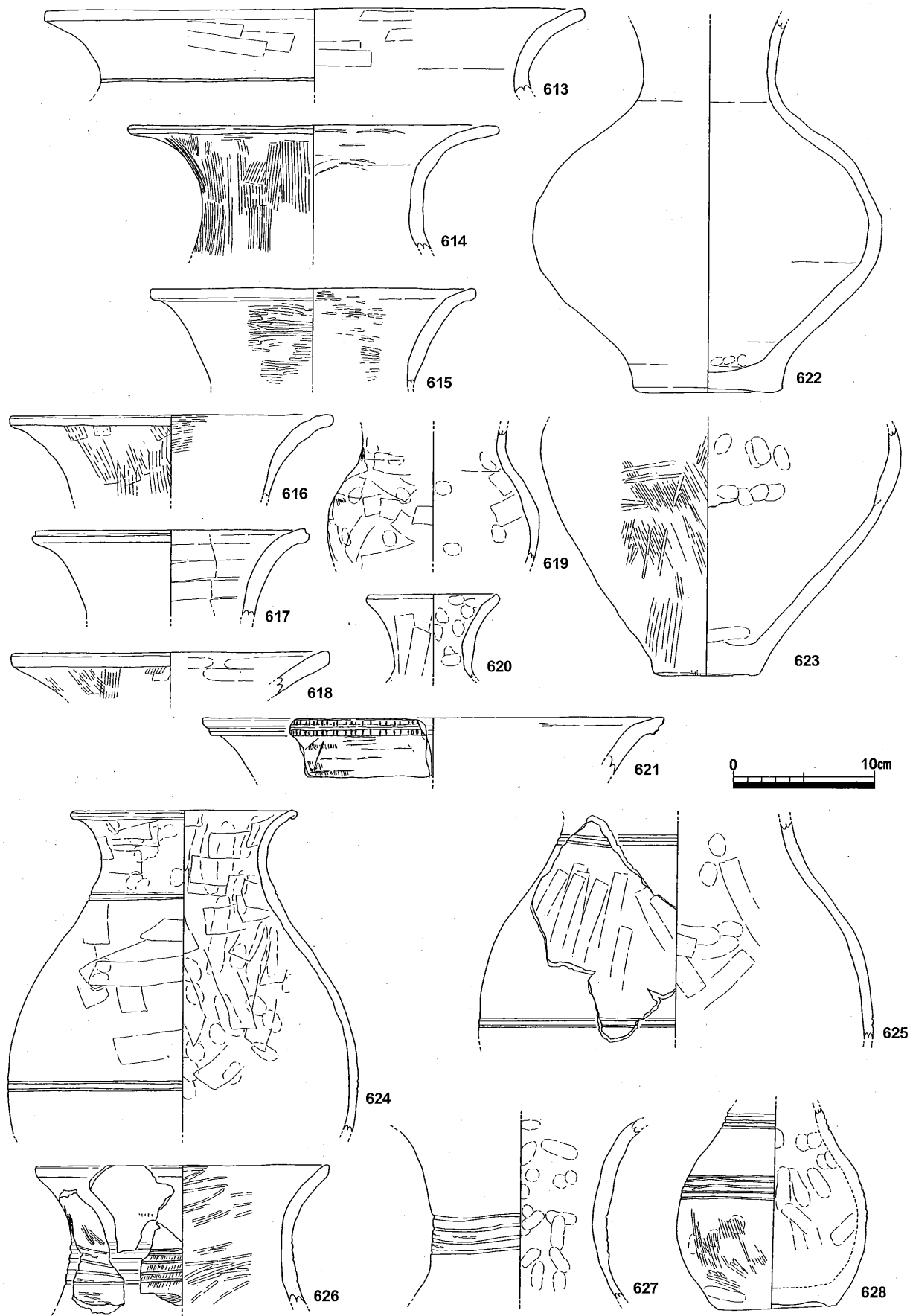


第68図 SRk01下層 (I-25) 出土遺物⑩ (1/2)

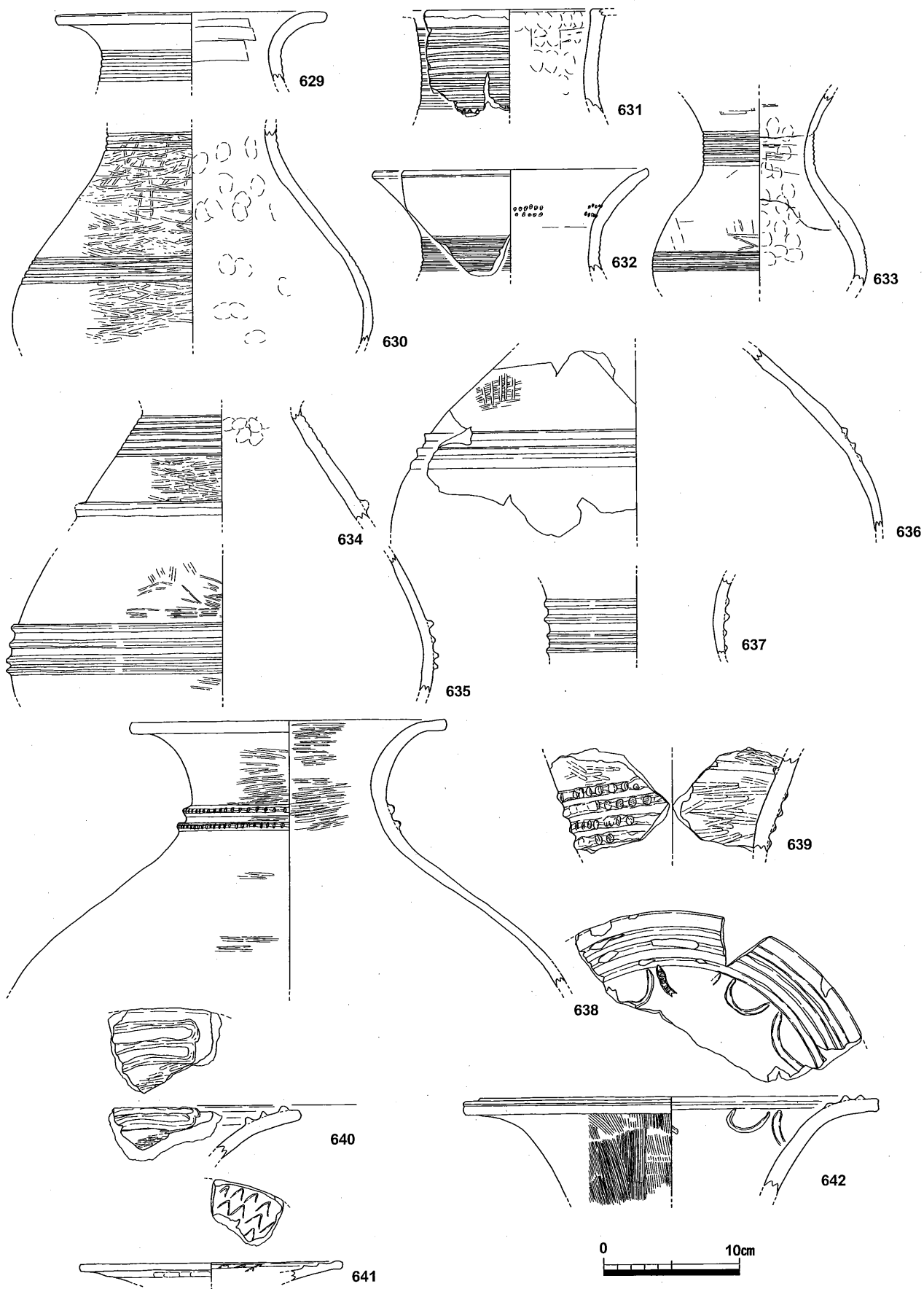
大径部分に2条のヘラ描き沈線を描く。胴部はあまり張らない。両者は同一個体の可能性が高い。626・627・629は頸部に4～5条のヘラ描き沈線を残す。629は口縁端部が大きく開く。628は小型の壺。頸部と胴部中央付近に3条以上+5条の沈線を施す。630も頸部に3条以上、体部やや上部に5条のヘラ描き沈線を施し、外面に横～斜め方向のヘラミガキをする。631はほぼ直立する頸部で14条のヘラ描き沈線を施した後、下部に三角形の刺突文を入れる。632・633はやや長めの頸部に櫛描沈線を施す。632は頸部内面に2段の刺突文を加える。刺突文は全面ではなく間隔をあけながら施文している。633は胴部最大径部分にも櫛描文を施す。634～639は頸部または胴部に貼付突帯があるもの。634は頸部直下にヘラ描き沈線を7条描き、体部最大径やや上側に貼付突帯が1条残る。635は胴部最大径の部分に4条の、636は体部最大径やや上側に3条の、637は頸部に少なくとも4条の貼付突帯を付ける。638・639は頸部に刻目貼付突帯を持つ。638は口縁端部が大きく開く器形で、頸部に刻目貼付突帯が2条付く。胴部にも剥離痕跡が見え、もともとは突帯があったと思われる。突帯が剥離して変色している部分の上下2ヶ所には浅い沈線が残され、突帯を貼り付ける目安にしていたと考えられる。640・642は内面加飾の壺。口縁は大きく開き、頸部内面を640は長方形の、642は3条の直線の下部に連続する連弧文の貼付突帯で飾る。641は浅い三角形の刺突文を連続的に配する。

壺の形態は頸部が長めで発達したものが大半を占め、くびれた頸部に口縁部が大きく開く形態のものは少ない。器面装飾は形態に対応して多条のヘラ描き沈線や櫛描沈線、貼付突帯を施すものが多い。

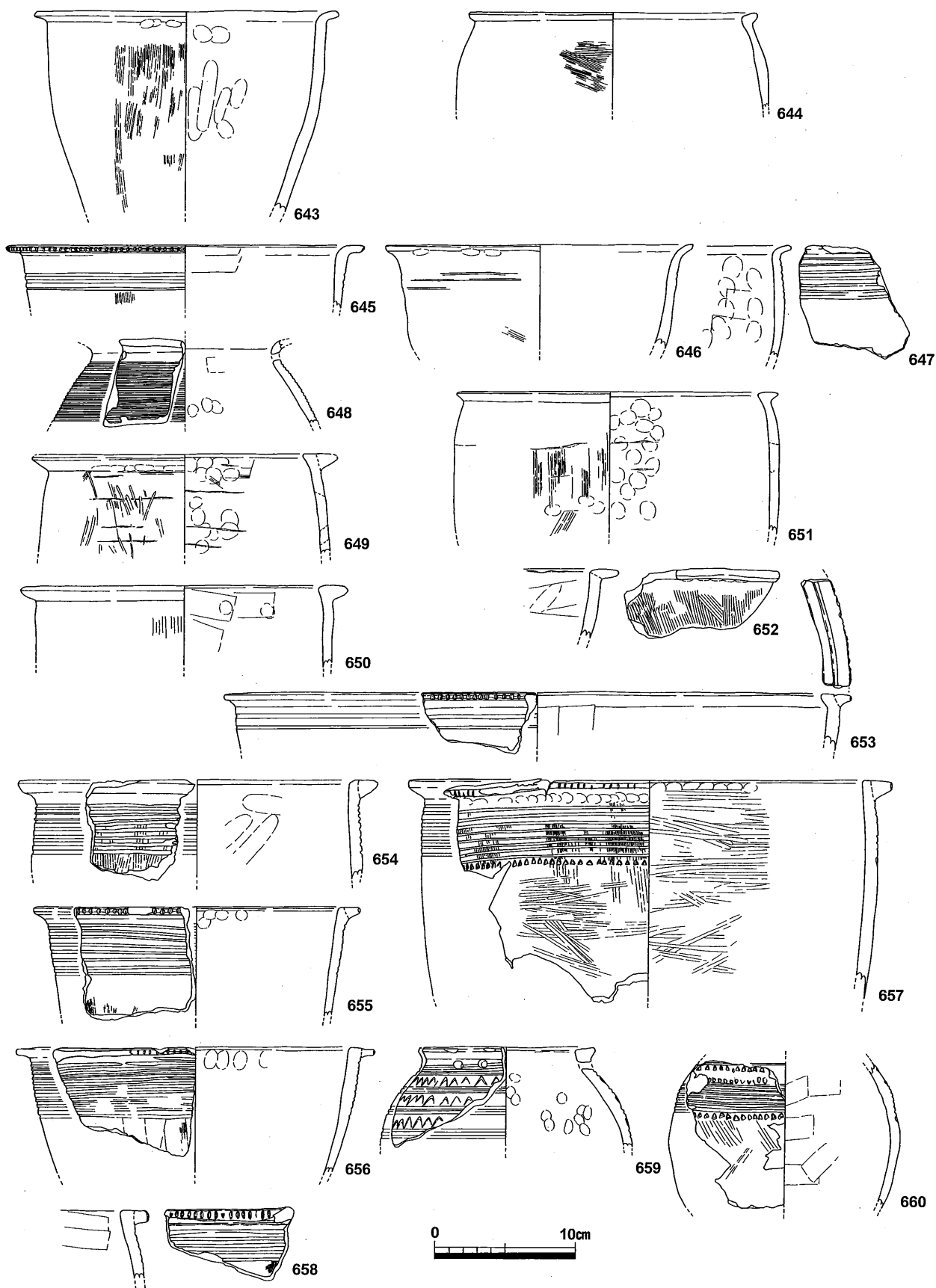
643～668は甕。643～647は如意状口縁のもの。643・644は無文。外面はハケメ調整をする。644は口縁端部は折り曲げているが、形態は逆L字形口縁に近い。645～647はヘラ描き沈線を持つ。645は口縁端部に刻目を残し、3条のヘラ描き沈線を施す。646は沈線が3条確認できるが、器表面の摩滅が著し



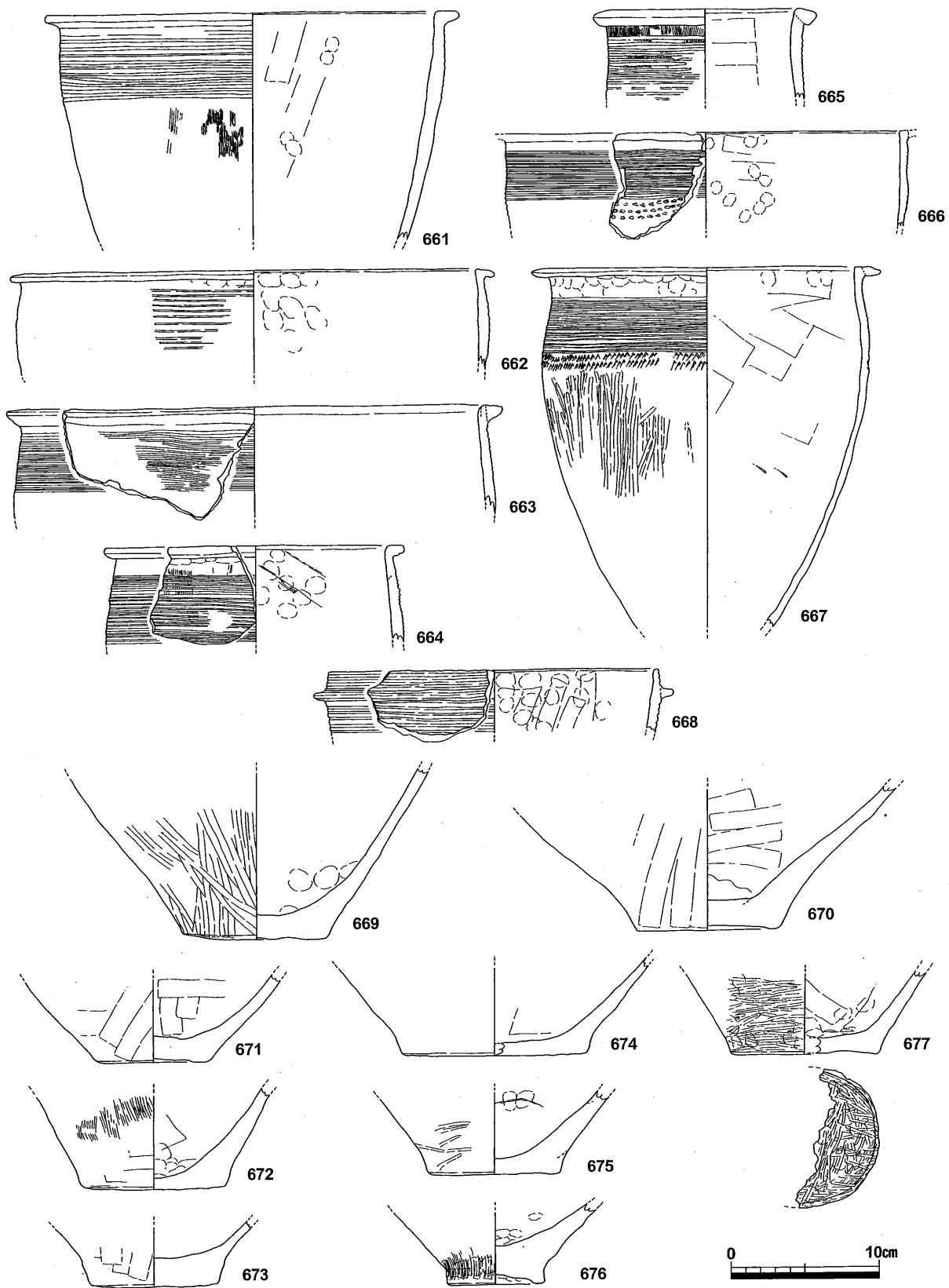
第69図 SRk01下層 (I-27) 出土遺物① (1/4)



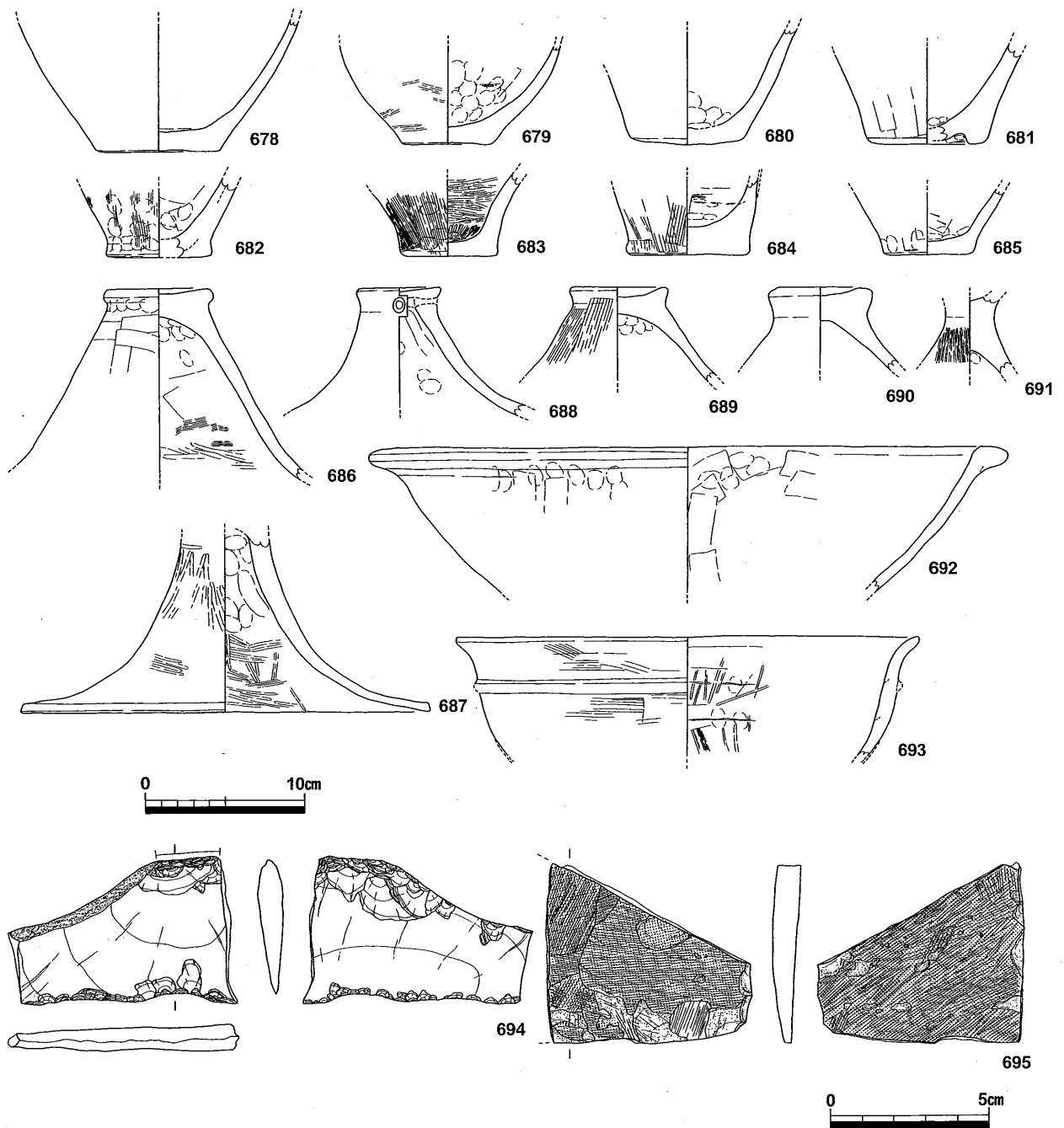
第70図 SRK01下層 (I-27) 出土遺物② (1/4)



第71図 SRk01下層 (I-27) 出土遺物③ (1/4)



第72図 SRK01下層 (I-27) 出土遺物④ (1/4)



第73図 SRK01下層 (I-27) 出土遺物⑤ (1/4)・(1/2)

く、沈線が何条あるかは不明である。647は7条のヘラ描き沈線を残す。648は体部に丸みを持つ器形で、体部は櫛描沈線で飾る。頸部と体部の境付近に穿孔が1ヶ所残る。649～667 (660は除く) は逆L字型口縁を持つものである。649～652は無文のもの。649～651は器面に薄いハケメを残し、649はヘラミガキ痕も残す。652ははっきりとしたハケメが残る。653～663はヘラ描き沈線を施すもの。653は口縁端部の上面に凹線を1条施し、体部にはヘラ描き沈線を2条描く。658は5条の、654・655・657は8条の、656・661～663は10～14条の沈線を描く。655・657・658は口縁端部に刻目を持つ。657は沈線の下部に三角形の刺突文を、666は3段の刺突文を施す。666は口縁端部が剥離している。659・660は体部が丸みを持つ器形。659は頸部に2孔1対の穿孔が見られる。体部の装飾は、659は2～3条のヘラ描き沈線と山形の刺突文を交互に配し、660は三角形の刺突文とヘラ描き沈線を交互に配する。664～668は櫛描沈線を施すと考えられるもの。口縁端部に刻目を持つものはない。664は器表面の摩滅が進み、沈線の残

存状況はよくない。667は櫛描沈線の下部に三角形の刺突文を2段に施す。668は口縁部から少し下がった位置に突帯を貼り付け、その上下全体に櫛描沈線を描く。

甕の口縁形態は1/4程度が如意状口縁で他の大半が逆L字型口縁である。器面装飾は7条以上の多条沈線を施すものと櫛描沈線を施すものがともに30%にのぼり、無文のものがそれに続く。その3者で85%にのぼり、他はきわめて少数である。

669～679は壺底部と考えられる。外面調整はハケメを残すものとヘラミガキを施すものがある。680～685は甕底部。外面調整はおおむねハケメである。

686～691は蓋。686・688・689は天井部の厚さがやや薄めで、天井部と体部の境のくびれがあまりない。688は天井部側面に対角線上に1対の穿孔がある。690は天井部がやや厚め。691は天井部と体部の境がくびれ、天井部は厚い。天井部の上部は欠損。器面はヘラミガキする。

692・693は鉢。693は口縁部からやや下がった場所に貼付突帯がある。

694は打製石器。スクレイパー。上部に敲打痕がある。サヌカイト製。695は大型の磨製石庖丁と考えられる。上部はほとんど調整が及ばず、刃部はわずかに細くしている。表・裏面とも多数の擦痕を残し、かなり磨き込んでいる。安山岩製。

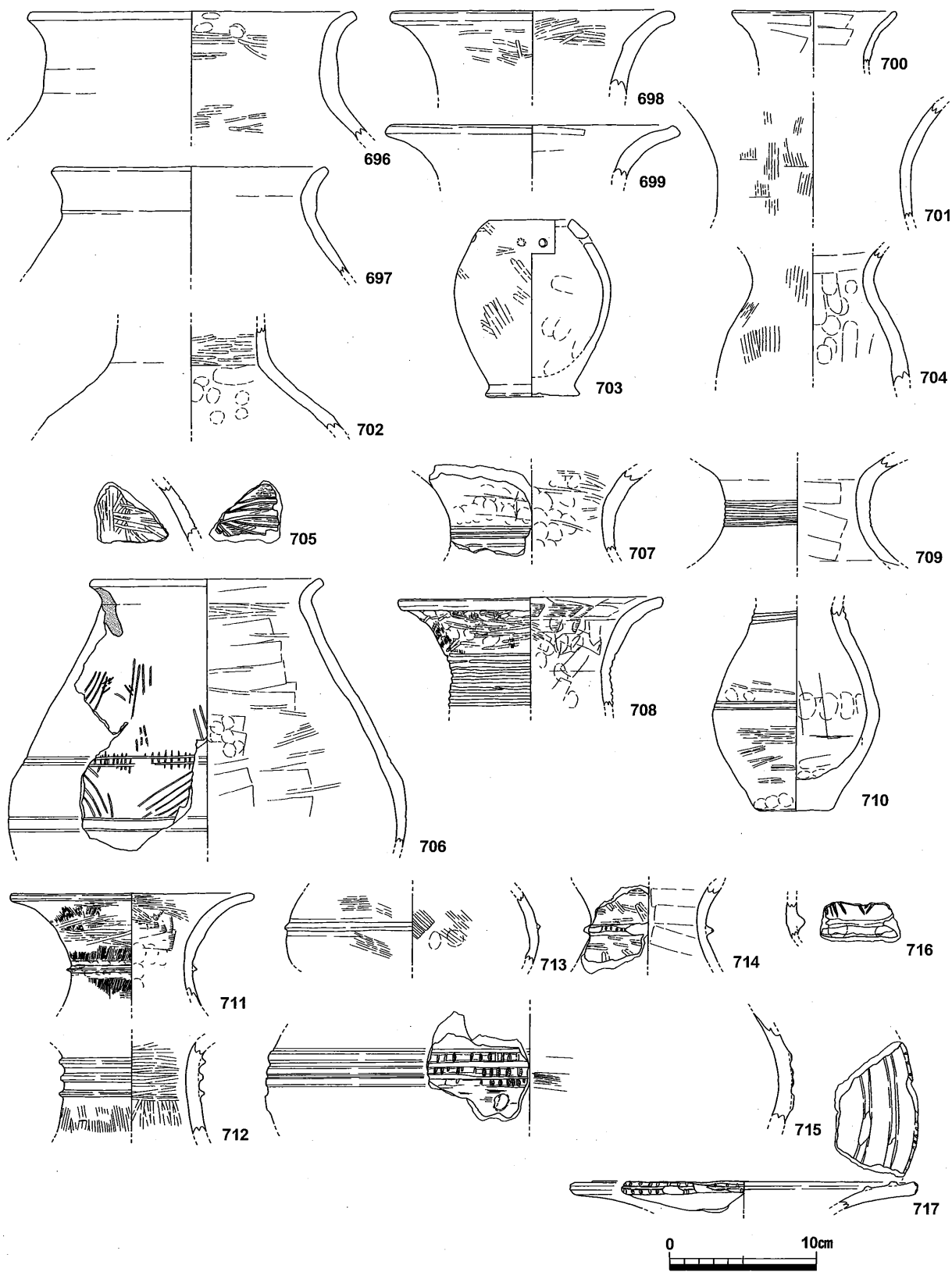
〈I-26下層出土遺物〉(第74～79図、図版13・45～47)

696～813はI-26部分の下層から出土した遺物である。696～717は壺。696～704は無文の壺。ただし698～701は頸部下端部にヘラ描き沈線文や貼付突帯が付くことも考えられる。697は体部がなだらかに立ち上がり、口縁端部が緩く外反する。頸部に段が付く。703は無頸壺。口縁部直下で対角線上に2孔1対の穿孔がある。704は小型の壺。705は体部小破片。器面に木の葉文がある。706～710は体部や頸部にヘラ描き沈線があるもの。706は内傾する頸部から、口縁部が緩く外反し、体部最大径のやや上側に2条の刻目を持つヘラ描き沈線文、体部最大径のやや下側にも2条のヘラ描き沈線を施し、沈線の上部に縦方向のヘラ描き文を、沈線文帯に挟まれた場所には斜線文や連弧状のヘラ描き文を施す。707～709は頸部に4条以上のヘラ描き沈線を施す。頸部はやや長め。710は小型の壺で、頸部と胴部最大径部分に2条ずつのヘラ描き沈線をもつ。711～716は貼付突帯を持つもの。711・714は頸部の最もすばまった個所に貼付突帯を1条巡らせる。頸部はあまり発達せず、端部は大きく開く。714の貼付突帯には刻目が付く。713は体部最大径部分に貼付突帯を1条つける。715は体部最大径部分に3条の刻目突帯を貼り付け、その下部には円形浮文が1ヶ所に残る。716は壺の体部と考えられるが、天地・傾きは不明。貼付突帯の上部に斜め方向のヘラ描き文がある。717は内面加飾壺。内面に2条の貼付突帯が残る。この中では697・705・706が古い要素を持つが、頸部はやや長めのものが多く、器面装飾は無文、ヘラ描き沈線(4条以上)、貼付突帯(1～3条)がほぼ同じ程度にある。

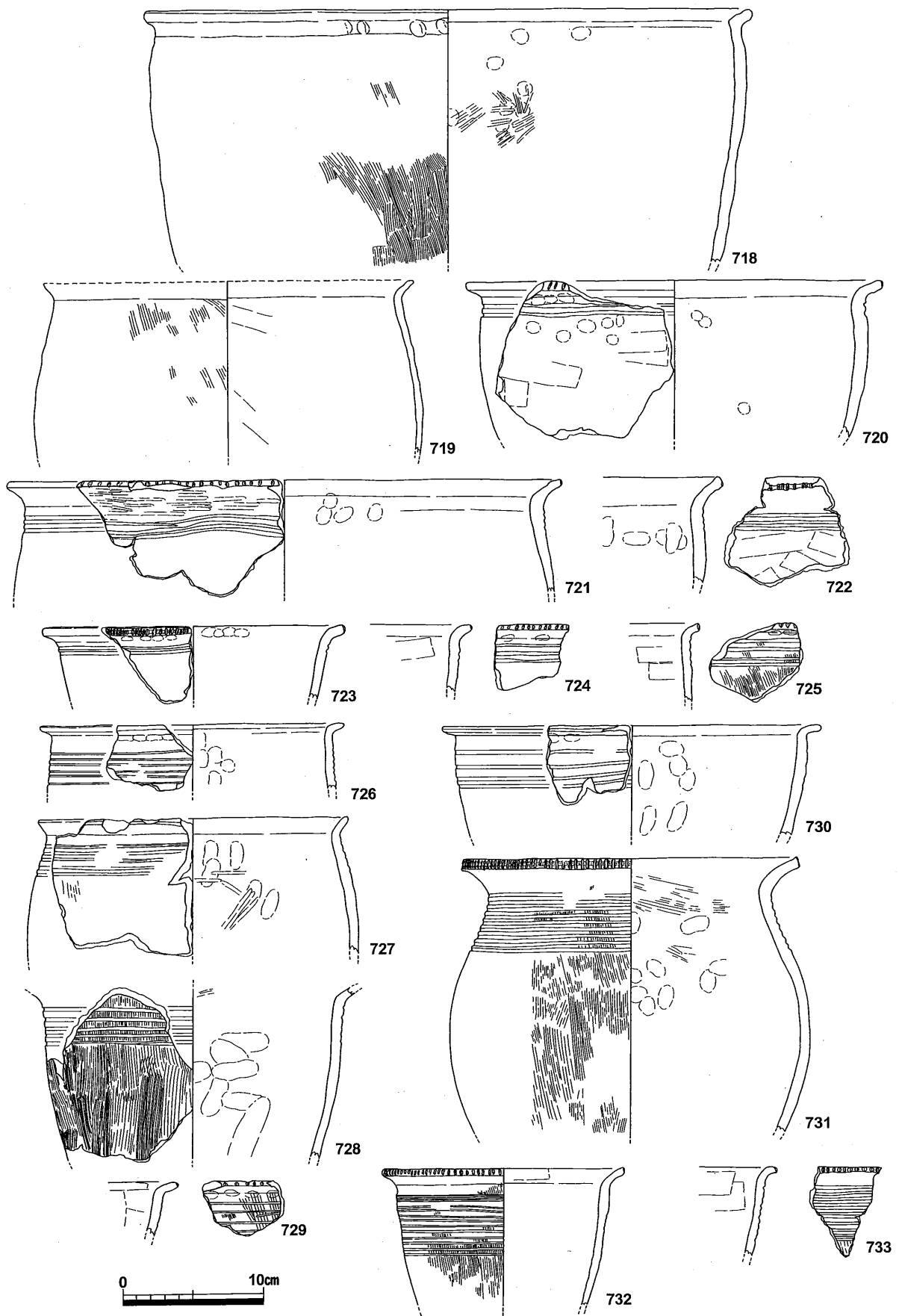
718～766は甕。718～735は如意状口縁を持つ。718・719は無文。器面はハケメで調整する。718は口縁部内面の屈曲は鋭い。720～733はヘラ描き沈線を施すもの。720～724は口縁端部に刻目を持ち、器面に2・3条のヘラ描き沈線を持つ。725～730はヘラ描き沈線を4～6条施す。728と729は同一個体の可能性がある。725・729は口縁端部に刻目を施す。731は他の甕と形態が異なり、口縁部が長めで頸部と体部の境の括れがきつく、体部は丸みを帯びる。頸部に9条のヘラ描き沈線を施し、口縁端部には沈線を巡らせ、刻目を施す。他地域からの搬入か。732・733は10条以上のヘラ描き沈線文を施すもの。口縁端部に刻目を持つ。734・735は体部に櫛描沈線を持つ。734は器表面の摩滅が進み、沈線は不明瞭である。

736～764(757は除く)は逆L字型口縁を持つ。736～743は無文。体部はハケメやヘラミガキで調整する。736・737は口縁端部に刻目を持つが、いずれの刻目も全体には巡らせずに部分的に、または単位ごとに間隔をあけながら施す。739は口縁端部直下に穿孔が1ヶ所残る。残存量から考えれば対角線上

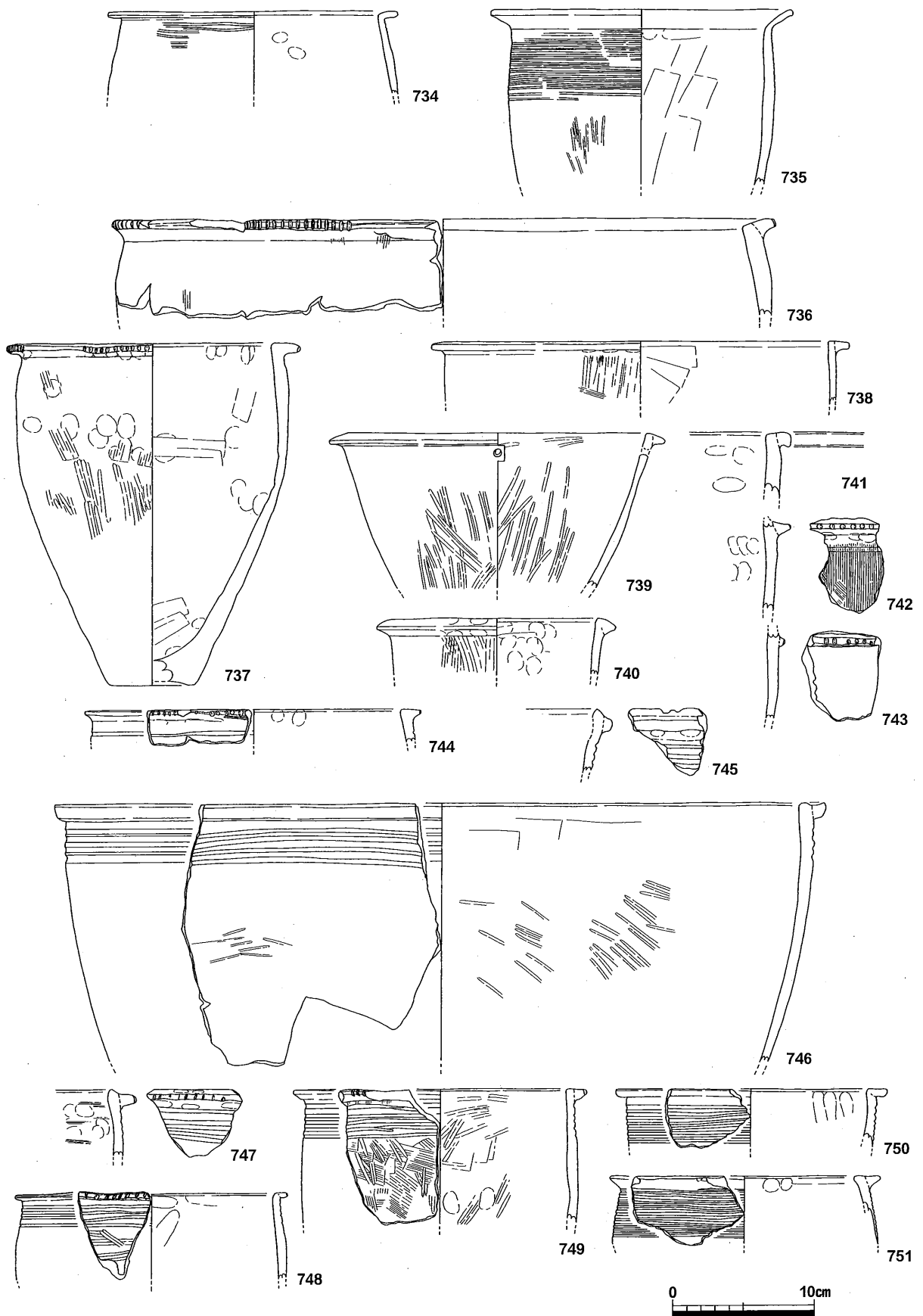
に2孔の穿孔があったと考えられる。743の口縁端部は欠損するが、突帯は端部からやや下がった位置にあるようで、突帯文系の流れを汲む、やや古手のものかもしれない。744~757はヘラ描き沈線を持つ。746~749は4~5条、750・754は7条以上、751~753・755・756は9~14条のヘラ描き沈線を持つ。747



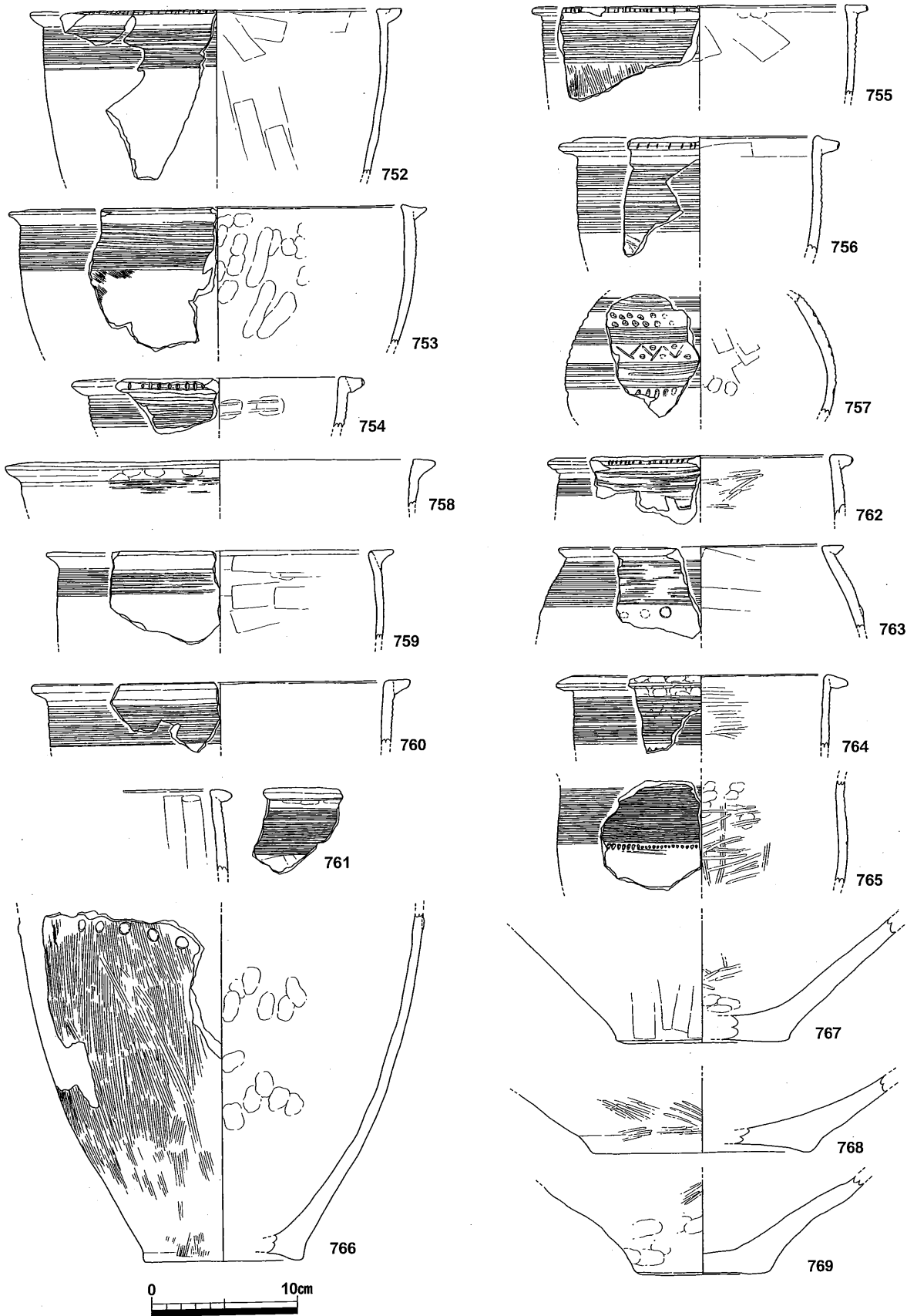
第74図 SRk01下層 (I-26) 出土遺物① (1/4)



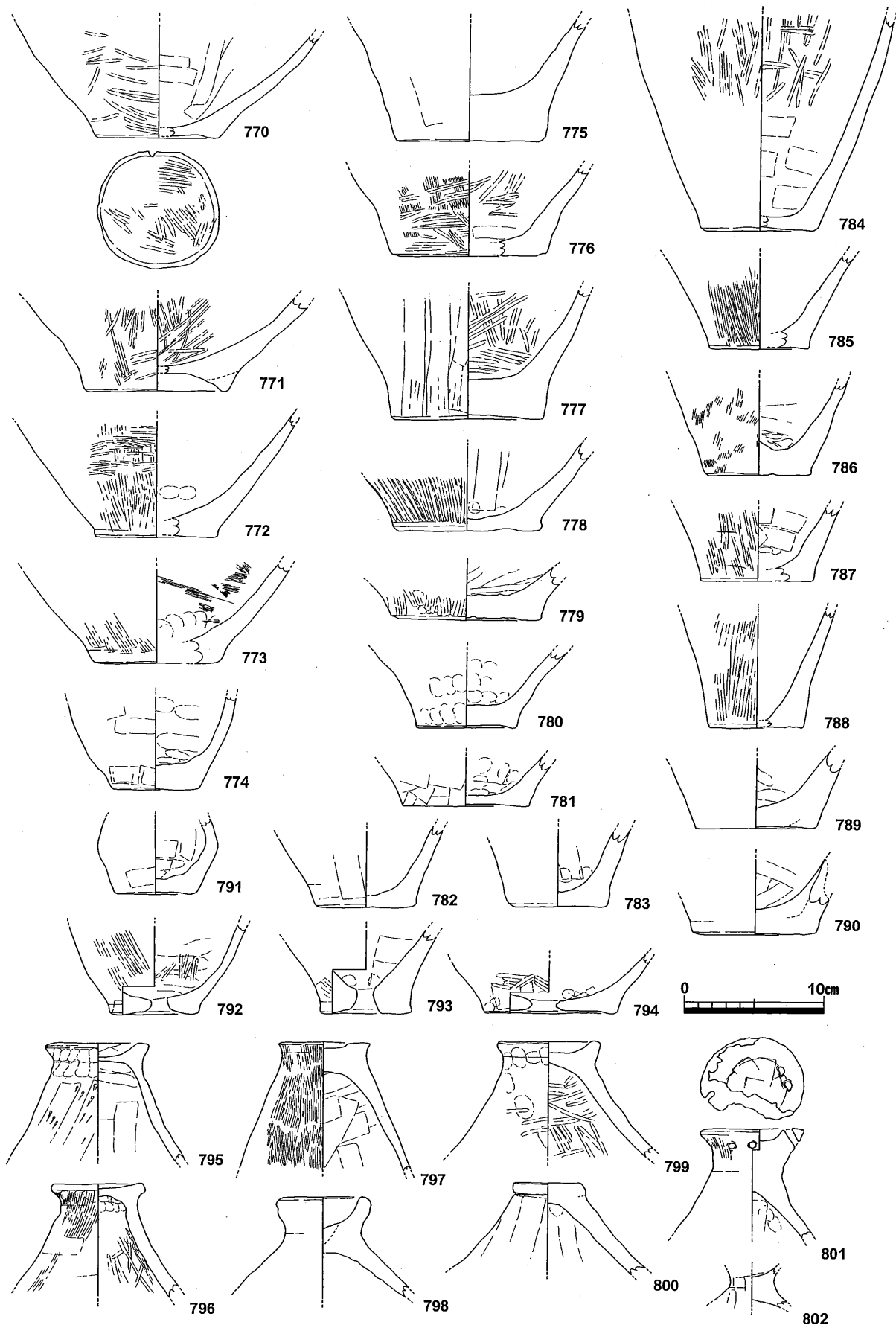
第75図 SRk01下層 (I-26) 出土遺物② (1/4)



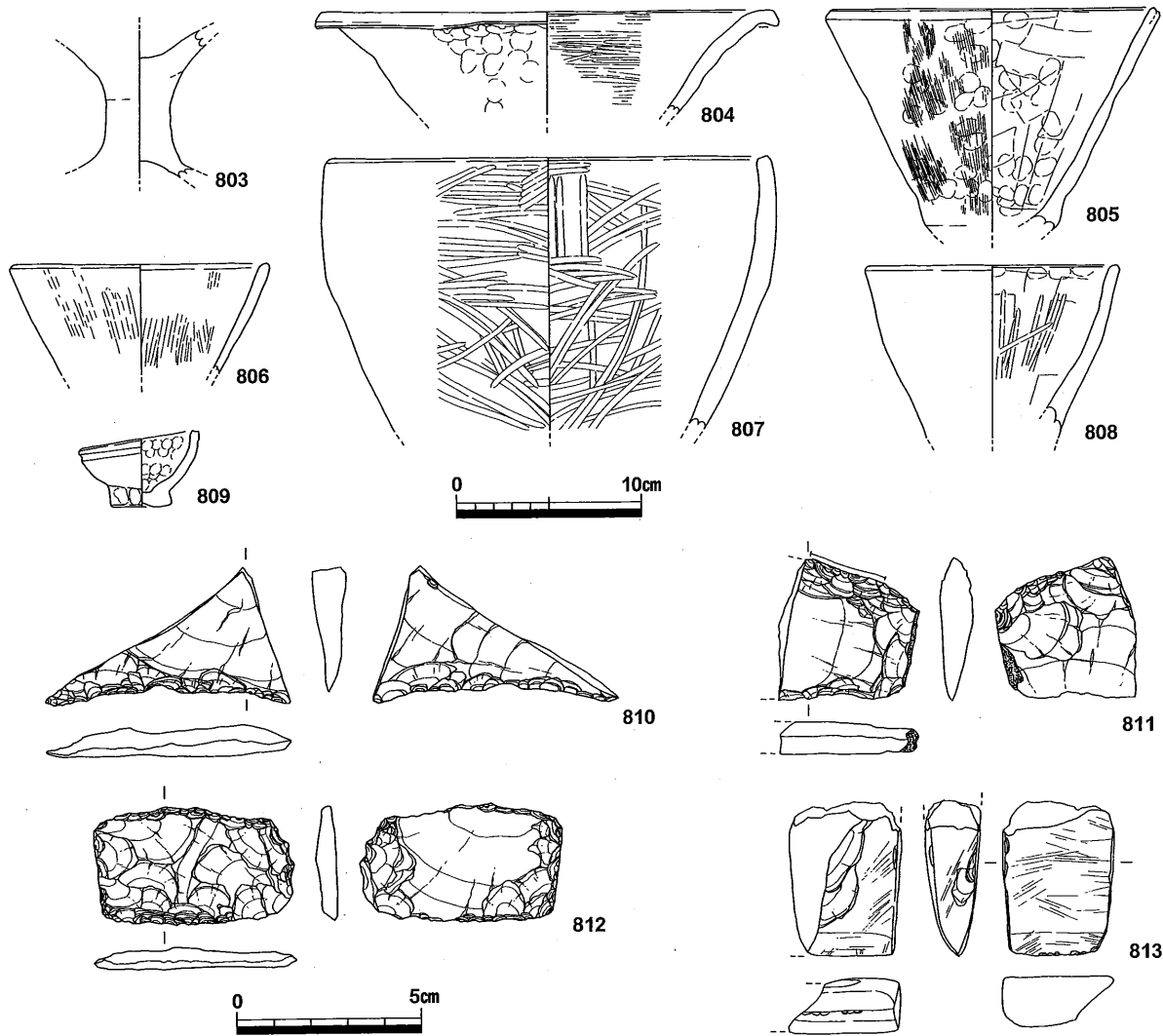
第76図 SRk01下層 (I-26) 出土遺物③ (1/4)



第77図 SRk01下層 (I-26) 出土遺物④ (1/4)



第78図 SRk01下層 (I-26) 出土遺物⑤ (1/4)



第79図 SRk01下層 (I-26) 出土遺物⑥ (1/4)・(1/2)

~749・752・754~756は口縁端部に刻目がある。757は体部が丸みを持つもので、4~5条のヘラ描き沈線の間を円形の刺突文やヘラ描きの山形文などで埋めていく。758~765は櫛描沈線を持つ。762は口縁端部に刻目を持つ。沈線文の下部には763は円形浮文、764は三角形の刺突文、765は楕円形の刺突文がある。櫛描きの単位は761・762で5条1単位のもの確認できる。765の口縁部の形態は不明である。

甕は口縁形態によって器面装飾の種類のパターンが際立って異なるものが多い。如意状口縁で端部に刻目を持たないものは4~6条のヘラ描き沈線を持つもの、如意状口縁で端部に刻目を持つものは1~3条のヘラ描き沈線、逆L字型口縁で端部に刻目を持つものは7条以上のヘラ描き沈線が際立って多く、端部に刻目を持たない逆L字型口縁部は無文のものとは櫛描沈線が拮抗している。これは自然河川の時期幅を反映している可能性が高い。

766は甕底部。残存部分の上部に円形浮文が見られ、外面にはハケメが顕著に残る。767~774は壺底部。外面調整は768~772はヘラミガキが、772・773はハケメが観察できる。775~790は甕底部。外面調整は壺同様にヘラミガキ、ハケメ、ハケメ後ヘラミガキするものがある。790は断面に粘土の継ぎ目が観察できる。791は小型壺の体部から底部。792~794は底部穿孔土器。いずれも焼成後穿孔。792は壺型の底部、793・794は甕型の底部である。

795~802は蓋。形態は、やや大きめで薄い天井部で、体部との境の括れがあまりないもの(795・796)、前述の形態に似ているがやや器壁が厚いもの(797・799)、天井部径は小さめで、厚く、体部との境の

括れが大きく、天井部が窪んでいるもの（798・801・802）、天井部径は小さいが、体部との境の括れはほとんどなく、天井部も窪んでいないもの（800）がある。801は2孔1対の穿孔が1ヶ所に残り、もともとは対角線上に2ヶ所にあったと考えられる。

803は高坏。804～808は鉢。804は口縁端部を如意状に折り曲げ、805～808は口縁端部を直線的にする。809はミニチュア土器。底部は平らにし、指押さえ痕を多く残す。

810～812は打製石器。スクレイパー。サヌカイト製。811は片側側面に自然面を残し、上部に敲打痕がある。813は扁平片刃石斧。全面に擦痕を残す。結晶片岩の中の緑色片岩製。

〈I-25その他出土遺物〉（第80～83図、図版48・49）

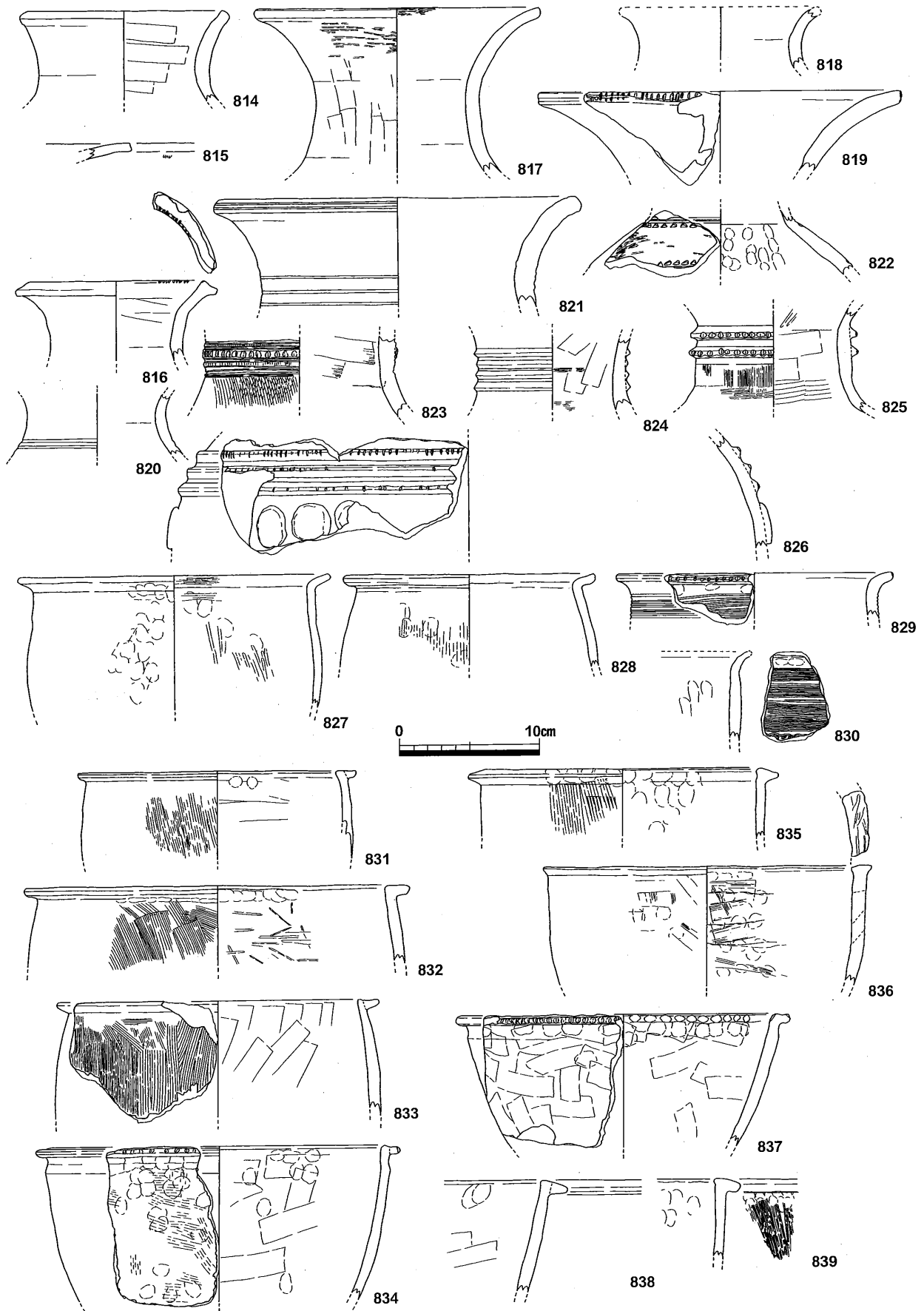
814～897はI-25部分のうちトレンチなど出土層位不明の遺物である。814～826は壺。814・816～818は頸部無文のもの。819は口縁端部に刻目を入れその後沈線を巡らせる。816は口縁端部内側に刻目を入れる。820～822は頸部にヘラ描き沈線を描くもの。820は2条、821は3条以上の沈線を入れる。821はやや大型の壺で、口縁端部に2条の沈線を巡らせる。822は頸部に2条沈線をその下部に三角形の刺突文を、体部には三角形の刺突文の下部に沈線を施す。823～825は頸部に貼付突帯を巡らせるもの。823は刻目突帯の上下にヘラ描き沈線を入れる。824は4条、825は2条の貼付突帯を巡らせ、825は貼付突帯に刻目を持つ。826は体部片。最大径よりやや上部に3条以上の刻目を持つ貼付突帯を付け、その下部には円形浮文が3個残る。しかし、残っている破片から、円形浮文は全体にわたって貼り付けられていたわけではないことがわかる。

827～862は甕。827～830・847は如意状口縁を持つもの。827・828は体部無文、829・830は櫛描沈線で飾る。829は口縁端部に刻目を持つ。830の櫛描きは8条1単位と考えられる。831～860（847を除く）は逆L字型口縁部を持つもの。831～839は体部が無文のもの。831～833・835は体部に縦方向の明瞭なハケメが残る。834・837は口縁端部に刻目が付く。837は口縁端部内面にも等間隔に強めの指押さえにより窪ませている。840～854・857・860はヘラ描き沈線を施すもの。840は2条、841は6条、853・854が5条の沈線が観察できる他は、ヘラ描き沈線の条数が判明するものでは8条～14条程度の多条化した沈線が目立つ。846～848・852・853・857・858は口縁端部に刻目を持つ。855・856・858・861・862は櫛描沈線を施すもの。858は口縁端部に刻目を持つ。櫛描きの単位は、856・858が5～6条1単位、861・862は3条1単位と考えられる。859は多条沈線が平行に施され、櫛描きによるようにも見えるが、沈線帯の下部の沈線間の幅が若干広くなり、疑問が残る。沈線の下部には長楕円形の刺突文が施され、そのまま下方へヘラミガキを施している。861・862は口縁端部が剥離していると考えられるもの。861は口縁端部の剥離した部分は変色している。櫛描沈線の下部に三角形の刺突文を施し、同じ方向へ板ナデを施している。862は7～9条の櫛描沈線と三角形の刺突文、斜線文を交互に配する。内面はヘラミガキする。口縁端部付近が欠損しており、逆L字状口縁部が剥離したとも考えられるが、櫛描沈線が上端付近まで及んでおり、変色している部分が口縁部上端ごく一部であるので、このまま突帯は付かないかもしれない。

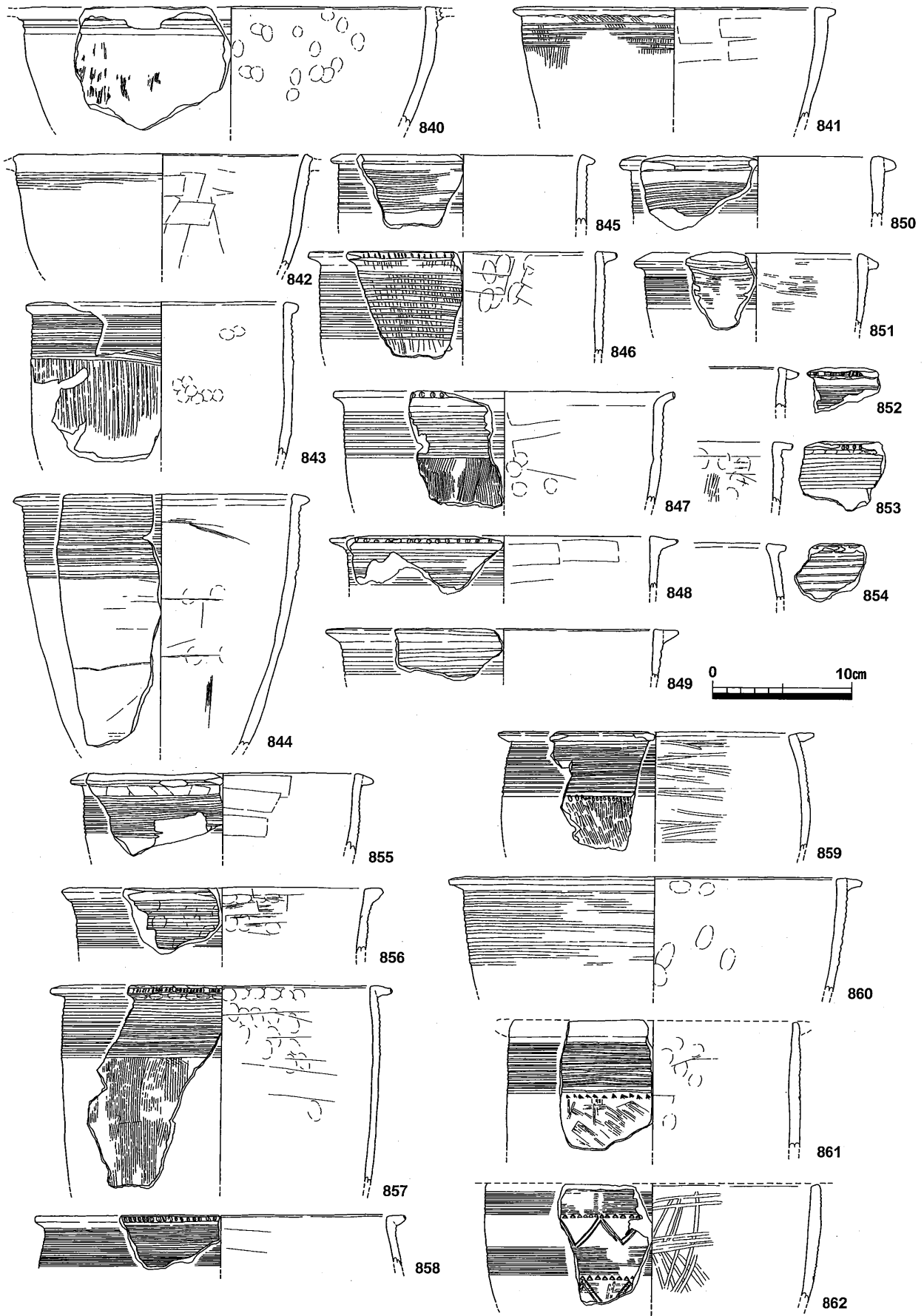
863～884は底部。863～866・875・877は壺底部。残りは甕底部と考えられる。874は底部外面に2孔1対の穿孔を試みた痕跡があるが、穿孔は極めて浅い。885・886は底部穿孔土器。いずれも焼成後に穿孔している。

887～889は蓋。887・888は天井部の外周がやや高く、中心付近は窪んでいる。天井部と体部の境はやや括れている。890はミニチュア土器鉢。器面に指押さえ痕が残る。

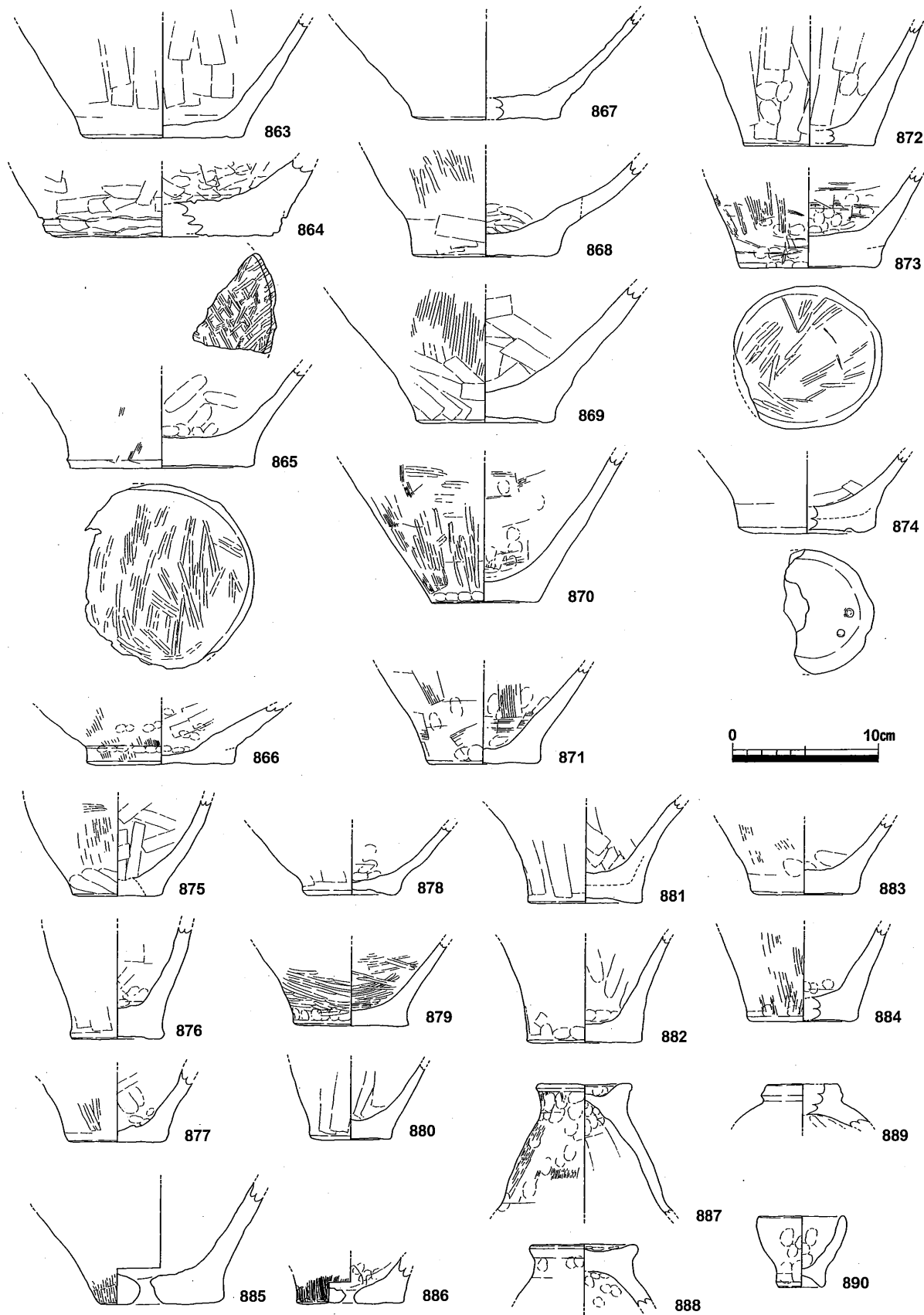
891～897は打製石器。すべてサヌカイト製。891は石鏃。凹基式。892は石錐。893は石匙。894・895はスクレイパー。896・897は石庖丁。896は側縁部にわずかに抉りを入れる。897は剥離面の境の稜線部分に磨滅痕が残る。ともに上部に敲打痕を残す。



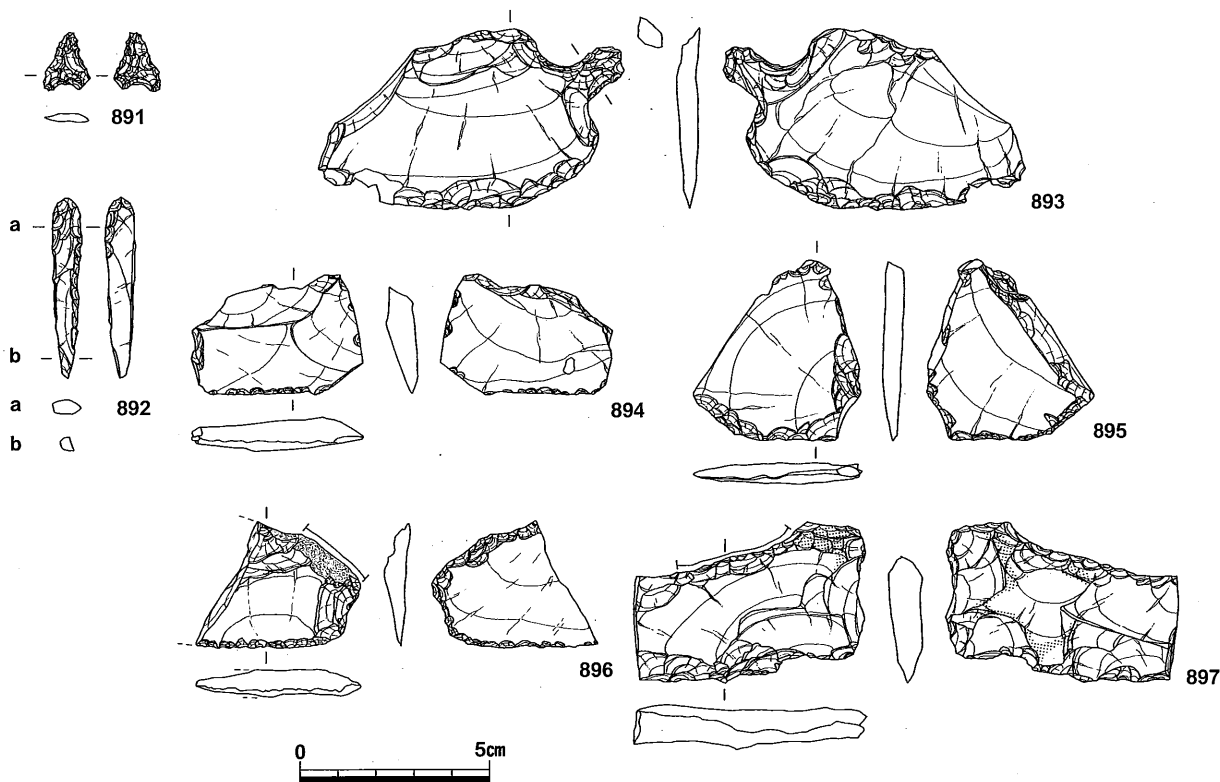
第80図 SRk01その他 (I-25) 出土遺物① (1/4)



第81図 SRk01その他 (I-25) 出土遺物② (1/4)



第82図 SRk01その他 (I-25) 出土遺物③ (1/4)



第83図 SRk01その他 (I-25) 出土遺物④ (1/2)

〈I-27その他出土遺物〉 (第84図、図版50)

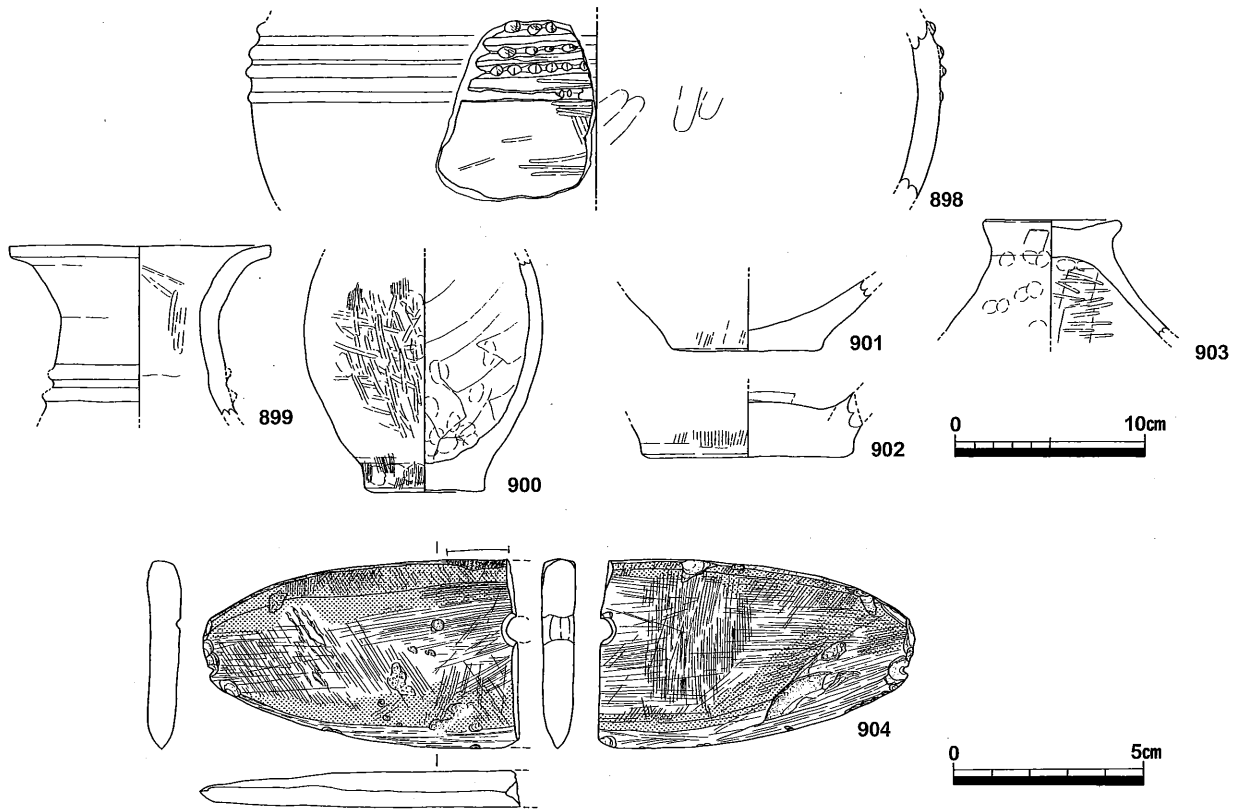
898~904はI-27部分から出土した層位不明の遺物である。898~900は壺。898は胴部最大径付近に刻目が付く貼付突帯を4条巡らす。器面はヘラミガキする。899はやや長めの頸部で、頸部と胴部の境目付近に2条の貼付突帯が残る。900は体部から底部。901~902は底部。壺の底部と考えられる。903は蓋。天井部径がやや広めで薄い。904は磨製石庖丁。上部に敲打痕がわずかに残る。完全な穿孔が1ヶ所に残るほか、穿孔途中とも考えられる浅い円形の窪みも1ヶ所残る。流紋岩製。

〈I-26その他出土遺物〉 (第85図、図版50)

905~914はI-26部分から出土した層位不明遺物である。905・906は壺。906は内面加飾の壺で、内面に刻目突帯や連弧状の突帯が付く。口縁端部には上下に刻目が付く。907~912は甕。907は如意状口縁、残りは逆L字型口縁を持つ。907~910は無文。911は6条のヘラ描き沈線文、912は11条のヘラ描き沈線文を持つ。ともに突帯の一部が剥離しているが、その下部にも沈線が施されている。913・914は甕底部。

遺物は上層と下層に分けて取り上げたが、際立った時期差はないようである。出土する土器の器種は壺・甕・蓋で大部分を占める。壺はすぼまった頸部から口縁部が大きく開くものがほとんどであり、器面装飾は多条のヘラ描き沈線を持つもの、刻目突帯を持つものが多い。甕は如意状口縁を持つもの、逆L字状口縁を持つものがあり、それぞれ刻目を持つもの・持たないものがある。なかでは逆L字状口縁を持つものが8割を占め、また、刻目を持たないものの方が6割前後を占める。器面装飾は無文、ヘラ描き沈線、櫛描沈線、その他沈線の下部に波状文や刺突文を持つものがある。

場所による出土はI-25が最も多く、I-27とI-26の遺物出土量は同程度である。空港跡地遺跡の北辺道路部分やさらにその北に位置する宮西・一角遺跡で同時期の土坑群が検出されているので、より集落域に近い区画で土器の出土量が多くなっているのであろう。SRk01の時期はおおむね弥生時代前期末~



第84図 SRk01その他 (I-27) 出土遺物 (1/4)・(1/2)

中期初頭と考えられる。

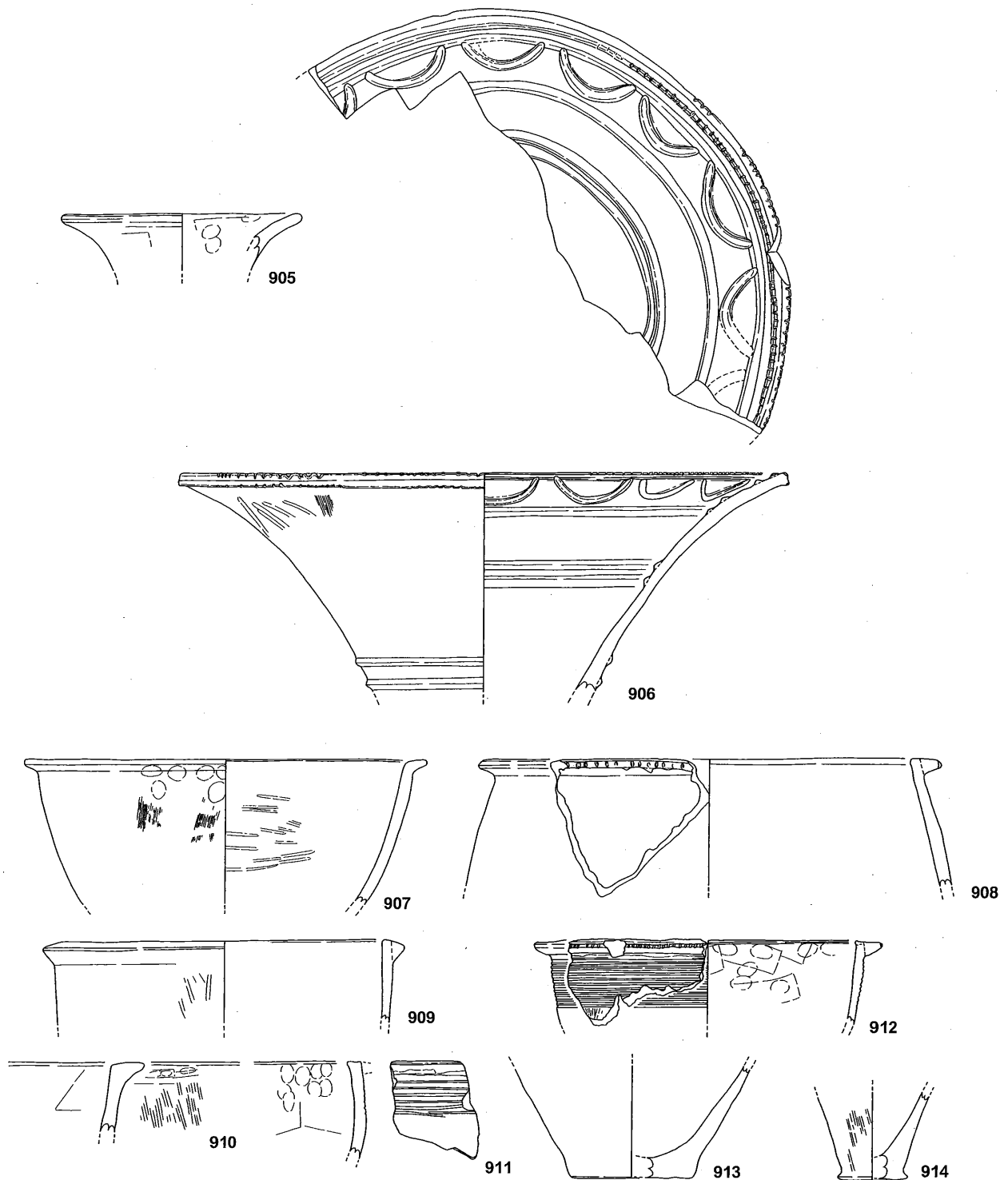
SRk02 (第86～88図、図版16・51)

I-25・I-23・I-26に亘って検出した自然河川である。I-25部分ではSRk01と平行するように北西から南東方向を向くが、I-23の北東隅でやや屈曲し、I-26では東方向へ向きを変え、調査区端ではSRk03と重なる。SRk03の埋土とは上層部分で共通している部分もあり、弥生時代前期末～中期初頭においては同時併存だった可能性が高く、ほぼ同時期に埋没し、後述するSRk03だけ弥生時代後期後半まで残っていたと考えられる。規模は幅10.4m～11.6m、深さは45cm～60cmで、底は北西から南東へ若干傾斜している。断面形状はI-25では浅い皿状であるが、I-26では底がやや削られて、緩いV字状になっている。埋土は最上層に土壌化が進んでいると思われる灰褐色砂混粘質土層、上層に暗灰色粘土層、下層に黒灰色粘土層、底付近には灰色粘土・砂などが堆積する。SRk01同様湿地状態であったと考えられる。埋土中からは弥生時代前期後半～中期初頭までの土器が出土したが、遺物量は他の自然河川に比べて少ない。遺物の取り上げは大半は層位ごとに行わなかったが、出土遺物の大半は下層・黒灰色粘土層から下の層で出土した。

915はI-25の上層で出土した。弥生土器壺の底部。外面は横方向にヘラミガキする。

916～920はI-23黒色粘土層(下層)から出土した。916～919は甕。916は如意状口縁部を持つ無文のもの。917～919は逆L字状口縁部で、917は8条のヘラ描き沈線、918・919は櫛描沈線を施す。920は甕の底部。粘土の継ぎ目痕が観察できる。

921～928はI-26下層から出土した。921～926は甕。922以外は逆L字型口縁部をもつ。921は浅い沈線が1条観察できる。922は口縁端部をまっすぐ終わらせて最上部にヘラ描き沈線を1条施すが、沈線部も含めて最上部約1.2cmは若干変色しており、その下部に浅い指押さえ痕があることから逆L字型口縁部が付いていた可能性もある。923・924・926は3条～5条以上のヘラ描き沈線を施す。925は4条1

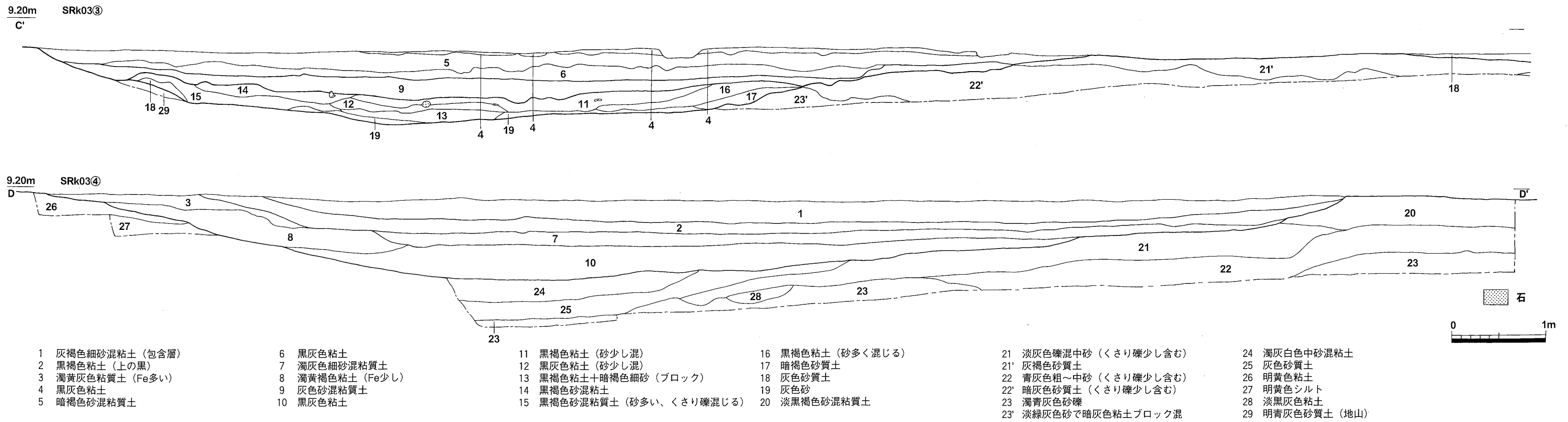
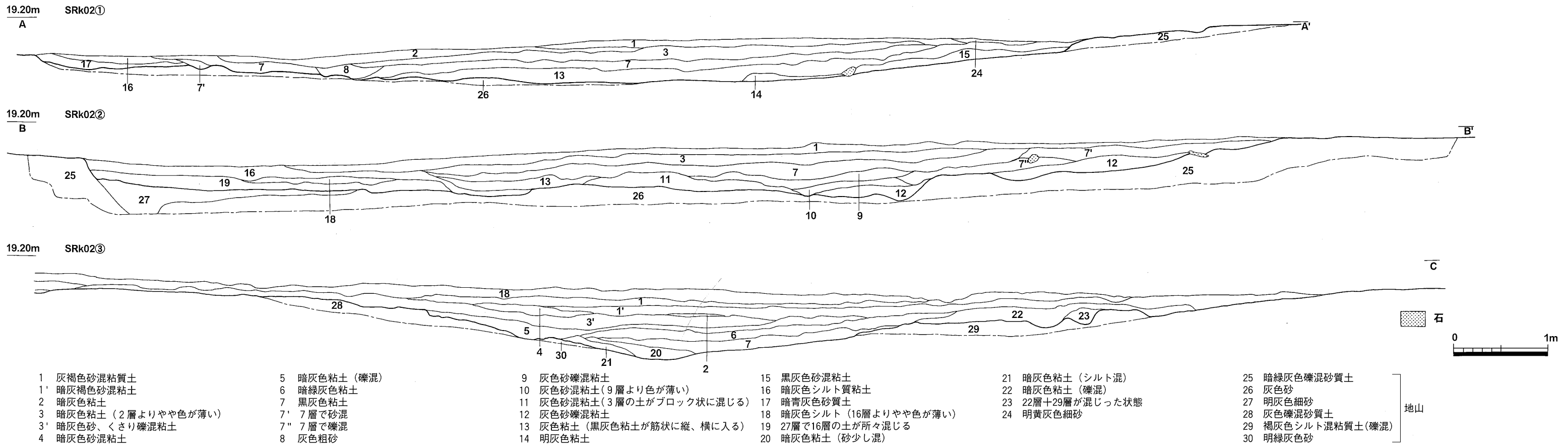


第85図 SRk01その他 (I-26) 出土遺物 (1/4)



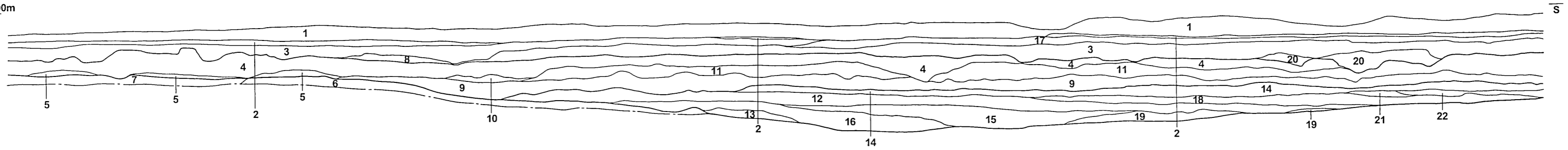
単位の櫛描沈線を施す。927・928は壺底部。

929～942は I-25出土取り上げ層位不明の遺物である。ただし、大半は黒灰色粘土層より下部で出土した。929は壺頸部。無文。930～939は甕。930・931は如意状口縁を持つ。930は無文、931は半裁竹管により沈線を施す。932～936・938・939は逆L字型口縁持つ。932は無文。933～936はヘラ描き沈線を施す。いずれも6条以上の沈線で、933は口縁端部に刻目を持つ。937は丸い体部を持ち、体部を櫛描沈線やヘラ描きによる山形文、刺突文を施す。最下段の刺突文は米粒状のものが途中から三角形のものに

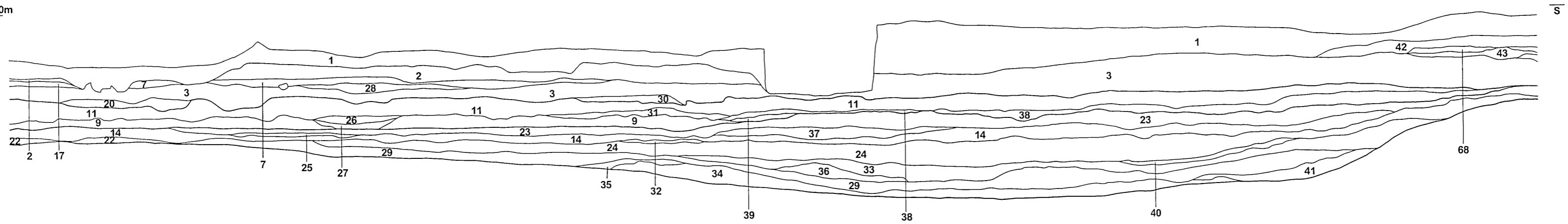


第86図 SRk02・03断面図① (1/40)

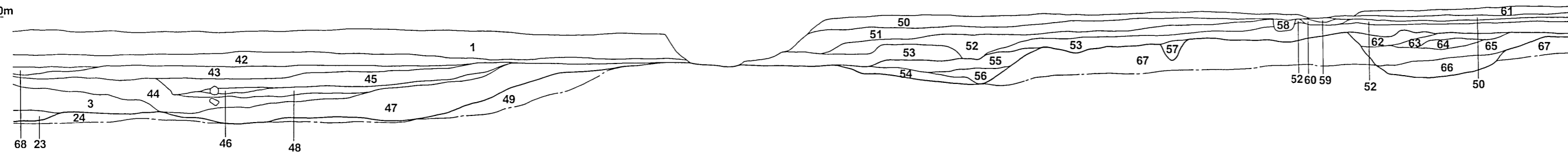
L=19 600m
N



L=20 00m
N



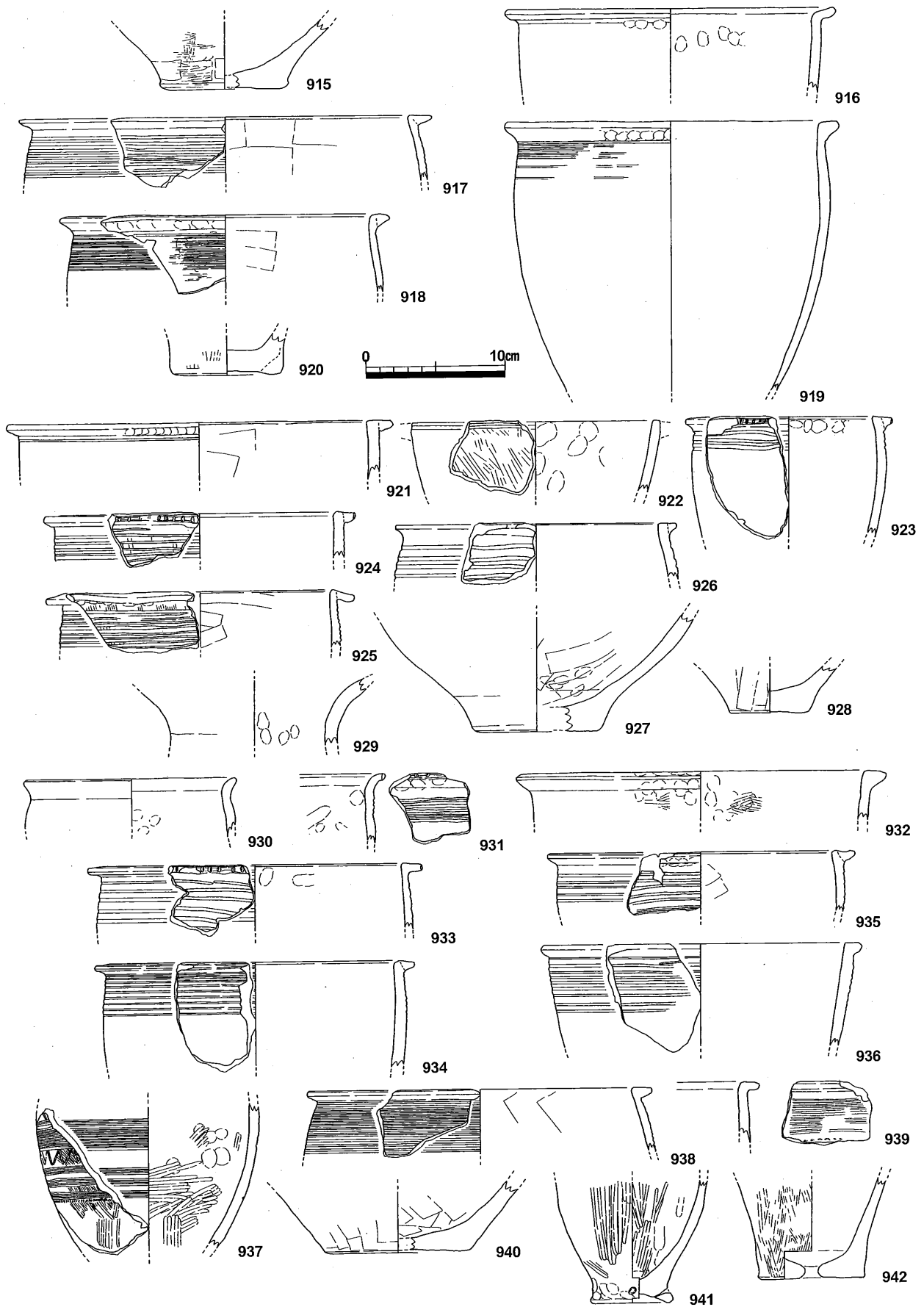
L=20 00m
N



- | | | | | |
|-------------------------|----------------------------|------------------------|-------------------|-------------------------|
| 1 耕土 | 15 黒褐色粘土 | 29 暗青灰色砂質土 | 43 灰褐色砂質土—旧耕土 | 56 灰褐色シルト (灰色粘土が混る) |
| 2 明黄褐色砂質土—床土 | 16 暗褐色混砂粘土 | 30 灰褐色粘土 (3層よりやや暗い) | 44 灰褐色粘質土 | 57 灰褐色砂質土 |
| 3 明黄褐色粘土 | 17 暗黄灰色粘土 | 31 黒褐色粘土 | 45 灰褐色粘質土 (上面にFe) | 58 明灰色粘土 |
| 4 灰褐色粘土—包含層 | 18 暗褐色混砂粘土 | 32 灰褐色粘土 | 46 褐色砂 | 59 褐色細砂+細砂 |
| 5 暗灰褐色粘土—包含層 | 19 褐灰色砂質土 | 33 暗灰褐色粘土 | 47 明茶褐色粘土 | 60 明茶褐色シルト+明灰シルト (ラミナ状) |
| 6 灰褐色砂レキ—地山 | 20 3層+8層 | 34 暗灰褐色混砂粘質土 | 48 灰褐色砂レキ | 61 明褐色砂質土—旧耕土 |
| 7 暗灰褐色粘質土 (レキ多い)—地山 | 21 暗灰褐色混砂粘土 | 35 黒褐色混シルト粘土 | 49 黄色粘土—地山 | 62 赤茶褐色シルト (Feが多い) |
| 8 明黄褐色粘土 | 22 暗灰褐色混細砂粘土 (少し) | 36 褐灰色粘土 (暗褐が1ヶ所で混る) | 50 名赤茶灰色砂質土—旧耕土 | 63 灰褐色シルト (上面にFe、Mn多い) |
| 9 名茶褐色混砂粘土 | 23 暗灰褐色粘土 | 37 暗灰褐色混細砂粘土 | 51 明褐色砂質土—旧耕土 | 64 明褐色砂 |
| 10 暗灰褐色粘土 | 24 暗灰褐色粘土混砂質土 (くさりレキ少し)—地山 | 38 暗青灰色粘土 (40層の土が少し混る) | 52 明褐色シルト | 65 黄灰褐色シルト (Feが多い) |
| 11 茶褐色混砂粘土 (暗褐色粘土が入り混る) | 25 黒灰色粘土 (暗褐色砂がブロック状に混る) | 39 明灰褐色粘土 | 53 明灰褐色シルト | 66 灰褐色シルト |
| 12 茶褐色混砂粘土 (砂が多い) | 26 灰褐色粘土 (やや暗い) | 40 暗灰褐色シルト質粘土 | 54 明灰褐色シルト+黄白色砂 | 67 黄灰色シルト—地山 |
| 13 暗茶褐色シルト質粘土 | 27 灰褐色混砂粘土 (やや暗い) | 41 暗褐色シルト+黒色粘土 (炭が混る) | 55 褐灰色砂 | 68 灰褐色砂質土 (Feの集積層) |
| 14 茶褐色混砂粘土 | 28 明灰褐色粘土 (上面にFe集積) | 42 明灰褐色砂質土—旧耕土 | | |

14~22—SRk02
14・23~41—SRk03

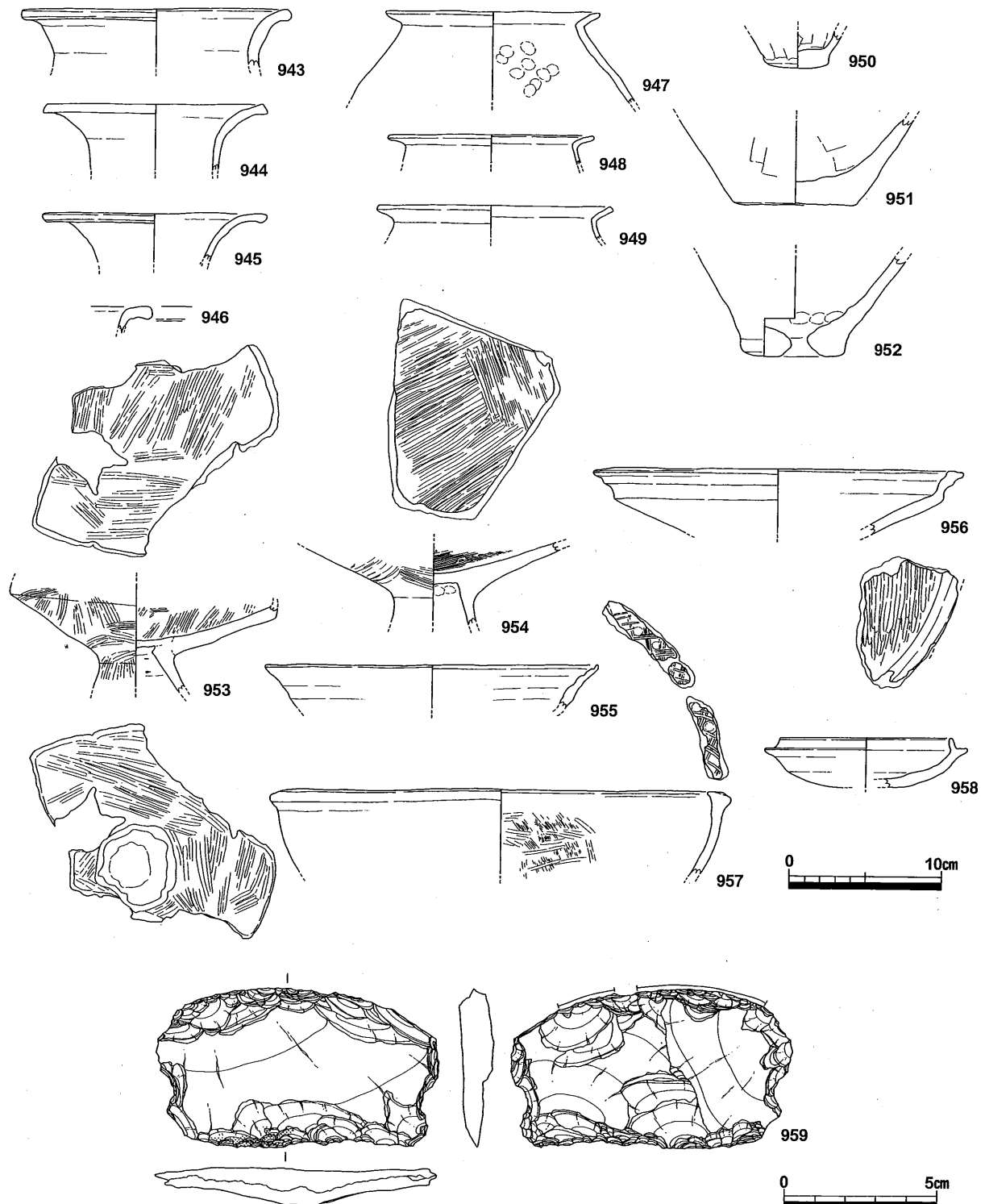
第87図 SRk02・03断面図 (I-26東壁部分) ② (1/40)



第88図 SRK02出土遺物 (1/4)

替わっている。櫛描は4条1単位である。938・939は櫛描沈線を施す。939は沈線の下部に竹管文を施す。940は壺底部。941は小型壺の底部。底部に1ヶ所外面から底部外面へ向けて穿孔しているが、底部外面側はわずかしか孔が開いていない。対角線上には穿孔はまったくなかった。942は底部穿孔土器。焼成後に穿孔している。

遺物はおおむね弥生時代中期初頭頃と考えられる。



第89図 SRK03上層出土遺物 (1/4)

SRk03 (第86・87図、図版18)

I-23からI-26・I-28にかけて検出した自然河川である。西から東方向へ向き、I-28で流路をやや北東方向へ変える。幅12.0~13.8m、深さ60cm~80cmである。埋土は上層・黒灰色粘土、中層・濁灰色細砂混粘質土、下層・黒灰色粘土層に分層した。上層・中層は厚さ10cm程度で、下層は25cm程度堆積する。上層からは弥生時代後期の遺物が、中層・下層からは弥生時代前期末~中期初頭の遺物が出土している。埋土は中層でやや砂が混じるものの、上層・下層とも黒色系の粘土が堆積し、他の自然河川とともに湿地帯を形成していたと考えられる。上層部分はI-26東壁によると、上層の黒灰色粘土層はSRk02の上面をも覆っており、最終的にはSRk02とほぼ同時に埋没していったと考えられる。遺物はおおむね上層・中層・下層に分けて取り上げをしたが、I-26・28では中層を抽出しきれず、下層で取り上げている。

〈上層出土遺物〉 (第89図、図版51・52)

943~959は上層から出土した遺物である。943~957は弥生土器。943~946は壺。946には胎土中に角閃石を多く含む。947~949は甕。いずれも下川津B類土器。950・951は底部。952は底部穿孔土器。穿孔は焼成後に行う。953~956は高坏。953・954は坏部内外面に4方向分割のヘラミガキを行う。955・956は坏部小片。956は底部外面にヘラミガキが残る。高坏はいずれも胎土中に角閃石を含む。下川津B類土器。957は鉢。982と同一個体の可能性が高い。口縁端部に面を持たせ、そこに斜格子文を施し、円形浮文を数ヶ所に貼り付ける。958は須恵器坏身。底部は回転ヘラケズリをする。焼成は不良である。959は打製石庖丁。サヌカイト製。上部に敲打痕、刃部にわずかに磨滅痕が残る。出土遺物の時期は958が6世紀末頃、957が弥生時代中期中頃であることを除けば、おおむね弥生時代後期前半~後半頃と考えられる。

〈中層出土遺物〉 (第90・91図、図版52)

960~987は中層から出土した遺物である。すべてI-23から出土した。960は壺。体部には櫛描沈線と波状文を交互に配し、最下段に2段の刺突文を配する。櫛描きは4~5条で1単位である。961~972は甕。961・962は如意状口縁を持ち、その他は逆L字型口縁を持つ。961~965は無文。966~972は櫛描沈線を持つもの。磨滅していて沈線が薄くなっているものがほとんどである。櫛描の単位がわかるものは967が3条1単位、969が6条1単位、971・972が4条1単位と考えられる。櫛描沈線の下部に968には円形の刺突文、971には三角形の刺突文が付く。973・974は壺底部。975~979は甕底部。976・977は外面にヘラミガキ、977は内面にハケメが観察できる。980は蓋。981は高坏口縁部。小片。下川津B類。大型品と考えられる。982は鉢。口縁端部に円形浮文が貼りつく。全体に磨滅が著しい。957と同一個体の可能性がある。

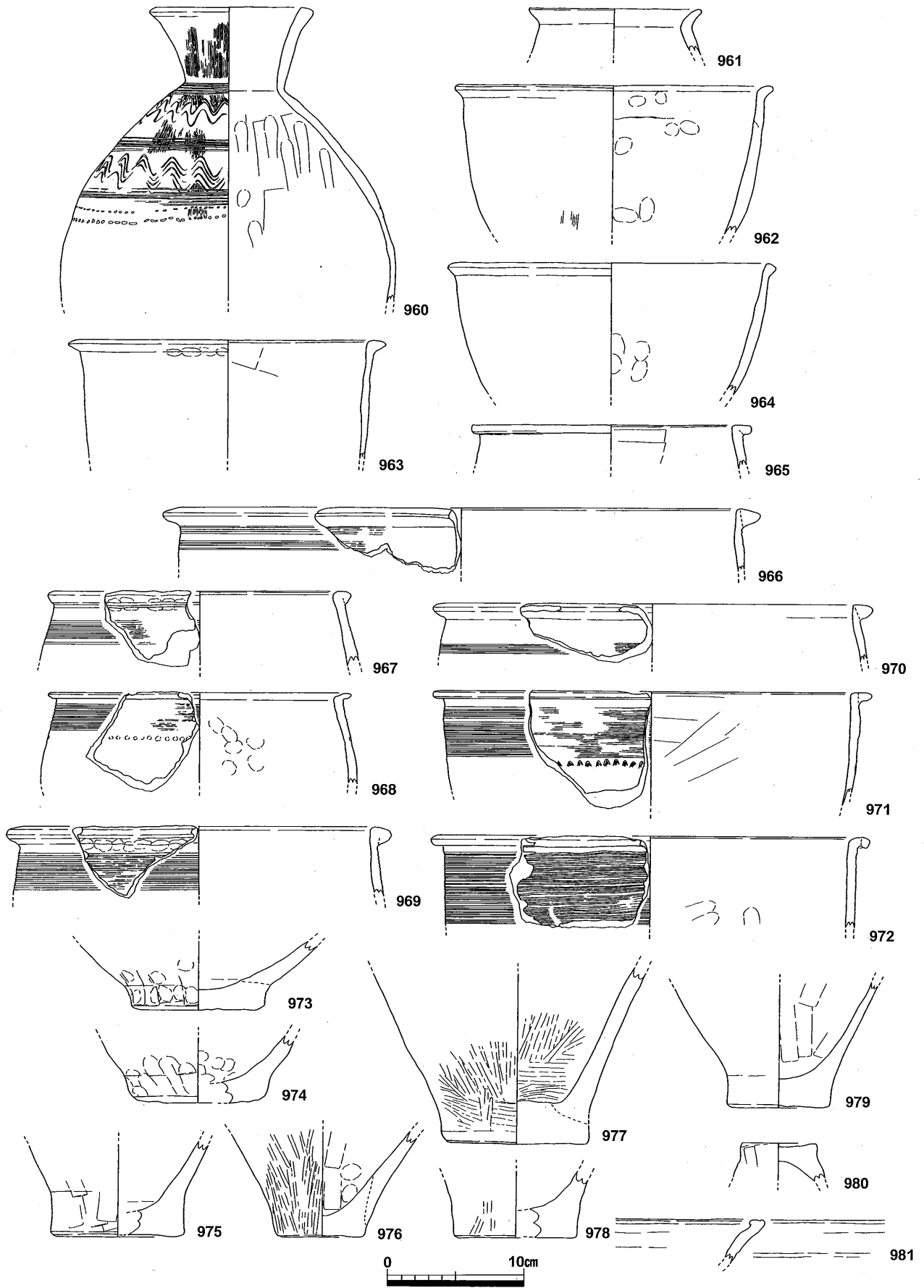
983~985は打製石器。サヌカイト製。983は石鏃。984は石斧か。側縁に敲打痕がある。985はスクレイパー。986・987は磨製石器。986は扁平片刃石斧。緑色片岩製。上下は欠け、表面も剥離している。987は大型蛤刃石斧。緑色片岩製。上部・側縁部に敲打痕を残し、側縁部に擦痕を残す。

出土遺物は981が弥生時代後期前半頃、982が中期中頃であることを除けば、おおむね弥生時代中期初頭頃である。SRk01では大半を占めていたヘラ描き沈線は姿を消し、施文は櫛描沈線のみである。

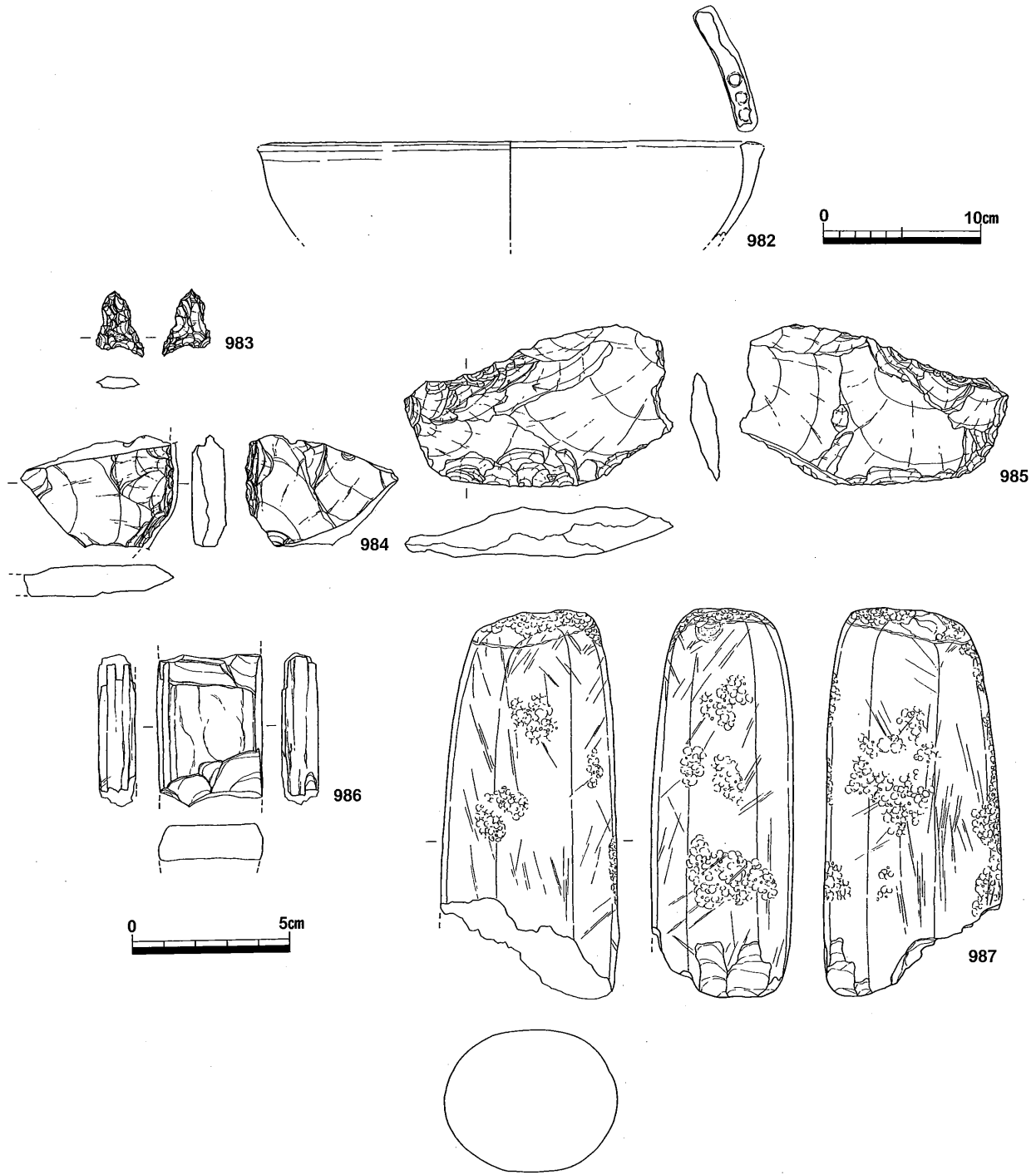
〈I-23下層出土遺物〉 (第92~94図、図版53~55)

988~1062はI-23部分の下層から出土した遺物である。988~996は壺。990・991は頸部に段を持つもの。992は頸部に10条以上のヘラ描き沈線を施し、内面、外面の上部はヘラミガキする。993は頸部に2条のヘラ描き沈線が確認できる。994は頸部に2条以上のヘラ描き沈線を描き、体部には半円の連弧文を飾る。993と994は胎土がよく似ており、同一個体の可能性がある。前期Ib期まで遡るもの。996は無頸壺。

997~1025は甕。997~1005・1017は如意状口縁を持つ。997のみ端部に刻目を持つ。997~1002は無文。全体に磨滅が著しい。1003は口縁端部から少し下がったところでヘラ描き沈線が1条見えるが、沈線の

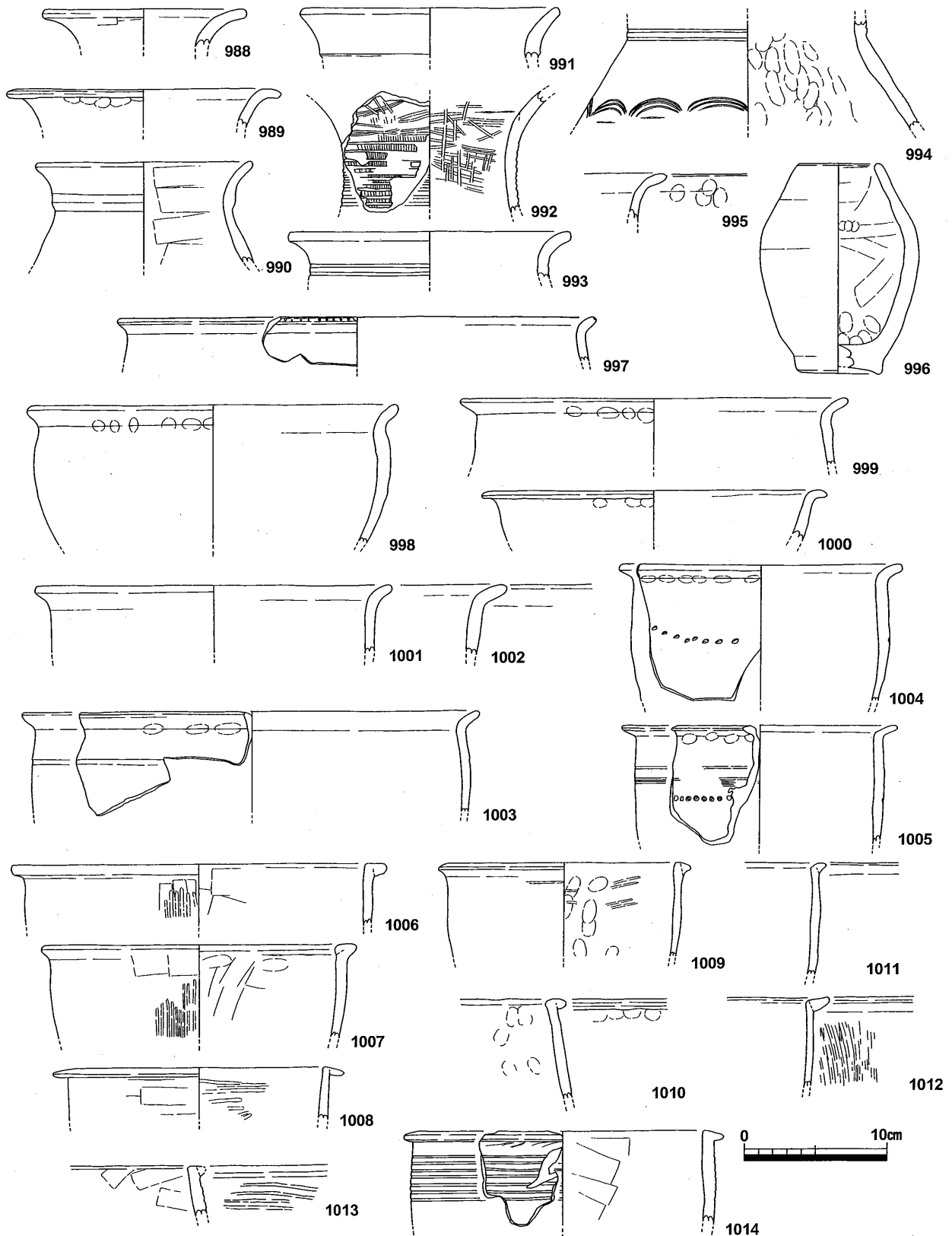


第90图 SRk03中層出土遺物① (1/4)



第91図 SRk03中層出土遺物② (1/4)・(1/2)

下側のラインは明確ではなく、緩い段状になっている。1004は体部中ほどに楕円形の刺突文が並ぶ。沈線は見えないが、器表は摩滅しており、櫛描沈線が施されていた可能性も残される。1005は体部中ほどに円形の刺突文が施され、その上部には、摩滅が著しいものの、櫛描沈線が所々に観察できる。1006～1024 (1017は除く) は逆L字型口縁を持つもの。1006～1012は無文。体部には縦方向のヘラミガキを施すもの (1006・1007)、浅いハケメを残すもの (1012) がある。1013・1014はヘラ描き沈線を持つ。1013は4条以上、1014は7条のヘラ描き沈線を持つ。1015～1024は櫛描沈線を持つ。櫛描の単位は、わかる範囲では3条1単位のもの (1024)、4条1単位のもの (1016、1022)、5条1単位のもの (1018～1021、

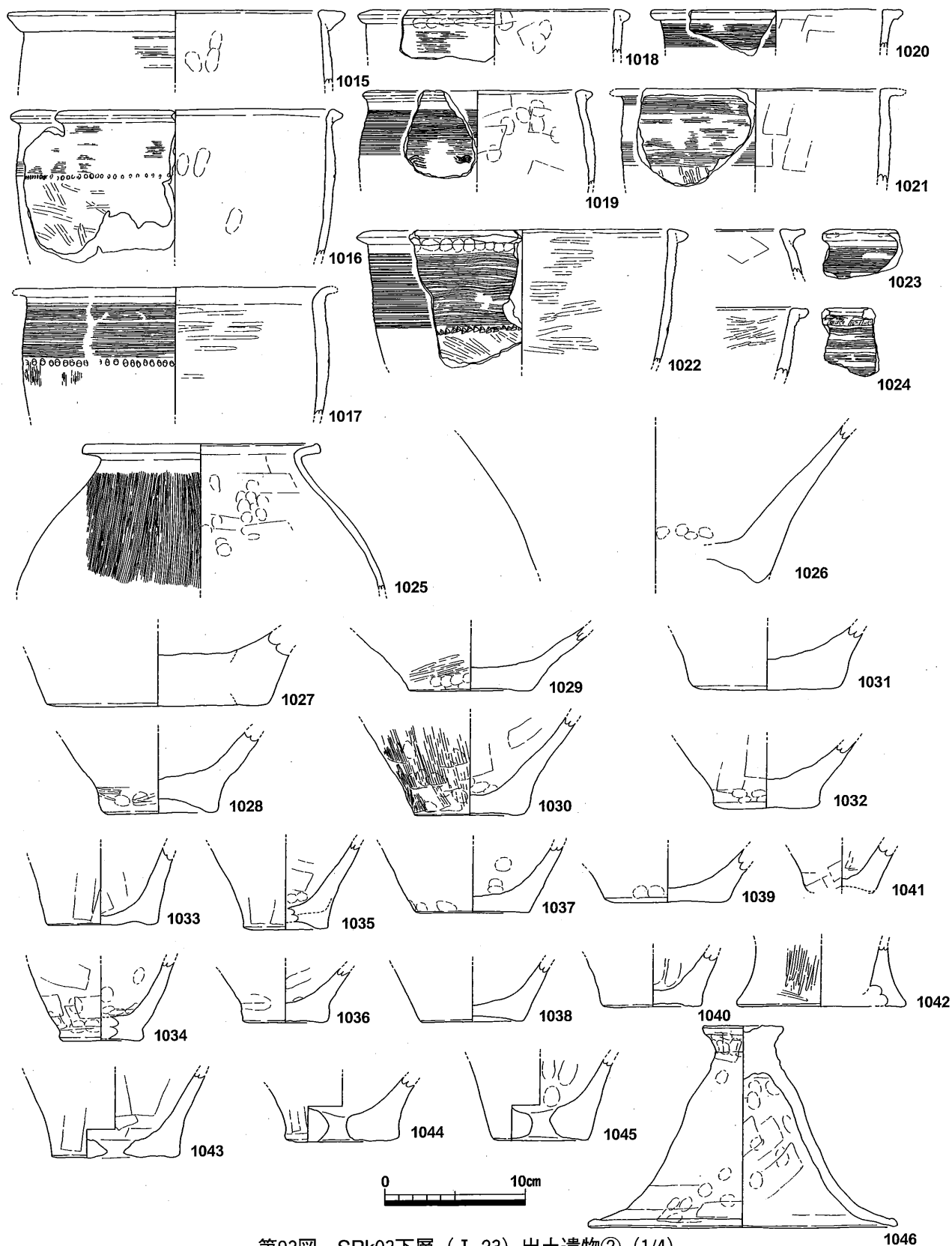


第92図 SRk03下層 (I-23) 出土遺物① (1/4)

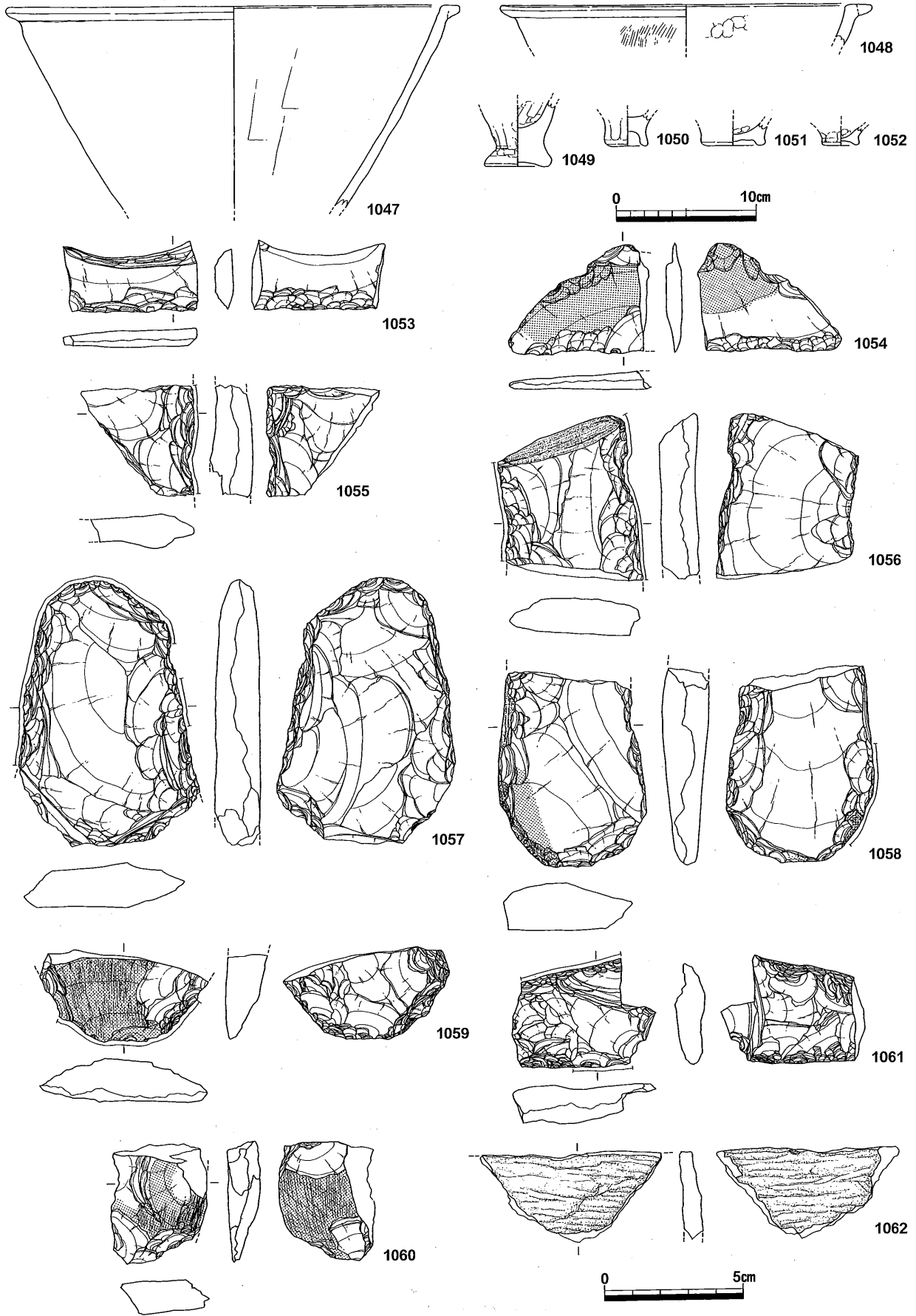
1023)、6条1単位のもの (1017) がある。櫛描沈線の下部には1016・1017は円形刺突文が、1019は波状文が、1022は三角形の刺突文が残る。1016では円形刺突文は一部にしか表現していないが、残りの部分は摩滅が著しくて確認ができなかった。1025は胎土中に角閃石をわずかに含む甕。後期前半頃まで下るもので、上層からの紛れ込みと考えられる。

1026～1042は底部。1026・1041は底部が接合面できれいに剥離し、1035は底部に剥離痕がみえる。

1043～1045は底部を穿孔するもの。いずれも焼成後に穿孔を行っている。1046は蓋。天井部径が小さく、厚みがあって中央部は窪んでいる。天井部と体部の境はやや括れている。ほぼ完形で歪みが著しい。1047・1048は体部の立ち上がりが大きく開く器形なので鉢とした。口縁部形態は逆L字型口縁部をもつ甕と同じ。1049～1052はいずれもミニチュア土器と考えられる。



第93図 SRK03下層 (I-23) 出土遺物② (1/4)



第94図 SRk03下層 (I-23) 出土遺物③ (1/4)・(1/2)

1053～1062は打製石器。1062以外はサヌカイト製。1053・1054はスクレイパー。1054は上部を突起状に作り出しており、石匙の可能性もある。両面上半部に磨滅痕がある。1055～1057は石斧。1055は側面片面に、1056・1057は両側面に敲打痕を残す。1056・1057は挟りがある。1058～1060は石鋏。ともに片面に多数の擦痕を残し、表面がつるつるになっている。1061は楔形石器。上部・下部ともに敲打痕を残す。1062は打製石庖丁。石材を薄く割り、上部を敲打している。表・裏面とも自然面のままである。石英片岩製。

出土遺物は、明らかに弥生時代後期に下る1025を除けば、壺はやや古い様相を示すものが目立つものの、出土遺物の多くを占める甕にヘラ描き沈線を施すものがほとんどなく、大半が無文のものと同様沈線を施すもので占められることから、おおむね弥生時代中期初頭頃と考えられる。

〈I-26下層出土遺物〉（第95・96図、図版55）

1063～1100はI-26部分の下層から出土した遺物である。1063～1070は壺。1063は口縁部が大きく広がり、口縁端部は上方へ引き上げる。下川津B類土器。1065は口縁端部に刻目を入れる。1066・1067は頸部に沈線を施す。1066はヘラ描きで3条の沈線を描き、1067は4条1単位の櫛描を3単位施す。1068は内面加飾壺。内面に斜め方向の2条の突帯を残す。口縁端部には凹線がある。1069・1070は頸部に貼付突帯があるもの。1069は頸部に4条の貼付突帯があり、所々に突帯のうち2条を繋ぐような2本1単位の棒状突帯を上から貼り付ける。1070は2条の突帯を貼り付け、その上から2ヶ所に短めの棒状突帯を貼り付ける。

1071～1087は甕。1071～1073は如意状口縁を持つ。1071・1073は無文。1072は5条1単位の櫛描沈線を施し、その下部に波状文を描く。1074～1086は逆L字型口縁を持つもの。1074～1083は無文。1075には口縁部の下部に剥離痕がみえ、もともと把手が付いていたと考えられる。1080～1082は口縁端部に刻目を持つ。1084・1085は多条のヘラ描き沈線を施し、その下部にはハケメが観察できる。1084は13条以上の沈線を描き、口縁端部には刻目を入れる。1085は10条以上の沈線を描く。1086は4～5条1単位の櫛描沈線を描く。1087は下川津B類土器。頸部は緩くくの字に曲がり、口縁端部は四角くする。

1088・1089は壺底部。1089は体部と底部に境に粘土の継ぎ目が観察できる。1090～1094は甕底部。1093は歪みが著しい。底部は厚さ半分程度剥離していると考えられる。1095は底部穿孔土器。形態は壺の底部に近い。穿孔は焼成後行う。1096・1097は蓋。1096は歪みが著しい。側面天井部付近に1ヶ所穿孔があるが、天井部外面までは貫通しない。1097は頂部付近で剥離し、上部は欠損。1098は鉢。

1099・1100は打製石器。サヌカイト製。1099は石鋏。平基式。1100は石斧。刃部の下面から側面にかけて敲打痕がある。

遺物の時期は、1063・1087は弥生時代後期前半まで下るが、残りはおおむね弥生時代前期後半～中期初頭で、中期初頭が中心となると考えられる。

〈I-28下層出土遺物〉（第97図、図版56）

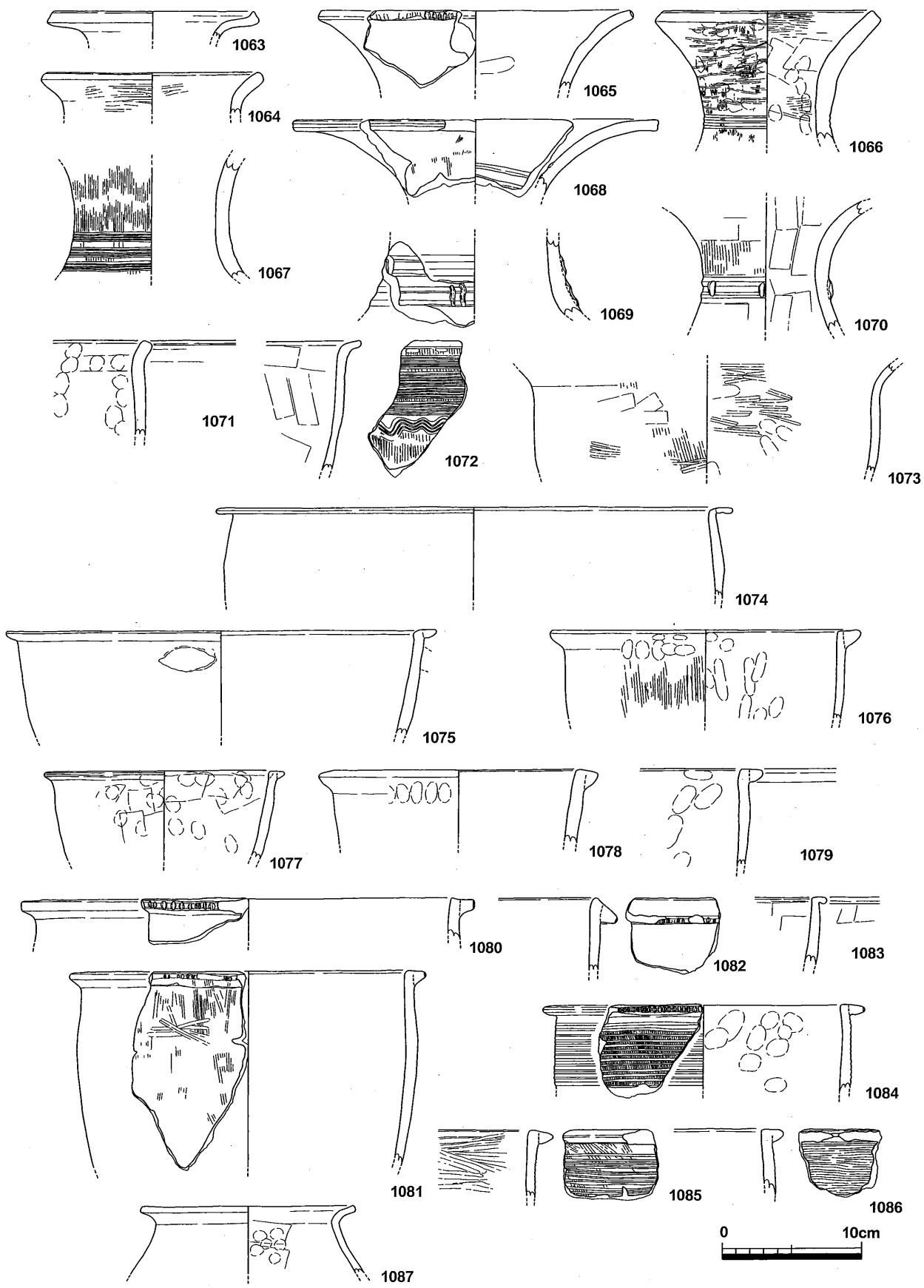
1101～1109はI-28の下層から出土した遺物である。1101は壺。やや内傾気味に立ち上がる頸部から大きく開口口縁を持つ。口縁端部は上方へ拡張し、口縁端面には緩く凹線状に窪む。下川津B類土器。

1102は壺の底部。しっかりした平底に丸みを持つ体部をもつ。1103は甕。逆L字型口縁で、7条のヘラ描き沈線を描く。1104～1106は底部。1106は底部に粘土の継ぎ目痕が観察できる。

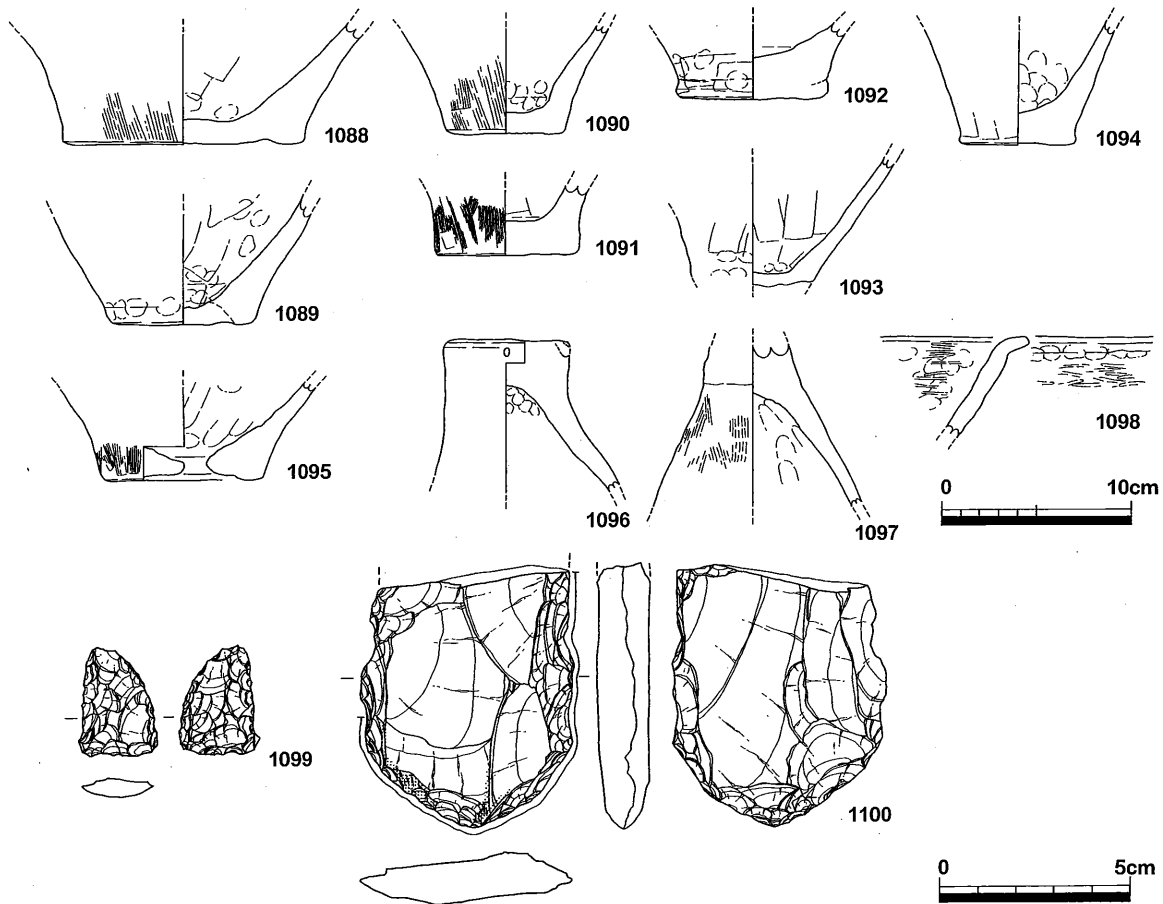
1107・1108は打製石器。サヌカイト製。スクレイパー。1107は上部に、1108は裏面に自然面を多く残す。刃の成形はほとんどしていない。1109は安山岩。表面には多数の擦痕があり、成形しようとした痕跡が観察できる。残りの面は割れている。磨製石器の未製品または失敗品か。

〈その他出土遺物〉（第98図、図版56）

1110～1119は出土層位不明の遺物である。1110・1111は壺。1110は3条の貼付突帯が付く。1112は甕。



第95図 SRk03下層 (I-26) 出土遺物① (1/4)



第96図 SRk03下層 (I-26) 出土遺物② (1/4)・(1/2)

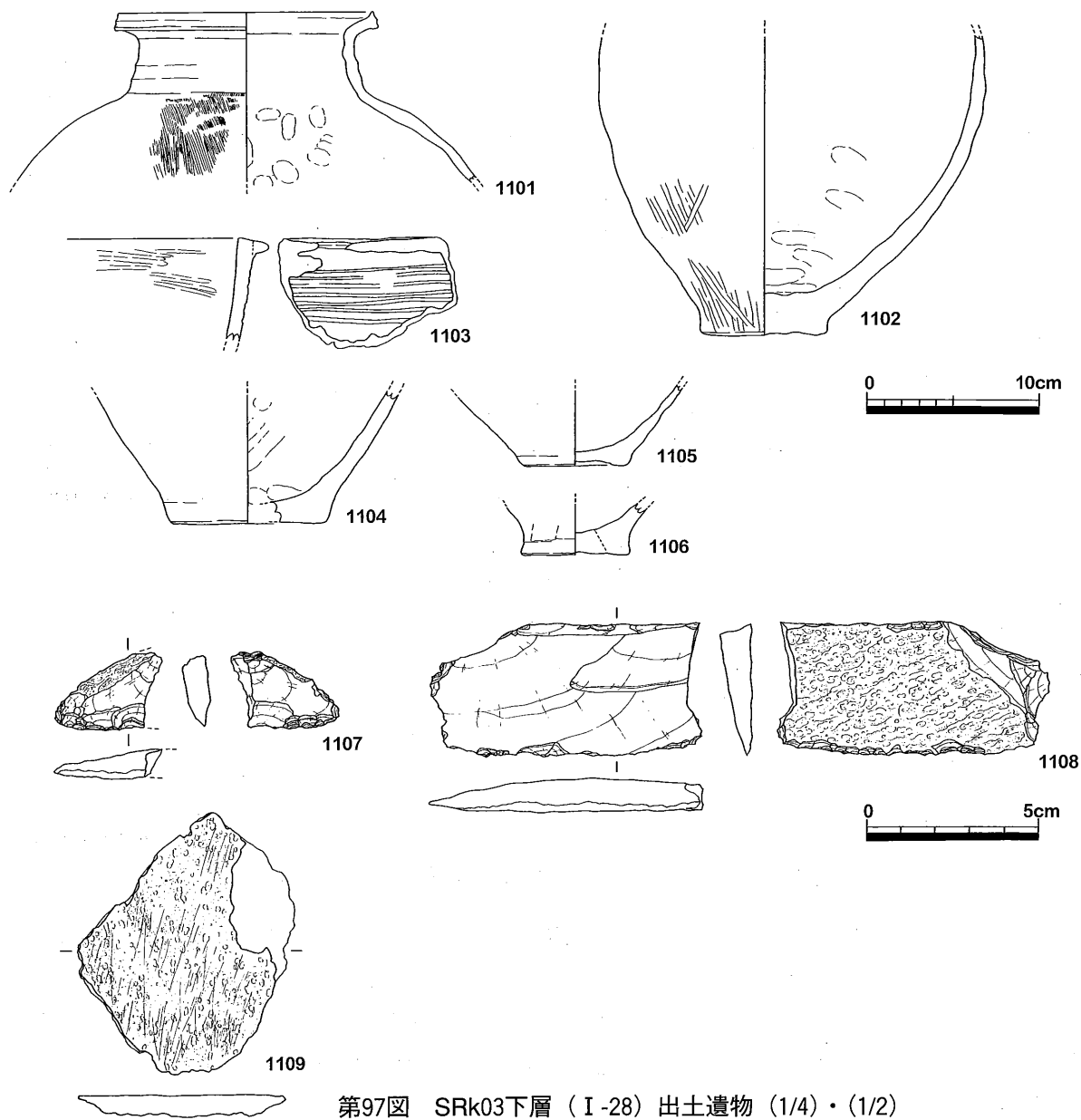
逆L字型の口縁部を持ち、5条以上のヘラ描き沈線を描く。1113～1115は底部。いずれも甕底部と考えられ、外面調整は1113・1115にはヘラミガキ、1114にはハケメが施される。

1116～1118は打製石器。1118以外はサヌカイト製。1116は石鏃。凹基式。先端は欠損する。1117・1118はスクレイパー。1119は石庖丁。上部に敲打痕があるが、表・裏面とも割れた面のままである。結晶片岩（紅廉片岩）製。

SRk01～SRk03について

本調査区ではSRk01～SRk03の自然河川を幅約70～80mの範囲で検出した。これらはそれぞれ独立した自然河川として報告したが、SRk03の上層を除けばいずれも弥生時代前期後半～中期初頭と時期が限定されること、調査区の南側にこの流路にあうような自然河川が検出されていないこと、後述するような現地形の地割の乱れから、これらの流路は大きく捉えれば1つの流路であろうと考えられる。

都市計画図や江戸時代後期（文化15年頃）の作成とされる『山田郡下村順道図絵』を見ると、空港跡地の西側を走る旧河道の痕跡は、そのまま北側の下池・大池へと連なる流路と、東側の池台池へ方向を変え、東から北東方向へ向く地割の乱れがある。また、『順道図絵』の土地利用状況に拠れば、池台池から下池、大池へ連なるラインの東側一帯が下々田として位置づけられていたのに続き、池台池から東へそれ、SRk01～SRk03からSRa01へ抜けるラインにラップして下田が占めている。このような状況からも、大きく捉えればSRk01～SRk03が同一の流路であると考えられる。空港跡地遺跡の西側に隣接する多肥官尻遺跡の東端から、分ヶ池（池台池の一部）の南岸に沿うようにほぼ東西方向に弥生時代前期後半～中期初頭の自然河川が検出されており、これはSRk03へ連続するものと考えられる。また、高松



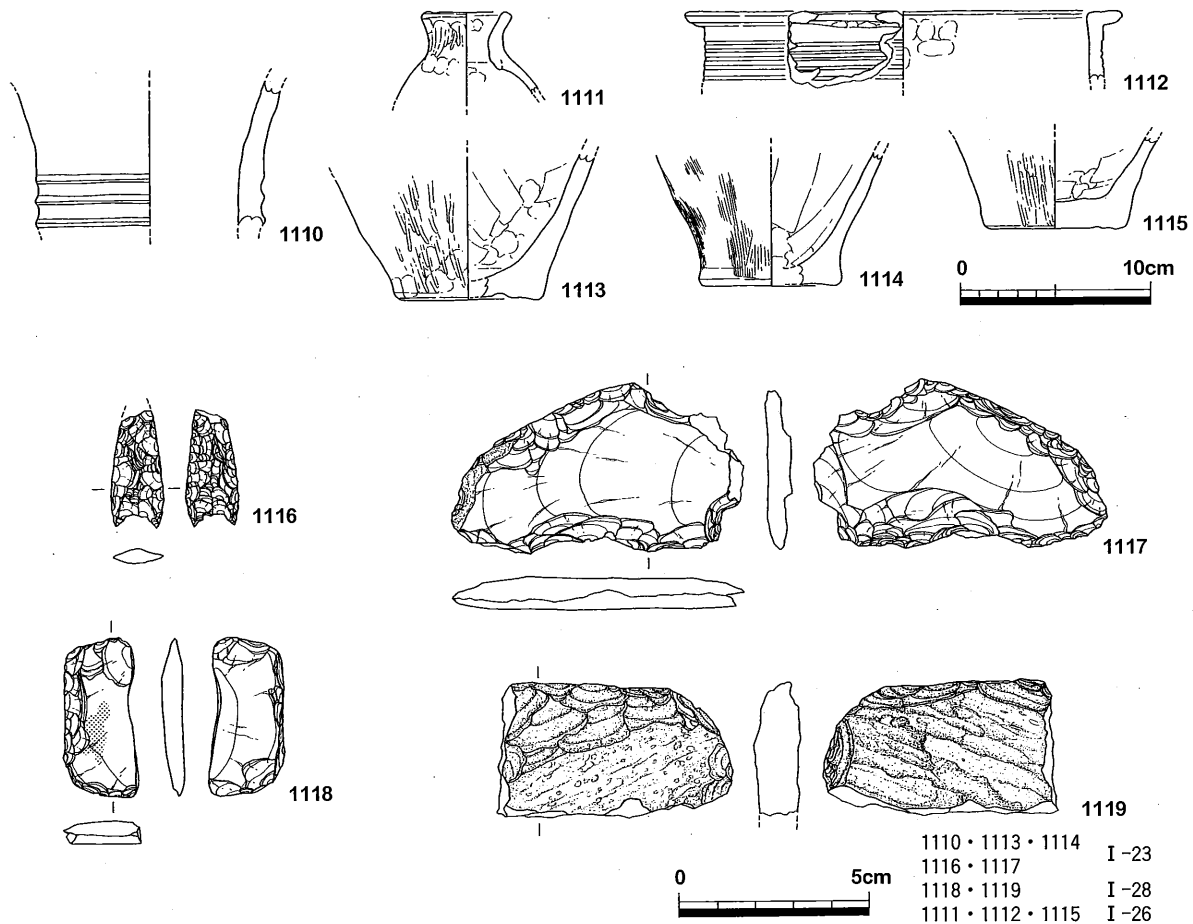
第97図 SRk03下層 (I-28) 出土遺物 (1/4)・(1/2)

市教育委員会が弘福寺領田圃関連調査の際に発掘調査したF地区1・2トレンチからは同時期の溝が検出されている。この溝は埋土や検出位置からSRk01へ連続する可能性も考えられるかもしれない。SRk01～SRk03は大きく捉えれば西側から流れてきてI-28付近で北東へ屈曲し、SRa01から宮西・一角遺跡で検出したSR03へ続いていくと考えられる。

SRk01～SRk03までの部分は弥生時代前期後半には自然河川が埋没を始め、弥生時代後期後半にはSRk03部分が湿地状を呈し、その後古代～中世にかけて灰褐色～暗灰褐色粘質土の包含層が堆積していったようだ。

SRk03の延長部であるSRa01の直上からは厚さ約8cmの灰茶黒色粘質土の水田層が検出されている。また、その約17cm上面でも灰茶色粘質土の水田層を検出した。しかし、今回の調査ではSRk03の上面に堆積する包含層を細分することができず、水田層は検出することはできなかった。

3条の自然河川の中では遺物出土量はSRk01が際立って多い。その中でも特にI-25が最も多く、I-26・27がほぼ同量であった。SRk02の遺物出土量はわずかで、SRk03はやや多い。これは当該期の集落からの距離によるものと考えられる。



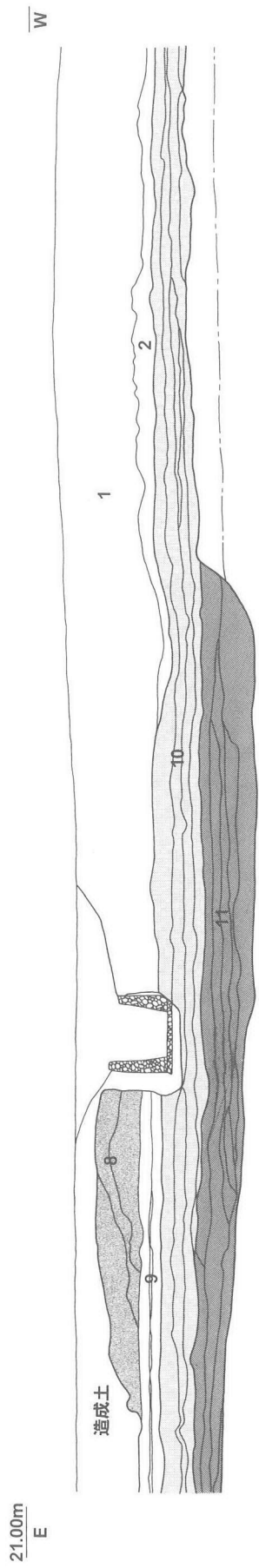
第98図 SRk03その他 (I-23・26・28) 出土遺物 (1/4)・(1/2)

6. 近世以降の遺構・遺物

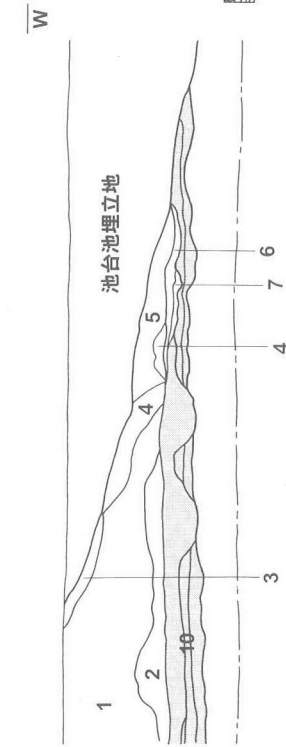
池台池堤防 (第99・100図)

平面的には確認をしていないが、池の東側から北東のコーナーにかけての堤防の盛土断面を部分的に検出している。I-26南壁土層でやや斜めに入った横断面を、I-26・27西壁断面ではやや斜め気味の堤防縦断面を、I-25北壁では北東隅コーナーの横断面の一部を検出している。調査時には堤防盛土を意識して断面図を作成していなかったため、堤防に直交する断面図は作成していないが、壁面で残っている堤防の高さは60cm～1.0m、幅は後述する暗渠水路の長さから約14mを測る。I-23の南端部ではベースが急激に上がっており、明治21年地籍図に拠ると、池の西南側には堤防は築かれていない。A地区西地区の池際の南壁土層断面図に拠れば、空港造成直前の地表面のレベルが約21.5mなので、堤防の標高もおおむねそれくらいであろう。そうとすれば、堤防の高さは1.1～1.2m程度であると考えられる。堤防盛土は、I-26南壁部分では堤防の下部に堆積する包含層やSRk02の埋土ブロックを捏ね回したようなものを盛り上げたようにしており、池の際にわずかに明灰色粘土や黄褐色粘土と黄褐色砂を版築状にしたものを斜面に貼り付けている。一方、I-27の暗渠水路から北側で観察できる土層では、大雑把に

- ① 堤防の両端基底部に橙褐色シルト・粘質土などのよく締まる土を盛る。
- ② 基底部中程に褐色砂礫を盛る。
- ③ 中央部分に灰色・黄褐色・褐色などの粘質土・砂質土などを盛る。
- ④ 堤防の水田側斜面に粘質土・砂質土など違う種類の土を交互に盛る。
- ⑤ 堤防上部に耕土と同様の土や、周辺で採取した土を捏ね回したような土を盛る。



21.00m
E



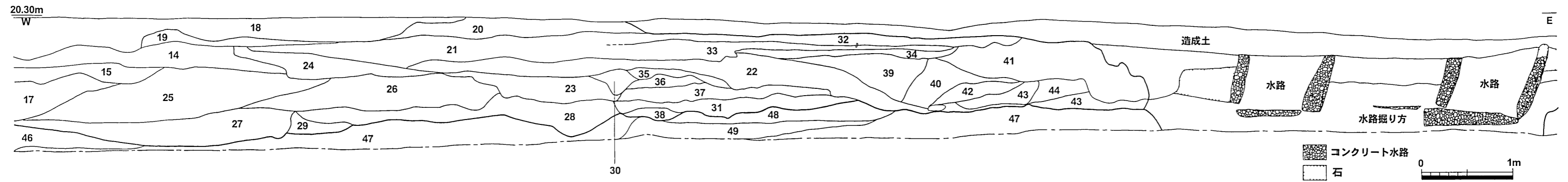
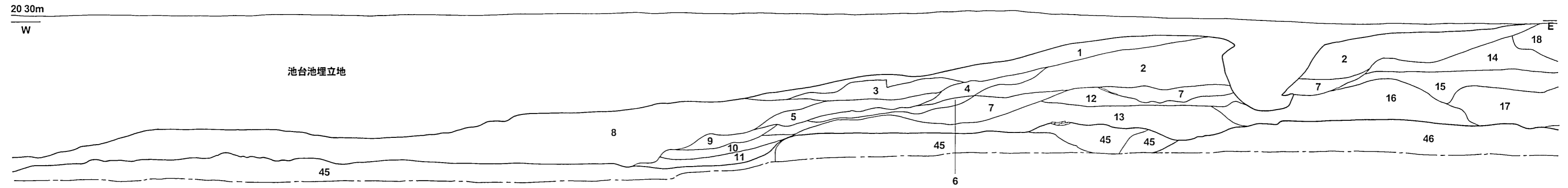
21.00m
E



コンクリート水路

- | | | | |
|---|----------------------------|----|----------------------|
| 1 | 明灰色粘土ブロックと暗褐色土ブロックが入り混じった土 | 7 | 6層と10層が入り混じった土 |
| 2 | 明灰色粘土 | 8 | 畦畔 |
| 3 | 黄褐色砂と黄褐色粘土、版築状に堆積 | 9 | 旧耕土 |
| 4 | 明灰色粘土 | 10 | 灰褐色～暗灰色粘土 (古代～中世包含層) |
| 5 | 明黄褐色砂と青灰色粘土、版築状に堆積 | 11 | SRk02埋土 |
| 6 | 青灰色粘土 | | |

第99図 池台池堤防断面図 (I-25南壁部分) (1/80)



- 1 褐灰色礫混砂質土
- 2 明褐色シルト+明黄褐色粗砂 (版築状に堆積)
- 3 明灰色粘土+黄褐色砂 (版築状に堆積)
- 4 明褐色シルトで明褐色砂混
- 5 明灰色粘土
- 6 明青灰色シルト+黄褐色砂 (版築状に堆積)
- 7 明褐色粘土
- 8 明灰色粘土
- 9 明青灰色シルト
- 10 明青灰色砂混粘土
- 11 青灰色粘土
- 12 橙褐色粘土で2、7層混
- 13 橙褐色粘質土 (よく締まる)

- 14 明灰色砂質土
- 15 明黄灰色粘質土
- 16 黄褐色砂混粘質土 (砂多い)
- 17 明黄灰色粘質土
- 18 黄灰色粘土ブロックと暗灰色粘土ブロックが入り混じる
- 19 明灰色砂質土
- 20 灰色砂質土 (旧耕土と同じ土)
- 21 明褐色粘質土
- 22 明黄茶褐色砂質土
- 23 明茶褐色シルト
- 24 黄茶褐色粘質土
- 25 褐色砂礫 (2~5cm大の礫を含む)
- 26 褐色砂礫 (砂が多い)

- 27 褐色砂礫 (5~10cm大の礫を含む)
- 28 明黄茶褐色シルト (よく締まる)
- 29 赤茶褐色粘質土 (よく締まる)
- 30 黄褐色シルト
- 31 橙褐色シルト
- 32 明茶褐色砂質土 (上面にFe沈着)
- 33 明黄褐色砂質土
- 34 灰褐色砂質土と黄色土が入り混じった土
- 35 褐灰色砂質土
- 36 35で黄色土混
- 37 褐色砂質土 (よく締まる)
- 38 茶褐色砂質土 (よく締まる)
- 39 黄褐色弱粘質土

- 40 灰褐色砂質土
- 41 明黄灰色砂質土ブロックと褐灰色土混
- 42 褐灰色細砂
- 43 灰褐色粗砂混砂質土
- 44 43と橙褐色土ブロックが入り混じった土
- 45 SRk01の埋土
- 46 灰褐色砂礫
- 47 褐色砂礫
- 48 褐色砂
- 49 褐色粗砂

地山

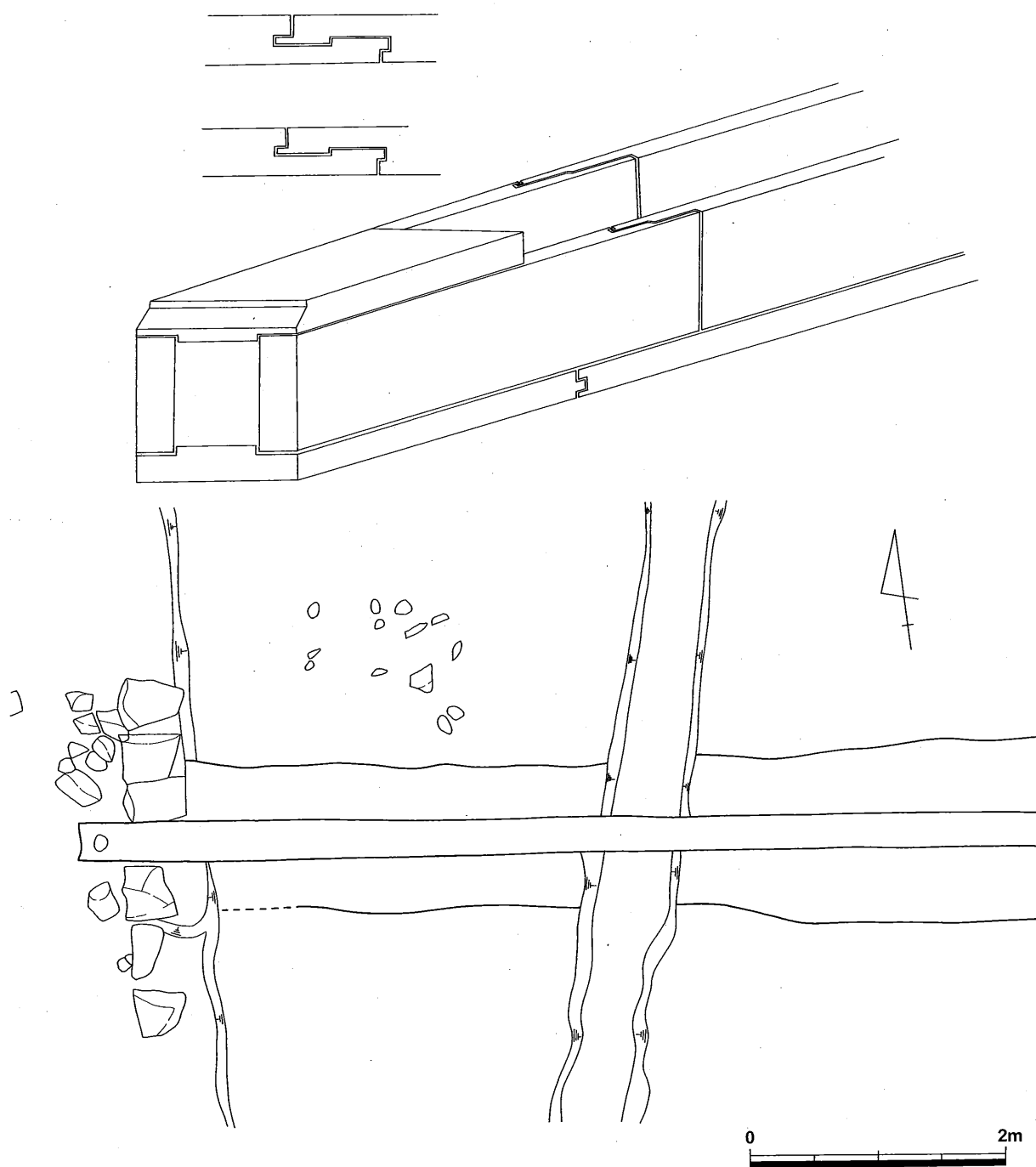
第100図 池台池堤防断面図 (I-27北壁部分) (1/40)

⑥ 池側斜面に粘土・砂・シルトを版築状に盛る。

といった工程を取るようである。I-25南壁部分に比べてこの部分の盛土状況が複雑なのは池のコーナーであることやユルの近くであるためと考えられる。

I-25北壁部分では池側の斜面に厚さが最大約55cmの明灰色粘土層が堆積し、その上下両側の層に版築状につき固めた層が認められる。この明灰色粘土は池台池の堆積土、版築状堆積土は堤防の盛土と考えられ、池の内部の自然堆積が進むにつれて、堤防を少し拡張したとも考えられる。

この堤防の築造時期は、明らかに堤防の下部にあるSKk11が13世紀後半であることから、それ以降であることは確実である。また、堤防の下部に堆積する包含層の出土遺物が13世紀後半頃までの遺物を含むようである。この堤防の築造年代は早くてもそれ以降と考えられる。



第101図 暗渠模式図・底ユル平面図 (1/50)

I-25・27 暗渠水路（底ユル）（第101図、図版18）

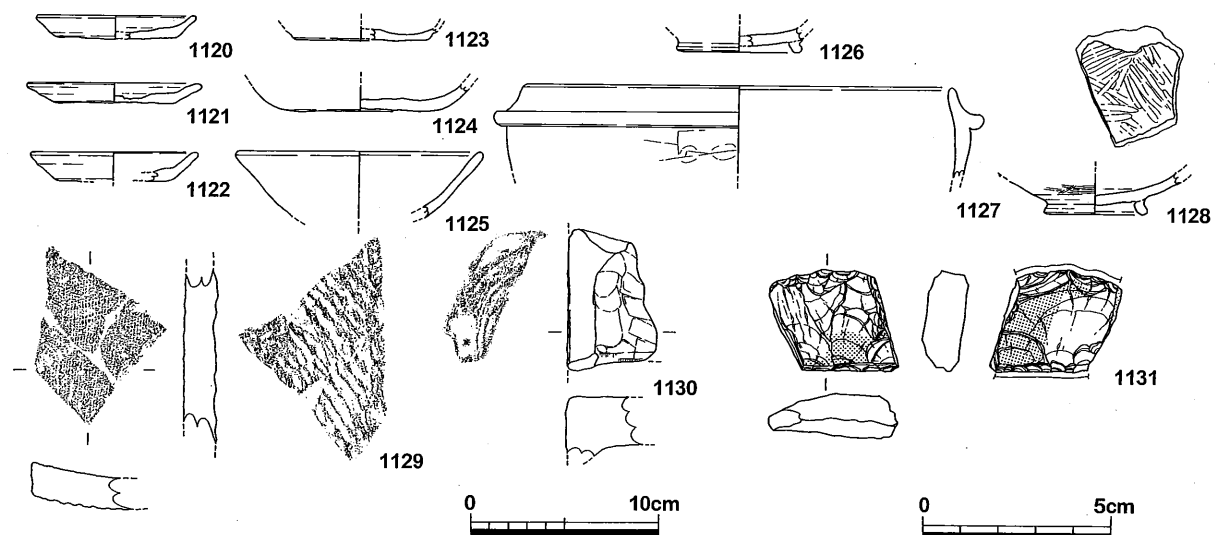
I-25北端部付近で暗渠を検出した。長さ18.2m、幅26cm、深さ28cmである。暗渠の組み方は、底板と天板の両サイドを溝状に掘って横板を嵌め込み、底板の継ぎ目、横板の継ぎ目、天板の継ぎ目はそれぞれ互いに嵌め込めるように端を図のように加工している。暗渠の掘り方は幅1.4m、深さ50cmで、埋土は地山ブロックで形成され、暗渠埋設後すぐに埋められた様子が窺える。断面形状はほぼ長方形である。暗渠の西端は石を暗渠の両側に3個ずつ1段だけ両側へ並べており、池側のほうに裏込めの石が見られる。天板には直径5cm程度の孔があり、ユルとなっている。東端はコンクリート水路へ接続している。この暗渠は池台池から水路へ水を引くためのもので、暗渠の長さが堤防の底辺の長さに対応する。暗渠には所々に丸釘が残されていた。この暗渠の掘り方は堤防の最上部から掘り込まれており、堤防を築いた後に暗渠が設置されている様子が窺える。この暗渠自体は丸釘が使用されていることから遡っても明治時代中頃と考えられる。この暗渠は池台池にあるユルのうち底ユルに相当するものである。このユルからI-27区で検出した北東へ向く水路を通して北側を灌漑していた。

トレンチ2（I-24）出土遺物（第102図、図版57）

トレンチ2は池台池の南東部にあたり、約2.2mの空港造成時の埋立土の下部に池台池の堆積土である濁灰緑色粘土・淡灰色粘土が約30cmある。掲載した遺物はいずれもI-24トレンチ2のうち淡灰色粘質土層から出土した遺物で、摩滅の度合いも比較的少ない。

1120～1127は土師質土器。1120～1122は小皿。口径は8.4～8.8cm、器高は1.0～1.5cmである。底部はすべてヘラ切りによる。1123・1124は坏底部。1124は時計回りのヘラ切り痕跡が残る。1125は坏口縁部。1126は碗底部。1127は足釜。内面はナデ、外面は横方向の板ナデを施す。鏝から下には煤が付着する。1128は須恵器碗。底部内面はヘラミガキ、外面には横方向のヘラミガキが残る。底部はヘラ切り痕が残る。1129は平瓦。土師質に近い焼成で、凹面には布目、凸面には斜め方向の縄目が残る。側端部には短辺方向の工具痕が残る。1130は軒丸瓦片。土師質の焼成で、摩滅が著しいが、圏線に取り付く尾っぽが2本見えることから、左回りの三巴文と考えられる。珠文は均等には配されない。丸瓦との接合部には指ナデ痕が顕著に残り、丸瓦と瓦当の接合粘土は多くない。1131は楔形石器。サヌカイト製。上部・下部ともに敲打痕を残し、両面ともに磨滅痕を残す。

これらの時期は、おおむね佐藤編年II-1～2（12世紀後半～13世紀前半）に当たると考えられる。これらの遺物はすべて池台池の埋立土のなかの淡灰色粘質土から出土したものである。この層は第17図

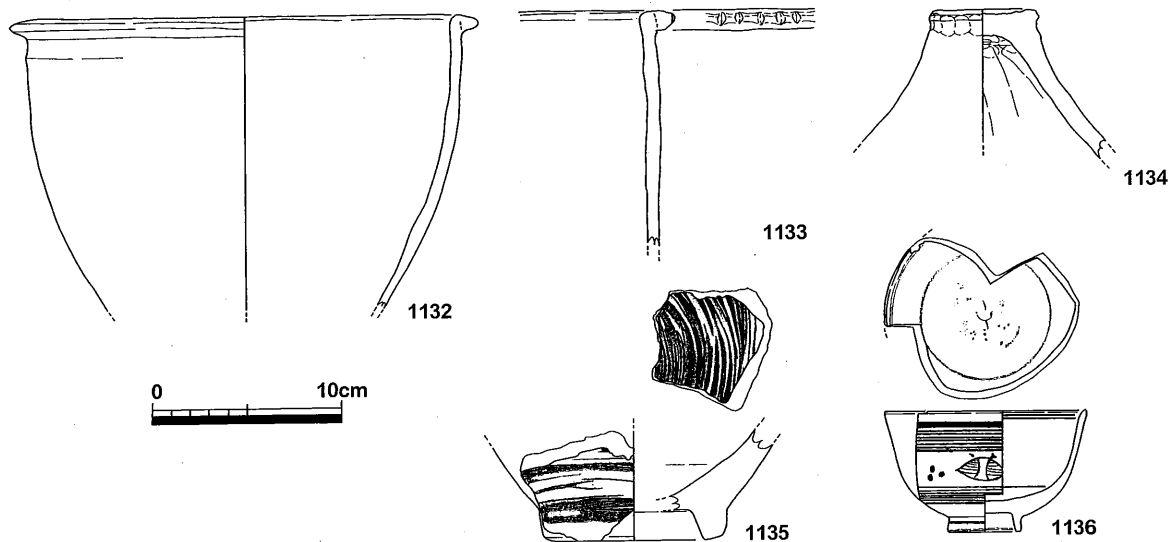


第102図 トレンチ2（I-24）出土遺物（1/4）・（1/2）

のうちの7の層になると考えられる。このように池の埋立土中に比較的時期の近接した、破片の大きい土器が出土するのは、その客土が遺構を含んでいた、あるいは遺物包含層であったことが考えられよう。トレンチ2の南東部、I-23SRk03の南岸一帯では、SXk11を中心とした淡灰褐色細砂混粘質土層が広がっており、ここからは12世紀後半～13世紀前半の遺物が出土している。埋立土の一部にこの辺りの土を利用していたとも考えられよう。

I-27旧水路（第103図）

I-27西北部で検出した南北方向の水路である。幅50cm、深さ30cmで、調査時はコンクリート製で、約2.5m東側にも同様の水路を検出しており、その間が畦道となっていたのであろう。これらの水路自体は昭和19年の陸軍飛行場造成時まで機能していたが、この水路は『順道図絵』にも描かれている。ただし、このコンクリート水路に先行する溝は認められず、このコンクリート水路は先行する溝と同位置に作り変えられたと考えられる。この水路は約1.3m四方の石組みの枡形で止まっており、そこから直角方向へ池台池へと伸びる木製暗渠へ続く。



第103図 旧水路（I-27）出土遺物（1/4）

1132～1134は弥生土器。1132・1133は甕。ともに逆L字型口縁で、体部に文様はない。1133は口縁端部に刻目を持つ。1134は蓋。天井部径がやや大きめで天井部と体部の境の括れがほとんどない。いずれも弥生時代前期末頃のもので、SRk01からの紛れ込みであろう。1135は陶器鉢。肥前系の刷毛目唐津。高台内と畳付部分は無釉。1136は肥前系磁器碗。外面と見込み部分に呉須で絵付けする。

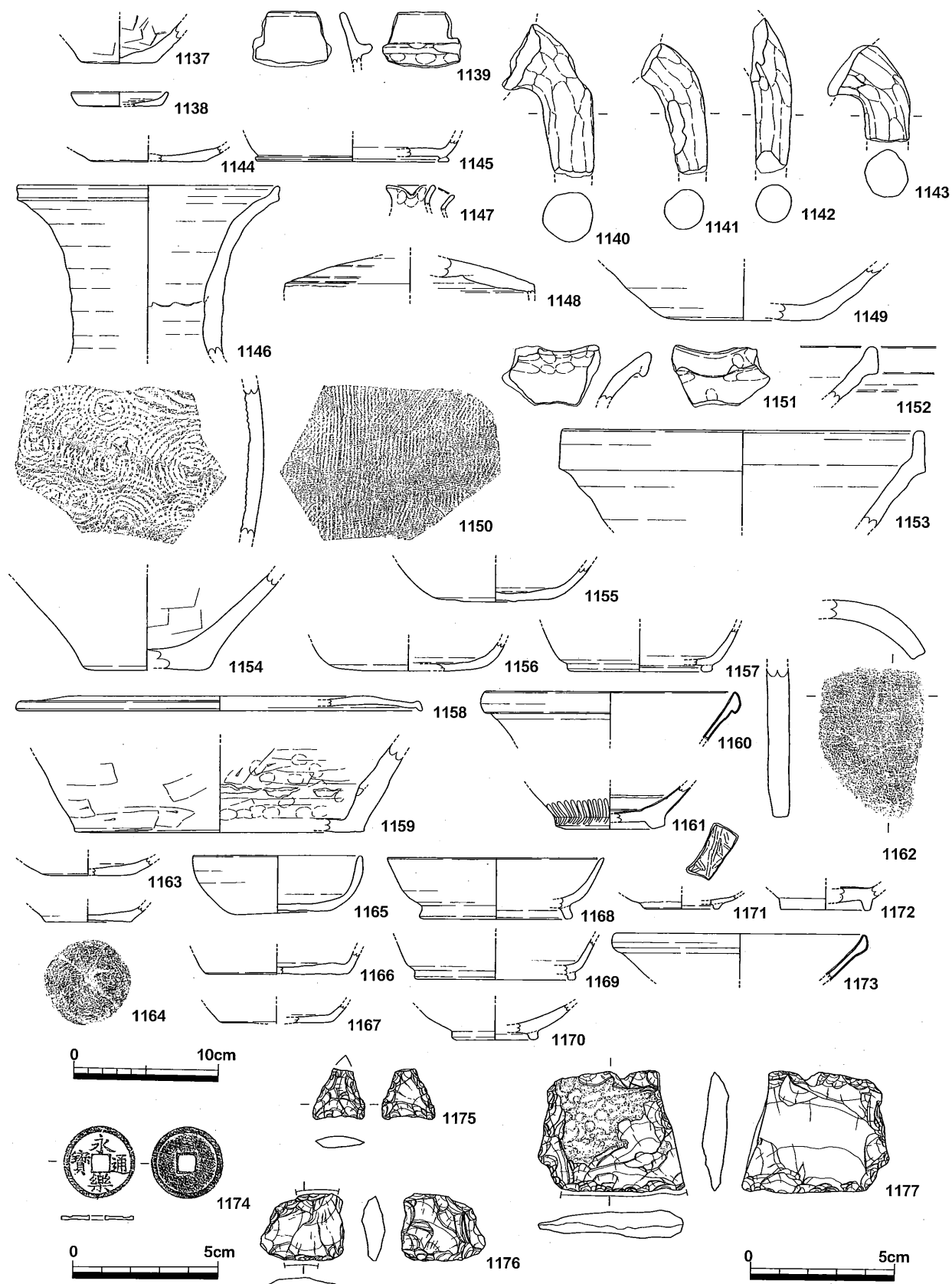
7. 包含層、その他の遺物

包含層出土遺物（第104・105図、図版57・58）

I-27・25・26・23で堆積していた包含層である。特にSRk01～03の上部で多く堆積し、そこから離れるに従って薄くなる。上層・灰褐色粘土、下層・暗褐色砂混粘土で、深い部分では厚さ25～30cm程度にわたって堆積する。A地区北地区ではこの層位で水田層が検出されたが、今回の調査区では水田層は検出できなかった。

1137～1153はI-27部分の包含層から出土した遺物である。

1137は弥生土器底部。1138～1143は土師質土器。1138は小皿。直径6.5cmで、13世紀～14世紀前半。1139は足釜口縁部。BⅡ形式。14世紀前半。1140～1143は足釜脚部。1144～1152は須恵器。1144は坏。9世紀後半頃。1145は坏B。1146は壺。長頸壺で轆轤目を顕著に残す。1147は頸部口縁端部を片口状にして注ぎ口を作る。焼成は堅緻。ミニチュア土器の壺口縁部か。1148は壺肩部。肩に強い稜線を持つ器



1137~1153 I-27
 1154~1162 I-23(上層)
 1163~1177 I-23(下層)①

第104図 包含層出土遺物① (1/4)・(1/2)

形で、上面には自然釉が分厚く掛かる。細長い頸部が付くと考えられる。1149は甕底部。1150は須恵器甕。小破片で傾きは不明。1151・1152は東播系捏ね鉢。1151は片口部分。口縁端部はわずかに下へ拡張する。ともに重ね焼き痕跡は見られない。13世紀末～14世紀前半。1153は備前焼播鉢。

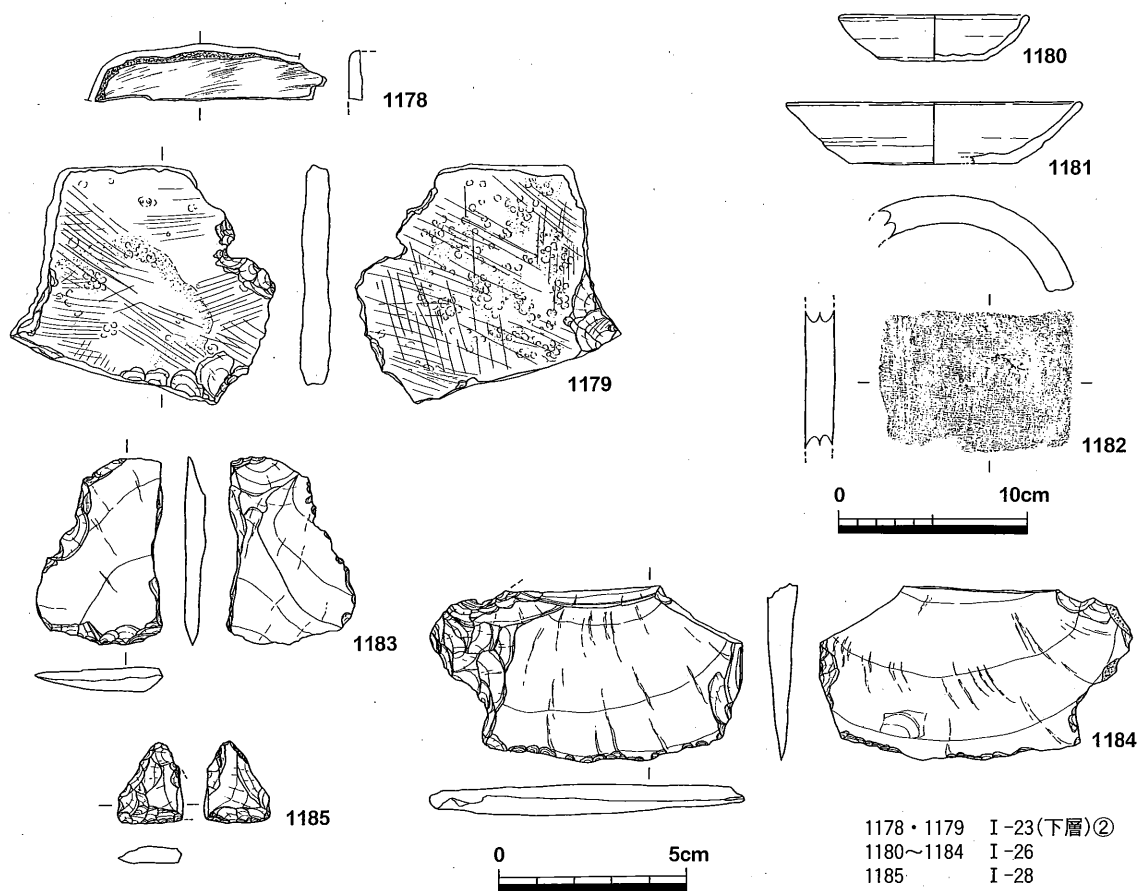
包含層の時期は、SKk11が埋没する頃以降からで、9世紀代の遺物を含むものの、おおむね14世紀前半頃以降と考えられる。

1154～1179はI-23から出土した遺物である。I-23の包含層出土遺物は、2層に分けて取り上げた。

1154～1162は上層である灰褐色砂混粘土層から出土した遺物である。1154は弥生土器底部。壺底部。しっかりした平底を呈する。1155は土師質土器坏D。底部には板状圧痕がある。1156～1159は須恵器。1156は坏A。1157は坏B。1158は蓋。1159は甕底部。残存範囲内で内外面とも横方向にヘラ削りする。1160は白磁碗。口縁端部は玉縁状にし、残存範囲内では全体に釉が掛かる。白磁第IV類。1161は白磁碗底部。内面と外面高台部付近まで施釉し、内面には沈線を2条、外面体部下半～高台部にはヘラ彫りを施す。1162は丸瓦。土師質の焼成で、凹面には布目圧痕、外面は短辺方向にヘラ削りする。側端部はなでる。

出土遺物は、SRk03からの混入と考えられる1154、8世紀後半頃と考えられる1156～1158の他は、おおむね12世紀～13世紀前半頃のものが多い。ただし、この包含層は12世紀後半～13世紀中頃の遺構であるSXXk11の上部に堆積するので、実際の包含層の堆積はもう少し遅れる。

1163～1179は下層である暗褐灰色粘土層から出土した遺物である。1163・1164は土師質土器坏底部。1163は坏D。1164は底部を回転糸切りで切り離す坏EⅡである。1165～1170は須恵器。1165は坏G。内面には自然釉が掛かり、底部外面は時計回りのヘラ切りをした後、ヘラ削りする。1166・1167は坏A。



第105図 包含層出土遺物② (1/4)・(1/2)

1166は外面に、1167は内外面に火襷が掛かる。9世紀代。1168・1169は坏B。1170は碗。摩滅が著しく、調整は不明。12世紀後半～13世紀前半頃の西村産のものと考えられる。1171は瓦器碗。和泉型。1172・1173は白磁。1173は白磁Ⅳ類。口縁端部を玉縁状にし、残存部分では釉は全体に掛かる。1174は北宋銭。永樂通宝。1175～1177は打製石器。すべてサヌカイト製。1175は石鏃。凹基式。先端部欠損。1176・1177は楔形石器。1176は上部・下部ともに敲打により刃を潰す。1177は片面に自然面を残し、上部の一部と下部に敲打痕を残す。1178は打製石庖丁。上部に敲打痕が残り、片面は剥がれている。石英片岩製。1179は磨製石庖丁の未製品か。安山岩製。上部はきれいに磨いており、両面ともに擦痕を残す。穿孔を試みた痕跡が認められる。

出土遺物の時期は13世紀前半～中頃を下限として、一部7世紀代の坏Gや8～9世紀代の須恵器坏がある。

1180～1184はI-26の包含層から出土した遺物。1180・1181は土師質土器坏D。1180は底部に時計回りのヘラ切り痕と板状圧痕を残す。1182は丸瓦。凹面には布目圧痕、凸面には短辺方向にヘラ削り痕を残す。側端面はなでて仕上げる。焼成はよくない。1183～1185は打製石器。すべてサヌカイト製。1183・1184はスクレイパーとした。下部片面にわずかに刃を作り出し、片面はほとんど加工しない。1184は上部片側を突起状に成形している。

1185はI-28出土の石鏃。サヌカイト製。平基式。

この調査区からの出土遺物は少ないが1180の土師質土器坏Dは小振りのもので、時期は13世紀後半まで下る可能性もある。

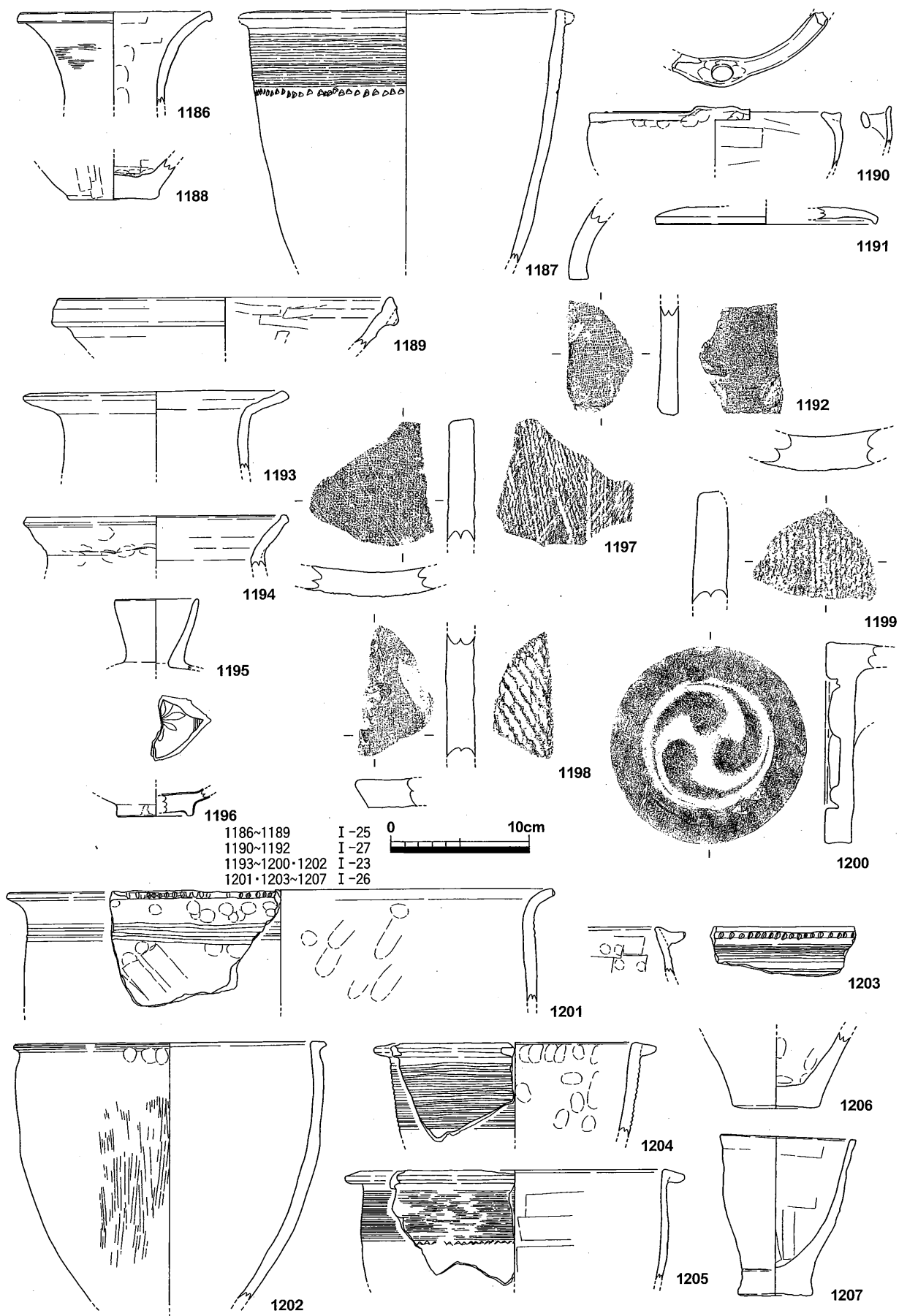
その他の出土遺物（第106・107図、図版59）

1186～1189はI-25から出土した遺物である。1186～1188は弥生土器。1186は壺。出土地不明。1187・1188はいずれも池台池にかかる位置で出土したもので、SRk01に由来するものと考えられる。1187は逆L字型口縁部を持つ甕で、多条沈線+三角刺突文を施す。沈線は上半部は明らかに3条1単位の櫛描で施文しているが、下半部は単位がくずれていてヘラ描きで施文しているようである。1189は須恵器捏ね鉢。東播系。池台池にかかる位置での壁切り出土の遺物で、包含層から出土したと考えられる。

1190～1192はI-27から出土した遺物である。1190は土師質土器把手付鍋。内耳が付く。16世紀頃。東側の壁切りの際に出土した遺物で、SXk12に関連する遺物かもしれない。1191は須恵器蓋。1192は丸瓦。凹面には布目圧痕を残す。凸面には短辺方向にヘラ削りし、側端縁は長辺方向になでる。側端部は長辺方向にヘラ削りする。軟質の焼成。1191・1192は北側の壁切りの際に出土した遺物。

1193～1200はI-23から出土した遺物。1193は弥生土器壺。角閃石を多く含むもので下川津B類土器。弥生時代後期中頃。調査区東壁から出土しており、SRk03上層部からのものか。1194は須恵器甕。口縁端部が若干肥厚する。表土除去の際に出土した。1195は須恵器平瓶口縁部。排土中から出土した。1196は青磁碗。内面には圈線、見込みには花卉を配する。13世紀中頃以降。上面精査中の出土遺物。1197～1199は平瓦。1197・1198は凹面に布目圧痕、凸面に斜め方向の縄目痕がある。1197は凹面にコビキA痕が残る。1199は凹面に布目痕が残っていない。1197は排土中、1198は上面精査中、1199は表土除去中に出土した。1200は軒丸瓦。全体に黒く燻し、瓦当は三つ巴文。瓦当裏面中央部には指押さえ痕が残り、瓦当が取り付けられない下部には瓦当の円弧に沿うナデがみられる。壁清掃中に出土した遺物。近世～近代のもの。

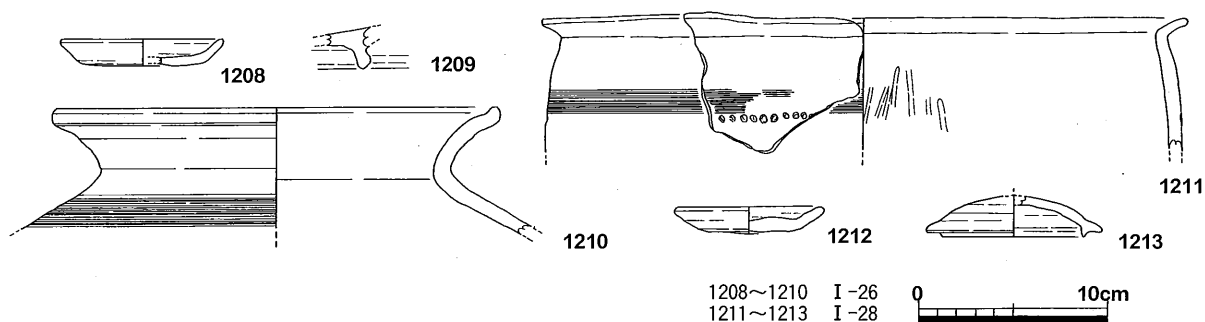
1201～1210はI-26から出土した遺物。1201～1207は弥生土器。いずれも弥生時代前期後半～中期初頭のもの。1203以外はSRk02またはSRk03から出土したと考えられるもの。1202・1206はSRk02・03のトレンチ掘削中に、その他は南半部の西壁壁切り中に出土した。1203はI-26北部の北側壁切り中に出土したもので、SRk01のものと考えられる。1201は如意状口縁にヘラ描き沈線3条を持つ甕。口縁端部



第106図 包含層その他出土遺物① (1/4)

には刻目を持つ。1202～1205は逆L字型口縁部を持つ甕。1202は無文。1203は4条以上のヘラ描き沈線を施し、口縁端部には刻目を持つ。1204は14条のヘラ描き沈線を持つ。1205は5条1単位の櫛描沈線をもち、その下部には三角刺突文を持つ。1206は甕底部。1207は小型鉢。1208は土師質土器小皿。皿BⅢ-3形式。口径8.6cmで、底部はヘラ切りである。南壁の壁切り中に出土したもので、ベースを覆う明灰褐色粘質土・砂層などの包含層中から出土したものか。1209は土師質土器碗底部。小片。SRk03の南岸に広がる明灰褐色粘質土の包含層中から出土した。1210は須恵器甕。肩部と口縁部内面に一部自然釉が残る。体部にはカキ目がある。北部の表土除去中に出土した。

1211～1213はI-28から出土した遺物である。1211は弥生土器甕。如意状口縁を持ち、器面は櫛描沈線+円形刺突文を施す。弥生時代中期初頭。上面精査中に出土した。1212は土師質土器小皿。皿BⅢ-3形式。口径7.6cmで底部はヘラ切りする。1213は須恵器坏蓋。返りの付くもの。頂部はヘラ削りする。1212・1213は北壁壁切り中に出土した。1212はベースを覆う明灰褐色粘質土・砂層などの包含層中から出土したものか。



第107図 包含層その他出土遺物② (1/4)

第4章 自然科学調査の成果

第1節 空港跡地遺跡（K地区）の樹種・種実同定

株式会社 古環境研究所

(1). 樹種同定

1. はじめに

木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質の特徴から概ね属レベルの同定が可能である。木材は花粉などの微化石と比較して移動性が少ないことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であり、遺跡から出土したものについては木材の利用状況や流通を探る手がかりとなる。

ここでは、空港跡地遺跡より出土した木材について樹種同定を行った。

2. 試料

試料は、I-23SRk03出土の自然木1点（試料1）、I-26SRk03出土の自然木1点（試料2）、I-27SKk11出土の板状木製品1点（試料3）、I-28SKk06出土の自然木2点（試料4・5）、I-26SKk06出土の加工木1点となすび型木製品1点（試料6・7）、合計7点である。

3. 方法

カミソリを用いて、試料の新鮮な基本的三断面（木材の横断面、放射断面、接線断面）を作製し、生物顕微鏡によって60～600倍で観察した。同定は解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

4. 結果

結果を表4に示し、主要な分類群の顕微鏡写真を図版に示す。以下に同定の根拠となった特徴を記す。

ツガ *Tsuga sieboldii* Carr. マツ科 (図版60)

河道管、樹脂細胞、放射柔細胞及び放射仮道管から構成される針葉樹材である。

横断面：早材から晩材への移行は急である。

放射断面：放射柔細胞の分野壁孔は、スギ型でややヒノキ型の傾向を示し、1分野に2～4個存在する。放射仮道管が存在し、その壁には小型の有縁壁孔が存在する。わずかではあるが、樹脂細胞が存在する。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型で、1～20細胞高である。

以上の形質より、ツガに同定される。ツガは福島県以南の本州、四国、九州に分布する。常緑高木で通常高さ20～25m、径50～80cmである。材は耐朽、保存性中庸で、建築、器具、土木、薪炭などに用いられる。

コナラ属コナラ節 *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科 (図版60)

横断面：年輪のはじめに大型の道管が、1～2列配列する環孔材である。晩材部では薄壁で角張った小道管が、散在しないし火炎状に配列する。早材から晩材にかけて道管の径は急激に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のものと大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質よりコナラ属コナラ節に同定される。コナラ属コナラ節にはカシワ、コナラ、ナラガシワ、ミズナラがあり、北海道、本州、四国、九州に分布する。落葉高木で、高さ15m、径60cmぐらいに達する。材は強靱で弾力に富み、建築材などに用いられる。

コナラ属クヌギ節 *Quercus* sect. *Aegilops* ブナ科 (図版61)

横断面：年輪のはじめに大型の道管が、1～2列配列する環孔材である。晩材部では厚壁で丸い小道管が、単独でおおよそ放射方向に配列する。早材から晩材にかけて道管の径は急激に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のものと大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質よりコナラ属クヌギ節に同定される。コナラ属クヌギ節にはクヌギ、アベマキなどがあり、本州、四国、九州に分布する。落葉の高木で、高さ15m、径60cmに達する。材は強靱で弾力に富み、器具、農具などに用いられる。

コナラ属アカガシ亜属 *Quercus* subgen. *Cyclobalanopsis* ブナ科 (図版61)

横断面：中型から大型の道管が、1～数列幅で年輪界に関係なく放射方向に配列する放射孔材である。道管は単独で複合しない。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のものと大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質よりコナラ属アカガシ亜属に同定される。コナラ属アカガシ亜属にはアカガシ、イチイガシ、アラカシ、シラカシなどがあり、本州、四国、九州に分布する。常緑高木で、高さ30m、径1.5m以上に達する。材は堅硬で強靱、弾力性強く耐湿性も高い。特に農耕具に用いられる。

5. 所見

同定の結果、空港跡地遺跡の木材は、ツガ1点、コナラ属コナラ節1点、コナラ属クヌギ節2点、コナラ属アカガシ亜属3点であった。自然木はコナラ属アカガシ亜属、コナラ属コナラ節、コナラ属クヌギ節であり、周囲に生育していたものが用いられているとみられる。なすび型木製品はコナラ属アカガシ亜属であるが、農耕具は照葉樹林域では堅硬な材質のコナラ属アカガシ亜属が多用される。

参考文献

佐伯浩・原田浩 (1985) 針葉樹材の細胞。木材の構造、文永堂出版、p.20-48.

佐伯浩・原田浩 (1985) 広葉樹材の細胞。木材の構造、文永堂出版、p.49-100.

島地謙・伊東隆夫 (1988) 日本の遺跡出土木製品総覧、雄山閣、296p.

(2). 種実等同定

1. はじめに

植物の種子や果実は比較的強靱なものが多く、堆積物や遺構内に残存している場合がある。堆積物などから種実を検出し、その種類や構成を調べることで、過去の植生や栽培植物を明らかにすることができる。

ここでは、空港跡地遺跡より出土した種実類について同定を行った。

2. 試料

試料は、I-23SRk03地点で1点(試料8)、I-26SRk03地点で1点(試料9)、I-27SKk11地点で2点(試料10、11)、I-28SKk06地点で3点(試料12、13、14)、I-26SKk04地点で5点(試料15、16、17、18、19)およびI-26SKk05地点で2点(試料20、21)と葉2点(試料22、23)である。いずれも遺跡の調査担当者により水洗選別されたものである。

3. 方法

試料(堆積物)に以下の物理処理を施して、抽出および同定を行った。

- 1) 試料の表面の汚れを筆などで除去する。
- 2) 双眼実体顕微鏡下で観察し、種実の同定計数を行う。

同定は形態的特徴および現生標本との対比で行い、結果は同定レベルによって科、属、種の階級で示した。

4. 結果

(1) 分類群

樹木3、草本5の計8が同定された。学名、和名および粒数を表5に示し、主要な分類群を写真に示す。以下に同定の根拠となる形態的特徴を記す。

[樹木] (図版62)

クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. 堅果 ブナ科

種子は黒褐色で広楕円形を呈し、下端に広い付き部がある。断面は楕円～半円形である。

堅果は三角状扁円形を呈す。一側面は丸みがあり、反対面は平らな形が多い。両面とも丸みがある。

モモ *Prunus persica* Batsch 核 バラ科

黄褐色～黒褐色で楕円形を呈し、側面に縫合線が発達する。表面にはモモ特有の隆起がある。

センダン *Melia azedarach* L. var. *subtripinnata* Miq. 核 センダン科

黒褐色で楕円形を呈し、一端は円孔となる。縦に5本の発達した稜が走る。

[草本] (図版63)

タデ属 *Polygonum* 果実 タデ科

- a. 黒褐色で先端がとがる卵形を呈す。表面にはやや光沢があり、断面は三角形である。
- b. 黒褐色で先端がとがる広卵形を呈す。表面には網目模様があり、断面は両凸レンズ形である。

ヒシ *Trapa dispinosa* Roxb. var. *linumai* Nakano 果実 ヒシ科

黒褐色を呈し、ヒシ特有の角(上位角)の破片が得られた。

ウリ類 *Cucumis melo* L. 種子 ウリ科

淡褐色～黄褐色である。楕円形を呈し、一端には「ハ」字状のへこみがある。

藤下(1992)による長さ8.1mm以上の大粒種子(モモルディカ型)にあたる。

ヒョウタン類 *Lagenaria siceraria* Standl. 種子・果皮(破片) ウリ科

淡褐色で楕円形を呈す。上端にはへそと発芽孔があり、下端は波うつ切形を呈す。表面には縦に2本の低い稜が走る。

果皮は、木質化しやや厚みがある。表面はなめらかで裏面は粗い。

藤下がヒョウタン仲間とするものには、ヒョウタン・フクベ・カンピョウが含まれ、このうちフクベ・カンピョウは食用になる。

〔葉〕〔図版64〕

いずれも破片であり、完形のものはない。単葉で、葉縁は鋭い鋸歯を有し、側脈はおよそ10対で裏に突出している。托葉の有無や、毛の有無は、保存状態が悪いため観察できない。以上の特徴から、ニレ科の可能性はあるものの広葉樹との同定にとどまった。

5. 種実群集の特徴と考察

遺構内から検出された種実で多かったのは、ヒョウタン類である。なお、ウリ類は一部でまとまって検出されている。これらはいずれも栽培植物である。モモも栽培される樹木で、クリは栽培と野生とがある。センダンは特に中世の集落で多い傾向にある。検出された種実類はいずれも栽培植物ないし有用植物および人為環境に生育する種類である。

参考文献

- 笠原安夫 (1985) 日本雑草図説、養賢堂、494p.
南木睦彦 (1992) 低湿地遺跡の種実. 月刊考古学ジャーナルNo.355、ニューサイエンス社、p.18-22.
南木睦彦 (1993) 葉・果実・種子. 日本第四紀学会編、第四紀試料分析法、東京大学出版会、p.276-283.
金原正明 (1996) 古代モモの形態と品種. 月刊考古学ジャーナルNo.409、ニューサイエンス社、p.15-19.

第5章 まとめ

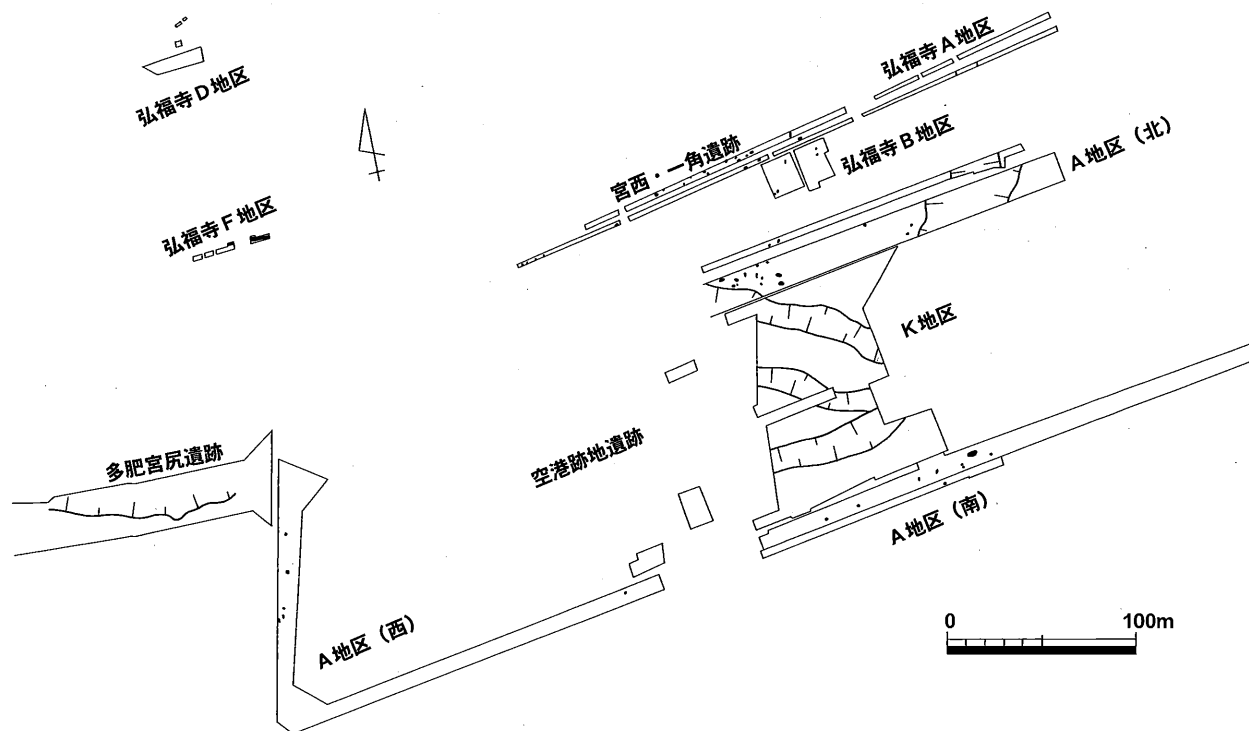
第1節 遺構の変遷 (第109～111図)

1. 弥生時代前期末～中期初頭 (第108図、第6～8表)

今回の調査区では調査区全体を横断するように3条の自然流路を検出している。これらの流路は北西・東から南東・西方向へのもが見られるが、この調査区では南部の一部を除いて土地が低く、全体に低地であったことが見て取れる。この流路は西側はいずれも池台池の浚渫により破壊されており、どこから流れてきたのかは正確にはわからないが、最も北側を流れるSRk01はA調査区で池台池の肩に沿うように流路の肩を検出している。SRk01からはコンテナ約86箱、SRk02からはコンテナ約3箱、SRk03からはコンテナ約15箱の遺物が出土しており、周辺に当該期の集落があったことが推測される。特にSRk01からは量も多く、遺物の摩滅度の少ない土器が出土している。

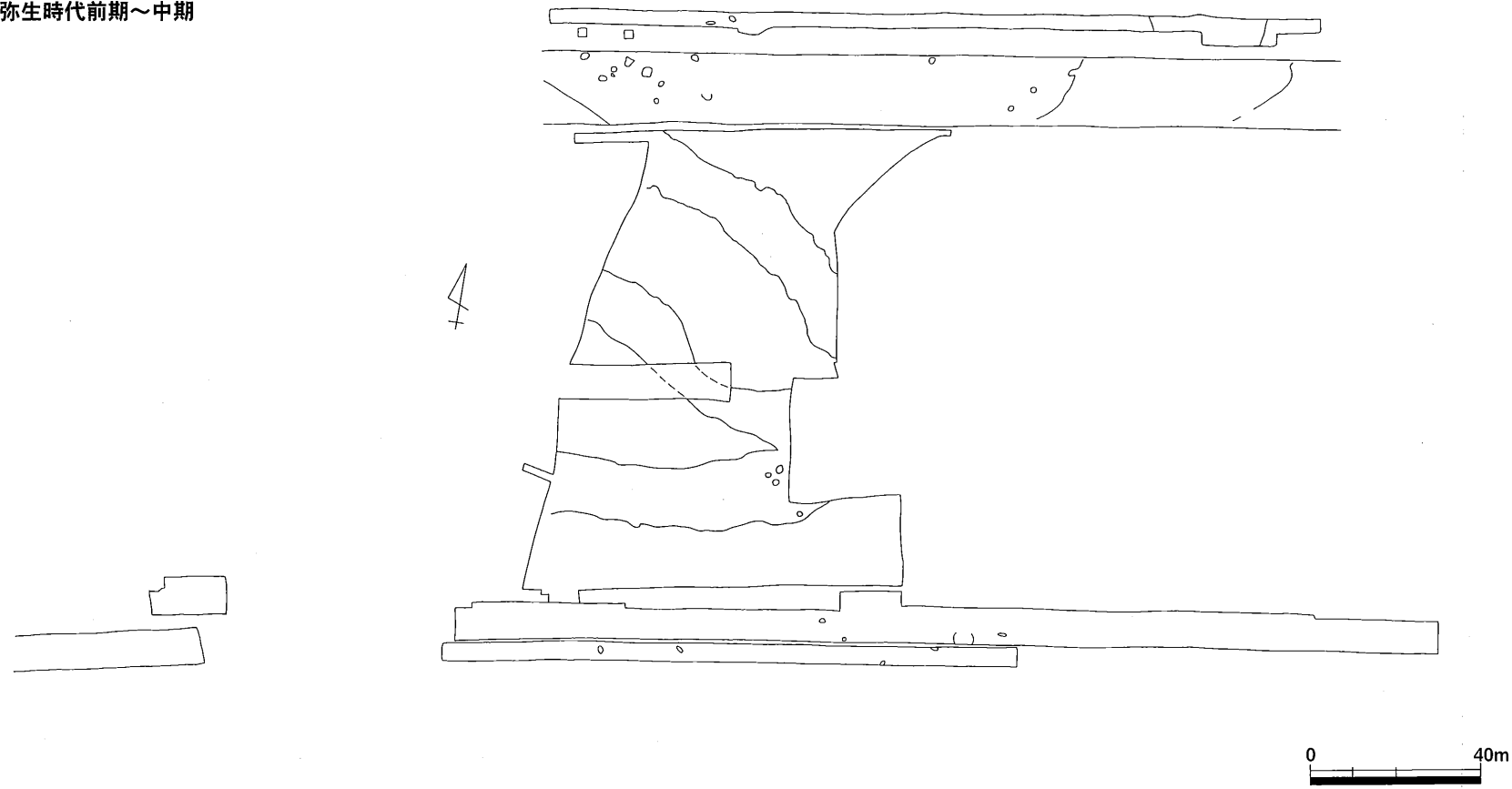
今回の調査区ではこの時期の遺構はこれらの流路だけであったが、空港跡地遺跡A地区北地区およびその北側約35mに位置する宮西・一角遺跡では当該期の土坑が数多く検出されている。これらはSRa01 (SRk03) とSRa02 (SRk01) に挟まれた場所で検出されたが、多くはSRa02に近い場所で検出している。土坑の性格については廃棄土坑のほか貯蔵穴などの性格を持つのではないかとされる土坑がある (平成3年度 空港跡地遺跡発掘調査概報)。おおむねこの時期の集落の1つはK地区北側の西寄りに展開していたと考えられる。

この調査区で検出した3条の流路のうち最も南側に位置するSRk03は他の2条と異なり最終埋没は弥生時代後期後半まで下る。この状況はA調査区北地区で検出したSRa01と同じである。また、今回の調査区の西側に当たり、池台池の一部であった分ヶ池の南側に位置する多肥宮尻遺跡で検出したSR01は、上・中・下層の3層に分類されているが、このうち上・中層に当たる黒色砂混粘質土層・黒褐色粘質土層からコンテナ67箱に及ぶ弥生時代前期後半～後期後半の土器と木製品の農耕具が出土している。この

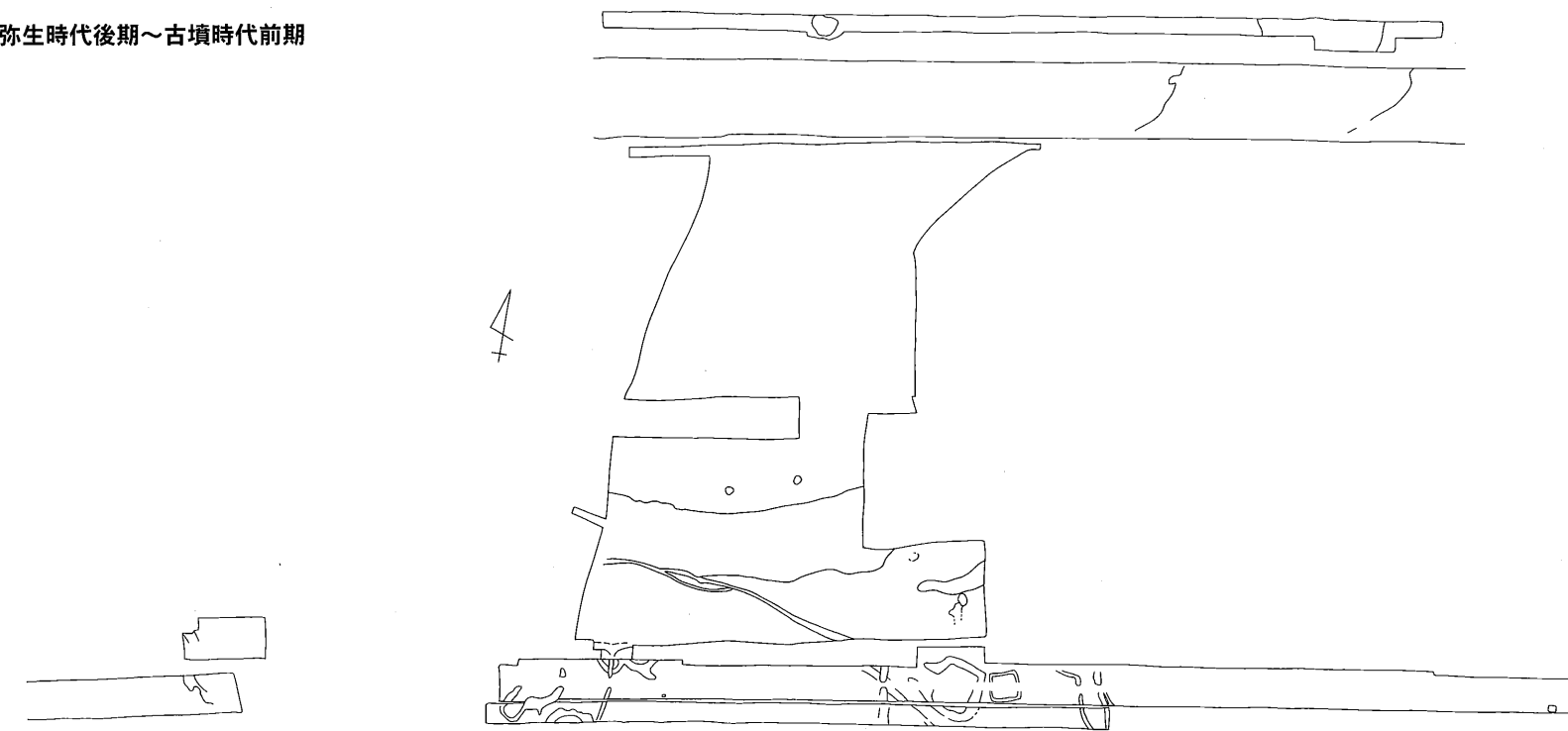


第108図 空港跡地遺跡K地区周辺弥生時代前期～中期初頭遺構配置図 (1/4,000)

弥生時代前期～中期

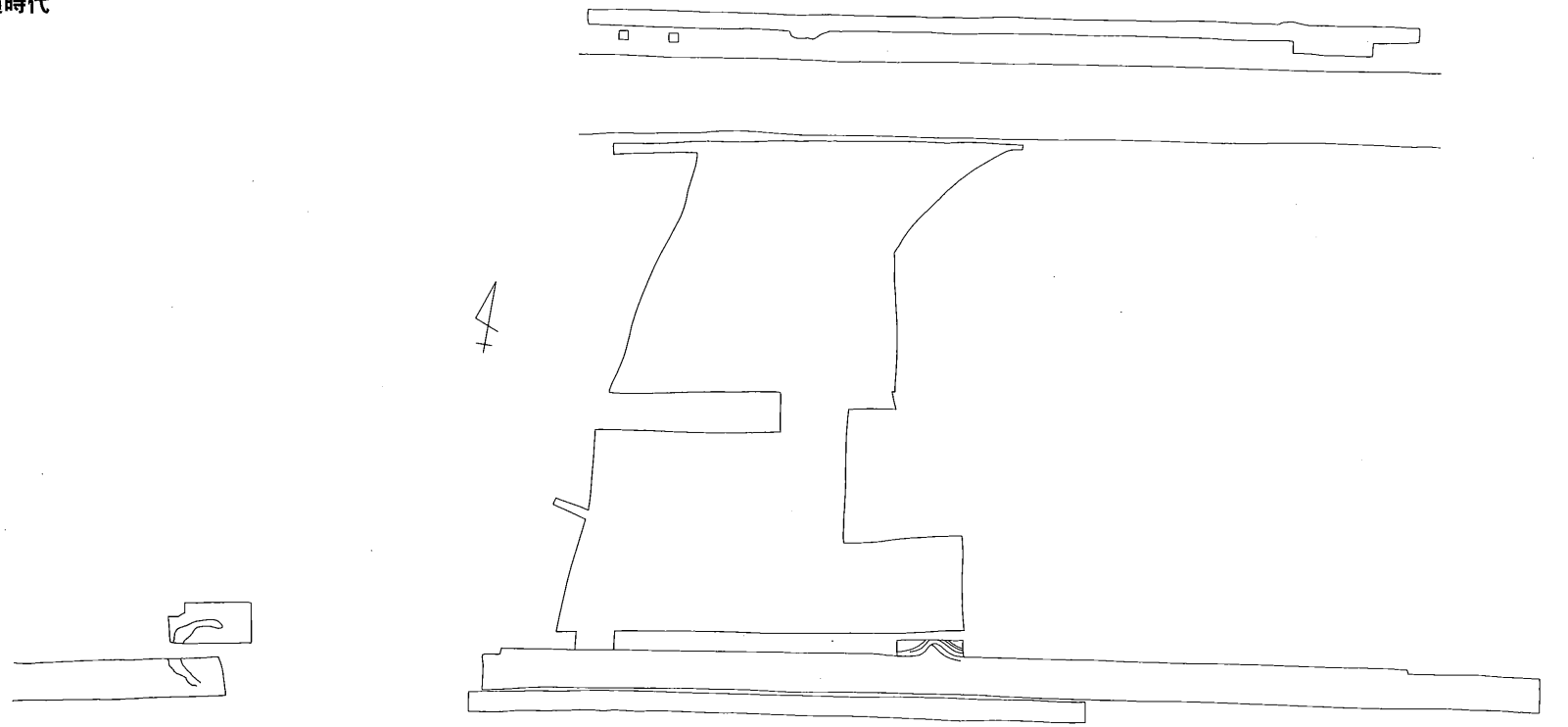


弥生時代後期～古墳時代前期

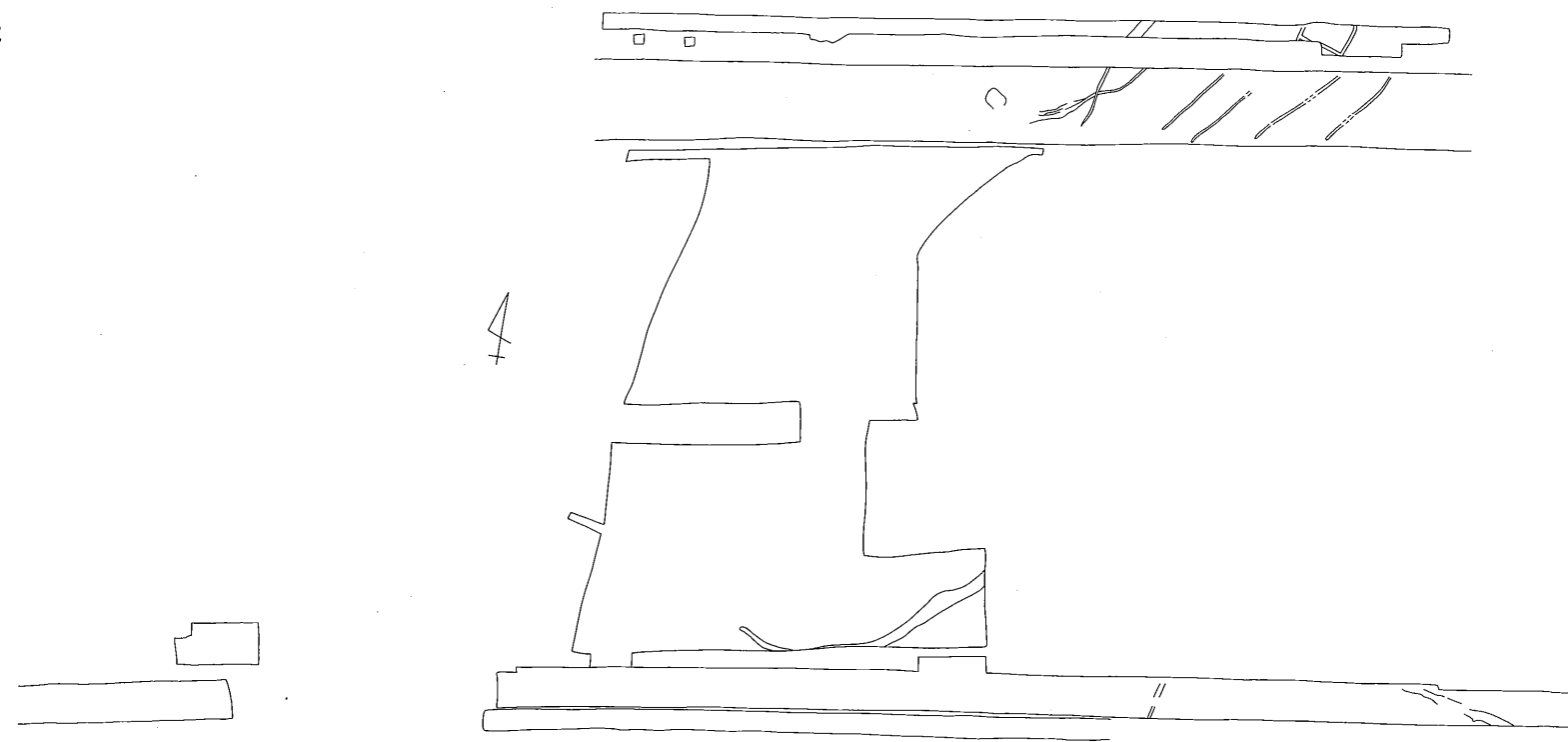


第109図 遺構変遷図①② (1/1,600)

古墳時代

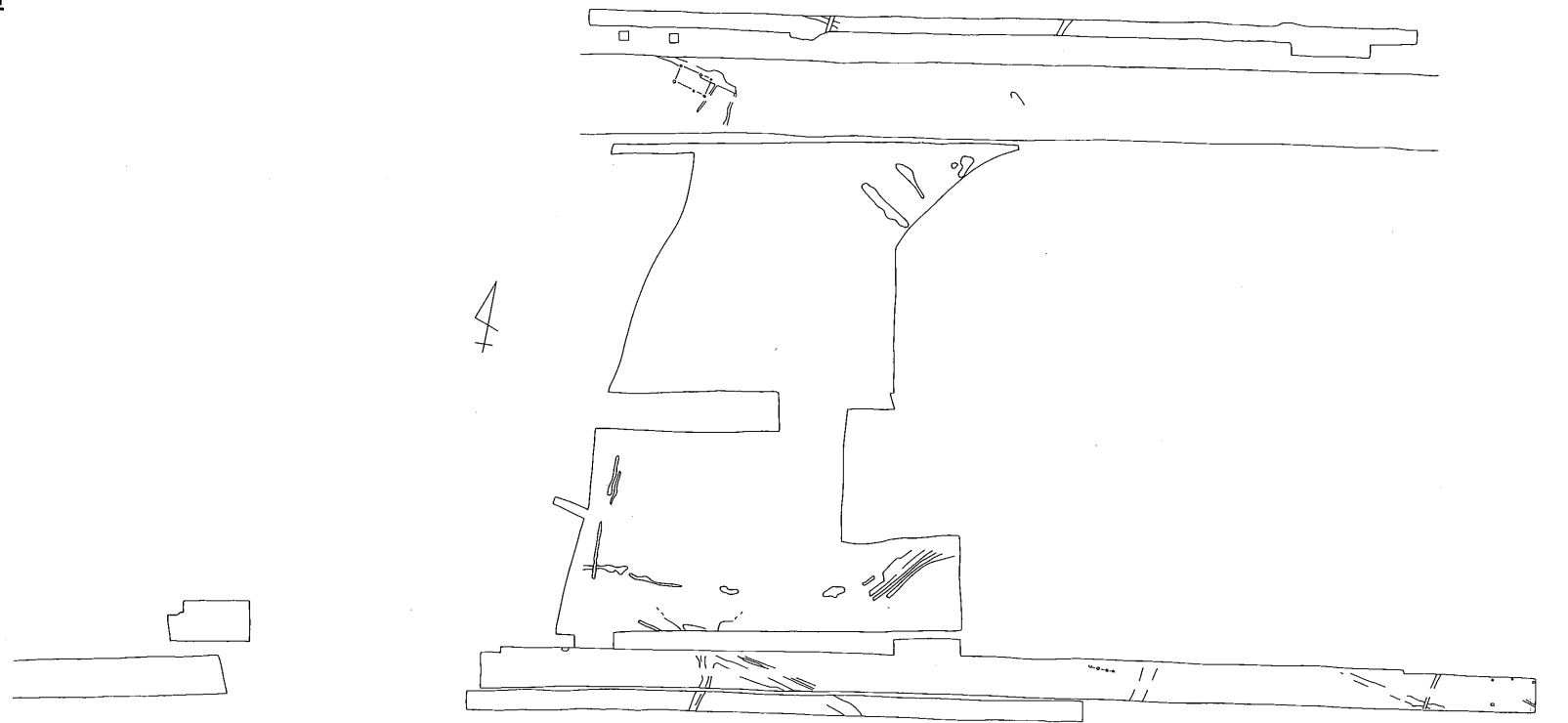


古代

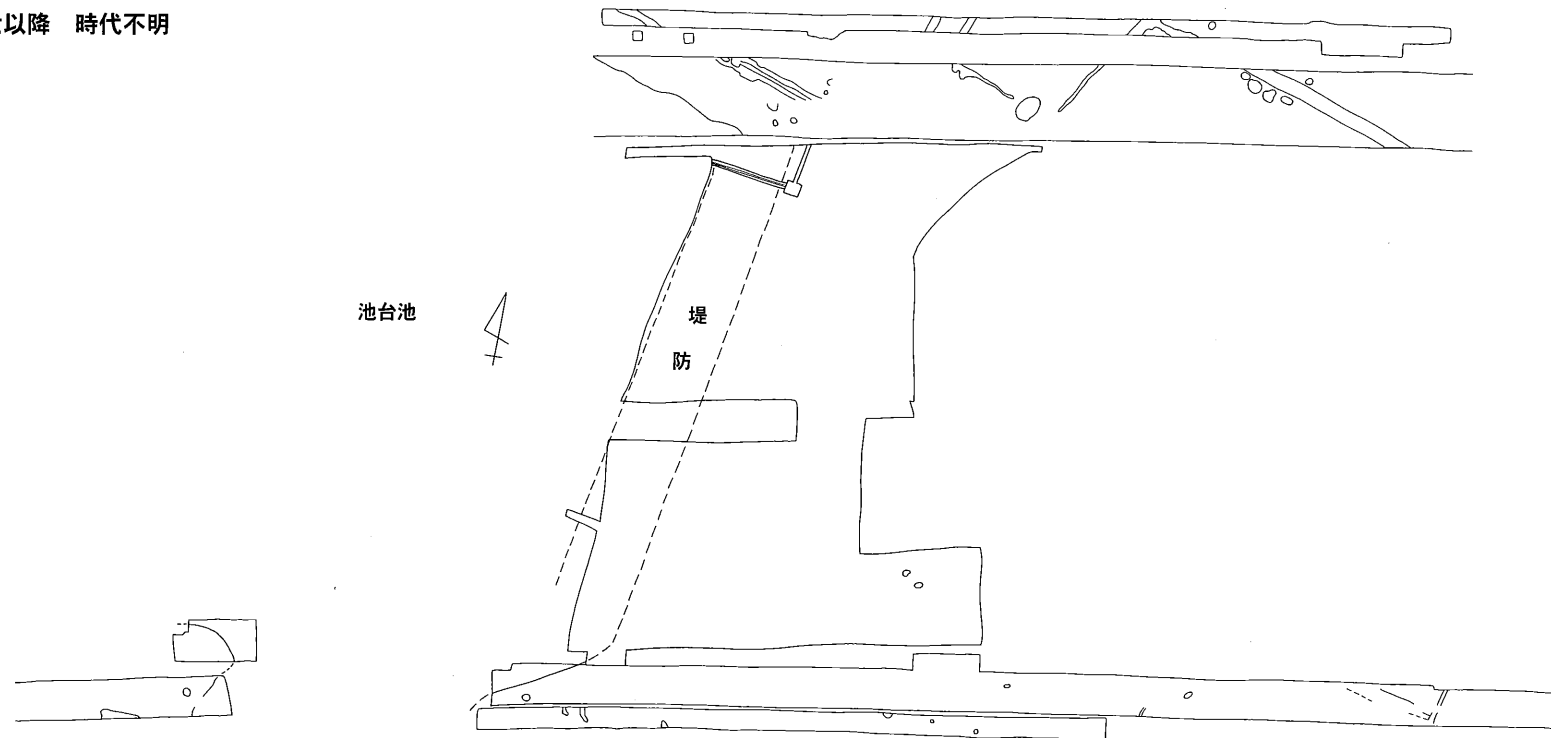


第110図 遺構変遷図③④ (1/1,600)

中世



近世以降 時代不明



第111図 遺構変遷図⑤⑥ (1/1,600)

SRk01は位置関係や出土遺物の時期などからSRk03へ連続するものと考えられ、当該期の集落はより削平を受けていないと考えられる遺跡の南方にあることを想定している（県道・河川関係埋蔵文化財発掘調査概報「多肥宮尻遺跡」平成9年度）。おそらくその集落はA地区西地区で一部検出している前期の集落と同一のものであろう。

また、分が池の北側に設定した弘福寺領の調査F調査区1および2トレンチでは北西から東方向へ屈曲する幅2.0m、深さ40cmの溝を検出している。ここからは検出範囲が狭い割には大量の当該期の土器が出土している。この溝はトレンチ1で幅が2.0mと狭いものの、埋土や方向、出土遺物の時期がSRk01によく類似しており、あるいはSRk01の延長部として考えられるのではないか。いずれにしても低湿地帯を挟んで両側に集落があった様子が窺える。

SRk01～SRk03からは弥生時代前期後半～中期初頭の土器が数多く出土した。これらのうち壺・甕の口縁形態・体部の文様構成を一覧表にしたのが第6～8表である。甕は口縁形態は80%前後が逆L字型

SRk01（上層）

		SRk01(上層)		合計
		頸部	体部	
無文	5			5(38.5)
段		1		1(6.7)
ヘラ		1(9～)	1(7)	2(13.3)
櫛			3	3(23.1)
貼凸		1(5)		1(6.7)
貼凸(刻目)		1(3～)		1(6.7)
合計	5	4	4	13

()内は沈線または貼付突帯の条数。合計の()内は全体に占める割合(%)

SRk01(その他)

		SRk01(その他)			合計
		頸部	体部	頸部+体部	
無文	3				3(25.0)
段					0
ヘラ		1(2)		1(2～+1～)	3(25.0)
		1(3～)			
櫛					0
貼凸		1(2～)			2(16.7)
		1(4)			
貼凸(刻目)		1(2)	2(3～)		3(25.0)
貼凸+ヘラ			1		1(8.3)
合計	3	6	2	1	12

()内は沈線または貼付突帯の条数。合計の()内は全体に占める割合(%)

SRk01(下層)

		SRk01(下層)			合計
		頸部	胴部	頸部+体部	
無文	12				12(17.4)
段		0			0(0)
ヘラ(1～3)		1		1	2
ヘラ(1～)		4			4
ヘラ(4～6)		3	1	4	8
ヘラ(4～)		2			2
ヘラ(7～9)		1			1
ヘラ(7～)		1			1
ヘラ(10～)		5		5	23(33.3)
櫛		3			3(4.3)
削凸		1			1(1.6)
貼凸(1)		1	1		2
貼凸(1～)		1			1
貼凸(2)					0
貼凸(3)			2		2
貼凸(4～)		1	1		2
					7(10.1)
貼凸(刻目)(1)		3		2(全部で)	3
貼凸(刻目)(2)		2	1		3
貼凸(刻目)(3)		4	3		7
貼凸(刻目)(4～)		1			1
					14(20.3)
貼凸+ヘラ		4			4(5.8)
竹管文				3(2+2)	3(4.3)
合計	12	38	9	10	69

()内は沈線または貼付突帯の条数。合計の()内は全体に占める割合(%)

SRk03(下層)

		SRk03(下層)		
		頸部	体部	合計
無文				0
段		2		2(22.2)
ヘラ		2(2～)		4(44.4)
		1(3)		
		1(10)		
櫛				0
削凸		1		1(11.1)
貼凸		1(2)		2(22.2)
		1(4)		
貼凸(刻目)				0
合計	0	9	0	9

第6表 SRk01～03壺文様構成一覧表

SRk01(上層)

	報告遺物									未報告遺物								
	如意刻	如意刻無	如意不明	逆L刻	逆L刻無	逆L不明	波状口縁	突帯状	合計	如意刻	如意刻無	如意不明	逆L刻	逆L刻無	逆L不明	波状口縁	突帯状	合計
無文				1	4	5			5(17.2)	3	2	1	8	13				27(48.2)
ヘラ(1~3)									0									0
ヘラ(1~)					1				1(3.4)				2	1				3(5.4)
ヘラ(4~6)		1							1(3.4)					1				1(1.8)
ヘラ(4~)	2				2		1		5(17.2)				7	2	1			10(17.9)
ヘラ(7~9)									0				2					2(3.6)
ヘラ(7~)				1	3				4(13.8)									0
ヘラ(10~12)									0									0
ヘラ(10~)				1(1)	1				2(6.9)									0
ヘラ(13~)				2(1)	2				4(13.8)									0
櫛					6(2)				6(20.7)		1		6	4				11(19.6)
その他					1				1(3.4)					1	1			2(3.6)
合計	2(6.9)	1(3.4)	0	5(17.2)	20(69.0)	1(3.4)	0	0	29	3(5.4)	3(5.4)	1(1.8)	25(44.6)	22(39.3)	2(3.6)	0	0	56

()はヘラ描き、櫛描きの下部に刺突文などがあるもの。合計の()内は全体に占める割合(%)

全体に占める割合は報告遺物と未報告遺物を分けて出している。

未報告遺物に無文の割合が多いのは、器表が摩滅して沈線がわからなくなったものが含まれる可能性がある。

未報告遺物にヘラ描き沈線の条数の多いものがないのは、そのように大きい破片はすべて報告遺物に含まれるからである。

以下の表一覧表もすべて同じ。

SRk01(下層)

	報告遺物									未報告遺物								
	如意刻	如意刻無	如意不明	逆L刻	逆L刻無	逆L不明	波状口縁	突帯状	合計	如意刻	如意刻無	如意不明	逆L刻	逆L刻無	逆L不明	波状口縁	突帯状	合計
無文	1	5		2	25				33(22.3)	4	7		7	27				45(42.1)
ヘラ(1~3)	6			1	1			1	9(6.1)	1			4					5(4.7)
ヘラ(1~)	1	1		4	3				9(6.1)	4	4		8	6				22(20.6)
ヘラ(4~6)	5	3	1	6	1(1)		1	1	18(12.2)					2				2(1.9)
ヘラ(4~)	1	1		2				1	5(3.4)				7	4				11(10.3)
ヘラ(7~9)	3(1)	1		8(1)	6				18(12.2)				1	1				2(1.9)
ヘラ(7~)		1		3	5				9(6.1)				2					2(1.9)
ヘラ(10~12)	1			6(1)	3				10(6.8)					1				1(0.9)
ヘラ(10~)		1		2	1(1)				4(2.7)									0
ヘラ(13~)	1				3				4(2.7)									0
櫛	1	7(4)		5(3)	14(4)				27(18.2)	1			5	10(1)				16(15.0)
その他	1(1)			1					2(1.4)					1				1(0.9)
合計	21(14.2)	20(13.5)	1(0.7)	40(27.0)	62(41.9)	1(0.7)	3(2.0)		148	10(9.3)	11(10.3)	34(31.8)	52(35.1)		0	0	107	

SRk01(その他)

	報告遺物									未報告遺物								
	如意刻	如意刻無	如意不明	逆L刻	逆L刻無	逆L不明	波状口縁	突帯状	合計	如意刻	如意刻無	如意不明	逆L刻	逆L刻無	逆L不明	波状口縁	突帯状	合計
無文		3		3	9				15(37.5)	1	9		6	30				46(41.1)
ヘラ(1~3)					1				1(2.5)									0
ヘラ(1~)									0		2		7	9	1			19(17.0)
ヘラ(4~6)				3	1				4(10.0)				1					1(8.9)
ヘラ(4~)				1	1				2(5.0)	3			8	8				19(17.0)
ヘラ(7~9)	2				3(1)				5(12.5)				2	1				3(2.7)
ヘラ(7~)					1				1(2.5)				4	3				7(6.3)
ヘラ(10~12)				2	2				4(10.0)									0
ヘラ(10~)				1					1(2.5)									0
ヘラ(13~)				1	2				3(7.5)									0
櫛		1		2	1				4(10.0)	1	1		6	8				16(14.3)
その他									0					1				1(8.9)
合計	2(5.0)	4(10.0)	0	13(32.5)	21(52.5)		0	0	40	5(4.5)	12(10.7)	34(30.4)	60(53.6)	1(8.9)		0	112	

第7表 SRk01 甕文様構成一覧表

SRk02

	報告遺物								合計
	如意 刻	如意 刻無	如意 不明	逆L 刻	逆L 刻無	逆L 不明	波状口縁	突帯状	
無文		2			3				5(26.3)
ヘラ(1~3)				1					1(5.3)
ヘラ(1~)									0
ヘラ(4~6)					1				1(5.3)
ヘラ(4~)				2	1				3(15.6)
ヘラ(7~9)				1	2				3(15.6)
ヘラ(7~)					1				1(5.3)
ヘラ(10~12)									0
ヘラ(10~)									0
ヘラ(13~)									0
櫛					4				4(21.1)
その他	1								1(5.3)
合計	1(5.3)	2(10.5)	0	4(21.1)	12(63.2)	0	0	0	19

未報告遺物で口縁形態や体部文様がわかるものはなかった。

SRk03(中層)

	報告遺物								合計	未報告遺物								合計
	如意 刻	如意 刻無	如意 不明	逆L 刻	逆L 刻無	逆L 不明	波状口縁	突帯状		如意 刻	如意 刻無	如意 不明	逆L 刻	逆L 刻無	逆L 不明	波状口縁	突帯状	
無文		2			3				5(41.7)		4		2	15				21(75.0)
ヘラ(1~3)																		0
ヘラ(1~)																		0
ヘラ(4~6)																		0
ヘラ(4~)																		0
ヘラ(7~9)																		0
ヘラ(7~)																		0
ヘラ(10~12)																		0
ヘラ(10~)																		0
ヘラ(13~)																		0
櫛		1(1)			6(1)				7(58.3)				1	6				7(25.0)
その他																		0
合計	0	3(25.0)	0	0	9(75.0)	0	0	0	12			4(14.3)		3(10.7)	21(75.0)			28

SRk03(下層)

	報告遺物								合計	未報告遺物								合計
	如意 刻	如意 刻無	如意 不明	逆L 刻	逆L 刻無	逆L 不明	波状口縁	突帯状		如意 刻	如意 刻無	如意 不明	逆L 刻	逆L 刻無	逆L 不明	波状口縁	突帯状	
無文	1	7		3	14				25(52.1)				8					8(50.0)
ヘラ(1~3)		1		1					2(4.2)				1					1(6.3)
ヘラ(1~)					2				2(4.2)			1	1					2(12.5)
ヘラ(4~6)																		0
ヘラ(4~)					1				1(2.1)									0
ヘラ(7~9)																		0
ヘラ(7~)					1				1(2.1)									0
ヘラ(10~12)																		0
ヘラ(10~)					1				1(2.1)									0
ヘラ(13~)				1					1(2.1)									0
櫛		4(3)			11(3)				15(31.3)				5					5(31.3)
その他																		0
合計	1(2.1)	12(25.0)	0	5(10.4)	30(62.5)	0	0	0	48			0		1(6.3)	15(31.7)			16

第8表 SRk02・03甕文様構成一覧表

口縁部で、如意型口縁は20%前後である。体部文様構成は無文のものが多く、櫛描沈線、7～12条のヘラ描き沈線のものが続く。これらから勘案すれば出土遺物の時期は弥生時代中期初頭が中心であろうが、最も多くの土器が出土したSRk01下層からはそれらに混じって1～6条程度のヘラ描き沈線を持つものが多く出土しており、ヘラ描きの条数の少ないほうが口縁形態は如意状口縁のものが多。SRk01下層にはもう少し古いものが混じる。壺は個体数が少なく傾向がつかみにくいが、ヘラ描き沈線を施すものが最も多く、次いで刻目を持つ貼付突帯を持つものがある。

2. 弥生時代中期後半

I-26南部、SRk03内部でSKk04～06を検出している。1.0～2.5m前後の円形～隅丸方形の土坑で、いずれも埋土中から自然木や種子・果実などが出土している。樹種・種子同定の結果、樹種はクヌギ、アカガシ、コナラで、周囲に生息していたと考えられる。また、種子・果皮はヒヨウタンやウリ、桃核、栗が出土しており、クリ以外は栽培植物で、いずれも食用植物であることが指摘されている（第4章参照）。

このうち、SKk05からは自然木に混じって加工木やなすび型木製品が出土している。遺構の時期は異なるものの、中間西井坪遺跡SKⅡ46や寺田産宮遺跡第3低地帯流路04・木製品集積遺構2でいずれも低湿地で土坑を掘り込み、木材を水漬け保存する例がある。SKk05もSRk03下層が埋没した後に掘り込まれた可能性が高く、やはり木材に水漬け保存の目的を持つ可能性がある。

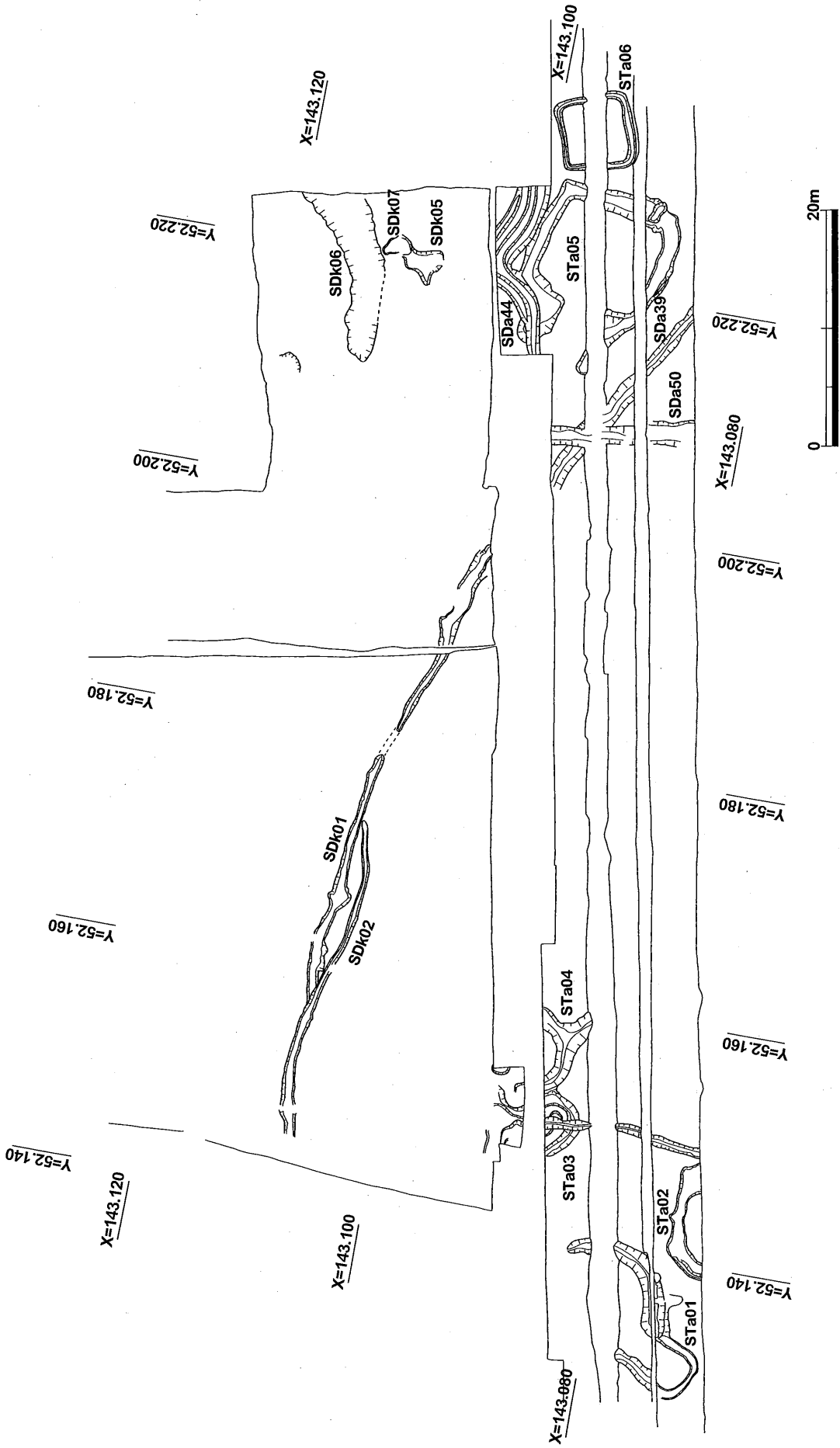
3. 弥生時代後期後半～古墳時代初頭（第112図第9表）

この時期の遺構は調査区の南部、SRk03の周囲で検出している。SRk03の最終時期が弥生時代後期後半であるほか、SRk03の北岸で土坑を2基、南側では北西から南東へ走る溝を2条、周溝墓を2基検出した。

この時期で特に注目されるのが調査区南部に広がる周溝墓群との関わりである。A地区南地区では6基の周溝墓が検出された（STa01～STa06）。このうち西側に位置するSTa01は前方後円形、STa02は形状不明、STa03・04は円形である一方、これらから約50m東側で検出したSTa05は前方後方形、STa06は方形を呈しており、形態により異なる墳墓群が形成されることが推定されている。それぞれの所属時期については、出土遺物に恵まれず詳細の不明なものが多い。

今回の調査区はSTa03・STa04の北側に接しており、その延長部が検出できる位置にある。この部分の遺構については第3章第3節の部分で述べたが、STk03は長軸4.0m、短軸2.7mの長楕円形に、STk04は直径4.4mの円形で北西方向に陸橋を持つ周溝墓に復元した。これらの周溝墓の時期については、A地区の成果では弥生時代後期後半まで（平成3年度概報、本報告は記載なし）とされている。一方周溝墓を切ると考えられるSDk03からは弥生時代終末期にまで下ると考えられる二重口縁の壺が出土している。これらの壺は明らかに供献土器と考えられ、もとは周溝の遺物と考えられる。周溝墓の所属時期は少し下る可能性がある。

東側に位置する墳墓群の北側延長部では、前方後方形の周溝墓の北約12mの位置で円形の周溝状遺構SDk06を検出した。この溝は大半が調査区外へ延びるほか、残る部分も大半が古代の溝と重複しているが、復元した範囲では直径約15m、溝の幅3m、深さ50cm程度で、溝の南西部で溝の底が急激に上がり、途切れる。この溝では底部分から礫が大量に出土し、礫敷きの周溝墓であった可能性が高い。周溝の中からは遺物はほとんど出土していないが、SDk06埋土中や、SDk12埋土中でSDk06を巻き込んだと思われる出土遺物から知れる範囲では所属時期は弥生時代後期終末期までと考えられ、南側に位置する前方後方形の周溝墓より古いと思われる。この場合、調査区外に想定される部分で周溝が想定される位置は、



第112图 A地区·K地区周溝墓群平面图 (1/500)

遺構名	形状	規模	その他
STa01	前方後円形	後円部半径4.6m／前方部幅2.5m、長さ5.7m／全長15.5m	後円部の溝が深く前方部は浅い
STa02	形状不明	直径7～8m?	
STa03 (STk01)	円形	長径4m、短径2.7m	
STa04 (STk02)	円形	直径4.4m	
STa05	前方後方形	全長13～13.7m、／前方部の長さ5～6m	
STa06	方形	1辺5m	
STa07	土器棺墓		
SDk06	(楕)円形	長径15m、短径12m	溝の中から多量の礫が出土

第9表 A地区・K地区周溝墓一覧

SRk03の延長部と重なることが考えられるが、林・坊城遺跡のように自然河川が埋没した後の低湿地に周溝の一部がかかるようにしながら円形周溝墓を低湿地に沿って造成していく例がある。SDk05も同様の立地になると考えられる。

SDk06の南側に、南北方向に走る溝SDk07があるが、ここからは弥生時代後期後半の壺がほぼ完形で出土している。この溝は位置関係や埋土から、SDa44から連続し、徐々に浅くなり、SDk06の手前で消滅する。ただし、SDa44は古墳時代初頭の周溝墓であるSTa05を切っている。SDk07の所属時期は空港跡地遺跡Vでは出土した須恵器から古墳時代中期としているが、SDk07で出土した弥生土器を混入とするには躊躇があり、二又に分かれるSDa44に時間差があるかも知れず、所属時期は不明である。ただ、もし、SDa44のうち東側へ向く溝がSDk07と組んで円弧をなす場合、直径は14mとなり、ともにSTa05に先行するやや規模の大きい円形の周溝墓となる。

県内の弥生時代後期の周溝墓の例は先述の林・坊城遺跡（高松市）の他に尾崎西遺跡・陵遺跡（ともにさぬき市）などがある。いずれも円形の周溝墓で周溝の直径が12～15m程度で、尾崎西遺跡や陵遺跡では墳丘の礫が周溝内に落ち込んだ状態で検出した。

土坑はいずれもSRk03の北側で近接して検出した。規模・形状とも類似しており、ともに廃棄土坑と考えられる。土器の遺存状況はいずれもあまりよくなかった。

4. 奈良・平安時代（第113図）

奈良・平安時代の遺構としては調査区南部で検出したSDk11・12がある。SDk11は北西から南東へ、SDk12は南西から北東へ向く溝であるが、おそらく調査区の外側で屈曲して同一の溝になると考えられる。溝のラインは条里型地割の方向とは違い、SRk03の肩に規制された方向を持つ。この地割の方向は中世にもこの付近は、江戸時代に作られたとされる『順道図絵』の地割をみても同様のラインを示している。A地区南地区の50～100m東側（1区画東側）では条里の坪界線とほぼ同位置に2ヶ所・2方向で溝が検出されているが、K地区の南側ではこの時期の溝は検出されていない。

A地区北地区では弥生時代の流路の上面で、流路の形状に規制される形で平安時代の水田が検出されている。この地点の約100m北側で高松市教育委員会が弘福寺領田図関連調査の発掘調査を行った際には、第1～第3トレンチに、水田畦畔を伴う灰黄褐色シルト質極細砂層が厚さ約7～8cmにわたって幅35mの範囲で堆積しており、A地区で検出した水田層が北側に広がっていた様子が窺え、第2・3トレンチではSRk03の延長部も検出されている。この地点のプラントオパールの結果から、弥生時代前期末～中期前半の旧河道が古代までには埋積され比較的平坦地となり、土地条件が安定したとみられ、このような地形環境の変化と条里型地割の整備は西日本各地においても同様の傾向を示すとしている。今回の調査区でもこれらに対応すると同じと思われる古代～中世の遺物を含む包含層を検出したが、北側の



第113図 弘福寺領田図南地区比定地位置図 (1/5,000)
(下が北)

調査区のように土層を細分することはできず、水田畦畔も確認できなかった。空港跡地遺跡の西側に位置し、SRk03の延長部を検出している多肥宮尻遺跡においても、畦畔は確認されていないものの、遺構面の上面に堆積する褐灰色粘質土層が水田耕土であった可能性が指摘されている。水田耕土は南側にも広がっていた可能性も考えられるかもしれない。

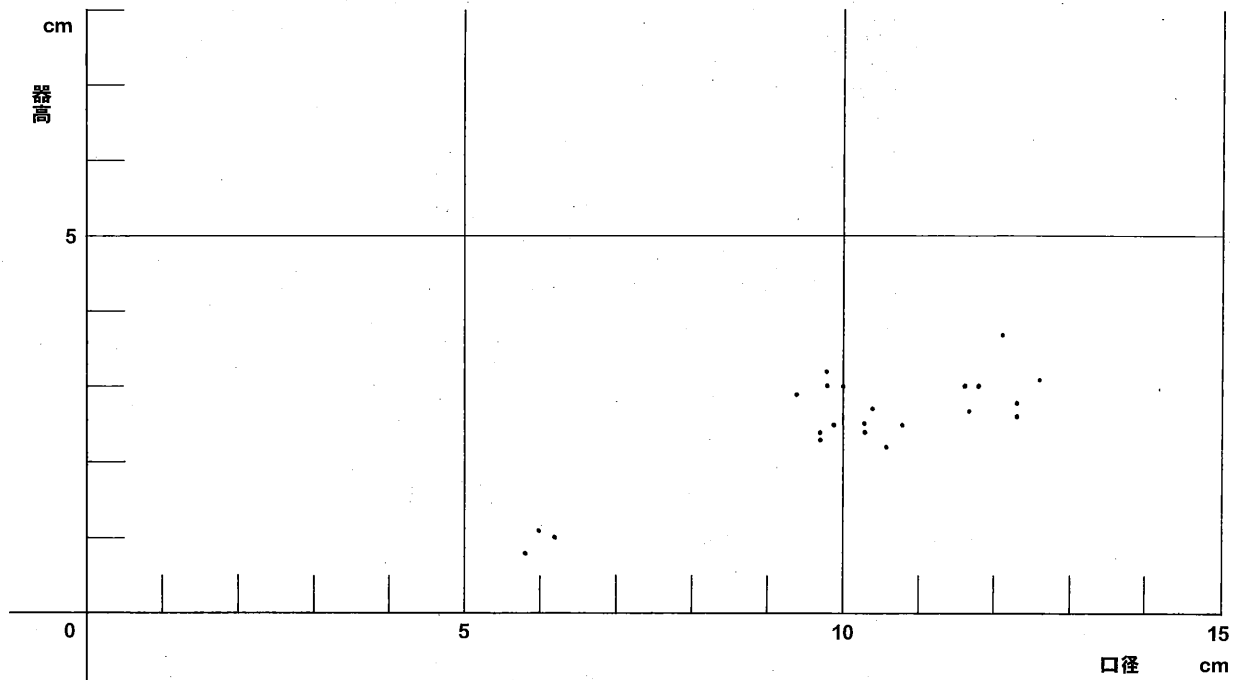
この調査区は弘福寺領田図の南地区の比定地の一部に当たり、その南東部の区画に位置する。すなわち、『壘百代・直米・津』の記載部分の西半分が当たる I-26・27、およびその西隣の『津田 代 直米 今』に記載部分に東部に当たる I-25西半部である。この現地比定に従えば、西側の区画は自然流路が埋没した後の低地が広がり、水田耕土の可能性が否定できない包含層の広がりを持つ。東側の区画は、西側から続く自然河川が埋没した低地がほぼ南西から北東へ向けて幅約45mの帯状に位置し、残りの部分は微高地になっている。先述したA地区の水田は『壘百代・直米・津』記載の区画とその北側の区画の境付近の東端付近に相当する。ただし、今回の調査でも現地比定が正しいことを証明することはできなかった。

5. 中世 (第114図、第10表)

自然流路が埋没後の低湿地には遺構はないが、低地の北側で土坑や溝状遺構、南側で溝を数条検出した。SRk03の南側では先行する古代の溝SDk12と同じ方向に走る溝SDk21~23、SDk11の周囲では不定形な埋土の広がりを持つSXk11を検出している。これらに先行するような位置にある古代の溝SDk11・12はしっかりと切り込まれた溝であったのに対し、SDk12の北側に平行する位置にあるSDk21~23は、いずれも規模が小さく、中には埋土の主体が砂層で流れがあったことが想定される場合もあり、恒常的な溝ではなく、不安定な溝であったと考えられる。また、SDk11が切り込まれていた I-23部分は不定

器種	土師質土器						須恵器					合計
	小皿	坏	足釜	甕	捏鉢	その他	坏	碗	甕	捏鉢	その他	
個数	6	27	8	7	1	2	5	1	2	2	0	61
%	9.8	44.3	13.1	11.5	1.6	3.3	8.2	1.6	3.3	3.3	0	100

第10表 SKk11器種一覧表



第114図 SKk11出土土器法量分布

形な遺構群をなすことから、明確な遺構ではなく、包含層として堆積したものの一部がベースの凹凸部分に残ったものと思われ、この場所が低地であったため、度々水の侵食に晒されていたと思われる。

古代において、一旦は灌漑水路を整備し、耕地開発を行った土地であったが、中世においては不安定な状態に置かれていたようだ。池台池の築造はこのような土地条件下に置かれたことと関係するのかもしれない。

この南側、A地区南地区では、坪界線上の2方向の溝が古代から踏襲されるほか、K地区の南側においても条里型地割と同方向の溝が検出されており、南側の微高地上で耕地化が進んだと考えられる。

低地の北側では土坑SKk11、溝状遺構、集石遺構SXk12を検出している。SKk11は円形の土坑で、埋土中からは多量の川原石とともに13世紀後半の土器が出土した（内訳は第10表、第114図のとおり）。

溝状遺構はやや方向が違うものの、A地区北地区で検出した溝に連続する可能性が高い。順道図絵に抛れば、この場所の地割りは低地に沿って湾曲しており、これに先行する地割と考えられるだろう。集石遺構SXk11については同様の遺構がA地区北地区でも検出されているが、性格は不明である。

6. 近世・近代

この時期の遺構としては池台池堤防および底ユルに当たる暗渠水路、それにつながる旧水路を検出している。調査時には特に意識して堤防の断面図をとったわけではなかったので、堤防に直角方向の断面図は作成していないが、調査区壁面の断面図によれば、池台池の堤防は、底ユル付近では周辺の土とはやや異なる土を交互に積み重ね、それ以外の部分ではおおむね池側の斜面は版築状に、それ以外は周辺の土を捏ねて盛土を行っている。堤防の下部から13世紀後半～14世紀前半の土坑を検出していることか

ら、堤防の築造はそれ以降である。堤防の北東隅で検出した底ユルに当たる暗渠水路は丸釘を使用しているため、明治時代中期以降と考えられるが、この水路の掘り方は堤防の最上部から掘り込まれており、改修を受けたものと考えられ、堤防の築造自体はもっと古いと考えられる。

今回の調査区では近世～近代の水路は、弥生時代の遺構面からかなり高い位置にあったため、表土除去の段階で掘り下げてしまったが、A調査区および今回の調査区の壁面で明治21年地籍図の水路の位置にほとんどでコンクリートの水路が確認できており、おおむね明治時代から空港造営時までほぼ同位置で水路が機能していたらしい。

主要参考文献

- 大久保徹也「煮沸形態からみた地域圏」『古代学協会四国支部第10回松山大会資料 弥生後期の瀬戸内海』1996年
- 佐藤竜馬「楠井産土器の編年」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第18冊 国分寺楠井遺跡』香川県教育委員会ほか 1995年
- 香川県教育委員会ほか『空港跡地遺跡Ⅰ～Ⅵ』
- 高松市教育委員会『讃岐国弘福寺領の調査 弘福寺領讃岐国山田郡田岡調査報告書』1992年
- 高松市教育委員会『讃岐国弘福寺領の調査Ⅱ 第2次弘福寺領讃岐国山田郡田岡調査報告書』1999年
- 高松市教育委員会『宮西・一角遺跡 市道林町47号線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』2000年
- 森下英治「龍川五条遺跡出土弥生土器の編年」『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第29冊 龍川五条遺跡Ⅱ』香川県教育委員会ほか 1998年
- 森下英治・信里芳紀・乗松真也「讃岐地方における弥生土器の基準資料Ⅲ」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要Ⅷ』財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
- 信里芳紀「讃岐地域における弥生時代前期から中期前半の様相」『弥生時代前期末・中期初頭の動態—研究発表要旨集—』第16回古代学協会四国支部研究大会
- それぞれの土器については、下記の文献に依拠した。
- 弥生土器：大久保 1996, 森下：1998
- 土師質土器：佐藤 2000『空港跡地遺跡Ⅳ』, 1995

觀 察 表

図版番号	報告番号	器種	地区名	報告遺構番号	法量(cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
1		弥・壺	I-26	SKk05	口径16.5	長石・中・多、石英・中・多、角閃石・小・普	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ナデ	板ナデ・ナデ	口縁部1/8		
2		弥・壺	I-26	SKk05	口径13.0	長石・細・普、石英・細・普、角閃石・少、砂粒・あまり含まない	内:10YR5/3にぶい黄褐 外:5Y3/1オリーブ灰	回転ナデ	回転ナデ	口縁部1/8		
3		土・坏	I-26S	SKk05	-	長石・小・少、石英・小・少	内外:2.5Y8/2灰白	マメツ	マメツ	口縁部小片		
6 19		弥・壺	I-28	SKk06	口径22.0	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ	ナデ	口縁部1/8	頸:楕(2本/cm) ^{+α} 頸:(内)2段の櫛先刺突	
7 19		弥・甕	I-28	SKk06	口径22.0	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y8/3淡黄 外:2.5Y8/2灰白	マメツ	ハクリ・指押さえ	口縁部1/8	口:如意形 文:楕(2本/cm)	マメツ著しい
8		弥・甕	I-28	SKk06	口径23.0	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・中・少	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:10YR4/3にぶい黄褐	ナデ・板ナデ・ハケメ後 粗いヘラミガキ・マメツ	ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形	
9		弥・底部	I-28	SKk06	底径6.6	長石・小・少、石英・小・少、角閃石・微・普	内:10YR5/2灰黄褐 外:2.5Y2/1黒	ヘラミガキ・ナデ	ヘラ削り	底部3/8		
10 20		弥・壺	I-23	SKk01	-	長石・小・普、石英・小・普、角閃石・細・普、赤色粒子・少・小	内外:10YR6/3にぶい黄橙	回転ナデ	指押さえ後板ナデ・ハケメ・ナデ	頸部6/8		
11		弥・壺	I-23	SKk01	口径14.0	長石・小・普、石英・小・普、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/3にぶい褐	ナデ・マメツ	マメツ・ナデ	口縁部2/8		
12 20		弥・甕	I-23	SKk01	口径16.0 底径5.4	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・普	内:10YR5/3にぶい黄橙 外:7.5YR6/4にぶい橙	マメツ・ヘラミガキ・ハケメ	マメツ・指押さえ	口縁部1/8 底部完存	口:如意形	
13		弥・甕	I-23	SKk01	-	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・小・少	内:10YR8/3淡黄橙 外:2.5Y8/3淡黄	マメツ	指押さえ後ハケメ	体部2/8		
14		弥・甕	I-23	SKk01	口径14.0	長石・中・普、石英・中・普、雲母・小・普、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/3にぶい褐	ヨコナデ・板ナデ	ヨコナデ・板ナデ・指押さえ	口縁部1/8		
15		弥・甕	I-23	SKk01	口径18.2	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR7/4にぶい黄橙	ヨコナデ	板ナデ	口縁部小片	口:如意形	
16		弥・甕	I-23	SKk01	-	長石・中・多、石英・中・多、角閃石・小・多、雲母・小・多	内外:10YR4/3にぶい黄褐	マメツ・ハケメ	指押さえ後板ナデ	頸部小片 体部5/8		
17		弥・鉢	I-23	SKk01	口径16.4	長石・中・普、石英・中・普、角閃石・小・少、赤色粒子・中・少	内外:2.5Y5/4黄褐	マメツ	ハケメ・板ナデ・ナデ	口縁部1/8		
18		弥・底部	I-23	SKk01	底径6.4	長石・小・普、石英・小・普	内:5Y6/1灰 外:2.5Y8/2灰白	マメツ・ハケメ	マメツ	底部4/8		
19		弥・底部	I-23	SKk01	底径2.8	長石・中・普、石英・中・普	内外:2.5Y7/2灰黄	板ナデ・指押さえ・ナデ	指押さえ	底部5/8		
20		弥・壺	I-23	SKk02	-	長石・大・普、石英・大・普	内:2.5Y6/2灰普 外:2.5Y6/3にぶい黄	ヘラミガキ・マメツ・ハケメ	指押さえ	頸部2/8		
21 20		弥・壺	I-23	SKk02	-	長石・小・普、石英・小・普	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ハケメ・マメツ	ナデ・指押さえ・指ナデ・板ナデ・ハケメ	頸部4/8		
22 20		弥・甕	I-23	SKk02	口径17.8	長石・中・多、石英・中・多、角閃石・中・多、赤色粒子・中・少	内外:10YR5/4にぶい黄褐	ナデ・ハケメ・マメツ	ナデ・指ナデ・指押さえ・ヘラ削り	体部6/8		
23 20		弥・高坏	I-23	SKk02	口径10.0	長石・小・中・普、石英・小・中・普、角閃石・微・少	内外:10YR4/3にぶい黄褐	ヨコナデ・ヘラミガキ(4方向分割)	ヘラミガキ・ナデ	口縁部1/8		

図 版 文 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
24	弥・高坏	I - 23	SKK02	-	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・微・少、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR4/4褐色	ヘラミガキ(4分割?)	ヘラミガキ(4分割)	底部2/8		
25	弥・高坏	I - 23	SKK02	底径17.0	長石・中・多、石英・中・多、角 閃石・小・多、赤色粒子・小・普	内外:7.5YR5/4にぶい褐	板ナデ・マメツ	板ナデ	胴部1/8		
26	弥・底部	I - 23	SKK02	底径8.2	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・小・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ヘラミガキ	指押さえ	底部完存		
27	弥・底部	I - 23	SKK02	底径6.6	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・少	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:2.5Y6/2灰黄	ヘラミガキ	マメツ	底部4/8		
28	弥・壺	I - 23	SDK01	口径14.4	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・多、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ヨコナデ	マメツ	口縁部小片		
29	弥・壺	I - 23	SDK01	口径13.7	長石・小・多、石英・小・多、角 閃石・小・多、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR6/4にぶい橙	ナデ	ナデ後ヘラミガキ	口縁部1/8	口:如意形	
30	弥・壺	I - 23	SDK01	口径14.6	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・少、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR6/4にぶい褐	ナデ	ナデ	口縁部1/8		
31	弥・壺	I - 23	SDK01	口径16.4	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・中・少	内外:7.5YR6/6橙	ヨコナデ	ヨコナデ	口縁部6/8		
32	弥・壺	I - 23	SDK01	口径14.0	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・多、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR6/6橙	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口縁部小片	口:如意形	
33	弥・壺	I - 23	SDK01	口径16.4	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・普、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ナデ	ナデ・指押さえ	口縁部1/8	口:如意形	
34	弥・壺	I - 23	SDK01	口径13.0	長石・中・普、石英・中・普、角 閃石・小・多、赤色粒子・中・少	内外:7.5YR6/6橙	ナデ	ナデ・指押さえ	口縁部1/8	口:如意形	
35	弥・壺	I - 23	SDK01	口径13.7	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・多、赤色粒子・中・普	内外:7.5YR6/6橙	マメツ	マメツ・指押さえ・指ナ デ	口縁部3/8	口:如意形	
36	弥・高坏	I - 23	SDK01	-	長石・中・多、石英・中・多、角 閃石・小・多、赤色粒子・中・少	内外:10YR5/4にぶい黄橙	ヘラミガキ(4方向分割)	ハクリ	底部小片		
37	弥・高坏	I - 23	SDK01	底径14.0	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・普、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/6明褐	マメツ	マメツ	胴部小片		
38	弥・鉢	I - 23	SDK01	底径5.3	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR8/3淡黄橙 外:2.5Y7/2灰黄	タタキ目・マメツ・指押 さえ	ナデ	底部7/8		
39	弥・壺	I - 23	SDK03	口径18.0	長石・大・多、石英・大・多、角 閃石・小・多、赤色粒子・中・普	内:7.5YR4/3褐 外:7.5YR5/4にぶい褐	ハケメ	ナデ・板ナデ・指押さえ	頸部完存	口:二重口縁 口唇:ヘラ5(3本/cm)	
40	弥・壺	I - 23	SDK03	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・少	内外:5YR6/6橙	ナデ・ハケメ・指押さえ・ マメツ	ナデ・ハケメ・指押さえ・ マメツ	頸部3/8	口:二重口縁	
41	弥・壺	I - 23	SDK03	-	長石・中・普、石英・中・普、角 閃石・小・少、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	回転ナデ・ヘラミガキ・ ハケメ	ナデ・ハケメ	頸部5/8	口:二重口縁	
42	弥・壺	I - 23	SDK03	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ナデ・ハケメ	ナデ	底部1/8	口:二重口縁	
43	弥・壺	I - 23	SDK03	口径17.8	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・多、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	回転ナデ	回転ナデ	口縁部小片	口:二重口縁	
44	弥・壺	I - 23	SDK03	口径15.0	長石・普・多、石英・普・多、赤 色粒子・小・少	内:10YR4/2灰黄褐 外:5YR4/8赤褐	マメツ	マメツ・板ナデ・指押さ え・指ナデ	口縁部4/8		

図版番号	報告番号	地区名	報告遺構番号	法量 (cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
45	45	I-23	SDK03	口径15.0	長石・中・多、石英・中・多 長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・少、赤色粒子・小・少	内外:5YR6/6橙	ハケメ	ナデ	口径部1/8	口径:ヘラ2	
46	46	I-23	SDK03	口径25.6	長石・中・多、石英・中・普、角 閃石・小・少、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/6明褐	ナデ・ハケメ	ナデ	口径部4/8	口径:竹管3個1組3ヶ所 残	
47	47	I-23	SDK03	-	長石・中・多、石英・中・普、角 閃石・小・少、赤色粒子・小・少	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:7.5YR5/4にぶい褐	ナデ・ヘラミガキ	指ナデ・指押さえ	体部完存		
48	48	I-23	SDK03	-	長石・大・普、石英・大・普、角 閃石・小・多、赤色粒子・中・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ハケメ	指ナデ・指押さえ	頸部2/8	頸:ヘラ2(1本/cm)	
49	49	I-23	SDK03	-	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・少	内:10YR5/1灰褐 外:7.5YR5/6明褐	ヘラミガキ	指押さえ・ナデ	頸部4/8		
50	50	I-23	SDK03	口径17.6	長石・小・多、石英・小・多、角 閃石・小・少、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	マメツ・板ナデ	マメツ・板ナデ	口径部小片	口:如意形	
51	51	I-23	SDK03	口径12.4	長石・小・普、石英・小・普、雲 母・小・少	内外:10YR5/4にぶい黄橙	ヨコナデ	ヨコナデ	口径部1/8	口:如意形	
52	52	I-23	SDK03	口径14.6	長石・中・少、石英・中・少、赤色 粒子・小・少	内:10YR5/2灰黄褐 外:5YR5/6明赤褐	ヨコナデ・ハケメ	板ナデ・指押さえ後ナデ	口径部1/8	口:如意形	
53	53	I-23	SDK03	-	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・中・多	内:2.5Y4/2暗灰黄 外:2.5Y5/2暗灰黄	マメツ	ナデ・指押さえ	体部1/8		
54	54	I-23	SDK03	底径8.0	長石・中・普、石英・中・普、角 閃石・小・普、赤色粒子・中・普	内外:10YR3/1黒褐 外:10YR5/4にぶい黄橙	ヘラミガキ・マメツ	ヘラ削り	底部2/8		
55	55	I-23	SDK03	底径3.3	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:2.5Y5/2暗灰黄	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ(マメツ著 しい)	底部4/8		
56	56	I-23	SDK03	底径5.2	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:5Y4/1灰	ナデ・マメツ	マメツ	底部完存		
57	57	I-23	SDK03	底径5.0	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR5/3黄褐 外:2.5Y3/1黒褐	ナデ後ヘラミガキ	ナデ・指押さえ	底部完存		
58	58	I-23	SDK03	底径5.8	長石・小・多、石英・小・少、角 閃石・小・多	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR4/1褐灰	マメツ・ハケメ・ナデ	板ナデ・指押さえ	底部2/8		
59	59	I-23	SDK03	口径23.6	長石・中・多、石英・中・多、角 閃石・小・少、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/6明褐	マメツ・指押さえ	マメツ	口径部1/8		
60	60	I-23	SDK03	-	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・中・多、赤色粒子・中・普	内外:10YR5/4にぶい黄褐	板ナデ・マメツ	ナデ・マメツ・ヘラミガ キ	体部小片		
61	61	I-23	SDK03	-	長石・中・多、石英・中・多、角 閃石・小・少、赤色粒子・中・少	内:7.5YR5/4にぶい褐 外:5YR5/6明赤褐	ハケメ・マメツ	マメツ	体部5/8		
62	62	I-23	SDK03	-	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・少、雲母・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ヘラミガキ(4方向分割) ナデ	ヘラミガキ	体部2/8	頸:ヘラ2	
63	63	I-23	SDK03	底径8.5	長石・中・多、石英・中・多、角 閃石・小・普、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ナデ・マメツ	マメツ・板ナデ	体部6/8	脚:穿孔3(1ヶ所貫通せ ず)	
64	64	I-23	SDK03	-	長石・中・普、石英・中・普、角 閃石・小・少、赤色粒子・中・普	内外:7.5YR4/4褐	ナデ	ナデ	口径部小片		
65	65	I-23	STK01	-	長石・中・多、石英・中・多	内外:10R5/6赤	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口径部小片	口:如意形	

図 報文 番号	器 種	地区名	報告 番号	法量 (cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
66	弥・壺	I-23	STK01	-	長石・中～大・普、石英・中～大・普	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR7/4にぶい黄橙	ヨコナデ	ヨコナデ・ハラミガキ・指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛19(4本/0.8cmか?)	
67	弥・壺	I-28	SDK05	口径15.8	長石・中・普、石英・中・普、角閃石・小・少、雲母・小・少	内外:10YR6/4にぶい黄橙	ハラミガキ・ハケメ・ヨコナデ・マメツ	指ナデ・指押さえ・ヨコナデ・ハクリ	頸部7/8		
68	弥・壺	I-28	SDK05	口径18.0	長石・中・普、石英・中・普、雲母・小・少、赤色粒子・中・少	内外:10YR5/4にぶい黄褐	ナデ	ナデ	口縁部小片		
69	弥・壺	I-28	SDK05	-	長石・中・普、石英・中・普、角閃石・小・少、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	指押さえ後ナデ	ナデ・指押さえ	頸部2/8		
70	弥・壺	I-28	SDK05	口径16.6	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR8/2灰白 外:7.5YR5/2灰褐	ナデ・板ナデ	ナデ	口縁部1/8		
71	弥・壺	I-28	SDK05	-	長石・大・多、石英・大・多	内外:10YR6/4にぶい黄橙	マメツ	マメツ・ナデ	体部1/8	胴:貼凸4条	
72	弥・壺	I-28	SDK05	口径12.6	長石・小・普、石英・小・普	内外:7.5YR6/4にぶい橙	マメツ・ナデ	マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形	
73	弥・壺	I-28	SDK05	口径15.4	長石・中・多、石英・中・多	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ハクリ・ハラミガキ キあり?	ハクリ	口縁部1/8	口:逆L字形	
74	弥・壺	I-28	SDK05	口径16.6	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・中・普	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR6/4にぶい黄橙	ナデ・ハラミガキ・板ナデ	ナデ・指押さえ後板ナデ・マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形	
75	弥・壺	I-28	SDK05	-	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR5/2灰黄褐 外:2.5Y4/1黄灰		指押さえ	体部1/8	胴:櫛9(3本/0.9cm) +α 波状+櫛6(3本/0.9cm) +α	
76	弥・壺	I-28	SDK05	口径16.0	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR7/4にぶい黄橙	ナデ	ナデ・ハクリ	口縁部1/8	口:逆L字形	
77	弥・壺	I-28	SDK05	口径25.4	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR7/4にぶい黄橙	ヨコナデ	板ナデ・ハラミガキ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:櫛13(5本/cm)	
78	弥・壺	I-28	SDK05	-	長石・中・多、石英・中・多	内外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ	マメツ・指押さえ	口縁部小片	口:如意形	
79	弥・壺	I-28	SDK05	-	長石・小・普、石英・小・普、角閃石・小・少、雲母・小・少、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ナデ・ハケメ	ナデ・指押さえ	口縁部小片		
80	弥・壺	I-28	SDK05	-	長石・中・多、石英・中・多	内外:10Y7/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 口縁上部:1ヶ所穿孔	
81	弥・壺	I-28	SDK05	-	長石・中・普、石英・中・普、角閃石・小・少	内:7.5YR6/4にぶい橙 外:7.5YR5/4にぶい褐	回転ナデ	回転ナデ	口縁部小片		
82	弥・底部	I-28	SDK05	底径6.0	長石・大・多、石英・大・多	内外:10YR6/4にぶい黄橙 外:2.5YR5/4にぶい赤褐	板ナデ・マメツ	指押さえ後板ナデ	底部6/8		
83	弥・底部	I-28	SDK05	底径4.9	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	指押さえ	底部完存		
84	弥・底部	I-28	SDK05	底径7.4	長石・中・多、石英・中・多	内外:7.5YR6/3にぶい褐	ハラミガキ・ナデ	板ナデ	底部完存		
85	弥・底部	I-28	SDK05	底径8.4	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR8/2灰白 外:10YR8/4浅黄橙	ハケメ・回転ナデ	板ナデ	底部4/8		

図 版 番 号	部 立 番 号	器 種	地 区 名	報 告 構 造 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
86		弥・高坏	I-28	SDK05	-	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・多、赤色粒子・中・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ハラミガキ(4方向分割)	ハラミガキ(4方向分割)	頸部小片		
87		弥・高坏	I-28	SDK05	底径10.8	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・普、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ナデ	ナデ	脚部小片		
88		須・壺	I-28	SDK05	-	長石・小・少、石英・小・少	内外:7.5Y6/1灰	ヨコナデ	板ナデ	頸部小片	頸:波状+貼凸1条+波状 +貼凸1条+α	
93		弥・壺	I-28	SKK07	口径9.0	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・普	内:7.5YR7/4にぶい橙 外:7.5YR6/6橙	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口縁部小片		
94	23	黒土器 A類・碗	I-28	SKK07	口径15.2	赤色粒子・小・少、砂粒・小・少	内:N3暗灰 外:N3暗灰・10YR8/2灰白	ハラミガキ	マメツ	口縁部1/8		
95		弥・壺	I-28	SDK06	口径26.0	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・中・普	内外:7.5YR5/6明褐	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口縁部2/8		
96		弥・壺	I-28	SDK06	口径9.2	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・多、雲母・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:7.5YR6/4にぶい橙	ヨコナデ	ヨコナデ・板ナデ?	口縁部1/8		
97		弥・壺	I-28	SDK06	-	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・普	内外:5YR6/6橙	マメツ	マメツ	口縁部小片		
98		弥・甕	I-28	SDK06	口径15.3	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・少	内外:10YR5/3にぶい黄褐	ナデ・回転ナデ	ナデ・回転ナデ	口縁部1/8	口:如意形	
99		弥・甕	I-28	SDK06	口径11.8	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・多	内外:7.5YR5/3にぶい褐	ナデ	ナデ	口縁部1/8	口:如意形	
100		弥・甕	I-28	SDK06	口径12.4	長石・中・普、石英・中・普、角 閃石・小・普	内外:7.5YR5/4にぶい褐	板ナデ	指押さえ	口縁部2/8	口:如意形	
101		弥・甕	I-28	SDK06	-	長石・小・少、石英・小・少	内:5YR5/6明赤褐 外:7.5YR5/3にぶい褐	ナデ	ナデ	口縁部小片	口:如意形	
102		弥・甕	I-28	SDK06	-	長石・小・多、石英・小・多、角 閃石・小・普	内外:7.5YR6/4にぶい橙	ヨコナデ	ヨコナデ	口縁部小片	口:如意形	
103	23	弥・底部	I-28	SDK06	底径13.0	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR6/2灰黄褐 外:10R5/6赤	マメツ	ハクリ(底部きれいにハ クリする)	底部7/8		
104		弥・底部	I-28	SDK06	底径10.4	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・中・少	内:7.5Y4/1灰 外:7.5YR7/4にぶい橙	ハケメ・ナデ	指ナデ	底部4/8		
105		弥・底部	I-28	SDK06	底径9.4	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR4/1褐灰 外:7.5YR5/4にぶい褐	指押さえ後ナデ・ナデ	指押さえ	底部3/8		
106		弥・底部	I-28	SDK06	底径6.6	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR6/2灰黄褐 外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ	ナデ・板ナデ	底部4/8		
107		弥・底部	I-28	SDK06	底径3.0	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:10YR7/2にぶい黄橙	板ナデ・ナデ	板ナデ	底部完存		
108		弥・高坏	I-28	SDK06	口径21.6	長石・小・普、石英・小・普、赤 色粒子・小・少	内外:5YR5/6明赤褐	マメツ	マメツ	口縁部1/8		
109		弥・高坏	I-28	SDK06	-	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・普、赤色粒子・小・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	ヨコナデ後ハラミガキ・ マメツ	ヨコナデ後ハラミガキ・ マメツ	口縁部小片		

図版番号	器種	地区名	報告遺構番号	法量 (cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
110	弥・高坏	I - 28	SDK06	-	長石・小・普、石英・小・普、角閃石・小・普	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ヨコナデ	ヨコナデ	口縁部小片		
111	弥・高坏	I - 28	SDK06	底径15.6	長石・小・普、石英・小・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR6/4にぶい黄橙	ヨコナデ	ナデ	脚部1/8	脚・穿孔1残	
112	弥・高坏	I - 28	SDK06	底径13.3	長石・細・少、石英・細・少	内外:10YR5/4にぶい黄橙	ナデ	ヘラ削り	脚部1/8		
113	弥・高坏	I - 28	SDK06	底径13.2	長石・小・普、石英・小・普、角閃石・小・多、赤色粒子・小・少	内:7.5YR5/6明褐 外:7.5YR5/4にぶい褐	ヨコナデ	ヨコナデ	脚部1/8		
114	弥・高坏	I - 28	SDK06	-	長石・中・普、石英・中・普、角閃石・小・普	内:7.5YR5/4にぶい褐 外:10YR6/4にぶい黄橙	ヨコナデ・マメツ	ヨコナデ・マメツ	脚部小片		
115	須・碗	I - 28	SDK06	口径14.9	長石・細・少、石英・細・少	内:5Y5/1灰 外:N3/暗灰	回転ナデ・マメツ	回転ナデ・マメツ	口縁部1/8		
116	須・坏	I - 28	SDK06	口径11.1	長石・細・少、石英・細・少	内:N6/灰 外:10YR3/7黒褐	回転ナデ	回転ナデ	口縁部1/8		コマ状降灰あり
117	須・坏	I - 28	SDK06	底径8.8	砂粒・あまり含まない	内外:N4/灰白	ナデ	ナデ	底部2/8		
120 24	土・甕	I - 23	SDK11	-	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・小・普	内:5YR6/6橙 外:5YR6/8橙	ヨコナデ・ハケメ	ヨコナデ・板ナデ	口縁部小片		
121 24	須・坏	I - 23	SDK11	口径13.6 器高3.2 底径9.6	長石・小・普、石英・小・普	内外:2.5Y5/2暗灰黄	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部4/8		
122	須・坏	I - 23	SDK11	口径13.0	長石・細・少、石英・細・少、黒色粒子・細・少	内:N4/灰 外:N6/灰	回転ナデ	回転ナデ	口縁部小片		重ね焼き痕あり。 コマ状降灰あり
123	須・坏	I - 23	SDK11	-	長石・小・少、石英・小・少	内外:5Y7/1灰白	回転ナデ	回転ナデ	口縁部小片		
124 24	須・坏	I - 23	SDK11	-	長石・中・少、石英・中・少	内外:N7/灰白	回転ヘラ切り後回転ナデ	回転ナデ	底部小片	底・十字のヘラ描き	
125	弥・壺	I - 28	SDK12	口径26.2	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・中・普	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ナデ・マメツ	ナデ・板ナデ	口縁部小片		
126	弥・壺	I - 28	SDK12	口径25.0	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・中・少	内外:7.5Y6/4にぶい橙	ヨコナデ・マメツ	ヨコナデ・マメツ	口縁部1/8		
127	弥・壺	I - 28	SDK12	口径19.2	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR8/4浅黄橙 外:10YR8/3浅黄橙	ヨコナデ・板ナデ	板ナデ	口縁部2/8		
128	弥・壺	I - 28	SDK12	-	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	板ナデ	ハケメ	口縁部小片		
129	弥・壺	I - 28	SDK12	口径20.2	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・小・少	内:10YR8/6清黄橙・5Y4/1灰 外:10YR8/3浅黄橙	マメツ	マメツ	口縁部小片		
130 20	弥・甕	I - 28	SDK12	口径14.4	長石・中・少、石英・中・少、角閃石・小・普、曇母・小・少、赤色粒子・中・少	内:7.5YR5/4にぶい褐 外:5YR4/4にぶい赤褐	ナデ・板ナデ・ハケメ	板ナデ・ナデ・指押さえ 後ナデ	口縁部1/8	口・如意形	
131	弥・甕	I - 28	SDK12	口径15.8	長石・小・多、石英・小・多	内:10YR8/2灰白 外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・板ナデ	ナデ・ヘラ削り	口縁部1/8	口・如意形	

図 版 号	文 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
132		弥・甕	I - 28	SDK12	口径15.1	長石・中・普、石英・中・普、角閃石・小・普、赤色粒子・中・普	内外:7.5YR6/4にぶい褐	ナデ	ナデ	口縁部1/8	口:如意形	
133		弥・甕	I - 28	SDK12	口径14.6	長石・小・普、石英・小・普、角閃石・小・普、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR6/6明褐	回転ナデ	回転ナデ	口縁部1/8	口:如意形	
134		弥・甕	I - 28	SDK12	口径17.4	長石・小・多、石英・小・多、角閃石・小・多	内外:7.5YR6/3灰褐	ヨコナデ	板ナデ・ヨコナデ	口縁部1/8	口:如意形	
135		弥・甕	I - 28	SDK12	口径15.6	長石・中・普、石英・中・普、角閃石・中・多	内外:7.5YR6/4にぶい橙	ヨコナデ	ヨコナデ	口縁部小片	口:如意形	
136		弥・底部	I - 28	SDK12	底径7.6	長石・中・多、石英・中・多、角閃石・中・多	内:10YR6/2灰黄褐 外:10YR6/3にぶい黄橙	ハラミガキ・ヨコナデ・ナデ	指押さえ後板ナデ	底部4/8		
137		弥・底部	I - 26	SDK12	底径11.0	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・小・少	内:10YR4/1褐灰 外:10YR6/2灰黄橙	指押さえ後板ナデ・ナデ	指押さえ・板ナデ	底部1/8		
138		弥・底部	I - 28	SDK12	底径10.6	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	板ナデ・ナデ	板ナデ	底部完存		
139		弥・底部	I - 28	SDK12	底径6.4	長石・小・普、石英・小・普	内:5Y4/1灰 外:2.5Y7/2灰黄	ナデ	指押さえ	底部2/8		
140		弥・底部	I - 28	SDK12	底径4.8	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y4/1黄灰 外:10YR7/3にぶい黄橙	板ナデ・ナデ・マメツ	板ナデ	底部完存		
141		弥・底部	I - 28	SDK12	底径5.8	長石・小・少、石英・小・少、角閃石・小・普	内外:10YR6/2灰黄褐	指押さえ後板ナデ・ナデ	指押さえ後板ナデ	底部2/8		
142		弥・底部	I - 28	SDK12	底径6.6	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ナデ	ナデ	底部2/8		
143		弥・底部	I - 28	SDK12	底径3.8	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	板ナデ・ナデ	指ナデ	底部2/8		
144	24	弥・蓋	I - 28	SDK12	天井部6.8	長石・中・多、石英・中・多	内外:10YR4/2灰黄褐	ナデ	ナデ	天井部ほぼ完存	天井部:穿孔2個1組2ヶ所	
145	25	弥・高坏	I - 26	SDK12	口径26.0	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:2.5Y3/3暗いオリーブ褐	ナデ	ナデ	口縁部1/8	又:凹線4条+凹形浮+突起部穿孔1残	
146		弥・高坏	I - 28	SDK12	口径21.4	長石・小・少、石英・小・少、角閃石・小・普、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR6/4にぶい褐	ナデ	ナデ	口縁部1/8		
147		弥・高坏	I - 28	SDK12	口径20.9	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・普	内外:5YR4/6赤褐	ナデ	ナデ	口縁部小片		
148		弥・高坏	I - 28	SDK12	口径25.0	長石・中・多、石英・中・多、角閃石・小・普、赤色粒子・中・少	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ヨコナデ・板ナデ	板ナデ・ヨコナデ	口縁部小片		
149		弥・高坏	I - 26	SDK12	-	長石・小・普、石英・小・普、角閃石・小・普、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR6/4にぶい橙	ヨコナデ・マメツ	ヨコナデ・マメツ	体部小片		
150		弥・高坏	I - 28	SDK12	-	長石・中・普、石英・中・普、角閃石・小・多、赤色粒子・小・普	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ナデ・マメツ	ナデ	体部小片		
151		弥・高坏	I - 28	SDK12	-	長石・小・少、石英・小・少、角閃石・小・普	内外:7.5YR5/3にぶい褐	回転ナデ	回転ナデ	口縁部小片		

図 報 文 版 版 番 番 号 号	器 種	地 区 名	報 告 選 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
152	弥・高坏	I - 28	SDK12	-	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・多、赤色粒子・小・少	内：7.5YR4/4褐 外：10YR6/3にぶい黄橙	板ナデ	ヘラミガキ・ナデ・工具 痕(4方向分割)	体部3/8		
153	弥・高坏	I - 28	SDK12	-	長石・中・普、石英・中・普、角 閃石・小・多、赤色粒子・小・少	内外：7.5YR5/4にぶい褐	ナデ・マメツ	ナデ・工具痕・マメツ	体部6/8		
154	弥・高坏	I - 28	SDK12	底径16.1	長石・中・普、石英・中・普、角 閃石・小・普、赤色粒子・小・少	内外：10YR5/4にぶい黄褐	ナデ	板ナデ・ナデ	脚部1/8		
155	弥・高坏	I - 28	SDK12	底径15.4	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・多、赤色粒子・小・少	内外：10YR6/4にぶい黄橙	板ナデ	板ナデ	脚部小片		
156	弥・高坏	I - 28	SDK12	底径15.4	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・多	内外：7.5YR5/4にぶい褐	ナデ	ナデ・ヘラ削り	脚部1/8		
157	弥・高坏	I - 28	SDK12	底径13.5	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・多	内外：7.5YR5/4にぶい褐	ナデ	ナデ	脚部1/8		
158	弥・高坏	I - 28	SDK12	底径16.2	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・普、赤色粒子・小・普	内外：7.5YR6/4にぶい橙	ヨコナデ・マメツ	板ナデ・マメツ	脚部小片		
159	弥・高坏	I - 28	SDK12	底径16.0	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・多、赤色粒子・中・普	内外：7.5YR6/6橙	ヨコナデ	指押さえ後板ナデ	脚部1/8		
160	弥・高坏	I - 28	SDK12	底径13.6	長石・中・普、石英・中・普、角 閃石・小・普	内外：7.5YR5/4にぶい褐	ヨコナデ・マメツ	ヘラ削り・マメツ	脚部1/8	脚部：穿孔1残	
161	弥・高坏	I - 28	SDK12	底径15.4	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・普	内：10YR6/3にぶい黄橙 外：10YR7/2にぶい黄橙	ヨコナデ・マメツ	ナデ・マメツ	脚部小片	脚部：穿孔1残	
162	弥・高坏	I - 28	SDK12	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・少	内：7.5Y6/4にぶい橙 外：7.5Y7/4にぶい橙	ヨコナデ・マメツ	ナデ・マメツ	脚部小片	脚部：穿孔1残	
163	弥・高坏	I - 28	SDK12	-	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・普、雲母・小・少	内外：10YR6/4にぶい黄橙	ナデ	板ナデ・ナデ	脚部小片		
164	弥・支脚	I - 28	SDK12	底径8.2	長石・大・多、石英・大・多	内：10YR8/3淺黄橙 外：10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・マメツ・指押さえ	ナデ・マメツ・指押さえ	底部5/8		
165	弥・鉢	I - 28	SDK12	底径3.8	長石・中・普、石英・中・普	内外：10YR7/2にぶい黄橙	ヨコナデ・指押さえ	指押さえ後板ナデ	底部完存		
166	弥・鉢	I - 28	SDK12	底径4.2	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内：10YR7/3にぶい黄橙 外：5YR6/6橙	指押さえ	指押さえ	底部完存		
167	土・小皿	I - 28	SDK12	口径8.5 底径5.0	赤色粒子・小・少、砂粒・小・少	内外：7.5YR6/4にぶい橙	回転ナデ	回転ナデ・回転ヘラ切り	口縁部2/8		
168	土・碗	I - 28	SDK12	-	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外：7.5YR6/6橙	マメツ	マメツ	底部小片		
169	土・鍋	I - 26	SDK12	口径31.0	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内：7.5YR6/4にぶい橙 外：7.5YR7/4にぶい橙	回転ナデ・板ナデ	板ナデ	口縁部1/8		
170	須・坏	I - 28	SDK12	-	長石・細・少、石英・細・少	内：2.5Y7/1灰白 外：2.5Y6/1黄灰	回転ナデ	回転ナデ	口縁部小片		
171	須・坏	I - 28	SDK12	-	砂粒・あまり含まない	内：5Y5/1灰 外：5Y4/1灰	回転ナデ	回転ナデ	口縁部小片		
172	須・坏	I - 26S	SDK12	底径7.8	長石・小・少、石英・小・少	内：N5/灰白 外：N4/灰白	ナデ・回転ヘラ切り	板ナデ	底部2/8		

図版番号	器種	地区名	報告遺構番号	法量 (cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
173	須・坏	I - 28	SDK12	底径10.0	長石・小・少、石英・小・少	内外: 7.5Y6/1灰	回転ナデ	回転ナデ	底部1/8		
174	須・坏B	I - 28	SDK12	底径11.0	長石・細・少、石英・細・少	内外: N6/灰	回転ナデ	回転ナデ	底部1/8		
175	須・坏B	I - 28	SDK12	高台径10.2	長石・細・少、石英・細・少、赤色粒子・小・少	内: N4/灰 外: 10Y5/1灰	回転ナデ・ナデ	回転ナデ	底部小片		
176	須・坏B	I - 28	SDK12	底径12.0	長石・小・少、石英・小・少	内外: 2.5Y7/2灰黄	回転ナデ	回転ナデ	底部1/8		
177	須・皿A	I - 28	SDK12	口径17.0	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少、黒色粒子・小・少	内: 7.5YR7/6橙 外: 2.5Y6/1黄灰	回転ナデ	回転ナデ	口縁部1/8		
178 25	須・皿A	I - 28	SDK12	口径17.7 器高2.6 底径13.0	砂粒・小・普	内外: 5Y6/1灰	回転ナデ・回転ヘラ削り	回転ナデ	口縁部1/8		外面底部火傷
179	須・皿A	I - 28	SDK12	口径16.0	長石・小・少、石英・小・少	内外: 5Y7/1灰白	回転ナデ	回転ナデ	口縁部小片		内面口縁直下火傷
180	須・皿A	I - 28	SDK12	口径15.0	長石・小・少、石英・小・少	内外: 2.5Y7/2灰黄	回転ナデ	回転ナデ	口縁部小片		
181 25	須・蓋	I - 23 I - 28	SDK11・SDK12	口径14.0	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少	内: 5YR7/8橙 外: 5YR4/6赤褐	回転ナデ・回転ヘラ削り	回転ナデ	口縁部2/8		つまみハクリ
182	須・蓋	I - 26a I - 28	SDK12	天井部8.4	長石・細・少、石英・細・少	内: N4/灰 外: N3/暗灰	ヘラ削り・回転ナデ	回転ナデ	天井部2/8		
183	須・蓋	I - 28	SDK12	口径15.0	長石・小・少、石英・小・少	内外: N6/灰	回転ナデ	回転ナデ	底部1/8		
184	須・壺	I - 28	SDK12	-	長石・中・少、石英・中・少	内: N4/灰 外: N5/灰	格子タタキ目後回転ナデ・格子タタキ目	回転ナデ・ナデ	体部1/8		
185	須・壺	I - 28	SDK12	-	長石・小・少、石英・小・少	内: 2.5Y7/1灰白 外: 5Y7/1灰白	回転ナデ	回転ナデ	肩部小片		
186	須・壺	I - 28	SDK12	底径8.0	長石・小・少、石英・小・少	内: N7/灰白 外: N6/灰	回転ナデ	回転ナデ	底部1/8		
187 25	須・礎	I - 28	SDK12	口径13.0	長石・小・少、石英・小・少	内: 10YR5/2灰黄褐 外: 5PB6/1青灰	回転ナデ	回転ナデ	頸部1/8	頸: 波状7+波状6+波状10+α	頸部内面に自然釉
188 25	黒色土器 A類・碗	I - 28	SDK12	口径15.2 器高6.8 底径6.7	赤色粒子・小・少、砂粒・小・少	内: N3/暗灰・10YR8/3浅黄褐 外: N3/暗灰	ヘラミガキ・ナデ・回転ヘラ削り後ナデ	マメツ	口縁部2/8		内面マメツ著しい
189	黒色土器 A類・碗	I - 28	SDK12	底径7.0	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・普	内: N4/灰 外: 10YR8/2灰白	ナデ・回転ヘラ削り	ナデ・マメツ	底部1/8		
203 27	土・甕	I - 24	SDK13	口径12.8	長石・中・普、石英・中・普、雲母・小・普、赤色粒子・中・普	内外: 7.5YR6/6橙	ナデ・ハケメ	ナデ・ヘラ削り	口縁部2/8	口: 如意形	
204 27	須・坏身	I - 24	SDK13	口径12.2 器高4.3 底径3.6	砂粒・小・普、黒色粒子・小・少	内: 2.5Y6/1黄灰 外: N6/灰	回転ナデ・ヘラ削り	回転ナデ・ヘラ削り	口縁部6/8		
205 27	須・甕	I - 24	SDK13	口径15.2	砂粒・小・普	内: 5Y6/1灰 外: 5Y5/1灰	回転ナデ・格子タタキ目後カキ目	回転ナデ・当具痕	口縁部2/8	口: 如意形	
206	平瓦(須 惠質)	I - 24	SDK13	-	長石・小・普、石英・小・普	凸凹: 10BG7/1明青灰	(凸面) 縄タタキ目	(凹面) 布目瓦痕	-		

図 版 番 号	報 文 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
207	27	土・坏	I-23	SDK14	口径11.4 器高2.7 底径6.3	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:10YR8/2灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部1/8		マメツ著しい
208		土・坏	I-23	SDK14	口径11.8 器高3.3 底径7.8	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内:2.5YR6/4にぶい橙 外:5YR7/3にぶい橙	回転ナデ・回転糸切り	回転ナデ	底部2/8		
209		土・坏	I-23	SDK16	口径6.0	砂粒・小・少	内外:10YR8/3浅黄橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部3/8		
210		須・坏	I-23	SDK16	口径9.2	砂粒・あまり含まない	内外:N6/灰	回転ナデ	回転ナデ	底部1/8		内・外面口縁直下 火耀
211	27	須・坏	I-23	SDK16	口径7.6	長石・小・少、石英・小・少	内:N6/灰 外:N5/灰	回転ナデ・ナデ	回転ナデ	底部完存		
212		土・小皿	I-23	SDK17	口径9.0 器高1.0 底径6.3	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:5YR7/6橙	ナデ・回転ヘラ切り	ナデ	口縁部1/8		
213		黒色土器 A類・甕	I-23	SDK18	口径5.3	長石・細・少、石英・細・少	内:N4/灰 外:2.5YR8/2灰白	ナデ	ヘラミガキ	底部1/8		
214		弥・壺	I-27	SKK11	-	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ハケメ	板ナデ後ヘラミガキ・指 押さえ後板ナデ	頸部2/8	頸:ヘラ6(3本/cm)+刺突 ヘラ11(3本/cm)+ヘ ラ7(4本/cm)+α	
215		弥・壺	I-27	SKK11	-	長石・中・多、石英・中・多	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ	ヘラミガキ・板ナデ	頸部1/8	頸:ヘラ12+α(3本/cm)+ 刺突	
216		弥・底部	I-27	SKK11	口径6.6	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR4/2灰黄褐 外:7.5YR5/4にぶい褐	ヘラミガキ	ヘラミガキ・ナデ	底部2/8		
217	27	土・小皿	I-27	SKK11	口径5.7 器高9.1 底径5.0	長石・小・少、石英・小・少	内外:10YR7/2にぶい黄橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	完形		
218	27	土・小皿	I-27	SKK11	口径6.0 器高1.1 底径5.2	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:10YR8/2灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部5/8		
219		土・小皿	I-27	SKK11	口径5.8 器高0.8 底径4.2	長石・小・少、石英・小・少	内外:2.5Y7/3浅黄	ナデ・回転ヘラ切り	ナデ	口縁部2/8		
220	27	土・小皿	I-27	SKK11	口径5.2	長石・小・少、石英・小・少	内外:10YR8/3浅黄橙	ナデ・回転ヘラ切り後ナ デ	ナデ	底部完存		
221	27	土・小皿	I-27	SKK11	口径4.7	長石・小・少、石英・小・少	内外:2.5Y7/2灰黄	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部2/8		
222	27	土・小皿	I-27	SKK11	口径6.2 器高1.0 底径4.8	砂粒・微・少	内外:10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・回転ヘラ切り・板 状圧痕	ナデ	口縁部6/8		
223		土・坏	I-27	SKK11	口径9.4 底径5.6	長石・細・少、石英・細・少、赤 色粒子・小・少	内外:2.5Y8/2灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部2/8		
224		土・坏	I-27	SKK11	口径9.8 底径5.6	長石・細・少、石英・細・少、赤 色粒子・小・少	内外:10YR8/3浅黄橙	回転ナデ・マメツ	回転ナデ	底部小片		

図 報 文 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 連 続 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
225	土・環	I - 27	SKk11	口径9.9 底径6.1	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:2.5Y8/2灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部1/8		
226	土・環D	I - 27	SKk11	口径9.7 器高2.3 底径6.0	長石・小・少、石英・小・少	内外:2.5Y7/2灰黄	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	完形		
227	土・環	I - 27	SKk11	口径10.0 器高3.1 底径6.0	長石・小・少、石英・小・少	内外:2.5Y8/2灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部2/8		
228	土・環	I - 27	SKk11	口径9.7	長石・細・少、石英・細・少	内外:5Y7/2灰白	回転ナデ	回転ナデ	口縁部1/8		
229	土・環	I - 27	SKk11	口径9.8 器高3.0 底径6.4	長石・小・少、石英・小・少	内外:2.5Y7/2灰黄	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部6/8		
230	土・環	I - 27	SKk11	口径10.3	長石・小・少、石英・小・少	内:2.5Y6/1黄灰 外:2.5Y7/2灰黄	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ・ナデ	口縁部1/8		
231	土・環D	I - 27	SKk11	口径10.8 器高2.5 底径6.4	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:10YR8/3浅黄橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部3/8		
232	土・環	I - 27	SKk11	口径10.3 器高2.5 底径6.4	砂粒・小・少	内:10YR4/1褐灰 外:7.5YR8/3浅黄橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部1/8 底部完存		重ね焼き痕、焼き ムラあり
233	土・環	I - 27	SKk11	口径10.6 底径6.6	砂粒・小・少	内:2.5Y6/1黄灰 外:2.5Y7/1灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り 後板状圧痕	回転ナデ	口縁部2/8		
234	土・環	I - 27	SKk11	口径11.7 底径7.8	赤色粒子・小・少、砂粒・微・少	内:2.5Y7/2灰黄 外:10YR8/3浅黄橙	回転ナデ・回転ヘラ切り ヘラ状圧痕	回転ナデ・不定方向のナ デ	口縁部2/8		
235	土・環	I - 27	SKk11	口径11.0	砂粒・わずかに含む	内外:2.5Y6/2灰黄	回転ナデ	回転ナデ	口縁部2/8		
236	土・環	I - 27	SKk11	口径11.8	赤色粒子・微・少、砂粒・微・少	内外:2.5Y8/1灰白	回転ナデ	回転ナデ	口縁部1/8		
237	土・環	I - 27	SKk11	口径10.4 底径8.4	長石・小・少、石英・小・少	内外:10YR8/3浅黄橙	ナデ	ナデ	口縁部小片		
238	土・環D	I - 27	SKk11	口径11.6 器高3.0 底径7.0	長石・中・少、石英・中・少	内外:2.5Y7/2灰黄	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部1/8		重ね焼き痕あり
239	土・環	I - 27	SKk11	口径11.8 器高3.0 底径9.8	砂粒・小・少	内外:2.5Y7/2灰黄	回転ナデ・回転ヘラ切り 後粗いナデ	回転ナデ	口縁部1/8		
240	土・環	I - 27	SKk11	口径12.3 底径7.8	長石・小・少、石英・小・少	内外:2.5Y8/2灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ・ナデ	口縁部2/8		
241	土・環	I - 27	SKk11	口径12.3 器高2.6 底径9.4	長石・小・普、石英・小・普	内外:2.5Y8/2灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り 後ナデ	回転ナデ	口縁部2/8		
242	土・環	I - 27	SKk11	底径5.6	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:10YR8/3浅黄橙	ナデ	ナデ	底部2/8		
243	土・環	I - 27	SKk11	底径6.7	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:10YR8/2灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部5/8		

図 報 立 番 号	版 号	器 種	地 区 名	報 告 機 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
244		土・坏	I-27	SKK11	底径7.0	砂粒をほとんど含まない	内外:10YR8/3浅黄橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部1/8		
245		土・坏	I-27	SKK11	底径6.0	長石・細・少・石英・細・少・赤 色粒子・細・少	内外:2.5Y8/3淡黄	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部2/8		
246		土・坏	I-27	SKK11	底径6.6	赤色粒子・微・少・砂粒・微・少	内外:10YR8/2灰白	回転ナデ・回転ヘラ削り	回転ナデ	底部2/8		
247		土・坏	I-27	SKK11	底径8.8	長石・細・少・石英・細・少・赤 色粒子・小・少	内外:10YR8/3浅黄橙	ナデ	ナデ	底部1/8		
248		土・坏	I-27	SKK11	底径9.2	長石・小・普・石英・小・普	内外:10YR8/3浅黄橙	ナデ・回転ヘラ切り	ナデ	底部2/8		
249	28	土・坏	I-27	SKK11	底径7.1	長石・小・少・石英・小・少・赤 色粒子・小・少	内外:2.5Y7/2灰黄	回転ナデ・回転ヘラ切り 後ナデ	回転ナデ・回転ナデ後ナ デ	底部完存		
250		土・鍋	I-27	SKK11	口径37.4	長石・中・多・石英・中・多	内:10YR3/2墨褐 外:10YR2/1黒	ナデ・板ナデ	板ナデ	口縁部小片		外面に煤付着
251		土・鍋	I-27	SKK11	-	長石・中・多・石英・中・多	内:2.5Y7/2灰黄 外:2.5Y3/1黒褐	マメツ	マメツ	口縁部小片		
252		土・鍋	I-27	SKK11	-	長石・小・少・石英・小・少・赤 色粒子・小・少	内:10YR5/2灰黄褐 外:5Y2/1黒	ナデ	ハケメ	口縁部小片		
253		土・鍋	I-27	SKK11	口径28.8	長石・中・普・石英・中・普	内外:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR4/2灰黄褐	ナデ・ハケメ後ナデ	板ナデ・ハケメ・ナデ	口縁部小片		外面に煤付着
254		土・足釜	I-27	SKK11	-	長石・中・多・石英・中・多	内:10YR4/1褐灰 外:2.5Y4/1黄灰	ヨコナデ・ハケメ・マメ ツ・格子タタキ目	ナデ・板ナデ	体部小片		外面に工具痕
255	28	土・足釜	I-27	SKK11	口径20.6	長石・大・多・石英・大・多	内:10YR6/2灰黄褐 外:10YR6/3にぶい黄橙	ヨコナデ・指押さえ・脚 部ハクリ	板ナデ・ヨコナデ	口縁部2/8		外面口縁直下煤付 着
256	28	土・足釜	I-27	SKK11	口径28.6	長石・微・中・多・石英・微・ 中・多	内外:10YR5/3にぶい黄褐	指ナデ・指押さえ・ハケ メ	板ナデ・指ナデ	口縁部1/8		外面口縁直下煤付 着(多量)
257		土・足釜	I-27	SKK11	口径28.3	長石・中・普・石英・中・普	内外:10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・指押さえ	板ナデ・ナデ	口縁部小片		
258		土・足釜	I-27	SKK11	口径21.4	長石・中・普・石英・中・普・赤 色粒子・小・少	内外:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	板ナデ・指押さえ・ナデ	板ナデ	口縁部小片		
259		土・足釜	I-27	SKK11	口径14.0	長石・中・普・石英・中・普	内外:10YR8/4浅黄橙	ナデ・指押さえ	指押さえ	口縁部小片		外面口縁直下煤付 着
260		土・足釜	I-27	SKK11	口径23.2	長石・中・普・石英・中・普	内外:10YR6/2灰黄褐	ヨコナデ・指押さえ後ナ デ	板ナデ・ヨコナデ	口縁部小片		外面口縁直下煤付 着
261		土・足釜	I-27	SKK11	口径24.2	長石・中・普・石英・中・普	内外:10YR7/3にぶい黄橙	板ナデ・指押さえ・指押 さえ後板ナデ	板ナデ	口縁部小片		外面口縁直下煤付 着
262		土・足釜	I-27	SKK11	口径23.0	長石・中・普・石英・中・普	内:10YR3/2にぶい黄橙 外:10YR3/2黒褐	ナデ・ハケメ後ナデ・ 板ナデ後ハケメ	板ナデ	口縁部小片		
263		土・足釜	I-27	SKK11	-	長石・大・普・石英・大・普	内:10YR8/3浅黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	ヨコナデ後指押さえ・ヨ コナデ・板ナデ?	ヨコナデ	口縁部小片		
264		土・足釜	I-27	SKK11	-	長石・小・少・石英・小・少	内:2.5Y8/2灰白 外:N4/灰	ナデ	ナデ	体部小片		

図 報 文 書 号	器 種	地 区 名	報 告 連 続 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
265	土・足釜 (脚部)	I - 27	SKK11	厚さ2.7	長石・中・多, 石英・中・多	内外: 10YR6/2灰黄褐	板ナデ	—	脚部完存		外側上半部煤付着
266	土・足釜 (脚部)	I - 27	SKK11	厚さ2.5	長石・中・普, 石英・中・普	内外: 10YR7/3にぶい黄橙	指ナデ	—	脚部4/8		
267	土・足釜 (脚部)	I - 27	SKK11	厚さ1.9	長石・小・普, 石英・小・普	内外: 10YR8/2灰白	板ナデ	—	脚部1/8		
268	土・捏鉢	I - 27	SKK11	口径24.0	長石・中・普, 石英・中・普	内: 2.5Y3/1黒褐 外: 10YR7/3にぶい黄橙	指押さえ後板ナデ・ナデ	板ナデ	口縁部小片		
269	土・甕	I - 27	SKK11	-	長石・小・多, 石英・小・多, 雲母・小・少	内外: 10YR6/2灰黄褐	ナデ・ハケメ	ナデ	体部小片		
270	須・坏	I - 27	SKK11	口径12.1 器高3.7 底径8.2	長石・小・普, 石英・小・普, 砂粒・小・普	内外: 2.5Y7/2灰黄	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部5/8 底部完存		口縁端部一部重ね 焼き痕あり
271	須・坏	I - 27	SKK11	口径12.6 器高3.1 底径8.2	長石・小・少, 石英・小・少	内: 2.5Y7/1灰白 外: N7/灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部5/8 底部完存		重ね焼き痕あり
272	須・坏	I - 27	SKK11	底径6.0	長石・小・普, 石英・小・普	内外: 5Y7/1灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部2/8		
273	須・坏	I - 27	SKK11	-	長石・細・少, 石英・細・少	内: 2.5Y2/8灰白 外: 2.5Y8/1灰白	回転ナデ・ヘラミガキ	回転ナデ	口縁部小片		
274	須・甕	I - 27	SKK11	-	長石・小・少, 石英・小・少	内外: 5B5/1青灰	ナデ・カキ目	ナデ	口縁部小片	口: 如意形 頸: 有段	
275	須・甕	I - 27	SKK11	底径27.0	長石・中・普, 石英・中・普, 赤色粒子・小・少	内: 5Y7/1灰白 外: N4/灰	格子目タタキ	板ナデ	底部2/8	龜山焼	
276	須・捏鉢	I - 27	SKK11	口径32.6	長石・中・普, 石英・中・普	内外: 2.5Y6/2灰黄	ヨコナデ・板ナデ・指押 さえ	板ナデ・マメツ	口縁部1/8	東播系	
277	須・捏鉢	I - 27	SKK11	-	長石・中・普, 石英・中・普	内: N5/灰 外: 5Y6/1灰	ナデ	ナデ	口縁部小片	東播系	重ね焼き痕あり
280	土・鍋	I - 27	SKK12	-	長石・小・多, 石英・小・多, 赤色粒子・小・少	内外: 2.5YR5/6明赤褐	ナデ	ナデ・板ナデ	口縁部小片	口: 如意形	
281	土・小皿	I - 23	SXK11	口径9.8 底径8.0	長石・小・少, 石英・小・少	内外: 2.5Y8/2灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部1/8		
282	土・坏	I - 23	SXK11	底径7.5	長石・小・少, 石英・小・少, 赤色粒子・小・少	内外: 2.5Y8/2灰白	回転ナデ・回転糸切り	回転ナデ	底部5/8		
283	土・坏D	I - 23	SXK11	-	長石・小・普, 石英・小・普	内外: 2.5Y8/2灰白	ナデ	ナデ	口縁部小片		
284	黒色土器 A類・碗	I - 23	SXK11	-	長石・小・少, 石英・小・少	内: 2.5Y4/1黄灰 外: 2.5Y7/3残黄	ナデ	ヘラミガキ	底部小片		
285	須・碗	I - 23	SXK11	底径5.6	砂粒・細・少	内: N7/灰白 外: 5Y8/1灰白	ナデ・回転ヘラ切り・マ メツ	板ナデ	底部4/8		
286	須・碗	I - 23	SXK11	底径6.0	砂粒・あまり含まない	内: 2.5Y8/1灰白 外: 2.5Y7/1灰白	回転ナデ	ヘラミガキ	底部2/8		板庄痕
287	須・甕	I - 23	SXK11	-	長石・小・少, 石英・小・少, 黒色粒子・細・少	内外: N6/灰	格子目タタキ目	ハケメ	体部小片	龜山焼	焼成堅緻

図 版 合 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
288	29 瓦器 碗	I - 23	SXk11	口径17.2	砂粒・細・少	内外:N5/灰白	指押さえ後ヘラミガキ・ ヨコナデ	ヘラミガキ・ヨコナデ	口縁部2/8		
289	白磁 皿	I - 23	SXk11	口径9.6	堅緻	内外:7.5Y7/1灰白	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	口縁部小片		
290	須恵質・ 丸瓦	I - 23	SXk11	器存長3.3 筒部長2.9	長石・中・少, 石英・中・少	凸:2.5Y7/2灰黄 凹:10YR6/2灰黄褐	(凸面)板ナデ	(凹面)布目圧痕	—		
291	須恵質・ 平瓦	I - 23	SXk11	-	長石・中・普, 石英・中・普	凸凹:2.5Y8/1灰白	(凸面)ヨコナデ・縄タタ キ目	(凹面)ヨコナデ・布目圧 痕	—		
293	土・小皿	I - 27	SXk12	口径8.2 底径5.0	長石・細・少, 石英・細・少, 赤 色粒子・細・少	内:7.5YR6/4にぶい橙 外:5YR6/4にぶい橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部小片		
294	土・杯	I - 27	SXk12	底径12.0	長石・小・少, 石英・小・少, 5m m大の赤色粒あり	内外:7.5YR7/6橙	指押さえ後板ナデ	ナデ	底部小片		
295	土・把手 付鍋	I - 27	SXk12	口径11.8	長石・小・少, 石英・小・少	内:7.5YR7/4にぶい橙 外:10YR7/4にぶい黄橙	ヨコナデ	指ナデ	口縁部1/8		
296	土・把手 付鍋	I - 27	SXk12	口径23.6	長石・中・多, 石英・中・多	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR8/4浅黄橙	指押さえ後板ナデ	板ナデ	口縁部1/8		
297	土・把手 付鍋	I - 27	SXk12	口径26.6	長石・中・多, 石英・中・多, 雲 母・小・少	内:7.5YR7/3にぶい橙 外:7.5YR4/6褐	ナデ・指押さえ	ナデ・板ナデ	口縁部小片		
298	土・把手 付鍋	I - 27	SXk12	口径29.8	長石・中・多, 石英・中・多	内:10YR6/2灰黄褐 外:10YR5/3にぶい黄褐	ナデ・マメツ	ナデ	口縁部小片		
299	土・把手 付鍋	I - 27	SXk12	口径34.8	長石・中・普, 石英・中・普, 雲 母・小・少	内:10YR6/1褐灰 外:7.5YR6/4浅黄橙	ナデ・板ナデ	ナデ	口縁部小片		外面口縁直下條付 溝
300	土・把手 付鍋	I - 27	SXk12	底径32.0	長石・中・少, 石英・中・多, 赤 色粒子・小・普	内:7.5Y6/1灰 外:7.5YR6/4浅黄橙	板ナデ・ナデ	ナデ	底部小片		
301	土・把手 付鍋	I - 27	SXk12	-	長石・大・多, 石英・大・多, 雲 母・小・少	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR4/2灰黄褐	ヨコナデ・指押さえ・ハ クリ	板ナデ・ハクリ	体部小片	口縁直下:穿孔1残	
302	土・把手 付鍋	I - 27	SXk12	-	長石・小・普, 石英・小・普	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:7.5YR6/2褐灰	ナデ・格子タタキ目	板ナデ	体部小片		
303	30 土・播鉢	I - 27	SXk12	口径37.4 器高15.4 底径15.7	長石・大・多, 石英・大・多	内外:10YR8/2灰白	ナデ・指押さえ	ナデ・卸目	口縁部1/8	卸目:6案1単位	
304	弥・壺	I - 28	SDK21	底径9.4	長石・中・普, 石英・中・普, 赤 色粒子・小・少	内:7.5YR6/6橙 外:10YR6/4にぶい黄橙	マメツ・板ナデ	指押さえ・ハケメ・ヘラ 削り	底部2/8		
305	弥・壺	I - 28	SDK21	口径19.3	長石・中・多, 石英・中・多	内:10YR8/3浅黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	ヨコナデ・マメツ	指押さえ後板ナデ・ヨコ ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ3(2本cm)+α	
306	弥・高坏	I - 28	SDK21	口径39.0	長石・中・普, 石英・中・普, 角 閃石・小・少, 赤色粒子・小・少	内外:7.5YR5/6明褐	ナデ	ナデ・板ナデ	口縁部1/8		
307	弥・高坏	I - 28	SDK21	口径38.3	長石・小・普, 石英・小・普, 雲 母・小・少, 赤色粒子・小・少	内外:7.5YR4/4褐	ナデ・マメツ・ハクリ	ナデ	口縁部小片		
308	土・小皿	I - 28	SDK21	口径10.2 器高1.2 底径7.8	長石・小・少, 石英・小・少, 赤 色粒子・小・少	内外:5YR6/4にぶい橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部小片		

図 文 番 号	器 種	地 区 名	報 告 簿 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
309 30	土・坏	I - 28	SDK21	口径12.6 器高3.7 底径5.8	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内:10YR8/2灰白 外:7.5YR7/4にぶい橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部1/8		
310 30	土・坏	I - 28	SDK21	口径14.7	赤色粒子・小・少、砂粒・小・少	内外:7.5YR7/4にぶい橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部2/8		
311 30	土・坏	I - 28	SDK21	口径14.4 器高3.7 底径4.1	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・普	内:7.5YR7/4にぶい橙 外:7.5YR8/4浅黄橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部6/8		
312 31	土・坏	I - 28	SDK21	口径13.6 器高3.6 底径8.0	長石・小・少、石英・小・少	内外:10YR7/4にぶい黄橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部7/8		
313	土・坏	I - 28	SDK21	口径13.2	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:2.5Y7/3浅黄	回転ナデ	回転ナデ	口縁部小片		
314	土・坏	I - 28	SDK21	口径13.8	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:7.5YR8/6浅黄橙	ナデ	ナデ	口縁部1/8		
315	土・坏	I - 28	SDK21	口径8.0	長石・小・少、石英・小・少	内外:5YR6/6橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部1/8		
316	土・坏	I - 28	SDK21	口径7.7	長石・細・少、石英・細・少、赤 色粒子・小・少	内:7.5YR7/6橙 外:7.5YR8/4浅黄橙	回転ヘラ切り	ナデ	底部2/8		
317	土・碗	I - 28	SDK21	-	砂粒・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	回転ナデ	ナデ	底部小片		
318	土・碗	I - 28	SDK21	-	長石・小・少、石英・小・少	内外:7.5YR4/6褐	ナデ	ナデ	体部小片		
319	須・坏	I - 28	SDK21	口径13.7	長石・中・少、石英・中・少、黒 色粒子・小・少	内外:2.5Y6/1黄灰	回転ナデ	回転ナデ	体部小片		
320	須・碗	I - 28	SDK21	口径13.8	砂粒・あまり含まない	内外:2.5Y7/1灰白・N4/灰白	ナデ・指押さえ	ヘラミガキ	口縁部小片		口縁部重ね焼き 痕あり
321 31	須・碗	I - 28	SDK21	口径4.6	長石・小・少、石英・小・少	内:10Y7/1灰白 外:10Y8/1灰白	回転ナデ・ナデ・ヘラ削 り後ナデ	回転ナデ・ナデ・ヘラ削 り後ナデ	底部完存		
322 31	須・碗	I - 28	SDK21	口径13.6 器高5.9 底径4.0	砂粒・あまり含まない	内外:7.5Y7/1灰白	ヨコナデ・ヘラミガキ・ 指押さえ・ナデ	ヘラミガキ・板ナデ	口縁部3/8		
323 31	須・碗	I - 28	SDK21	口径15.0	砂粒・あまり含まない	内外:N5/灰	ナデ	ナデ・ヘラミガキ・ハケメ	口縁部4/8		西村烈士器 重ね焼き痕あり
324	須・碗 <small>0.5</small>	I - 28	SDK21	-	砂粒・あまり含まない	内外:N4/灰	ナデ	ナデ	口縁部小片		亀山焼
325	瓦器・碗	I - 28	SDK21	口径15.0	砂粒をほとんど含まない	内:N4/灰 外:10Y1/4灰	ナデ・ナデ後指押さえ	ナデ・ナデ後ヘラミガキ	口縁部1/8		
326	白磁・碗	I - 28	SDK21	-	砂粒をほとんど含まない	内:5Y7/2灰白 外:2.5Y7/2灰黄	回転ナデ	回転ナデ・施釉	底部小片		
327	平瓦	I - 28	SDK21	現存長5.9 広端幅6.7 厚さ2.4	長石・小・普、石英・小・普	凸:7.5Y6/1灰 凹:5Y5/1灰	(凸面)縄タキ目	(凹面)布目圧痕	-		

図 報 文 書 番 号	器 種	地 区 名	報 告 選 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
328	土・小皿	I - 28	SDK22	口径8.6 器高1.3 底径6.4	長石・小・少、石英・小・少	内外:2.5YR5/6明赤褐	回転ヘラ切り後回転ナデ	回転ナデ	口縁部1/8		
329	土・坏	I - 28	SDK22	-	長石・小・少、石英・小・少	内外:10YR7/2にぶい黄橙	回転ナデ・ナデ・回転ヘラ切り後ナデ	ナデ・指押さえ	体部小片		
330	土・足釜	I - 28	SDK22	口径16.0	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR7/4にぶい黄橙	ナデ・指押さえ	ナデ・ハケメ	口縁部小片		
331	須・坏	I - 28	SDK22	底径7.1	長石・細・少、石英・細・少、黒色粒子・小・少	内外:N7/灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部2/8		
332	瓦器・碗	I - 28	SDK22	-	砂粒ほとんど含まない	内外:5Y4/1灰	ヘラミガキ・指押さえ後ヘラミガキ	ヘラミガキ	口縁部小片		
333	須・坏B	I - 28	SDK23	底径8.0	長石・小・普、石英・小・普	内:N5/灰 外:N6/灰	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部1/8	底:ヘラ1	ママツ著しい
334	須恵質・平瓦	I - 28	SDK23	現存長6.4	長石・中・少、石英・中・少	凸凹:7.5Y7/1灰白	(凸面)縄タタキ目	(凹面)布目圧痕	-		
335	弥・壺	I - 25	SRK01上層	口径16.9	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・大・普	内:5YR7/6橙 外:5YR6/6橙	ハクリ	ナデ	口縁部2/8		
336 31	弥・壺	I - 25	SRK01上層	-	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR6/6橙	ナデ・ママツ	指押さえ・ナデ・ママツ	頸部ほぼ完存		
337	弥・壺	I - 27	SRK01上層	口径15.7	長石・中・多、石英・中・多	内外:2.5Y7/2灰黄	ナデ・ハクリ	ナデ・ハクリ	口縁部2/8	頸:(内)ヘラ1	
338	弥・壺	I - 27	SRK01上層	口径12.8	長石・中・多、石英・中・多	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:10YR6/4にぶい黄橙	ナデ・板ナデ・ハケメ	指押さえ	口縁部2/8		
339	弥・壺	I - 27	SRK01上層	口径25.4	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	ヘラミガキ	指押さえ後板ナデ・ヘラミガキ・ママツ	口縁部1/8		
340	弥・壺	I - 27	SRK01上層	-	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:7.5YR4/1褐灰	ハケメ後ヘラミガキ	指押さえ	体部小片	胴:ヘラ7(2本/cm)	
341 31	弥・壺	I - 26N	SRK01上層	口径16.4	長石・大・多、石英・大・多	内外:10YR7/4にぶい黄橙	指押さえ・ママツ	指押さえ	口縁部1/8	頸:櫛4(3本/cm)	
342	弥・壺	I - 25	SRK01上層	口径15.8	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・小・少	内:10YR8/2灰白 外:10YR8/4浅黄橙	ハケメ・ヘラミガキ・ママツ	板ナデ	口縁部1/8	頸:櫛9(3本/cm)+ α	
343	弥・壺	I - 27	SRK01上層	-	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR6/2灰黄褐		指押さえ後板ナデ	頸部1/8	胴:波状3+櫛15(4本/0.6cm)+波状3+櫛15(4本/0.6cm)	
344	弥・壺	I - 27	SRK01上層	-	長石・中・多、石英・中・多、その他・中・普	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR6/1褐灰	ヘラミガキ・ハケメ・ママツ	ママツ	頸部小片	頸:貼凸3条(刻目)	
345 31	弥・壺	I - 27	SRK01上層	-	長石・中・普、石英・中・普	内:5YR5/6明赤褐 外:10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・ママツ	ナデ・ママツ	頸部3/8	頸:貼凸4条、縦方向貼凸 頸:(内)連弧状貼凸	
346	弥・壺	I - 26	SRK01上層	-	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ママツ	ママツ	口縁部小片		
347 32	弥・壺	I - 25	SRK01上層	口径40.0	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・中・普、その他・中・普	内外:5YR5/6明赤褐	ヨコナデ	ママツ	口縁部小片	口:如蓋形 文:ヘラ4(2本/cm)	

版 文 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
348	弥・甕	I - 26N	SRK01上層	口径20.0	長石・中・多、石英・中・多	内:2.5Y7/2灰黄 外:2.5Y6/3にぶい黄橙	ヨコナデ	ヨコナデ・板ナデ	口縁部1/8	口:如意形 口唇:刻目 文:へら5(2本/cm)+α	
349	弥・甕	I - 26N	SRK01上層	口径28.3	長石・中・多、石英・中・多、角 閃石・小・少	内:10YR6/3にぶい善橙 外:2.5YR5/6明赤褐	マメツ・指押さえ	指押さえ・板ナデ	口縁部小片	口:如意形 文:へら6(3本/1.1cm)	
350	弥・甕	I - 26	SRK01上層	-	長石・中・善、石英・中・善、赤 色粒子・小・少	内外:10YR7/4にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	ハケメ	口縁部小片	口:逆L字形	
351	弥・甕	I - 25	SRK01上層	口径14.3	長石・中・善、石英・中・善	内:10YR5/2灰黄褐 外:10YR3/1黒褐	ナデ・へらミガキ	ナデ	口縁部2/8	口:逆L字形	
352	弥・甕	I - 26N	SRK01上層	口径22.6	長石・中・多、石英・中・多	内外:2.5Y6/2灰黄	ナデ・ハケメ・へらミガキ	指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形	
353	弥・甕	I - 26	SRK01上層	口径15.0	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・中・善	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:2.5Y7/2灰黄	ヨコナデ・板ナデ	指押さえ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形	
354	弥・甕	I - 26N	SRK01上層	口径28.4	長石・中・善、石英・中・善、赤 色粒子・小・少	内:5YR6/6橙 外:2.5Y5/1黄灰	ナデ・指押さえ・ハケメ・ マメツ	ナデ・指押さえ後板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形	
355	弥・甕	I - 27	SRK01上層	口径45.9	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:2.5Y7/3淺黄	マメツ	マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目	
356	弥・甕	I - 25・ I - 27	SRK01上層	-	長石・中・善、石英・中・善	内外:2.5Y3/1黒褐	へらミガキ・ナデ・指押 さえ	ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:へら8(2本/cm)+α	
357	弥・甕	I - 26	SRK01上層	-	長石・中・多、石英・中・多	内:2.5Y7/3淺黄 外:10YR4/1褐灰	ナデ	ナデ・マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 文:へら2+α	
358	弥・甕	I - 25	SRK01上層	口径19.8	長石・大・善、石英・大・善	内:2.5Y4/4オリーブ褐 外:5YR4/4にぶい赤褐	ナデ	指押さえ	口縁部2/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:へら13(3本/cm)+α+ 三角刺突+α	
359	弥・甕	I - 26	SRK01上層	口径18.6	長石・小・善、石英・小・善、赤 色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい善橙 外:5YR5/4にぶい赤褐	ナデ・ハケメ	ナデ・板ナデ・指押さえ	口縁部2/8	口:逆L字形 文:へら5(2本/cm)	
360	弥・甕	I - 27	SRK01上層	口径16.0	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR4/2灰黄褐	マメツ	マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:へら5(2本/cm)	
361	弥・甕	I - 26	SRK01上層	口径16.4	長石・中・善、石英・中・善、そ の他・中・善	内:2.5Y7/3淺黄 外:10YR5/2灰黄褐	ヨコナデ・ハケメ・マメ ツ	ナデ・マメツ	口縁部2/8	口:逆L字形 文:へら4(3本/cm)	
362	弥・甕	I - 25	SRK01上層	口径21.6	長石・中・善、石英・中・善	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR4/2灰黄褐	横ナデ・板ナデ・指押さ え後板ナデ・マメツ	横ナデ・指押さえ・板ナ デ・マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:へら13(4本/cm)+刺 突	
363	弥・甕	I - 27	SRK01上層	口径25.6	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:5Y3/1オリーブ黒	ヨコナデ	指押さえ後ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:へら12(3本/cm)+α	
364	弥・甕	I - 26	SRK01上層	口径27.7	長石・中・少、石英・中・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 文:へら9(3本/cm)+α	
365	弥・甕	I - 25	SRK01上層	口径24.2	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・善	内:5YR7/6橙 外:10YR7/2にぶい黄橙	ナデ	ナデ・ハケメ・指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:櫛33(6本/0.9cm)+α	

図版番号	報文番号	器種	地区名	報告遺構番号	法量(cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
366	32	弥・甕	I - 27	SRK01上層	口径18.8	長石・中・多・石英・中・多	内:2.5Y7/2灰青 外:7.5YR5/6明褐	ナデ	マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:櫛20(4本/cm)+三角 刺突	
367		弥・甕	I - 26	SRK01上層	口径25.4	長石・小・少・石英・小・少	内外:2.5Y8/3淡黄	ナデ	指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:櫛9(3本/cm)+α	
368	32	弥・甕	I - 27	SRK01上層	口径24.0	長石・中・普、石英・中・普、 その他・中・少	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	ヨコナデ・マメツ	ヨコナデ・マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛19(5本/cm)+α	
369		弥・甕	I - 26N	SRK01上層	口径18.0	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	ナデ・板ナデ後指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛16(4本/0.9cm)	
370	33	弥・甕	I - 25	SRK01上層	口径16.2	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR5/4にぶい黄褐 外:7.5YR4/4褐	ナデ	ナデ・板ナデ・ハラミガキ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:穿孔2個、組1ヶ所残 +櫛27(5本/cm)	
371		弥・甕	I - 27	SRK01上層	口径17.6	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR4/2灰黄褐	ハクリ	板ナデ・ハクリ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛12(7本/cm)	
372	32	弥・甕	I - 27	SRK01上層	口径15.0	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR4/1褐灰 外:10YR6/6明黄褐	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:櫛11(3本/cm)+α	
373	33	弥・甕	I - 26N	SRK01上層	口径27.4	長石・小・少、石英・小・少	内:2.5Y7/2灰黄 外:10YR7/2にぶい黄橙	ナデ	指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:櫛15(4本/1.2cm)	
374	32	弥・甕	I - 26	SRK01上層	口径20.4	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	ヨコナデ	指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:櫛12(3本/cm)+α	
375	33	弥・甕	I - 25	SRK01上層	口径26.6	長石・中・多、石英・中・多	内:2.5Y7/3浅黄 外:N3暗灰	指押さえ・ナデ	指押さえ・ハラミガキ	口縁部小片	口:山形凸部 文:ハラ5(3本/cm)+櫛先 刺突+ハラ5(4本/cm) +三角刺突+ハラ5(3 本/cm)+櫛先刺突+ハ ラ3+α	
376		弥・底部	I - 25	SRK01上層	底径9.4	長石・大・多、石英・大・多	内:2.5Y7/2灰黄 外:2.5Y7/3浅黄	ハケメ・マメツ・回転ハ ラ切り	マメツ	底部完存		
377		弥・底部	I - 25	SRK01上層	底径9.2	長石・大・多、石英・大・赤 色粒子・中・少	内:2.5Y4/1灰黄 外:7.5YR7/4にぶい黄	マメツ	ナデ・指押さえ	底部完存		
378		弥・底部	I - 25	SRK01上層	底径9.1	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR5/3にぶい黄褐 外:10YR6/4にぶい黄橙	板ナデ・指ナデ	指ナデ	底部完存		
379		弥・底部	I - 25	SRK01上層	底径9.6	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	板ナデ・ハケメ	指押さえ	底部3/8		
380		弥・底部	I - 25	SRK01上層	底径5.9	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR7/6明黄褐 外:10YR5/1褐灰	ハラミガキ・ナデ	指押さえ・板ナデ	底部完存		
381		弥・底部	I - 25	SRK01上層	底径7.0	長石・中・多、石英・中・多	内外:2.5YR6/6橙	ナデ・指押さえ	指押さえ	底部ほぼ完存		
382		弥・底部	I - 25	SRK01上層	底径7.6	長石・中・多、石英・中・赤 色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:2.5Y7/3浅黄	ナデ・ハケメ	指押さえ	底部4/8		
383		弥・底部	I - 27	SRK01上層	底径5.6	長石・中・多、石英・中・多	内:2.5YR8/2灰白 外:5YR6/6橙	マメツ・ナデ	マメツ・指押さえ	底部2/8		
384		弥・鉢	I - 26N	SRK01上層	口径21.4	長石・中・多、石英・中・多、 その他・中・普	内:2.5Y7/3浅黄 外:2.5Y5/2暗灰黄	指押さえ後板ナデ	指押さえ後板ナデ	口縁部小片		

図版番号	器種	地区名	報告遺構番号	法量 (cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
385	弥・鉢	I - 26N	SRK01上層	口径20.0	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR6/3にぶい黄橙 メ・マメツ	指ナデ・指押さえ・ハケ	マメツ	口縁部小片		
386	弥・鉢	I - 26	SRK01上層	口径18.0	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR4/2灰黄褐 外:10YR4/1褐灰	ナデ・マメツ・指押さえ	板ナデ・マメツ	口縁部3/8	口縁直下:穿孔1残	
387	弥・製塩 土器	I - 25	SRK01上層	口径3.5	長石・中・多、石英・中・多	内外:2.5Y8/2灰白	指押さえ・ナデ	指押さえ	底部完存		
388	弥・壺	I - 25	SRK01上層	天井部6.8	長石・中・多、石英・中・多	内:5Y7/1灰白 外:7.5Y6/1灰	ナデ・マメツ・指押さえ	マメツ	天井部完存		
389	土・坏E	I - 27	SRK01上層	口径10.9 器高3.7 底径6.4	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:10YR8/3浅黄橙	回転ナデ・回転糸切り	回転ナデ	底部5/8		
390	土・坏E	I - 27	SRK01上層	口径12.4 器高3.3 底径8.0	長石・小・普、石英・小・普、赤 色粒子・小・普	内外:2.5Y7/3浅黄	回転ナデ・回転糸切り	回転ナデ	底部3/8		
395	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径16.0	長石・大・多、石英・大・多	内外:10YR6/4にぶい黄橙 ハケリ	ナデ・ヨコナデ・ハケメ・ ハケリ	ナデ・ハケリ	口縁部1/8		
396	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径14.2	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・ヘラミガキ	板ナデ・指押さえ	口縁部1/8		
397	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径14.0	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR7/4にぶい黄橙	指押さえ・ナデ	板ナデ・指押さえ	口縁部1/8		
398	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径15.8	長石・中・少、石英・中・少	内外:2.5Y7/3浅黄	ナデ・ハケメ	指ナデ・ハケメ・マメツ	口縁部1/8		
399	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径35.2	長石・中・多、石英・中・多	内外:10YR8/1灰白	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口縁部小片		
400	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径15.0	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR7/4にぶい黄橙	板ナデ・ヘラミガキ	板ナデ・ヘラミガキ	口縁部1/8		
401	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径17.2	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・少	内外:2.5Y8/3淡黄	ヨコナデ・マメツ	マメツ	口縁部2/8	口唇:ヘラ1	
402	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径20.3	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR5/2灰黄褐	ナデ・指押さえ後ヘラミ ガキ	指押さえ後ヘラミガキ	口縁部小片		
403	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径17.4	長石・中・普、石英・中・普、砂 粒・多	内外:2.5Y6/6明黄褐	ナデ・指押さえ	指押さえ	口縁部1/8		
404	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径17.2	長石・中・多、石英・中・多	内:5YR5/6明赤褐 外:2.5Y5/2暗灰黄	マメツ・ヘラミガキ	ヘラミガキ	口縁部4/8	口唇:ヘラ1	
405	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径19.8	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・中・普	内外:2.5Y6/3にぶい黄	ナデ・ハケメ	ナデ	口縁部1/8		
406	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径19.8	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR3/1黒褐	ナデ・指押さえ・ヨコナ デ・ハケメ	指押さえ後ヘラミガキ	口縁部1/8		
407	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径23.8	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:7.5YR6/4にぶい橙	ヘラミガキ	マメツ・ヘラミガキ	口縁部1/8	口唇:刻目	
408	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径15.8	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・普、その他・中・普	内外:10YR7/3にぶい黄橙	指押さえ後ヘラミガキ	指押さえ	口縁部1/8	頸:ヘラ1	
409	弥・壺	I - 25	SRK01下層	.	長石・中・多、石英・中・多	内外:2.5Y6/2灰黄	指押さえ・板ナデ	指押さえ・板ナデ	頸部2/8	頸:ヘラ2+α	

図 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 選 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
410	34 弥壺	I - 25	SRK01下層	口径16.2	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:2.5Y6/2灰黄	指押さえ後ヘラミガキ	指押さえ後ヘラミガキ	頸部2/8	頸:ヘラ10(3本/cm)+α	
411	34 弥壺	I - 25	SRK01下層	口径27.8	長石・大・多、石英・大・多、赤色粒子・中・少	内外:5YR6/4にぶい黄	指押さえ・マメツ	マメツ	口縁部1/8	口唇:刻目+ヘラ1 頸:ヘラ3(1本/cm)+α	
412	弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・多、石英・中・多	内:2.5Y7/2灰黄 外:2.5Y7/4浅黄	ヘラミガキ	マメツ	体部2/8	頸:ヘラ2	
413	弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・大・多、石英・大・多	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:10YR7/4にぶい黄橙	ナデ	指押さえ・マメツ	体部1/8	頸:ヘラ5(2本/cm)	
414	34 弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・中・普、片岩・中・少、その他・大・普	内外:2.5Y7/2灰黄	ハケメ	ハケメ・指押さえ	頸部2/8	頸:ヘラ4(4本/cm)	
415	弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・大・普、石英・大・普、その他・大・普	内外:5YR6/6橙	マメツ	マメツ	頸部2/8	頸:ヘラ6(3本/cm)+α	マメツ著しい
416	弥壺	I - 25	SRK01下層	口径11.7	長石・中・普、石英・中・普、砂粒・細・多	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR4/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	ナデ・ハケメ	口縁部1/8	文:ヘラ11(3本/cm)	
417	34 弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・大・普、石英・大・普、その他・中・普	内:2.5Y7/3浅黄 外:10YR6/3にぶい黄橙	ハケメ・マメツ・ナデ	ナデ・指押さえ	頸部完存		
418	弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内外:2.5Y6/3にぶい黄	指押さえ後板ナデ	指押さえ後板ナデ	頸部3/8	頸:ヘラ10(4本/cm)+α	
419	35 弥壺	I - 25 I - 27	SRK01下層	口径26.0	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:7.5YR5/4にぶい褐	ハケメ	ハケメ	口縁部2/8	口唇:刻目+ヘラ1 頸:櫛11(3本/cm)+α	
420	弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・少、石英・中・少、赤色粒子・小・少	内:2.5Y8/4淡黄 外:2.5Y7/4浅黄	マメツ・ヘラミガキ	ナデ・指押さえ	体部小片	頸:櫛3+α+波状2	
421	弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、その他・中・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:2.5Y5/2暗灰黄	板ナデ	ヘラミガキ	体部1/8	頸:櫛8(3本/cm)+α	
422	35 弥壺	I - 25	SRK01下層	口径8.4	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・中・少	内外:10YR6/4にぶい黄橙	ナデ	板ナデ・ナデ	口縁部2/8	頸:櫛34(5本/1.1cm)	
423	35 弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:5YR6/6橙	ヘラミガキ・マメツ	指押さえ・ヘラミガキ・マメツ	頸部2/8	頸:削凸3条	
424	弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・少、石英・中・少、砂粒・普	内外:10YR6/4にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	ナデ・指押さえ・指ナデ	体部小片	頸:貼凸1条+α	
425	弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR7/2にぶい黄橙	マメツ・ナデ	マメツ・指押さえ・ナデ	体部1/8	頸:貼凸1条(刻目)	
426	弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ	板ナデ	頸部2/8	頸:貼凸1条(刻目)	
427	弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・少、石英・中・少、赤色粒子・小・少	内外:2.5Y7/3浅黄	ナデ	板ナデ後ヘラミガキ・ハケメ	頸部2/8	頸:貼凸3条	
428	弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・中・多	内:2.5Y8/1灰白 外:10YR7/2にぶい黄橙	マメツ	マメツ・板ナデ	頸部3/8	頸:貼凸3条	
429	弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少	内外:10YR7/2にぶい黄橙	板ナデ後ヘラミガキ	板ナデ後ヘラミガキ	頸部1/8	頸:貼凸3条+α	
430	35 弥壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・大・多、石英・大・多、赤色粒子・小・普	内:10YR8/3浅黄橙 外:10YR7/4にぶい黄橙	ナデ・マメツ	指押さえ・板ナデ・ナデ・マメツ	体部2/8	頸:ヘラ3(2/cm)+α 胸:段+ヘラ4(2/cm)	

報文 番号	器種	地区名	報告遺構番号	法量(cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
431	弥・壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR6/2灰黄褐	ハケメ・ヘラミガキ	板ナデ・ヘラミガキ・指 押さえ後板ナデ	頸部3/8	頸:貼凸3条(刻目)	
432	弥・壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・大・多、石英・大・多、そ の他・大・多	内:10YR7/6明黄褐 外:7.5YR6/4にぶい褐	ナデ・ヘラミガキ	マメツ	頸部小片	頸:ヘラ8(3本/cm)+貼凸 2条(刻目)+ヘラ7(3 本/cm)	内面ハクリ著しい
433	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径21.0	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・小・普	内:2.5Y7/3淺黄 外:2.5Y4/1淺黄	指押さえ後ナデ	板ナデ	口縁部小片	口唇・刻目	
434	弥・壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・小・小、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:10YR8/2灰白	ナデ	ナデ	口縁部小片	口唇・刺突文	
435	弥・壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・中・普	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:5YR5/6明赤褐	ヘラミガキ	指押さえ後板ナデ	体部小片	胴:貼凸2条(刻目)	
436	弥・壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・少	内:2.5Y7/3淺黄 外:5Y2/1黒・10YR7/3に ぶい黄橙	ヘラミガキ・ヨコナデ	指押さえ後板ナデ	体部3/8	胴:貼凸3条(刻目)	
437	弥・壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・中・普	内:2.5Y8/3淡黄 外:7.5Y8/4淺黄橙	マメツ	マメツ	体部小片	胴:貼凸3条(刻目)+円 形浮	
438	弥・壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・小・普、石英・小・普	内外:2.5YR6/6橙	板ナデ後ハケメ	ナデ	口縁部小片	頸:(内)貼凸4条(刻目) +α+穿孔2残	
439	弥・壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・大・普、石英・大・普、そ の他・大・普	内外:2.5Y5/3黄褐	ヘラミガキ・ハケメ	ヘラミガキ	体部2/8	頸:貼凸2条(刻目)+α+ 貼凸3条(刻目)+貼 凸4条(刻目)	
440	弥・壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR6/2灰黄褐	ヘラミガキ・マメツ	ナデ後指押さえ・マメツ	頸部小片	頸:貼凸3条(刻目)+α+ 貼凸2条(刻目)	
441	弥・壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・大・普、石英・大・普	内外:2.5Y7/2灰黄	ハケメ	ハケメ後ヘラミガキ・ナ デ	体部1/8	頸:ヘラ2+α+貼凸1条 (刻目)+ヘラ6(4本 cm)+貼凸1条(刻目)+ ヘラ6(3本/cm)+貼 凸1条(刻目)	
442	弥・壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y6/2灰黄 外:2.5Y5/2黄灰	ナデ	板ナデ	体部小片	胴:貼凸1条(刻目)+竹 管+貼凸1条(刻目)+ 竹管+α	
443	弥・壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR6/2灰黄褐	板ナデ・ヘラミガキ	ナデ・指押さえ	体部小片	胴:貼凸1条(刻目)	
444	弥・壺	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR6/2灰黄褐	指押さえ後ヘラミガキ	指押さえ後ナデ	口縁部小片	口縁上部:穿孔2残	
445	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径8.0	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:2.5Y6/2灰黄 外:2.5Y5/1黄灰	ナデ・指押さえ・マメツ	指ナデ	口縁部1/8		
446	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径20.8	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR5/3にぶい黄褐	ナデ・指押さえ・ヘラミ ガキ・マメツ	ナデ・指押さえ	口縁部1/8	口:如意形	
447	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径19.6	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	ヨコナデ後指押さえ・ヘ ラミガキ	指押さえ・板ナデ	口縁部1/8	口:如意形	
448	弥・壺	I - 25	SRK01下層	口径16.0	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・少	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:10YR6/2灰黄褐	ナデ・指押さえ後板ナデ	ナデ・指押さえ後板ナデ	口縁部1/8	口:如意形	

図版番号	報告番号	器種	地区名	報告番号	法量 (cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
449	449	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	口径41.2	長石・中・普、石英・中・普	内外:2.5Y7/3浅黄	指押さえ・ヘラミガキ	板ナデ後ヘラミガキ	口縁部小片	□:如意形 口唇:ヘラ1	
450	450	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	口径21.5	長石・中・少、石英・中・少、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR6/6橙	ナデ・指押さえ・板ナデ	指押さえ・板ナデ	口縁部小片	□:如意形 文:ヘラ3(2本/cm)	
451	451	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	-	長石・中・少、石英・中・少、雲母・小・少	内:10YR4/1褐灰 外:10YR3/1黒褐	ナデ・板ナデ	ナデ・ヘラミガキ	体部1/8	□:如意形 文:ヘラ5(3本/cm)	
452	36	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	口径22.7	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR5/4黄褐 外:7.5YR3/1黒褐	ナデ・指押さえ・ハケメ・マメツ	ヨコナデ・指押さえ後ヘラミガキ・板ナデ	口縁部3/8	□:如意形 文:ヘラ7(3本/cm)	
453	453	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	-	長石・大・多、石英・大・多	内外:5YR6/6橙	マメツ	マメツ	口縁部小片	□:如意形 文:ヘラ10(3本/cm)+α	
454	454	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	-	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR5/2灰黄褐 外:2.5Y4/1黄灰	板ナデ・ヘラミガキ	指押さえ後ヘラミガキ	口縁部小片	□:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ2+α	
455	455	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	-	長石・小・少、石英・小・少	内外:2.5Y6/4にぶい黄	指押さえ・ナデ・板ナデ 後ヘラミガキ	ナデ・板ナデ	口縁部小片	□:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ2	
456	456	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	口径23.2	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:5YR3/1オリーブ黒	板ナデ・指押さえ	ナデ	口縁部1/8	□:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ4(3本/cm)	
457	36	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	口径21.4	長石・中・多、石英・中・多	内:2.5Y4/2暗灰黄 外:10YR3/1黒褐	指押さえ・板ナデ	指押さえ・板ナデ・ナデ	口縁部1/8	□:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ4(3本/cm)	
458	458	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	口径11.0	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少、その他・中・普	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR3/1黒褐	指押さえ・ヘラミガキ	ヨコナデ・指押さえ・板ナデ	口縁部1/8	□:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ6(3本/cm)	
459	36	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	口径20.6	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:10YR3/1黒褐	指押さえ・指押さえ後ハケメ・ハクリ	ナデ・板ナデ	口縁部2/8	□:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ6(3本/cm)	
460	36	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	口径24.6	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄橙	指押さえ・ハケメ	指押さえ・板ナデ	口縁部1/8	□:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ9(3本/cm)+刺突+ヘラ1	
461	36	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	口径20.8	長石・中・普、石英・中・普、雲母・小・少	内:10YR5/3にぶい黄褐 外:10YR5/2灰黄褐	指押さえ・指押さえ後板ナデ後ヘラミガキ	指押さえ後板ナデ後ヘラミガキ	口縁部1/8	□:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ12(3本/cm)+刺突	外面下半部煤付着
462	36	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	口径28.2	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・小・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	指押さえ・マメツ	ハクリ	口縁部1/8	□:如意形 口唇:刻目 文:楕26(6本/1.3cm)	
463	463	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	口径21.0	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR6/2灰黄褐	指押さえ・マメツ	マメツ	口縁部1/8	□:如意形 文:楕10(4本/cm)+三角刺突	
464	36	弥・甕	I - 25	SRK01 下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内:2.5Y7/3淺黄 外:2.5Y8/4淺黄	ヨコナデ後指押さえ・ヘラミガキ・マメツ	ヨコナデ後指押さえ・ナデ・マメツ・板ナデ	口縁部小片	□:如意形 文:楕19(6本/1.1cm)+楕先刺突	

図 報 文 版 号 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
465	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径20.2	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・指押さえ	ナデ	口縁部小片	口:如蓋形 文:糊9(6本/1.1cm)+刺	
466	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径27.2	長石・大・多、石英・大・多	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:2.5Y4/1黄灰	マメツ・指押さえ	板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形	
467	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径18.2	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR4/2灰黄褐	ナデ	指押さえ・指ナデ・板ナ テ	口縁部小片	口:逆L字形	
468	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径24.7	長石・中・普、石英・中・普、角 閃石・小・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄橙	ヨコナデ・ハケメ・マメ ツ	指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形	外面下半部様多く 付着
469	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径20.6	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR4/2灰黄褐 外:10YR6/3にぶい褐	マメツ	ヘラミガキ・マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形	
470	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径21.4	長石・小・普、石英・小・普	内:2.5Y7/2灰黄 外:10YR5/2灰黄褐	ナデ・指押さえ後板ナデ	ナデ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目	
471	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径24.8	長石・小・普、石英・小・普	内:2.5Y7/3浅黄 外:10YR6/2灰黄褐	ヨコナデ・板ナデ	指ナデ・マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形	
472	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径21.0	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:7.5YR5/4にぶい褐	ナデ・板ナデ後ヘラミガ キ	指押さえ後板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形	
473	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径22.0	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・普	内:10YR3/1黒褐 外:10YR5/2灰黄褐	マメツ	マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形	
474	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径19.4	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・中・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・指ナデ・ヘラミガ キ	ナデ・指押さえ・板ナテ	口縁部1/8	口:逆L字形	
475	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径16.6	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/2灰黄褐 外:5Y3/1オリーブ黒	ナデ・指押さえ後板ナデ 後ヘラミガキ	指押さえ後板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形	
476	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR7/2にぶい黄橙	板ナデ・指押さえ・ナデ・ ヘラミガキ	指押さえ後板ナデ・ヘラ ミガキ	口縁部小片	口:逆L字形	
477	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:2.5Y7/2灰黄	指押さえ・板ナデ	指押さえ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形	
478	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR5/4にぶい黄橙	ナデ・指押さえ・ハケメ	指押さえ・板ナデ・ヘラ ミガキ	口縁部小片	口:逆L字形	
479	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:7.5YR6/6橙 外:2.5Y7/4浅黄	指押さえ・板ナデ後ヘラ ミガキ	板ナテ後ヘラミガキ	口縁部小片	口:逆L字形	
480	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・小・普、石英・小・普	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ・マメツ	指押さえ後板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形	
481	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・大・多、石英・大・多	内:5YR4/6赤褐 外:10YR3/2黒褐	ナデ・指押さえ後板ナデ・ ハクリ	指押さえ後板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形	
482	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	マメツ	マメツ	口縁部小片	口:逆L字形	
483	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径18.8	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	ナデ・指押さえ後板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ7(3本/cm)	
484	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径19.6	長石・大・普、石英・大・普、そ の他・大・普	内外:10YR7/4にぶい黄橙 内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR5/2灰黄褐	ナデ・ヘラミガキ	指押さえ後ヘラミガキ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ12(3本/cm)	

図 版 番 号	文 番 号	器 種	地 区 名	報 告 選 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
485		弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径20.4	長石・中・普、石英・中・普、赤、色粒子・小・少、その他・中・普	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ	指押さえ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ8(2本/cm)	
486		弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・大・多、石英・大・多、赤、色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ヨコナデ・ナデ	指押さえ・指ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ8(3本/cm)	
487		弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・多、石英・中・多	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ	指押さえ後板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ7(2本/cm)+α	
488		弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径12.4	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:10YR3/1黒褐	ナデ・ヘラミガキ	ナデ・ヘラミガキ	体部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ8(4本/cm)	
489		弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径23.6	長石・中・少、石英・中・少、その他・大・少	内:10YR5/3にぶい黄褐 外:10YR4/1褐灰	ヨコナデ・板ナデ	指押さえ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ10(4本/cm)	
490	36	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径19.0	長石・中・少、石英・中・少	内:2.5Y5/3黄褐 外:10YR3/2黒褐	マメツ	指押さえ・ヘラミガキ・板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ8(2本/cm) 口縁上部:山形文 文:ヘラ6(3本/cm)+山形	
491		弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・少、石英・中・少、雲母・細・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR3/2黒褐	ナデ・ハケメ・マメツ	ナデ・板ナデ・指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ8(2本/cm)	
492		弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径18.4	長石・中・少、石英・中・少	内外:2.5Y7/6明黄橙	ナデ	指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刺突 文:ヘラ2(2本/cm)+α	
493	37	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径21.2	長石・中・普、石英・中・普、その他・中・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR4/2灰黄褐	ヨコナデ・マメツ	指押さえ・板ナデ・マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ5(3本/cm)+α	
494		弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径23.6	長石・大・普、石英・大・普、赤、色粒子・中・少	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ6(2本/cm)	
495		弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径16.4	長石・中・普、石英・中・普、赤、色粒子・中・少、その他・中・少	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:7.5YR7/6橙	ナデ・マメツ	指押さえ・マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ10(3本/cm)	
496		弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径21.4	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR5/2灰黄褐	ナデ・ハケメ	指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ11(3本/cm)	
497		弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径23.6	長石・大・多、石英・大・多	内:5YR5/4にぶい赤褐 外:10YR3/2黒褐	ナデ・ハケメ	マメツ・指押さえ	口縁部2/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ8(4本/1.3cm)	
498	37	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径22.0	長石・小・少、石英・小・少	内:10YR5/4にぶい黄褐 外:2.5Y4/2暗灰黄	ナデ・ハケメ	指押さえ・ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刺突 文:ヘラ7+α(2本/cm)+α	
499		弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径22.0	長石・中・普、石英・中・普、赤、色粒子・中・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:7.5YR5/3にぶい褐	ナデ・ハケメ	ナデ・マメツ・板ナデ後 指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ8(3本/cm)+α	
500	37	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径27.0	長石・中・普、石英・中・普、赤、色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:7.5YR2/1黒	ナデ・ヘラミガキ	ナデ・板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ7(3本/cm)	
501		弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径29.0	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ヘラミガキ	ナデ・指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ8(3本/cm)	

図 報 文 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 違 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
502	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内外:2.5Y7/3浅黄	ナデ・ハケメ	指押さえ・ヘラミガキ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ6(2本/cm)	
503	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・少	内:10YR5/4にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄橙	ナデ	ナデ・板ナデ・指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ11(3本/cm)+複 線山形	
504	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径20.2	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:2.5Y4/1黄灰	ヨコナデ	ナデ後指押さえ・ヨコナ デ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ9(3本/cm)+α	
505	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径16.3	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/2灰黄褐 外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ・指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ7(3本/cm)+α	
506	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径17.0	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR5/2灰黄褐 外:10YR4/2灰黄褐	ナデ	ナデ・指ナデ	口縁部2/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ6(3本/cm)+α	
507	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・小・普、石英・小・普	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:2.5Y5/3黄褐	ハケメ・指押さえ	ヘラミガキ・指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ6(2本/cm)+α	
508	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ	ナデ・ヘラミガキ・板ナ デ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ6(3本/cm)+α	
509	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y6/4にぶい黄 外:N2黒	ヘラミガキ	指押さえ・ヘラミガキ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:櫛先刺突 文:ヘラ5(2本/cm)+α	
510	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内外:2.5Y7/2灰黄	ナデ	ナデ・指押さえ・ヘラミ ガキ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:櫛?ヘラ?11(4本/cm) +α	
511	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径30.0	長石・中・少、石英・中・少、赤 色粒子・小・少	内:7.5YR6/6橙 外:10YR7/6明黄褐	ナデ	ナデ・指押さえ・板ナデ 後ヘラミガキ	口縁部完存	口:逆L字形 口唇:櫛16(4本/1.2cm)+波 状3	
512	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径26.2	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR5/3にぶい黄橙 外:10YR4/2灰黄褐	ナデ	指押さえ後板ナデ・ナデ	体部小片	口:逆L字形 口唇:櫛16(5本/cm)+波状6 +櫛12(4本/cm)+α	
513	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径14.0	長石・中・少、石英・中・少	内:2.5Y7/4浅黄 外:2.5Y5/2暗灰黄	ナデ・ヘラミガキ	ヘラミガキ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:櫛10(4本/0.5cm)+波 状3条	
514	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・小・普、石英・小・普	内外:10YR8/2灰白	ナデ・ハケメ	ナデ・指押さえ後板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:櫛22(4本/0.7cm)+三 角刺突	
515	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径24.7	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:7.5YR7/3にぶい橙 外:2.5Y7/1灰白	ナデ・指押さえ・マメツ	指押さえ後板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:櫛先刺突 文:ヘラ6(4本/cm)+三角 刺突	
516	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径20.6	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR6/2灰黄褐	ナデ	指押さえ後板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:櫛16(4本/cm)+三角 刺突	

編 号	器 種	地 区 名	報 告 構 造 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
517	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径21.2	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR4/1褐灰	ナデ・ハケメ	ナデ・板ナデ	口縁部2/8	口・逆L字形 口唇:内外刻目 文:ヘラ13(4本/cm)+円形 浮	
518	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径19.9	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR4/2取黄褐	ナデ	ハクリ・指押さえ・ナデ・ 板ナデ	口縁部小片	口・逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ12(5本/1.4cm)	
519	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内:5YR4/6赤褐 外:10YR5/3にぶい黄褐	ナデ	ハクリ・ヘラミガキ	口縁部小片	口・逆L字形 文:櫛13(5本/cm)+α	
520	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:2.5Y8/3浅黄	ナデ	ナデ・指押さえ	口縁部小片	口・逆L字形 文:櫛8(5本/1.1cm)+α	
521	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・小・多、石英・小・多	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄褐	板ナデ・マメツ	板ナデ・指押さえ	体部2/8	文:櫛18(5本/1.1cm)+竹 管 頸:穿孔2個1組1ヶ所残	
522	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、雲 母・中・少	内:10YR4/2取黄褐 外:2.5Y3/2暗灰黄	ヘラミガキ・マメツ	指押さえ後板ナデ後へ ラミミガキ	体部1/8	文:櫛11(6本/1.2cm)+α +波状3+櫛7(5本/cm) +波状6	
523	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・小・普、石英・小・普	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR6/4にぶい黄橙	板ナデ・ヘラミガキ	指押さえ・板ナデ	体部1/8	文:波状6	
524	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径10.8	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR5/2取黄褐 外:10YR3/1黒褐	ナデ・指押さえ・ハケメ	指押さえ後板ナデ・ヘラ ミガキ	口縁部1/8	口唇:刻目 文:ヘラ6(4本/cm)	
525	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR5/2取黄褐	ナデ・指押さえ	指押さえ後板ナデ	口縁部小片	口唇:刻目 文:ヘラ4(4本/1.4cm)	
526	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径11.8	長石・中・少、石英・中・少、赤 色粒子・小・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR4/2取黄褐	ナデ・ハケメ	ヨコナデ	口縁部1/8	口・山形凸帯 文:ヘラ4(2本/cm)	
527	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径11.6	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少、その他・中・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR6/2取黄褐	指押さえ・ナデ・マメツ	ナデ・板ナデ・マメツ	口縁部1/8	口・如意形	
528	弥・甕	I - 25	SRK01下層	-	長石・大・多、石英・大・多	内外:2.5Y7/2取黄	ナデ・指押さえ・マメツ	ナデ・板ナデ・指押さえ	口縁部小片	口唇:穿孔2ヶ所残	
529	弥・甕	I - 25	SRK01下層	口径15.7 器高13.6 底径6.0	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・小・少、その他・大・普	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR6/4にぶい黄橙	ナデ・ヘラミガキ	ナデ・板ナデ	底部完存 口縁部3/8	口・直口 文:ヘラ10(3本/cm)	
530	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径13.1	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・中・少	内外:10YR7/3にぶい黄 橙	ハケメ後指押さえ・ナデ・ マメツ	指押さえ後板ナデ・マメ ツ	底部4/8		
531	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径18.0	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR8/3浅黄橙	板ナデ・ナデ	板ナデ	底部1/8		
532	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径15.0	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・小・少	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:7.5YR7/4にぶい橙	板ナデ・ハケメ・マメツ	マメツ	底部4/8		
533	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径12.0	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR7/4にぶい黄 橙	ヘラミガキ・指押さえ	指押さえ後板ナデ	底部3/8		
534	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径10.7	長石・中・多、石英・中・多	内:IN3暗灰 外:2.5Y7/3浅黄	ハケメ・マメツ・ナデ	マメツ	底部4/8		
535	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径11.0	長石・中・普、石英・中・普、角 閃石・小・少	内:10YR4/2取黄褐 外:5YR7/6橙	ハケメ	板ナデ	底部完存		

図 報 文 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 運 轉 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
536	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径16.0	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・普、その他・中・普	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ	板ナデ・指押さえ	底部1/8		
537	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径11.0	長石・大・多、石英・大・多、そ の他・中・普	内:2.5Y5/3黄褐 外:2.5Y6/4にぶい黄	ナデ	指ナデ	底部7/8		
538	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径18.6	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・少	内:7.5YR6/6橙 外:10YR8/3浅黄橙	指押さえ後板ナデ・マメ ツ	板ナデ	底部4/8		
539	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径10.6	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・普	内外:10YR7/2にぶい黄橙	指押さえ後板ナデ・ナデ	指押さえ後板ナデ・ハク リ	底部3/8		
540	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径9.1	長石・大・多、石英・大・多、そ の他・中・普	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	板ナデ・指押さえ・ナデ	指押さえ	底部完存		
541	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径8.4	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少、片岩・中・少、 その他・中・普	内:10YR4/1褐灰 外:10YR8/3浅黄橙	ハケメ・マメツ	マメツ	底部6/8		内面マメツ著しい
542	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径7.4	長石・大・普、石英・大・普、そ の他・中・普	内:10YR4/2灰黄褐・10Y R6明黄褐 外:10YR7/4にぶい黄橙	ヘラミガキ・マメツ・ナ デ・指押さえ	板ナデ・指押さえ	底部完存		
543	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径8.8	長石・大・普、石英・大・普、片 岩・大・普	内:2.5Y7/2灰黄 外:2.5Y7/3浅黄	板ナデ・ヘラミガキ・マ メツ	板ナデ・指押さえ	底部3/8		
544	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径11.0	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:2.5Y2/1黒・2.5Y7/3浅黄	ナデ・板ナデ・ヘラミガ キ・指押さえ	ナデ・板ナデ	底部2/8		
545	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径10.0	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR7/4にぶい黄橙	板ナデ後ヘラミガキ	板ナデ後ヘラミガキ	底部3/8		
546	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径9.0	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・中・多、その他・中・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	指押さえ後板ナデ・ナデ	板ナデ	底部4/8		
547	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径8.4	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・普、片岩・中・少、 その他・大・多	内:2.5Y7/2灰黄 外:10YR7/4にぶい黄橙・ 7.5YR7/6橙	マメツ・板ナデ・ナデ	マメツ・指押さえ	底部5/8		
548	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径7.7	長石・大・多、石英・大・多、雲 母・小・少、赤色粒子・小・少	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:10YR7/3にぶい黄橙	板ナデ・ハケメ・ナデ	ナデ・板ナデ	底部1/8		
549	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径7.3	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・中・少	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:2.5Y6/3にぶい黄	ヘラミガキ・指押さえ・ ナデ	ヘラ削り・指押さえ	底部完存		
550	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径7.3	長石・大・普、石英・大・普、片 岩・大・普	内外:2.5Y7/3浅黄	ハケメ・ナデ	指押さえ	底部完存		
551	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径7.0	長石・小・普、石英・小・普、赤 色粒子・小・少	内:2.5Y7/3浅黄 外:10YR7/3にぶい黄橙	指押さえ後板ナデ・ナデ	指押さえ後板ナデ	底部完存		
552	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径10.2	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・中・普	内:10YR6/3にぶい黄褐 外:2.5Y3/1黒褐	ナデ・マメツ・指押さえ	マメツ	底部完存		
553	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径9.2	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・少	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR6/6黄橙	ヘラミガキ・ナデ・マメ ツ	マメツ	底部6/8		
554	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径8.4	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR8/3浅黄橙 外:10YR7/4にぶい黄橙	板ナデ	指押さえ・マメツ	底部4/8		

図 文 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
555	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径9.8	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:2.5YR5/8明赤褐	ナデ・指押さえ・ハケメ	ナデ・指押さえ	底部ほぼ完存		
556	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径6.3	長石・中・普、石英・中・普	内外:2.5Y7/3浅黄	指押さえ後板ナデ後ハ ラミガキ・ナデ	指押さえ後板ナデ	底部完存		
557	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径6.2	長石・小・少、石英・小・少	内:10YR4/2灰黄褐 外:10YR6/2灰黄褐	指押さえ後板ナデ後ハ ラミガキ・ナデ	指押さえ後板ナデ	底部1/8		
558	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径6.4	長石・中・多、石英・中・多	内:2.5Y2/1黒 外:2.5Y6/3にぶい黄	ハケメ・ナデ	指押さえ	底部2/8		
559	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径8.1	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR5/2灰黄褐 外:10YR7/3にぶい黄橙	板ナデ後ハラミガキ・マ メツ・板ナデ・ナデ	ナデ・マメツ	底部6/8		
560	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径6.7	長石・中・多、石英・中・多	内外:10YR3/1黒褐	ハケメ	板ナデ・指押さえ	底部4/8		
561	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径6.1	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少、その他・大・少	内外:10YR8/3浅黄橙	ナデ・マメツ・板ナデ	指押さえ後板ナデ	底部3/8		
562	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径6.0	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR3/1黒褐	ナデ・マメツ	板ナデ・指押さえ	底部3/8		
563	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径5.0	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/6明黄褐 外:10YR6/4にぶい黄橙	ナデ	指押さえ後板ナデ	底部5/8		
564	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径7.0	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR3/2黒褐 外:10YR6/4にぶい黄橙	ナデ・指押さえ	ナデ・板ナデ	底部2/8		
565	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径7.6	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:2.5Y7/3浅黄	ナデ・指押さえ	板ナデ・指押さえ	底部完存		
566	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径6.9	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y2/1黒 外:2.5Y6/3にぶい黄	ナデ・ハケメ	指ナデ・ナデ	底部7/8		
567	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径6.2	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR4/1褐灰	ハラミガキ・板ナデ・ナ デ	ナデ・指押さえ	底部完存		
568	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径5.6	長石・大・多、石英・大・多	内外:2.5Y7/3浅黄	ハラミガキ・指押さえ・ 板ナデ	指押さえ・板ナデ	底部完存		
569	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径8.0	長石・中・多、石英・中・多	内:5YR4/3にぶい赤褐 外:10YR7/2にぶい黄橙	指押さえ後ハケメ	指押さえ後板ナデ	底部3/8		
570	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径8.0	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR6/4にぶい黄橙	ハケメ・マメツ・ナデ	指押さえ・ナデ	底部2/8		
571	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径7.8	長石・中・多、石英・中・多、そ の他・中・多	内:2.5Y7/4黄 外:10YR6/3にぶい黄橙	ハケメ・ナデ	ハクリ	底部4/8		
572	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径6.4	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少、その他・中・普	内:10YR4/1褐 外:10YR6/2灰黄褐	ナデ・板ナデ	板ナデ	底部4/8		
573	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径9.0	長石・大・多、石英・大・多	内:5Y3/1オリープ黒 外:2.5Y5/2暗灰黄	指押さえ後ハケメ	指押さえ後板ナデ	底部2/8		
574	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径7.6	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ハケメ・指押さえ・ナデ	指押さえ	底部4/8		
575	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径7.3	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR5/3にぶい黄橙 外:10YR3/2黒褐	ナデ・ハケメ	板ナデ・ナデ	底部完存		

図 版 番 号	報 文 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
576		弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径6.4	長石・中・普, 石英・中・普	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR7/4にぶい黄橙	ハラミガキ	板ナデ	底部6/8		
577		弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径7.0	長石・中・多, 石英・中・多, その他・中・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	ハケメ・ナデ	ナデ・指押さえ	底部4/8		
578		弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径7.0	長石・中・普, 石英・中・普, 赤色粒子・小・少	内外:2.5Y7/3浅黄	指押さえ後板ナデ・ハラミガキ・ナデ	指押さえ後板ナデ	底部3/8		
579		弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径5.9	長石・大・普, 石英・大・普	内:2.5Y6/2灰黄 外:2.5Y5/2暗灰黄	指押さえ後板ナデ	指押さえ後板ナデ	底部完存		
580		弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径6.4	長石・大・多, 石英・大・多, 角閃石・小・少	内:10YR4/3にぶい黄褐 外:10YR5/3にぶい黄橙	板ナデ・ナデ	指押さえ後板ナデ	底部7/8		
581		弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径4.4	長石・中・普, 石英・中・普	内:2.5Y7/4黄 外:2.5Y5/1黄灰	板ナデ・ナデ	指押さえ	底部完存		
582		弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径5.0	長石・中・普, 石英・中・普, その他・中・普	内:2.5Y7/4浅黄 外:2.5Y7/2灰黄	ナデ・指押さえ	指押さえ	底部完存		
583		弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径4.2	長石・中・普, 石英・中・普, 赤色粒子・小・少	内:7.5YR6/4にぶい橙 外:2.5Y5/3黄褐	ハクリ・指押さえ	ナデ・板ナデ	底部完存		
584		弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径8.0	長石・中・少, 石英・中・少, 赤色粒子・中・少	内外:2.5Y6/3にぶい黄	ハケメ・指押さえ・板ナデ	板ナデ・指押さえ	底部4/8		底部焼成後穿孔
585		弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径7.5	長石・中・多, 石英・中・多, 赤色粒子・中・少	内:10YR5/3にぶい黄褐 外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ	マメツ	底部完存		底部焼成後穿孔
586		弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径6.5	長石・中・普, 石英・中・普	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR6/2灰黄褐	ハケメ・マメツ・ナデ	板ナデ・指押さえ	底部6/8		底部焼成後穿孔
587		弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径8.0	長石・中・多, 石英・中・多	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄褐	ハケメ	板ナデ・指押さえ	底部6/8		底部焼成後穿孔
588		弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径10.4	長石・中・多, 石英・中・多	内:2.5Y6/2灰黄 外:2.5Y7/2灰黄	マメツ・ナデ	ナデ・マメツ・指押さえ	底部4/8		底部焼成後穿孔
589	38	弥・蓋	I - 25	SRK01下層	天井部6.0	長石・大・多, 石英・大・多, 赤色粒子・中・普	内:10YR8/4浅黄橙 外:2.5Y8/2灰白	指押さえ・板ナデ・マメツ	板ナデ・マメツ	天井部完存		
590		弥・蓋	I - 25	SRK01下層	天井径6.6	長石・大・普, 石英・大・普, 赤色粒子・小・少	内:2.5Y7/3浅黄 外:2.5Y7/4浅黄	指押さえ後板ナデ・ナデ	指押さえ後板ナデ	天井部2/8		
591		弥・蓋	I - 25	SRK01下層	天井部6.9	長石・大・多, 石英・大・多	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:5YR7/3にぶい橙	ナデ・板ナデ	ナデ・板ナデ・指押さえ	天井部完存		
592		弥・蓋	I - 25	SRK01下層	底径5.6	長石・中・多, 石英・中・多	内外:10YR7/4にぶい黄橙	マメツ・板ナデ・ナデ	板ナデ・指押さえ	天井部6/8		
593		弥・蓋	I - 25	SRK01下層	天井部6.0	長石・中・普, 石英・中・普	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:2.5Y7/4浅黄	ナデ・指押さえ・ハラミガキ・マメツ	指押さえ・板ナデ	天井部4/8		
594		弥・蓋	I - 25	SRK01下層	天井部5.4	長石・大・普, 石英・大・普	内:10YR4/3にぶい黄褐 外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・指押さえ	ナデ・指押さえ	天井部6/8		天井部:穿孔1個1ヶ所残
595	38	弥・蓋	I - 25	SRK01下層	底径4.2	長石・中・普, 石英・中・普	内:10YR6/4にぶい黄褐 外:10YR5/3にぶい黄橙	ハケメ・指押さえ	指ナデ	底部4/8		底:穿孔2個1組1ヶ所残
596		弥・鉢	I - 25	SRK01下層	口径23.8	長石・中・普, 石英・中・普, 赤色粒子・小・少	内:7.5YR5/4にぶい褐 外:2.5Y7/3浅黄	ナデ・指押さえ・板ナデ	板ナデ	口縁部小片		

図 報 文 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 選 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
597	弥・鉢	I - 25	SRK01下層	口径20.0	長石・中・普、石英・中・普、その他・大・普	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR2/1黒	ナデ・指押さえ・板ナデ ヘラミガキ	指押さえ後板ナデ	口縁部1/8		
598	弥・鉢	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR6/4にぶい黄橙	ナデ・板ナデ	指押さえ・板ナデ	口縁部小片	文:円形浮	
599	弥・高坏	I - 25	SRK01下層	-	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・小・普	内外:5YR6/6橙	指ナデ	板ナデ	体部小片		
600	弥・底部	I - 25	SRK01下層	底径3.4	長石・中・少、石英・中・少	内外:2.5Y7/3浅黄	指押さえ	指押さえ	底部完存		
601 38	弥・管状土罐	I - 25	SRK01下層	最大長4.7 最大幅3.0 孔径 0.7	長石・小・普、石英・中・多、その他・大・普	外:2.5Y3/1黒褐	ナデ	-	完形		
613	弥・壺	I - 27	SRK01下層	口径37.2	長石・中・多、石英・中・多、その他・大・普	内:2.5Y7/1灰白 外:2.5Y8/3淡黄	ナデ・板ナデ	板ナデ	口縁部1/8	頸:ヘラ1	
614 41	弥・壺	I - 27	SRK01下層	口径19.8	長石・大・普、石英・大・普、雲母・小・少、赤色粒子・小・少、その他・中・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	ヘラミガキ・マメツ	口縁部1/8		
615	弥・壺	I - 27	SRK01下層	口径22.4	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・中・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ヘラミガキ・ナデ	ヘラミガキ・ナデ	口縁部2/8		
616	弥・壺	I - 27	SRK01下層	口径22.0	長石・大・普、石英・大・普	内:5YR4/4にぶい赤褐 外:2.5Y7/3浅黄	ナデ・ハケメ	ナデ・ハケメ・マメツ	口縁部2/8		
617	弥・壺	I - 27	SRK01下層	口径19.0	長石・中・少、石英・中・少、雲母・小・少、赤色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ	板ナデ	口縁部1/8	口唇:ヘラ1	
618	弥・壺	I - 27	SRK01下層	口径22.2	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR5/4にぶい黄褐	ナデ・ハケメ後ナデ	ナデ・指ナデ	口縁部1/8		
619	弥・壺	I - 27	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y3/1黒褐 外:10YR7/3にぶい黄橙	指押さえ・板ナデ・ハケメ	指押さえ・板ナデ	体部小片		
620	弥・壺	I - 27	SRK01下層	口径9.0	長石・中・普、石英・中・普、その他・小・少	内外:2.5Y6/2灰黄	マメツ・板ナデ	指押さえ	口縁部1/8		
621	弥・壺	I - 27	SRK01下層	口径32.6	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:7.5YR4/4褐	ハケメ	ハケメ	口縁部1/8	口唇:ヘラ1+刻目	工具痕有
622 40	弥・壺	I - 27	SRK01下層	底径10.5	長石・大・多、石英・大・多、赤色粒子・中・普	内外:2.5Y7/3浅黄	マメツ	マメツ・指押さえ	底部完存		ハクリ著しい
623 40	弥・壺	I - 27	SRK01下層	底径7.3	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・中・普、その他・中・少	内外:10YR9/8浅黄橙	ハケメ後ヘラミガキ・ナデ	指押さえ・ナデ・指ナデ	底部完存		
624 41	弥・壺	I - 27	SRK01下層	口径15.2	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・中・普、その他・中・普	内:10YR7/3にぶい黄褐 外:5YR6/6橙	指押さえ後板ナデ・マメツ	指押さえ・指ナデ後板ナデ・マメツ	頸部2/8	頸:ヘラ2 脚:ヘラ2	
625 41	弥・壺	I - 27	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、その他・中・普	内:2.5Y7/3浅黄 外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・板ナデ	板ナデ・指押さえ・指ナデ	体部1/8	頸:ヘラ2 脚:ヘラ2	
626 41	弥・壺	I - 27	SRK01下層	口径20.4	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR2/1灰黄褐	ナデ・ヘラミガキ・ハケメ	ヘラミガキ	頸部2/8	頸:ヘラ5(2本/cm)	

図 報立 番号	器種	地区名	報告番号	法量(cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
627	41 弥・壺	I-27	SRK01下層	-	長石・小・普、石英・小・普、赤 色粒子・小・普、その他・小・普	内外:10YR7/2にぶい黄橙	マメツ	指ナデ・指押さえ	頸部2/8	頸:ヘラ4(2本/cm)	
628	41 弥・壺	I-27	SRK01下層	底径8.5	長石・中・多、石英・中・多	内:7.5YR6/6橙 外:2.5Y7/3浅黄	ナデ、指押さえ後ハケメ・ 指ナデ・ヘラミガキ	指押さえ・指ナデ・板ナ デ	底部完存	頸:ヘラ3(3本/cm) 胴:ヘラ5(3本/cm)	
629	弥・壺	I-27	SRK01下層	口径17.0	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・中・普	内:10YR6/2灰黄褐 外:10YR6/4にぶい黄橙	ナデ	ナデ・板ナデ	頸部2/8	頸:ヘラ5(2本/cm)+α	
630	41 弥・壺	I-27	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・中・普	内外:10YR5/2灰黄褐	ヘラミガキ	指押さえ後ナデ	体部2/8	頸:ヘラ3(2本/cm)+α 胴:ヘラ5(2本/cm)	
631	弥・壺	I-27	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR5/1褐灰 外:10YR5/2灰黄褐	ナデ	指押さえ後板ナデ	口縁部1/8	頸:ヘラ14(3本/cm)+α+ 三角刺突	
632	弥・壺	I-27	SRK01下層	口径19.8	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・中・普、その他・大・普	内外:7.5YR8/4浅黄橙	マメツ	マメツ	口縁部1/8	頸:楯7(3本/cm)+α 頸:(内)櫛先刺突	
633	42 弥・壺	I-27	SRK01下層	-	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR4/1褐灰 外:10YR6/3にぶい黄橙	板ナデ・ヘラミガキ	指押さえ・板ナデ	頸部4/8	頸:楯8(3本/0.9cm) 胴:楯6(4本/0.9cm)	
634	41 弥・壺	I-27	SRK01下層	-	長石・大・普、石英・大・普	内外:7.5YR6/2灰褐 外:7.5YR5/3にぶい褐	ヘラミガキ	指押さえ・マメツ	頸部2/8	頸:ヘラ7(2本/cm)+α 胴:貼凸1条	
635	42 弥・壺	I-27	SRK01下層	-	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	ヘラミガキ	マメツ	体部2/8	胴:貼凸4条	
636	42 弥・壺	I-27	SRK01下層	-	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR6/3浅黄橙 外:5YR6/6橙	ヘラミガキ・マメツ	マメツ	体部小片	胴:貼凸3条	
637	弥・壺	I-27	SRK01下層	-	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・中・普	内外:7.5YR7/4にぶい橙 外:5YR5/6明赤褐	マメツ	マメツ	体部1/8	頸:貼凸4条残	
638	42 弥・壺	I-27	SRK01下層	口径22.6	長石・普・多、石英・普・多、赤 色粒子・小・少、その他・中・普	内外:10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・ヘラミガキ・マメ ツ	ナデ・ヘラミガキ・マメ ツ	口縁部3/8	頸:貼凸2条(刻目)	
639	弥・壺	I-27	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・中・普	内:10YR4/1褐灰 外:10YR7/4にぶい黄褐	ヘラミガキ	ヘラミガキ	頸部2/8	頸:(内)貼凸1条(刻目) 頸:貼凸4条(刻目)+α	
640	42 弥・壺	I-27	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:5YR5/6明赤褐	マメツ	ヘラミガキ	口縁部小片	頸:(内)「ヨ」?貼凸	
641	弥・壺	I-27	SRK01下層	口径19.2	長石・中・少、石英・中・少	内:2.5Y7/3浅黄 外:7.5YR5/6明褐	ナデ、指押さえ	ナデ	口縁部1/8	頸:(内)鋸歯	
642	42 弥・壺	I-27	SRK01下層	口径30.2	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・中・普	内:5YR6/6橙 外:10YR5/2灰黄褐	ナデ・ハケメ・マメツ	マメツ・ナデ	口縁部2/8	頸:(内)貼凸3条+貼凸 (運弧状・刻目)	
643	42 弥・壺	I-27	SRK01下層	口径20.9	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ、指押さえ・ナデ・ ハケメ	ナデ・指ナデ	口縁部2/8	口:如意形	
644	弥・壺	I-27	SRK01下層	口径20.4	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:2.5Y7/1灰白 外:5YR7/4にぶい橙	ハケメ・マメツ	マメツ	口縁部1/8	口:如意形	
645	弥・壺	I-27	SRK01下層	口径22.8	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR4/3にぶい黄褐 外:10YR2/2黒褐	ナデ・ハケメ・マメツ	ナデ・板ナデ	口縁部1/8	口:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ3(2本/cm)	
646	弥・壺	I-27	SRK01下層	口径21.6	長石・大・普、石英・大・普	内:2.5Y5/3黄褐 外:2.5Y7/2灰黄	指押さえ・ナデ・マメツ	ハクリ	口縁部2/8	口:如意形 文:ヘラ3(2本/cm)	
647	43 弥・壺	I-27	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR4/2灰黄褐 外:10YR3/黒褐	ナデ・マメツ	ナデ・指押さえ後板ナデ	口縁部小片	口:如意形 文:ヘラ7(3本/cm)	

図 報 文 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
648	弥・甕	I - 27	SRK01下層	-	長石・小・普、石英・小・普	内:2.5Y7/2灰黄 外:10YR6/2灰黄褐	ナデ	板ナデ・指押さえ・マメツ	頸部小片	文:楕19(4本/1.0cm) 穿孔1ヶ所残	
649	弥・甕	I - 27	SRK01下層	口径21.2	長石・普・多、石英・普・多、 その他・普・少	内外:2.5Y6/2灰黄	板ナデ・指押さえ・板ナ デ後ヘラミガキ	指押さえ後板ナデ(ハケ メ)	口縁部小片	口:逆L字形	
650	弥・甕	I - 27	SRK01下層	口径20.0	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR6/6明黄褐 外:10YR6/2灰黄褐	ナデ・ハケメ・マメツ	板ナデ・指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形	
651	弥・甕	I - 27	SRK01下層	口径23.6	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR5/2灰黄 外:5Y3/1オリーブ黒	ナデ・ハクリ・板ナデ	指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形	
652	弥・甕	I - 27	SRK01下層	-	長石・小・少、石英・小・少	内外:10YR4/2灰黄褐	ナデ・ナデ後指押さえ・ ハケメ	板ナデ後指ナデ	口縁部小片	口:逆L字形	
653	弥・甕	I - 27	SRK01下層	口径44.2	長石・中・少、石英・中・少	内:2.5Y7/3浅黄 外:2.5YR8/2灰白	ヨコナデ	ヨコナデ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 口縁上部:ヘラ1 文:ヘラ2(2本/cm)	
654	弥・甕	I - 27	SRK01下層	口径24.2	長石・中・少、石英・中・少、 その他・小・少	内外:2.5Y7/2灰黄	ナデ・ハケメ	ナデ・指ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ8(2本/cm)	
655	弥・甕	I - 27	SRK01下層	口径23.0	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・中・少	内:2.5Y7/2灰黄 外:10YR7/3にぶい黄橙	ヨコナデ・ヨコナデ後ハ ケメ・マメツ	指押さえ・ナデ・マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ8(2本/cm)	
656	弥・甕	I - 27	SRK01下層	口径22.0	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:2.5Y6/3にぶい黄	ナデ・板ナデ(ハケメ)	指押さえ・ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ12(4本/cm)	
657	弥・甕	I - 27	SRK01下層	口径30.0	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・指押さえ・ハケメ・ ハケメ後ヘラミガキ	ナデ・指押さえ・ヘラミ ガキ	口縁部2/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ8(3本/cm)	
658	弥・甕	I - 27	SRK01下層	-	長石・中・少、石英・中・少	内外:2.5Y6/2灰黄	ナデ・ハケメ?	ナデ後板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ5(2本/cm)	
659	弥・甕	I - 27	SRK01下層	口径12.5	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・少、その他・中・多	内:2.5Y7/1灰白 外:10YR8/3浅黄橙	マメツ	指押さえ・マメツ	口縁部2/8	口:逆L字形 口縁直下:穿孔2個1組1 ヶ所残 文:ヘラ3(3本/cm)+三角 刺突+ヘラ2+三角刺 突+ヘラ2+三角刺突 +ヘラ2+三角刺突+α	
660	弥・甕	I - 27	SRK01下層	-	長石・大・普、石英・大・普、 その他・大・少	内:2.5Y7/2灰黄 外:10YR4/2灰黄褐	ハケメ・マメツ	板ナデ	体部1/8	文:ヘラ1+α+2段の三 角刺突+ヘラ7(3本/ cm)+三角刺突	
661	弥・甕	I - 27	SRK01下層	口径24.8	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・中・普	内:10YR5/4にぶい黄褐 外:10YR3/2黒褐	ナデ・ハケメ・マメツ	ナデ・指押さえ・板ナデ・ マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ11(3本/cm)	
662	弥・甕	I - 27	SRK01下層	口径32.4	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・中・多	内:7.5YR8/4浅黄橙 外:5Y7/6橙	ナデ・指押さえ・マメツ	ナデ・指押さえ・マメツ	口縁部2/8	口:逆L字形 文:ヘラ12(3本/1.0cm)	
663	弥・甕	I - 27	SRK01下層	口径30.8	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:7.5YR5/3にぶい褐	マメツ・ナデ	ナデ・マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ14(8本/2.1cm)	
664	弥・甕	I - 27	SRK01下層	口径20.0	長石・小・少、石英・小・少、 母・小・少	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:7.5YR4/3褐	ナデ・板ナデ(ハケメ)	ナデ・指押さえ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:楕19(5本/0.9cm)+α	

図 報 文 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 建 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
665	弥・甕	I - 27	SRk01下層	口径12.4	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	板ナデ	口縁部3/8	口:逆L字形 文:櫛13(3本/cm)+α	
666	弥・甕	I - 27	SRk01下層	口径26.0	長石・中・普、石英・中・普、その他・中・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR4/2灰黄褐	ヨコナデ、指ナデ・ハク リ(口縁部)	ヨコナデ、板ナデ後指押 さえ、マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛14(5本/cm)+3段の 刺突	
667	弥・甕	I - 27	SRk01下層	口径23.4	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・普	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:7.5YR4/2灰褐	ナデ、指押さえ・ヘラミ ガキ・マメツ	ナデ、指押さえ、板ナデ、 マメツ	口縁部7/8	口:逆L字形 文:櫛16(4本/0.8cm)+2 段の三角刺突	
668	弥・甕	I - 27	SRk01下層	口径21.8	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少、その他・中・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:7.5YR7/4にぶい黄橙		指押さえ後板ナデ	口縁部1/8	文:櫛9+α(3本/cm)	
669	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径9.8	長石・中・多、石英・中・多、そ の他・中・少	内:10YR7/6明黄褐 外:10YR7/4にぶい黄橙	ヘラミガキ・ナデ	ナデ、指押さえ、マメツ	底部完存		
670	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径9.6	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・少	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:2.5YR6/4にぶい橙	板ナデ、指ナデ	板ナデ、ナデ	底部1/8		
671	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径7.6	長石・大・普、石英・大・普	内:2.5Y7/3淺黄 外:2.5Y6/2灰黄	板ナデ・ナデ	板ナデ	底部1/8		
672	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径9.4	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR4/2灰黄褐 外:10YR6/2灰黄褐	ハケメ、板ナデ	板ナデ、指押さえ	底部4/8		
673	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径8.4	長石・小・少、石英・小・少	内:5YR5/6明赤褐 外:2.5Y8/2灰白	板ナデ・ナデ	ナデ	底部5/8		
674	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径12.2	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・中・少、その他・中・少	内外:10YR7/2にぶい黄橙	マメツ	板ナデ、マメツ	底部4/8		
675	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径8.8	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・ヘラミガキ	指押さえ、ナデ	底部2/8		
676	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径6.6	長石・中・多、石英・中・多	内外:10YR5/2灰黄褐	マメツ・ハケメ・指押さ え	指押さえ	底部完存		
677	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径10.0	長石・大・普、石英・大・普	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ヘラミガキ後指押さえ	板ナデ後指押さえ	底部4/8		
678	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径7.6	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄褐	マメツ	マメツ	底部完存		
679	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径5.6	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR6/3にぶい黄褐	板ナデ後ヘラミガキ	指押さえ後板ナデ	底部完存		
680	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径7.0	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・普、その他・中・普	内:7.5YR7/3にぶい橙 外:7.5YR8/4淺黄橙	マメツ	マメツ、指押さえ	底部完存		マメツ著しい
681	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径7.6	長石・大・普、石英・大・普	内:5YR6/4にぶい橙 外:10YR4/1褐灰	板ナデ、マメツ、板ナデ 後指押さえ	ナデ、マメツ、指押さえ	底部4/8		
682	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径6.6	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・中・普	内:10YR5/1褐灰 外:10YR4/1褐灰	指押さえ後ハケメ・ナデ	指押さえ後板ナデ	底部3/8		
683	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径6.1	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR3/1黒褐 外:7.5YR5/1褐灰	指押さえ後ハケメ・ナデ	ハケメ、指押さえ	底部6/8		
684	弥・底部	I - 27	SRk01下層	底径7.3	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・中・少、その他・中・少	内:10YR4/2灰黄褐 外:10YR6/2灰黄褐	板ナデ	指押さえ、板ナデ	底部完存		

図版番号	器種	地区名	報告遺構番号	法量 (cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
685	弥・底部	I - 27	SRK01下層	底径5.6	長石・小・少、石英・小・少	内外:10YR8/2灰白	指押さえ後板ナデ・ナデ	指押さえ・板ナデ	底部完存		
686	弥・蓋	I - 27	SRK01下層	天井部6.3	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少、その他・中・少	内外:10YR6/4にぶい黄橙	ハクリ・指押さえ・板ナデ・マメツ	指押さえ・板ナデ・ハケメ・ヘラミガキ	天井部完存		
687	弥・蓋	I - 27	SRK01下層	底径25.5	長石・中・少、石英・中・少、赤色粒子・中・少	内外:2.5Y7/2灰黄	ヘラミガキ・マメツ	指押さえ・指ナデ・ヘラミガキ	胴部1/8		
688	弥・蓋	I - 27	SRK01下層	天井部5.4	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・中・普	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:7.5YR8/4浅黄橙	マメツ	指ナデ・指押さえ・マメツ	天井部完存	天井部直下:穿孔2	
689	弥・蓋	I - 27	SRK01下層	底径5.9	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ハケメ・ナデ	マメツ・指押さえ	底部5/8		
690	弥・蓋	I - 27	SRK01下層	底径6.4	長石・大・多、石英・大・多、赤色粒子・小・少	内外:10YR8/2灰白	マメツ	マメツ	天井部完存		
691	弥・蓋	I - 27	SRK01下層	-	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ後ヘラミガキ	マメツ・ナデ・指押さえ	くびれ部完存		
692	弥・鉢	I - 27	SRK01下層	口径36.6	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・中・普、その他・大・多	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:7.5YR8/3浅黄橙	指押さえ後板ナデ・マメツ	指押さえ後板ナデ	口縁部1/8		
693	弥・鉢	I - 27	SRK01下層	口径25.0	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・中・少	内:7.5YR5/4にぶい黄橙 外:10YR6/2灰黄褐	ナデ・ハケメ・板ナデ	ナデ・指押さえ後板ナデ 後ヘラミガキ	口縁部1/8	胴・貼凸1条	
696	弥・壺	I - 26	SRK01下層	口径21.7	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・中・普	内:2.5Y6/3にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄橙	ナデ	指押さえ・ヘラミガキ・ナデ	頸部2/8		
697	弥・壺	I - 26	SRK01下層	口径17.8	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・中・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR7/2にぶい黄橙	マメツ	マメツ	口縁部小片	頸・有段	
698	弥・壺	I - 26	SRK01下層	口径18.2	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・小・少	内:2.5Y5/3黄褐 外:7.5YR6/4にぶい黄橙	ナデ・ヘラミガキ・ハクリ	ナデ・ヘラミガキ・ハクリ	口縁部1/8		
699	弥・壺	I - 26	SRK01下層	口径18.8	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR5/2灰黄褐	回転ナデ	板ナデ	口縁部小片		
700	弥・壺	I - 26	SRK01下層	口径10.6	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・小・少、その他・中・少	内外:10YR4/2灰黄褐	ナデ・板ナデ・ハクリ	板ナデ	口縁部3/8		
701	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・大・普、石英・大・普	内:2.5Y7/3浅黄 外:2.5Y5/2暗灰黄	ハケメ	ナデ	頸部2/8		
702	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・大・多、石英・大・多、その他・中・少	内:5Y4/1灰 外:2.5YR5/4にぶい赤褐	ハクリ	ヘラミガキ・指ナデ・指押さえ	頸部2/8		
703	弥・壺	I - 26	SRK01下層	口径5.7 器高12.0 底径6.4	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・中・少	内:2.5Y7/4浅黄 外:2.5Y6/4にぶい黄	ヘラミガキ・マメツ・ナデ	指押さえ	口縁部2/8	頸部直下:穿孔2個1組2ヶ所	
704	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少、その他・中・普	内:2.5Y4/1黄灰 外:10YR8/4浅黄橙	ハケメ・マメツ	指押さえ・指ナデ	頸部3/8		
705	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・小・普、石英・小・普、赤色粒子・小・少	内:N3暗灰 外:2.5Y5/2暗灰黄	ヘラミガキ	ヘラミガキ	体部小片	胴:ヘラ描き木の葉	
706	弥・壺	I - 26	SRK01下層	口径15.2	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR5/4にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄橙	ナデ	ナデ・板ナデ・板ナデ後指押さえ	口縁部1/8	胴:ヘラ2+刻目・連弧・ヘラ2(2本cm)	口縁直下赤色顔料付着?
707	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・中・少、石英・中・少、赤色粒子・小・少、その他・大・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR7/2にぶい黄橙	指押さえ後板ナデ	指押さえ後ヘラミガキ	頸部2/8	頸:ヘラ4(3本cm)+α	

図版番号	器種	地区名	報告遺構番号	法量 (cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
708	弥・壺	I - 26	SRK01下層	口径17.8	長石・小・普、石英・小・普、赤色粒子・小・少、その他・小・少	内外:2.5Y6/2灰黄	ナデ・指押さええハケメ後 ヘラミミガキ	指押さええ後ハケメ・ナデ	口縁部2/8	頸:ヘラ9(2本/cm)+α	
709	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・中・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ	ナデ・板ナデ	頸部3/8	頸:ヘラ6(3本/cm)	
710	弥・壺	I - 26	SRK01下層	底径5.1	長石・中・普、石英・中・普、雲母・小・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR6/4にぶい黄橙	ナデ・ヘラミミガキ・マメツ ツ・指押さえ	指押さええ後ナデ・指押さえ え・指ナデ	底部完存	頸:ヘラ2+α 胴:ヘラ2	
711	弥・壺	I - 26	SRK01下層	口径16.1	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少、その他・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・ハケメ後ヘラミミガキ 指押さええ後ヨコナデ	指押さええ後ハケメ後ヘ ラミミガキ	頸部3/8	頸:貼凸1条	
712	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	ヘラミミガキ	頸部2/8	頸:貼凸3条	
713	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少、その他・小・少	内:2.5Y7/3淺黄 外:2.5Y7/2灰黄	ハケメ	ハケメ・指押さえ	体部1/8	胴:貼凸1条	
714	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:2.5Y5/2暗灰黄	ヘラミミガキ	板ナデ	頸部2/8	頸:貼凸1条(刻目)	
715	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR5/2灰黄褐	板ナデ	板ナデ	体部小片	胴:貼凸3条(刻目)+円 形浮	
716	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y5/1黄灰 外:2.5Y7/2灰黄	指押さえ	マメツ	頸部小片	頸:山形・斜線+貼凸1条 +α	
717	弥・壺	I - 26	SRK01下層	口径23.0	長石・大・普、石英・大・普	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:2.5Y7/3淺黄	マメツ	ナデ・マメツ	口縁部1/8	口唇:刻目+ヘラ1 頸:(内)貼凸2条+α	
718	弥・壺	I - 26	SRK01下層	口径42.1	長石・中・少、石英・中・少	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:N3暗灰	ナデ・指押さえ・ハケメ	ナデ・指押さえ・指押さえ え後ヘラミミガキ・マメツ	口縁部1/8	口:如意形	
719	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・中・少、石英・中・少、赤色粒子・小・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄褐	ナデ・ハケメ・マメツ	板ナデ	体部1/8	口:如意形	
720	弥・壺	I - 26	SRK01下層	口径29.0	長石・小・普、石英・小・普	内:2.5Y6/2灰黄 外:2.5Y7/2灰黄	指押さえ・板ナデ	指押さえ	口縁部2/8	口:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ2(2本/cm)	
721	弥・壺	I - 26	SRK01下層	口径28.6	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・小・少、その他・小・少	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:7.5YR6/4にぶい橙	ハクリ	ナデ・指押さえ・ナデ	口縁部小片	口:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ3(2本/cm)	
722	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・小・少	内:7.5YR7/3にぶい橙 外:5YR6/6橙	ナデ	ナデ・指押さえ	口縁部小片	口:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ3(2本/cm)	
723	弥・壺	I - 26	SRK01下層	口径20.8	長石・中・多、石英・中・多	内外:10YR6/3にぶい黄橙	指押さえ・ナデ	指押さえ・ナデ	口縁部小片	口:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ2	
724	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・中・少、石英・中・少、赤色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ後指押さえ	ナデ・板ナデ	口縁部小片	口:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ3(2本/cm)	
725	弥・壺	I - 26	SRK01下層	-	長石・中・少、石英・中・少、その他・中・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	ナデ・板ナデ	口縁部小片	口:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ4(2本/cm)	

図 版 号	部 立 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
726		弥・壺	I-26	SRK01下層	口径18.4	長石・小・多, 石英・小・多	内:10YR4/2灰黄褐 外:2.5YR4/4にぶい赤褐	指押さえ・ナデ	指押さえ・マメツ	口縁部1/8	口:如意形 文:ヘラ5(3本/cm)	
727	45	弥・壺	I-26	SRK01下層	口径21.8	長石・中・多, 石英・中・多, 赤 色粒子・小・少	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:10YR5/2灰黄褐	ナデ・ハケメ・マメツ	ナデ・指押さえ後ヘラミ ガキ	口縁部1/8	口:如意形 文:ヘラ5(2本/cm)	
728	45	弥・壺	I-26	SRK01下層	-	長石・中・少, 石英・中・少	内:2.5Y5/3黄褐 外:2.5Y6/3にぶい黄	ハケメ	ハケメ・ナデ・指ナデ	体部2/8	口:如意形 文:ヘラ5(2本/cm)	
729		弥・壺	I-26	SRK01下層	-	長石・中・少, 石英・中・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ後指押さえ・ハケメ	板ナデ	口縁部小片	口:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ4(2本/cm)+α	
730		弥・壺	I-26	SRK01下層	口径26.6	長石・小・普, 石英・小・普, そ の他・中・普	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・指押さえ	ナデ・指押さえ	口縁部小片	口:如意形 文:ヘラ4(2本/cm)	
731	45	弥・壺	I-26	SRK01下層	口径23.6	長石・中・普, 石英・中・普, そ の他・中・多	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:10YR7/4にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	ナデ・ハケメ・指押さえ・ マメツ	口縁部5/8	口:如意形 口唇:刻目+ヘラ1 文:ヘラ9(2本/cm)	
732	45	弥・壺	I-26	SRK01下層	口径16.6	長石・小・普, 石英・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄褐	ナデ・ハケメ	板ナデ・マメツ	口縁部2/8	口:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ13(3本/cm)	
733		弥・壺	I-26	SRK01下層	-	長石・中・少, 石英・中・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	ナデ・板ナデ	口縁部小片	口:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ10(3本/cm)	
734		弥・壺	I-26	SRK01下層	口径19.8	長石・大・普, 石英・大・普, 赤 色粒子・小・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ	ナデ・指押さえ・マメツ	口縁部1/8	口:如意形 文:櫛6(3本/cm)+α	
735	46	弥・壺	I-26	SRK01下層	口径21.0	長石・中・普, 石英・中・普, 赤 色粒子・小・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR4/2灰黄褐	ナデ・マメツ・ヘラミガ キ	ナデ・指ナデ・板ナデ	体部1/8	口:如意形 文:櫛17(4本/cm)	
736	46	弥・壺	I-26	SRK01下層	口径45.2	長石・中・普, 石英・中・普, 赤 色粒子・小・少	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:2.5Y5/2暗灰黄	ハケメ・ナデ	ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目	
737	46	弥・壺	I-26	SRK01下層	口径16.4 器高24.0 底径5.8	長石・大・普, 石英・大・普, 赤 色粒子・中・少	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:7.5YR6/6橙	ナデ・指押さえ・指押さ え後ハケメ・ヘラミガキ・ マメツ	ナデ・指押さえ・板ナデ	口縁部3/8	口:逆L字形 口唇:刻目	
738		弥・壺	I-26	SRK01下層	口径26.0	長石・小・少, 石英・小・少	内外:10YR8/3淡黄橙	ナデ・指押さえ・ハケメ	ナデ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形	
739		弥・壺	I-26	SRK01下層	口径21.0	長石・大・少, 石英・大・少	内外:2.5Y6/3にぶい黄	ナデ・マメツ・ヘラミガ キ	ヘラミガキ	口縁部1/8	口:逆L字形 口縁部下:穿孔残	
740		弥・壺	I-26	SRK01下層	口径14.4	長石・中・普, 石英・中・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄褐	指押さえ・ナデ・ハケメ	ナデ・指押さえ後板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形	
741		弥・壺	I-26	SRK01下層	-	長石・大・多, 石英・大・多, 赤 色粒子・小・少	内:2.5Y4/1黄灰 外:2.5Y6/2灰黄	ナデ	ナデ・指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形	
742		弥・壺	I-26	SRK01下層	-	長石・中・普, 石英・中・普, そ の他・大・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR4/2灰黄褐	ナデ・ハケメ・ナデ後指 押さえ	指押さえ・指ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目	
743		弥・壺	I-26	SRK01下層	-	長石・大・多, 石英・大・多, そ の他・中・普	内外:2.5Y6/3にぶい黄	ナデ・指押さえ	マメツ	体部小片	口:逆L字形 文:貼凸案(刻目)	
744		弥・壺	I-26	SRK01下層	口径20.6	長石・小・普, 石英・小・普, そ の他・大・少	内:2.5Y7/3淡黄 外:10YR7/4にぶい黄橙	ナデ・指押さえ	ナデ・指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ1+α	

図 版 番 号	報 文 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
745		弥・甕	I - 26	SRK01下層	-	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・小・少	内外:2.5Y6/2灰黄	ナデ	ナデ・ハクリ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ3(2本/cm)+α	
746	46	弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径50.0	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・中・少	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・ヘラ削り・マメツ	ナデ・板ナデ・ヘラミガキ キ・マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ4(2本/cm)	
747		弥・甕	I - 26	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR6/3にぶい黄橙	指押さえ	指押さえ後板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ4(2本/cm)	
748		弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径18.5	長石・中・少、石英・中・少	内:2.5Y6/2灰黄 外:2.5Y7/2灰黄	指押さえ	ナデ・指ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ4(3本/cm)	
749		弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径18.2	長石・中・普、石英・中・普、その他・中・少	内:10YR5/4にぶい黄褐 外:10YR4/2灰黄褐	ナデ・ハケメ・ハケメ後 ヘラミガキ	ヘラミガキ・ハケメ後 ヘラミガキ・指押さえ後 ヘラミガキ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ5(2本/cm)	
750		弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径19.0	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ	ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ7(3本/cm)+α	
751		弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径18.2	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:7.5YR6/4にぶい橙	ナデ	指押さえ・マメツ・ハクリ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ11(3本/cm)	
752	46	弥・甕	I - 26N	SRK01下層	口径22.0	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:2.5Y4/2暗灰黄	ナデ・マメツ	ナデ・板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ11(4本/cm)	
753		弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径25.5	長石・大・普、石英・大・普	内:5YR6/6 外:2.5Y5/2暗灰黄	ナデ・ハケメ・マメツ	ナデ・指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ11(3本/cm)	
754		弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径16.8	長石・中・少、石英・中・少、赤色粒子・小・少	内外:2.5Y7/2灰黄	ナデ	ナデ・指押さえ後ヘラミガキ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ7(3本/cm)+α	
755	46	弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径20.0	長石・中・少、石英・中・少、黒母・小・少、赤色粒子・小・少	内外:2.5Y7/3浅黄	ナデ・ハケメ・マメツ	ナデ・指押さえ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ9(3本/cm)	
756		弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径16.4	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少	内外:2.5Y7/3浅黄	ヨコナデ・板ナデ	板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ14(4本/cm)	
757		弥・甕	I - 26	SRK01下層	-	長石・大・普、石英・大・普	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:2.5Y5/2暗灰黄	マメツ	マメツ・板ナデ・指押さえ	体部小片	文:ヘラ4(3本/cm)+刺突 +ヘラ4(3本/cm)+山形・刺突・ヘラ5(3本/cm)+刺突	
758		弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径26.3	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y5/1黄灰 外:2.5Y7/2灰黄	ナデ・指押さえ	ハクリ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛(5本/cm)	
759		弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径22.0	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少、その他・小・普	内外:10YR5/3にぶい黄褐	ナデ・マメツ	ナデ・板ナデ後指押さえ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛9(5本/cm)+α	マメツの為不明
760		弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径26.0	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛10(4本/cm)+α	
761		弥・甕	I - 26	SRK01下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR3/1黒褐	ナデ・指押さえ・板ナデ	ナデ・指押さえ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛15(5本/0.9cm)	

図 報 文 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
762	弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径19.9	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:2.5Y7/2灰黄	ナデ	ナデ・ハラミガキ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:楕11(5本/cm)+α	
763	弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径16.6	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR4/2灰黄褐	ナデ	ナデ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:楕12(4本/cm)+円形 浮	
764	弥・甕	I - 26	SRK01下層	口径17.6	長石・小・普、石英・小・普	内:2.5Y8/2灰白 外:10YR7/2にぶい黄橙	指押さえ・ナデ	ナデ・ハラミガキ	口縁部小片	口:逆L字形 文:楕14(5本/0.9cm)+三 角刺突	
765	弥・甕	I - 26	SRK01下層	-	長石・小・普、石英・小・普	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ	指押さえ・ハラミガキ	体部1/8	文:楕22(5本/0.8cm)+刺 突	
766	弥・甕	I - 26	SRK01下層	底径10.8	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内:2.5Y7/2灰黄 外:7.5YR7/4にぶい橙	ハケメ・ナデ	ナデ・指押さえ・マメツ	体部2/8	文:円形浮	
767	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径11.9	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内外:2.5Y7/3浅黄	ナデ・板ナデ	ナデ・ハラミガキ・指押 さえ	底部7/8		
768	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径15.0	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR4/1褐灰 外:10YR6/3にぶい黄橙	ハラミガキ・ナデ	ナデ	底部3/8		
769	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径9.3	長石・中・多、石英・中・多、そ の他・中・少	内:2.5Y5/1黄灰 外:2.5Y7/2灰黄	ハラミガキ・指ナデ(マ メツ)・ナデ	板ナデ(マメツ)・指押さ え	底部2/8		
770	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径8.6	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・大・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:2.5Y5/2暗灰黄	ハラミガキ	板ナデ	底部完存		
771	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径10.0	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内外:2.5YR6/4橙	ハラミガキ・ナデ	ハラミガキ	底部完存		
772	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径8.6	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・少、その他・中・普	内:2.5Y5/1黄灰 外:2.5Y7/3浅黄	ハケメ後ハラミガキ・ハ ケメ・ナデ	ナデ・指押さえ	底部4/8		
773	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径8.6	長石・中・少、石英・中・少、赤 色粒子・中・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	ハケメ・ナデ	指押さえ・ハケメ	底部3/8		
774	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径6.0	長石・小・少、石英・小・少、そ の他・小・少	内外:2.5Y6/3にぶい黄	板ナデ	板ナデ	底部1/8		
775	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径10.1	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・中・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR7/4にぶい黄橙	板ナデ・マメツ・ナデ	マメツ	底部完存		
776	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径10.8	長石・中・普、石英・中・普	内外:2.5Y4/2暗灰黄	ハケメ後ハラミガキ・ナ デ	ハラミガキ・板ナデ	底部3/8		
777	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径10.6	長石・大・普、石英・大・普	内:2.5Y4/1黄灰 外:7.5YR6/3にぶい褐	板ナデ・ナデ	ハラミガキ	底部ほぼ完存		
778	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径10.0	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・中・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR5/2灰黄褐	ハラミガキ・ナデ・マメ ツ	板ナデ・指押さえ	底部6/8		
779	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径10.6	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・大・少	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:2.5Y8/4浅黄	ハケメ・指押さえ・ナデ?	指押さえ・板ナデ	底部完存		
780	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径7.1	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・普	内:7.5YR7/4にぶい黄橙 外:7.5YR8/4浅黄橙	指押さえ	指押さえ	底部完存		

図 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
781	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径9.0	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR7/4にぶい黄橙	板ナデ	指押さえ後板ナデ	底部4/8		
782	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径7.0	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・小・少、その他・中・普	内:10YR4/2灰黄褐 外:10YR6/4にぶい黄橙	板ナデ・マメツ	マメツ	底部4/8		
783	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径6.9	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR3/2黒褐	ナデ	板ナデ・指押さえ	底部完存		
784	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径8.3	長石・中・少、石英・中・少、その他・中・少	内外:2.5Y5/3黄褐	ヘラミガキ・マメツ	ヘラミガキ・板ナデ	底部2/8		
785	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径6.9	長石・大・普、石英・大・普	内:2.5Y6/2灰黄 外:7.5YR5/3にぶい褐	ハケメ・ナデ	マメツ	底部2/8		
786	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径7.4	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄	ハケメ・ナデ	板ナデ・指ナデ	底部完存		
787	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径7.9	長石・小・少、石英・小・少	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:2.5Y4/1黄灰	板ナデ後ヘラミガキ・指押さえ・ナデ	板ナデ・指押さえ	底部3/8		
788	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径6.6	長石・小・普、石英・小・普、赤色粒子・小・少	内:2.5Y3/1黒褐 外:2.5Y4/2暗灰黄	ハケメ・ヘラ削り	ナデ	底部1/8		
789	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径8.6	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少、その他・中・少	内外:2.5Y6/2灰黄	マメツ・ナデ	ナデ・指ナデ	底部7/8		
790	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径8.8	長石・小・普、石英・小・普、雲母・小・少、赤色粒子・小・少、その他・中・少	内:2.5Y7/3浅黄 外:2.5Y5/2暗灰黄	ナデ	板ナデ	底部5/8		
791	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径5.7	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内:2.5Y7/2灰黄 外:2.5Y6/3にぶい黄	ナデ・板ナデ	板ナデ・指ナデ	底部完存		
792	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径6.2	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR3/1黒褐	ヘラミガキ・マメツ・板ナデ	指ナデ後ヘラミガキ	底部完存		底部焼成後穿孔
793	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径6.4	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR4/2灰黄褐 外:10YR5/3にぶい黄褐	マメツ・ハケメ・ナデ	板ナデ・指押さえ・ハク	底部完存		底部焼成後穿孔
794	弥・底部	I - 26	SRK01下層	底径9.5	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR6/1褐灰 外:10YR6/3にぶい黄橙	ヘラミガキ・板ナデ・指押さえ	ナデ・板ナデ・指押さえ・マメツ	底部完存		底部焼成後穿孔
795	弥・蓋	I - 26	SRK01下層	天井部5.9	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・中・少	内外:2.5Y7/3浅黄	ヘラ削り・指押さえ・ナデ・板ナデ	板ナデ・指ナデ	天井部完存		
796	弥・蓋	I - 26	SRK01下層	天井部6.2	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ・指押さえ 後ハケメ・板ナデ後ハケ	指押さえ・ヘラミガキ	天井部完存		
797	弥・蓋	I - 26	SRK01下層	天井部6.4	長石・中・小、石英・中・少	内外:2.5Y5/3黄褐	ハケメ・ナデ	板ナデ	天井部4/8		
798	弥・蓋	I - 26	SRK01下層		長石・大・多、石英・大・多	内外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ	マメツ	天井部1/8		
799	弥・蓋	I - 26	SRK01下層	天井部6.4	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少、その他・中・普	内外:10YR7/3にぶい黄橙 後ヘラミガキ	ナデ・指押さえ・指押さ え後ヘラミガキ	ヘラミガキ	天井部7/8		
800	弥・蓋	I - 26	SRK01下層	天井部4.8	長石・中・普、石英・中・普、その他・中・少	内外:2.5Y7/3浅黄	ナデ・指押さえ・板ナデ	指押さえ・板ナデ	天井部完存		

図 報 文 番 号	器 種	地 区 名	報 告 書 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
801	弥・蓋	I - 26	SRK01下層	天井径7.4	長石・中・多, 石英・中・多	内外: 10YR6/3にぶい黄橙	マメツ・ハラミガキ・板ナデ	指押さえ後板ナデ	天井部4/8	天井部: 穿孔2個1組2ヶ所	
802	弥・蓋	I - 26	SRK01下層	口径3.2	長石・小・多, 石英・小・多, 赤色粒子・小・少	内外: 2.5Y6/2灰黄	指押さえ・板ナデ・指ナデ	マメツ	天井部ほぼ完存		
803	弥・高坏	I - 26	SRK01下層	-	長石・中・普, 石英・中・普, 赤色粒子・小・中, その他・小・少	内外: 2.5Y7/3浅黄	マメツ	マメツ	頸部完存		
804	弥・鉢	I - 26	SRK01下層	口径24.4	長石・中・普, 石英・中・普, 赤色粒子・小・少	内: 10YR6/2灰黄褐 外: 2.5Y7/3浅黄	ナデ・指押さえ・ハクリ	ハラミガキ	口縁部小片		
805	弥・鉢	I - 26	SRK01下層	口径17.2	長石・大・多, 石英・大・多, 赤色粒子・中・普	内: 10YR4/2灰黄褐 外: 10YR3/1黒褐	指押さえ後ハケメ	指押さえ後板ナデ	口縁部1/8		
806	弥・鉢	I - 26	SRK01下層	口径13.8	長石・中・普, 石英・中・普, その他・中・少	内: 10YR6/3にぶい黄橙 外: 10YR4/2灰黄褐	ナデ・ハラミガキ・マメツ	ナデ・ハラミガキ・マメツ	口縁部1/8		
807	弥・鉢	I - 26	SRK01下層	口径23.4	長石・中・普, 石英・中・普, 赤色粒子・小・少	内外: 2.5Y7/3浅黄	ハラミガキ	ハラミガキ	口縁部2/8		
808	弥・鉢	I - 26	SRK01下層	口径13.4	長石・中・多, 石英・中・多, 赤色粒子・小・少	内: 10YR6/3にぶい黄橙 外: 10YR4/2灰黄褐	ナデ・マメツ	板ナデ後指押さえ・板ナデ後ハラミガキ	口縁部1/8		
809	弥・ミ 子 器	I - 26	SRK01下層	口径5.9 器高3.7 底径2.4	長石・大・普, 石英・大・普, その他・中・普	内: 2.5Y5/2暗灰黄 外: 10YR4/2灰黄褐	ナデ・指押さえ	ナデ・指押さえ	ほぼ完形	文: ハラ	
814	弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径13.8	長石・中・普, 石英・中・普	内: 10YR7/2にぶい黄橙 外: 10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ	ナデ・板ナデ	口縁部1/8		
815	弥・壺	I - 25	SRK01その他	-	長石・中・少, 石英・中・少	内外: 10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	ナデ	口縁部小片		
816	弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径12.2	長石・小・少, 石英・小・少, 赤色粒子・小・少	内: 10YR5/2灰黄褐 外: 10YR7/2にぶい黄橙	ナデ	板ナデ	口縁部1/8	口: (内) 刻目	
817	弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径21.0	長石・大・多, 石英・大・多, 赤色粒子・中・普, その他・大・多	内: 5YR7/4にぶい黄 外: 5YR7/6橙	ハラミガキ・板ナデ・マメツ	ハラミガキ・マメツ	口縁部4/8		
818	弥・壺	I - 25	SRK01その他	-	長石・中・普, 石英・中・普, その他・中・普	内: 2.5Y8/3淡黄 外: 10YR7/4にぶい黄橙	ナデ	マメツ	頸部小片		
819	弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径25.3	長石・中・普, 石英・中・普	内: 7.5YR3/2黒褐 外: 10YR7/4にぶい黄橙	マメツ・ハクリ	マメツ・ハクリ	口縁部1/8	口唇: 刻目+ハラ	
820	弥・壺	I - 25	SRK01その他	-	長石・大・多, 石英・大・多, その他・大・多	内: 10YR7/3にぶい黄橙 外: 10YR8/4淡黄橙	マメツ	マメツ	頸部2/8	頸: ハラ2(2本(cm))+ α	
821	弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径25.2	長石・大・多, 石英・大・多, 赤色粒子・中・普	内: 10YR5/3にぶい黄橙 外: 7.5YR5/4にぶい黄	マメツ	マメツ	口縁部2/8	口唇: ハラ2 頸: ハラ3+ α	
822	弥・壺	I - 25	SRK01その他	-	長石・中・普, 石英・中・普, 赤色粒子・小・少	内: N4灰 外: 7.5YR5/4にぶい黄	ハラミガキ・マメツ	ナデ・指押さえ	体部小片	頸: ハラ2(2本(cm))+ α + 三角刺突+ハラ5(3本/ +ハラ1(1本/cm))+ α	
823	弥・壺	I - 25	SRK01その他	-	長石・大・普, 石英・大・普	内: 10YR7/3にぶい黄橙 外: 10YR6/1灰黄褐	ハケメ	板ナデ	頸部1/8	頸: ハラ2+ α +貼凸1条 (刻目)+ハラ5(3本/ cm)	
824	弥・壺	I - 25	SRK01その他	-	長石・小・普, 石英・小・普, 赤色粒子・小・少	内外: 10YR7/4にぶい黄橙	ナデ	板ナデ・ハケメ	頸部3/8	頸: 貼凸4条	

報文 番号	図 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 構 造 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
825	48	弥・壺	I - 25	SRK01その他	-	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR5/4にぶい黄褐色 外:10YR4/3にぶい黄褐色	ナデ・ハケメ・ヘラミガキ・マメツ	ヘラミガキ・板ナデ・ハケメ	頸部6/8	頸・貼凸2条(刻目)	
826	48	弥・壺	I - 25	SRK01その他	-	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・中・普	内外:10YR7/3にぶい黄褐色	ナデ	マメツ	体部小片	胴・貼凸3条(刻目)+円形浮	
827		弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径21.8	長石・中・普、石英・中・普	内:7.5YR5/2灰褐色 外:10YR6/2灰黄褐色	ナデ・指押さえ後ナデ	指押さええ後ヘラミガキ	口縁部小片	口:如意形	
828		弥・壺	I - 25	SRK02	口径17.7	長石・中・多、石英・中・多	内外:10YR5/2灰黄褐色	ナデ・指押さえ・ハケメ	ナデ	口縁部小片	口:如意形	
829		弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径19.2	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR6/3にぶい黄褐色 外:10YR4/2灰黄褐色	ナデ・指押さえ	ナデ	口縁部1/8	口:如意形 口唇:刻目 文:轆7(4本/0.9cm)+α	
830	48	弥・壺	I - 25	SRK01その他	-	長石・小・普、石英・小・普	内外:10YR7/4にぶい黄褐色	指押さえ	指ナデ・マメツ	体部小片	口:如意形 文:轆34(8本/0.9cm)+波状残	
831	48	弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径19.8	長石・大・多、石英・大・多、その他・大・多	内:10YR7/4にぶい黄褐色 外:10YR5/2灰黄褐色	ヨコナデ・ハケメ	指押さえ・板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形	外面上半部煤付着
832		弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径24.6	長石・中・少、石英・中・少、砂粒・細・多	内:10YR6/3にぶい黄褐色 外:2.5Y2/1黒	ナデ・ハケメ	指押さえ・板ナデ後ヘラミガキ	口縁部1/8	口:逆L字形	
833	48	弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径20.0	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR5/3にぶい黄褐色 外:10YR3/2黒褐色	ナデ・ハケメ	板ナデ	体部2/8	口:逆L字形	
834		弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径23.8	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内:10YR6/2灰黄褐色 外:10YR1/4褐色	ナデ・指押さえ後ハケメ	指押さええ後板ナデ・ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目	外面口縁直下煤付着
835		弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径22.4	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR7/3にぶい黄褐色	ナデ・指押さえ・ハケメ	ナデ・指押さええ後ヨコナデ	口縁部1/8	口:逆L字形	
836		弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径23.4	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内:10YR5/3にぶい黄褐色 外:2.5YR7/2灰黄	ヘラミガキ・マメツ・指押さえ・板ナデ	指押さええ後板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形	
837	48	弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径21.8	長石・中・少、石英・中・少、赤色粒子・小・少、その他・中・少	内:10YR7/3にぶい黄褐色 外:10YR5/2灰黄褐色	指押さえ・指押さええ後板ナデ	指押さえ(等間隔に凹ませている)・指押さえ・板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目	外面下半部煤付着
838		弥・壺	I - 25	SRK01その他	-	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内:2.5Y6/3にぶい黄褐色 外:2.5Y8/3淡黄	ナデ	指押さえ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形	
839		弥・壺	I - 25	SRK01その他	-	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄褐色 外:10YR5/3にぶい黄褐色	ナデ・指押さえ・ハケメ	指押さえ・ナデ	口縁部小片	口:逆L字形	
840		弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径28.0	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR7/3にぶい黄褐色 外:10YR6/3にぶい黄褐色	ヨコナデ・ハケメ・マメツ	ナデ後指押さえ・マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ2(2本/cm)	
841	48	弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径20.0	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR7/4にぶい黄褐色 外:10YR6/3にぶい黄褐色	ナデ・ハケメ・マメツ	ナデ・板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ6(3本/cm)	
842		弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径20.6	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少、その他・中・普	内:10YR7/2にぶい黄褐色 外:10YR6/2灰黄褐色	ナデ・ハクリ	ナデ・板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ3(3本/cm)	
843		弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径17.8	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR7/2にぶい黄褐色 外:10YR3/1黒褐色	マメツ・ヘラミガキ	マメツ・ナデ・指押さえ	体部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ10(5本/1.3cm)	
844	49	弥・壺	I - 25	SRK01その他	口径18.8	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・中・普、その他・中・普	内外:7.5YR7/4にぶい黄褐色	板ナデ	ナデ後板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ14(3本/cm)	

図 版 番 号	報 立 番 号	器 種	地 区 名	報 告 機 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
845	49	弥・甕	I-25	SRK01その他	口径16.9	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR4/3にぶい黄褐 外:10YR3/2黒褐	マメツ	マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ9(3本/cm)	
846	49	弥・甕	I-25	SRK01その他	口径19.2	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR4/2灰黄褐 外:10YR3/1黒褐	ナデ・ハケメ	指押さえ後板ナデ・ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ12(3本/cm)	
847	49	弥・甕	I-25	SRK01その他	口径24.2	長石・中・普、石英・中・普	内:7.5YR6/2灰褐 外:7.5YR3/1黒褐	ナデ・ハケメ	ナデ・板ナデ・指押さえ	体部1/8	口:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ8(3本/cm)	
848		弥・甕	I-25	SRK01その他	口径21.0	長石・中・普、石英・中・普	内:7.5YR7/2明赤褐 外:7.5YR6/8橙	ナデ・マメツ	板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ6(3本/cm)	
849		弥・甕	I-25	SRK01その他	口径21.9	長石・中・多、石英・中・多	内:2.5Y8/3淡黄 外:10YR7/2にぶい黄橙	ナデ	ハクリ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ4(2本/0.9cm)+ α	
850		弥・甕	I-25	SRK01その他	口径19.4	長石・大・多、石英・大・多	内:2.5Y7/4淡黄 外:2.5Y7/3淡黄	ナデ	ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ8(3本/cm)+α	
851		弥・甕	I-25	SRK01その他	口径14.7	長石・大・普、石英・大・普	内:2.5Y5/4黄褐 外:10YR5/3にぶい黄褐	ナデ・ハクリ	ハクリ・ヘラミガキ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ9(4本/cm)	
852		弥・甕	I-25	SRK01その他	-	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・中・普	内:10YR5/3にぶい黄褐 外:10YR5/2灰黄褐	ナデ・指押さえ	ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ6(4本/1.0cm)+α	
853		弥・甕	I-25	SRK01その他	-	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・中・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・指押さえ	指押さえ後板ナデ・ヘラ ミガキ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ5(2本/cm)	
854		弥・甕	I-25	SRK01その他	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ	ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ5(2本/cm)+α	
855		弥・甕	I-25	SRK01その他	口径19.3	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR4/2灰黄褐 外:10YR5/3にぶい黄褐	ナデ・板ナデ	板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:櫛10(4本/cm)	
856		弥・甕	I-25	SRK01その他	口径21.0	長石・中・多、石英・中・多、そ の他・中・少	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ	指押さえ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛12(5本/1.1cm)	
857	49	弥・甕	I-25	SRK01その他	口径24.4	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR5/2灰黄褐 外:10YR4/1褐灰	指押さえ後ヨコナデ・指 押さえ・ハケメ	指押さえ後板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ13(5本/cm)	
858		弥・甕	I-25	SRK01その他	口径24.6	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ	ナデ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:櫛12(6本/1.1cm)+α	
859	49	弥・甕	I-25	SRK01その他	口径19.0	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR7/4にぶい黄橙・ 5YR6/6橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ヘラミガキ	ナデ・ヘラミガキ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛15(4本/cm)+刺突	
860		弥・甕	I-25	SRK01その他	口径27.2	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・中・少	内:10YR2/2黒褐 外:5YR5/6明赤褐	ナデ・ハクリ	指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ12(3本/1.1cm)	
861	49	弥・甕	I-25	SRK01その他	-	長石・中・普、石英・中・普、	内:2.5Y5/3黄褐 外:2.5Y2/1黒	ハクリ・板ナデ後ヘラミ ガキ	指押さえ後板ナデ	体部小片	文:櫛15(3本/0.6cm)+三 角刺突	

図版番号	器種	地区名	報告遺構番号	法量 (cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
862	弥・甕	I - 25	SRK01その他	-	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:2.5Y5/2暗灰黄	ナデ・ハラミガキ	ナデ・ハラミガキ	体部1/8	口:(逆L字形) 文:櫛7(3本/cm)+三角刺突+斜線2条+櫛9(3本/cm)+三角刺突+斜線2条+α	
863	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径11.0	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR3/2黒褐 外:10YR6/3にぶい黄橙	板ナデ	板ナデ	底部4/8		
864	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径16.0	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄褐 外:5YR3/1オリーブ黒	板ナデ	指押さえ後板ナデ	底部1/8	底:工具圧痕2本1組のものが4組単位残る	
865	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径12.4	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・小・少	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:5YR5/6明赤褐	ハケメ・マメツ・ハラミガキ	指ナデ	口縁部6/8		
866	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径10.1	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・少	内:10YR3/1黒褐 外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ後指押さえ	板ナデ後指押さえ	底部4/8		
867	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径20.0	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・中・少	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:5YR4/4にぶい赤褐	マメツ	マメツ	底部5/8		
868	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径9.9	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・中・少	内外:2.5Y7/3淡黄	ハラミガキ・板ナデ・ナデ	ナデ・指ナデ	底部完存		
869	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径9.4	長石・中・少、石英・中・少、砂 粒・多	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:2.5Y4/2暗灰黄	ハケメ・板ナデ・ナデ	板ナデ	底部3/8		
870	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径7.2	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・中・普	内:10YR6/2灰黄褐 外:10YR4/1褐灰	板ナデ後ハラミガキ・ナ デ	指押さえ後板ナデ	底部完存	外面下半部煤付着	
871	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径8.4	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR5/2灰黄褐 外:5Y8/1灰白	指押さえ後板ナデ・マ メツ	指押さえ後板ナデ	底部完存		
872	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径8.8	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・普	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:5YR6/4にぶい橙	指押さえ・板ナデ	指押さえ・板ナデ	底部4/8		
873	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径9.2	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・小・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:2.5Y5/3黄褐	指押さえ・板ナデ後ハラ ミガキ	指押さえ・板ナデ	底部完存		
874	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径10.2	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・普	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:5YR7/4にぶい橙	マメツ	板ナデ・指押さえ	底部3/8	底:穿孔2個(組1残(貫通しない))	マメツが著しい
875	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径6.2	長石・中・多、石英・中・多	内:7.5YR4/4褐 外:2.5Y6/2灰黄	ハラミガキ・ハケメ・指 ナデ・ナデ	板ナデ	底部5/8	田舎状の粘土で底部を充填している(点線ハクリ線)	
876	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径5.4	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・少、その他・中・少	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ・板ナデ	指押さえ・板ナデ	底部2/8		
877	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径7.1	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・中・普	内:10YR7/6明黄褐 外:10YR7/2黄橙	板ナデ・マメツ	板ナデ・指ナデ・指押さ え	底部完存		
878	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径6.2	長石・大・多、石英・大・多	内外:10YR6/2灰黄褐	板ナデ・マメツ	指押さえ・板ナデ・ハ ク	底部完存		
879	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径7.8	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR6/2灰黄褐	ハラミガキ・指押さえ・ ナデ	ハラミガキ	底部完存		
880	弥・底部	I - 25	SRK01その他	底径5.4	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR4/2灰黄褐	板ナデ・ナデ	板ナデ	底部1/8		

図 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 選 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
881	弥・底部	I - 25	SRK01 その他	底径7.8	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内:5Y3/1オリーブ黒 外:2.5Y7/2灰黄	ハクリ・板ナデ	板ナデ	底部4/8		
882	弥・底部	I - 26	SRK01 その他	底径7.9	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y5/3黄褐 外:2.5Y7/4浅黄	ナデ・板ナデ・指押さえ	指ナデ	底部6/8		
883	弥・底部	I - 25	SRK01 その他	底径7.3	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR3/1黒褐 外:10YR6/3にぶい黄橙	ハケメ・指押さえ・ナデ	マメツ・指ナデ・指押さえ	底部3/8		
884	弥・底部	I - 25	SRK01 その他	底径7.2	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR4/1褐灰 外:10YR7/3にぶい黄橙	ハケメ・マメツ・指押さえ・ナデ	マメツ・指押さえ	底部4/8		
885	弥・底部	I - 25	SRK01 その他	口径8.4	長石・大・多、石英・大・多、赤色粒子・小・少	内外:10YR5/3にぶい黄褐	マメツ・ハケメ後板ナデ・マメツ	マメツ	底部完存		底部焼成後穿孔
886	弥・底部	I - 25	SRK01 その他	底径7.3	長石・中・多、石英・中・多、その他・中・多	内:10YR5/1褐灰 外:10YR6/4にぶい黄橙	指押さえ後ハケメ	指押さえ後板ナデ	底部6/8		底部焼成後穿孔
887	弥	I - 25	SRK01 その他	底径6.1	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR5/2灰黄褐	指押さえ後ハケメ・ナデ・指押さえ	指押さえ後板ナデ	底部4/8		
888	弥・蓋	I - 25	SRK01 その他	天井部7.4	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・中・少	内外:10YR8/3浅黄橙	ナデ・マメツ・指押さえ	指押さえ	天井部4/8		
889	弥・蓋	I - 25	SRK01 その他	天井部4.3	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・小・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ	指ナデ	天井部3/8		
890	弥・ミニア 土器	I - 25	SRK01 その他	口径7.8 器高4.9 底径2.7	長石・中・小、石英・中・少、その他・小・少	内外:2.5Y7/2灰黄	指押さえ・ナデ	指押さえ	口縁部3/8		
898	弥・壺	I - 27	SRK01 その他		長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y8/3淡黄 外:2.5Y7/3浅黄	ナデ・ハラミガキ	マメツ・指ナデ	体部小片	胴:貼凸4条(刻目)+α	
899	弥・壺	I - 27	SRK01 その他	口径13.6	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR8/3浅黄橙	マメツ	ハラミガキ	頸部4/8	頸:貼凸2条+α	
900	弥・壺	I - 27	SRK01 その他	底径6.4	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	指押さえ後ハケメ・ハラミガキ・ナデ	指押さえ後板ナデ	底部完存		
901	弥・底部	I - 27	SRK01 その他	底径9.9	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y6/2灰黄 外:2.5Y7/4浅黄	ナデ・ハケメ	ナデ	底部7/8		
902	弥・底部	I - 27	SRK01 その他	底径11.2	長石・大・多、石英・大・多、赤色粒子・小・少	内:2.5Y2/1黒 外:7.5YR4/4褐	ハケメ・ナデ	板ナデ	底部4/8		
903	弥・蓋	I - 27	SRK01 その他	天井部7.3	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・中・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・板ナデ・指押さえ	板ナデ・指押さえ・ハラミガキ	底部完存		
905	弥・壺	I - 26	SRK01 その他	口径15.2	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR7/2にぶい黄橙	ナデ・板ナデ	指押さえ・板ナデ	口縁部1/8		
906	弥・壺	I - 26	SRK01 その他	口径39.6	長石・中・少、石英・中・少、赤色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:2.5YR6/8橙	ハラミガキ・マメツ	マメツ	口縁部3/8	口唇:刻目 頸:(内)貼凸1条(刻目) +貼凸(運弧状)+貼 凸3条 頸:(外)貼凸2条+α	
907	弥・甕	I - 26	SRK01 その他	口径26.3	長石・中・少、石英・中・少、その他・中・少	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:2.5Y4/2暗灰黄	ナデ・指押さえ・板ナデ・ハクリ	指押さえ・ナデ・ハラミガキ・ハクリ	口縁部小片	口:如意形	

報文番号	器種	地区名	報告遺構番号	法量(cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
908	弥・甕	I-26	SRK01その他	口径26.8	長石・大・多・石英・大・多・赤色粒子・中・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR6/2灰黄褐	ナデ	ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目	
909	弥・甕	I-26	SRK01その他	口径21.2	長石・中・普・石英・中・普	内:2.5Y7/2灰黄 外:2.5Y3/1黒褐	ナデ・ハケメ	ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形	
910	弥・甕	I-26	SRK01その他	-	長石・中・多・石英・中・多	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・板ナデ後指押さえ・ハケメ・マメツ	板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形	
911	弥・甕	I-26	SRK01その他	-	長石・中・普・石英・中・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄褐	ハクリ・ナデ	ナデ・指押さえ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ5(3本/cm)	口縁部ハクリ
912	弥・甕	I-26	SRK01その他	口径23.0	長石・中・少・石英・中・少、その他・小・少	内外:10YR5/2灰黄褐	ナデ	ナデ・指押さえ後板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ11(3本/cm)	
913	弥・底部	I-26	SRK01その他	底径8.0	長石・中・多・石英・中・多、その他・中・少	内:10YR6/6明黄褐 外:10YR7/3にぶい黄橙	ハクリ・マメツ	マメツ	底部2/8		
914	弥・底部	I-26	SRK01その他	底径4.6	長石・中・普・石英・中・普、赤色粒子・小・少	内:10YR6/6明黄褐 外:10YR5/4にぶい黄褐	ハケメ・ナデ	ハクリ	底部3/8		
915	弥・底部	I-25	SRK02	底径9.2	長石・中・普・石英・中・普	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ヘラミガキ・板ナデ・ナデ	マメツ	底部2/8		
916	弥・甕	I-23	SRK02	口径23.7	長石・中・少・石英・中・少、角閃石・小・少、赤色粒子・小・少、その他・中・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ヨコナデ・指押さえ・ナデ・マメツ	ヨコナデ・指押さえ・マメツ	口縁部小片	口:如意形	
917	弥・甕	I-23	SRK02	口径26.2	長石・大・普・石英・大・普、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR3/1黒褐	ナデ	板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ8(2本/cm)	
918	弥・甕	I-23	SRK02	口径22.0	長石・中・多・石英・中・多、赤色粒子・小・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・指押さえ・マメツ	板ナデ・マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:櫛12(5本/0.8cm)	
919	弥・甕	I-23	SRK02	口径22.8	長石・中・多・石英・中・多、赤色粒子・小・少	内外:10YR4/2灰黄褐	ナデ・指押さえ・マメツ	ナデ	口縁部2/8	口:逆L字形 文:櫛7(4本/cm)+α	
920	弥・底部	I-23	SRK02	底径7.8	長石・小・普・石英・小・普	内外:2.5Y7/3浅黄	ハケメ・ナデ	ナデ	底部2/8		
921	弥・甕	I-26	SRK02	口径25.2	長石・小・普・石英・小・普、角閃石・小・少	内外:10YR5/3にぶい黄褐	ナデ・指押さえ	ナデ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ1	
922	弥・甕	I-26S	SRK02	口径16.9	長石・中・少・石英・中・少	内外:2.5Y3/2黒褐	ナデ・ハクリ・ハケメ	指押さえ	口縁部1/8	口:(逆L字形)	
923	弥・甕	I-26S	SRK02	口径12.2	長石・中・普・石英・中・普、その他・中・少	内外:2.5Y5/2暗灰黄	ナデ	指押さえ・ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ3(2本/cm)	
924	弥・甕	I-26S	SRK02	口径19.8	長石・中・普・石英・中・普	内外:2.5Y5/2暗灰黄	ナデ	ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ5(3本/cm)+α	
925	弥・甕	I-26S	SRK02	口径19.1	長石・中・普・石英・中・普	内外:2.5Y4/2暗灰黄	ナデ・指押さえ・ハケメ	板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:櫛8(4本/cm)+α	
926	弥・甕	I-26S	SRK02	口径18.2	長石・中・普・石英・中・普	内外:2.5Y6/2灰黄	ナデ・ハクリ	ハクリ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ4(1本/cm)+α	
927	弥・底部	I-26	SRK02	底径8.7	長石・大・多・石英・大・多、赤色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:7.5YR7/4にぶい橙	マメツ	指押さえ後板ナデ	底部4/8		

図 報 文 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
928	弥・底部	I - 26 S	SRK02	底径5.7	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:2.5Y5/2暗灰黄	板ナデ・ナデ	ナデ	底部完存		
929	弥・壺	I - 25	SRK02	-	長石・中・普、石英・中・普、 その他・大・少	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR6/2黄黄橙	ナデ・マメツ	板ナデ・マメツ・指押さ え	頸部小片		
930	弥・甕	I - 25	SRK02	口径14.9	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y7/2灰黄 外:2.5Y5/2暗灰黄	マメツ	ナデ・指押さえ	口縁部小片	口:如意形	
931	弥・甕	I - 25	SRK02	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	指押さえ・ナデ	マメツ・指押さえ	口縁部小片	口:如意形 口唇:刻目 文:沈6(3本/cm)	半截竹管による沈 線
932	弥・甕	I - 25	SRK02	口径24.0	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR6/2灰黄褐	指押さえ・ナデ・マメツ・ 指押さえ後ヘラミガキ	指押さえ後ヘラミガキ	口縁部小片	口:逆L字形	
933 51	弥・甕	I - 25	SRK02	口径21.4	長石・中・少、石英・中・少、赤 色粒子・中・少	内外:10YR6/3にぶい黄褐	ナデ	指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ6(2本/cm)+α	
934	弥・甕	I - 25	SRK02	口径23.1	長石・大・多、石英・大・多、そ の他・小・少	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR6/2灰黄褐	ヨコナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ9(3本/cm)	
935	弥・甕	I - 25	SRK02	口径19.6	長石・中・多、石英・中・多	内外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ・指押さえ	板ナデ・マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ6(3本/cm)+α	
936	弥・甕	I - 25	SRK02	口径20.9	長石・中・多、石英・中・多、そ の他・中・普	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR6/4にぶい黄褐	マメツ	ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ9(2本/cm)	
937 51	弥・甕	I - 25	SRK02	-	長石・中・少、石英・中・少、赤 色粒子・小・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR6/2灰黄褐	ハケメ・ヘラミガキ	指押さえ後ヘラミガキ・ ヘラミガキ	体部小片	文:ヘラ描山形+ヘラ11 (5本/cm)+ヘラ描山 形+櫛3(4本/0.5cm)+ 櫛3(3本/0.5cm)+櫛3 (4本/0.5cm)+剃突	
938 51	弥・甕	I - 25	SRK02	口径22.2	長石・中・少、石英・中・少	内外:10YR4/2灰黄褐	ナデ	板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛14(5本/1.2cm)+α	
939	弥・甕	I - 25	SRK02	-	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ	マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛10(4本/0.8cm)+竹 管	
940	弥・底部	I - 25	SRK02	底径10.4	長石・大・普、石英・大・普、角 閃石・小・普	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	板ナデ	板ナデ	底部2/8		
941 51	弥・底部	I - 25	SRK02	底径6.0	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR6/2灰黄褐 外:2.5Y7/2灰黄	ヘラミガキ・指押さえ	指ナデ後ヘラミガキ	底部ほぼ完存	底部:穿孔1	
942	弥・底部	I - 25	SRK02	底径7.6	長石・大・普、石英・大・普	内外:10YR6/3にぶい黄褐	ハケメ・ナデ	ナデ	底部2/8		底部焼成後穿孔
943	弥・壺	I - 26	SRK03上層	口径17.0	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:5YR6/3にぶい橙 外:2.5YR6/3にぶい橙	マメツ	マメツ	口縁部1/8		
944	弥・壺	I - 23	SRK03上層	口径14.0	長石・小・普、石英・小・普	内外:10YR7/4にぶい黄橙	ハクリ	ハクリ	口縁部3/8		
945	弥・壺	I - 23	SRK03上層	口径14.2	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR3/1里褐 外:10YR6/3にぶい黄褐	マメツ	マメツ	口縁部1/8		

報文 番号	図 版 番 号	器種	地区名	報告遺構番号	法量(cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
946		弥・壺	I - 23	SRK03上層	-	長石・小・普、石英・小・普、角 閃石・小・多	内外:10YR6/4にぶい黄橙	ハクリ・ナデ	ナデ	口縁部小片		
947		弥・甕	I - 26	SRK03上層	口径14.0	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・多、赤色粒子・小・普	内外:7.5YR5/4にぶい褐	マメツ	指押さえ・マメツ	口縁部1/8	口:如意形	
948		弥・甕	I - 23	SRK03上層	口径13.4	長石・中・少、石英・中・少、角 閃石・小・多、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR6/6橙	マメツ・ハクリ	マメツ・ハクリ	口縁部小片	口:如意形	
949		弥・甕	I - 23	SRK03上層	口径15.6	長石・大・普、石英・大・普、角 閃石・小・普	内:2.5Y6/2灰黄 外:7.5YR6/4にぶい橙	マメツ	マメツ	口縁部1/8	口:如意形	
950		弥・底部	I - 26	SRK03上層	底径4.0	長石・小・普、石英・小・普	内:N4/灰白 外:10YR8/2灰白	板ナデ	板ナデ	底部完存		
951		弥・底部	I - 23	SRK03上層	底径8.0	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR5/7褐灰 外:10YR6/4にぶい黄橙	板ナデ・マメツ	板ナデ・マメツ	底部4/8		
952 51		弥・底部	I - 23	SRK03上層	底径6.5	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・普	内外:10YR7/4にぶい黄橙	マメツ	マメツ	底部完存		底部焼成後穿孔
953 51		弥・高坏	I - 23	SRK03上層	-	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・少、赤色粒子・小・少	内外:10YR6/4にぶい黄橙	マメツ・ハクリ・マミガキ(4方 向分割)・ナデ・ヘラ削り	ヘラミガキ	体部2/8		
954 51		弥・高坏	I - 23	SRK03上層	-	長石・中・少、石英・中・少、角 閃石・小・普	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ヘラミガキ(4方向分割)・ ナデ・指押さえ	ヘラミガキ	体部3/8		
955		弥・高坏	I - 23	SRK03上層	口径21.8	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・少	内外:7.5YR6/4にぶい橙	回転ナデ	回転ナデ	口縁部2/8		
956		弥・高坏	I - 28	SRK03上層	口径34.2	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・少、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR4/3褐	マメツ・ナデ・ヘラミガ キ	マメツ・ナデ	口縁部1/8		
957		弥・鉢	I - 23	SRK03上層	口径30.1	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:7.5YR7/4にぶい橙	マメツ	ハケメ後ヘラミガキ	口縁部1/8	口:円形浮+斜格子	
958		須・坏(身)	I - 23	SRK03上層	口径11.0	長石・小・少、石英・小・少	内外:2.5Y6/2灰黄	回転ナデ・回転ヘラ削り	回転ナデ	口縁部2/8		
960 52		弥・壺	I - 23	SRK03中層	口径10.1	長石・小・普、石英・小・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ・マメツ	ナデ・板ナデ後指ナデ・ 指押さえ・マメツ	口縁部完存	頸:柳4(4本/0.5cm)+ α + 波状4+柳5(5本/cm)+ 波状7+柳5(5本/cm)+ 刺突2段	
961		弥・甕	I - 23	SRK03中層	口径12.4	長石・小・少、石英・小・少	内外:5Y8/1灰白	ナデ	ナデ	口縁部1/8	口:如意形	
962 52		弥・甕	I - 23	SRK03中層	口径22.6	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR4/3にぶい褐	ハクリ・ハケメ	ナデ・指押さえ	口縁部小片	口:如意形	
963		弥・甕	I - 23	SRK03中層	口径21.2	長石・大・多、石英・大・多	内:2.5Y7/3浅黄 外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・指押さえ・マメツ	ナデ・板ナデ・マメツ	口縁部小片	口:逆L字形	
964		弥・甕	I - 23	SRK03中層	口径23.0	長石・中・多、石英・中・多	内外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ	指押さえ・マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形	
965		弥・甕	I - 23	SRK03中層	口径20.0	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・中・普	内外:10YR7/4にぶい黄橙	ナデ	ナデ・板ナデ	口縁部1/8	口:逆L字形	
966		弥・甕	I - 23	SRK03中層	口径43.4	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y8/3浅黄 外:10YR7/2にぶい黄橙	マメツ	マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 文:柳5+ α	
967		弥・甕	I - 23	SRK03中層	口径22.0	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:7.5YR7/3にぶい橙	マメツ・指押さえ	マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 文:柳5(3本/0.6cm)+ α	

図 版 文 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
968	弥・甕	I - 23	SRK03中層	口径22.0	長石・大・普、石英・大・普	内:7.5YR4/4褐 外:10YR4/2灰黄褐	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ・指押さえ	口縁部小片	口・逆L字形 文:櫛9(5本/cm)+利突	
969	弥・甕	I - 23	SRK03中層	口径25.6	長石・大・普、石英・大・普、雲 母・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ・指押さえ	マメツ	口縁部1/8	口・逆L字形 文:櫛10(6本/1.2cm)+α	
970	弥・甕	I - 23	SRK03中層	口径32.0	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・小・少	内外:2.5Y8/3淡黄	ヨコナデ・マメツ	マメツ	口縁部小片	口・逆L字形 文:櫛4+α	
971	弥・甕	I - 23	SRK03中層	口径29.6	長石・小・普、石英・小・普	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ	ナデ・板ナデ	口縁部1/8	口・逆L字形 文:櫛16(4本/0.8cm)+三 角利突	
972	弥・甕	I - 23	SRK03中層	口径39.0	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ	マメツ・指ナデ	口縁部小片	口・逆L字形 文:櫛16(4本/0.8cm)	
973	弥・底部	I - 23	SRK03中層	底径9.7	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・少、その他・中・少	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:5Y5/1灰	板ナデ後指押さえ・マメ ツ	マメツ	底部6/8		
974	弥・底部	I - 23	SRK03中層	底径9.6	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・多	内:10YR5/7灰 外:5YR6/6橙	指押さえ・マメツ・板ナ デ	指押さえ・マメツ	底部4/8		
975	弥・底部	I - 23	SRK03中層	底径9.6	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・小・少	内:2.5Y7/3淡黄 外:N4/灰	板ナデ・マメツ・ナデ	ナデ	底部2/8		
976	弥・底部	I - 23	SRK03中層	底径5.9	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR3/1黒褐 外:10YR6/3にぶい黄橙	ハラミガキ	板ナデ後指ナデ	底部ほぼ完存		
977	弥・底部	I - 23	SRK03中層	底径10.3	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR6/3にぶい黄 橙	ハラミガキ	ハラミガキ	底部7/8		
978	弥・底部	I - 23	SRK03中層	底径9.0	長石・小・普、石英・小・普	内外:2.5Y6/3にぶい黄	ナデ・ハケメ	ナデ	底部1/8		
979	弥・底部	I - 23	SRK03中層	底径7.5	長石・大・多、石英・大・多	内:2.5Y6/2灰黄 外:5YR5/2灰褐	マメツ・ハクリ	板ナデ	底部完存		
980	弥・甕	I - 23	SRK03中層	天井部5.4	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR4/1褐灰 外:10YR7/2にぶい黄橙	板ナデ・マメツ	マメツ	天井部5/8		
981	弥・高坏	I - 23	SRK03中層	-	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・普、赤色粒子・中・少	内外:7.5YR6/4にぶい橙	マメツ・ナデ	マメツ・ナデ	口縁部小片	口・凹形浮	
982	弥・鉢	I - 23	SRK03中層	口径32.0	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR4/1褐灰 外:7.5Y4/2灰褐	マメツ	マメツ	口縁部小片		
988	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径13.8	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・少	内外:10YR8/2灰白	ナデ・板ナデ・マメツ	マメツ	口縁部小片		
989	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径19.0	長石・中・多、石英・中・多	内外:2.5YR6/3にぶい黄	指押さえ・マメツ	マメツ	口縁部2/8		
990	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径14.6	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・中・少、その他・中・少	内外:10YR8/3淡黄橙	ナデ	ナデ・板ナデ	口縁部2/8	頸:有段	
991	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径17.4	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・小・少	内外:2.5Y8/2灰白	マメツ	マメツ	口縁部1/8	頸:有段	
992	弥・壺	I - 23	SRK03下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR5/2灰黄褐	ハケメ・ハクリ・ハラミ ガキ	ナデ・板ナデ後ハラミガ キ	頸部1/8	頸:ハラ10(2本/cm)+α	
993	弥・壺	I - 23	SRK03下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR8/3淡黄橙 外:10YR8/4黄橙	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	口縁部小片	頸:ハラ2(2本/cm)+α	

図 報文 番号	器種	地区名	報告遺構番号	法量(cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
994	弥・壺	I - 23	SRK03下層	-	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR8/4浅黄橙	マメツ	指ナデ・指押さえ	頸部2/8	頸:ヘラ2(2本/cm)+α 脣:連弧	
995	弥・壺	I - 23	SRK03下層	-	長石・小・多、石英・小・多	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・指押さえ	マメツ	口縁部小片		
996	弥・無頸 壺	I - 23	SRK03下層	口径5.4 器高14.6 底径6.0	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・小・少、その他・中・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:2.5Y7/4浅黄	マメツ	板ナデ・指押さえ・指ナ デ	底部完存 底部6/8		
997	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径32.4	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・小・少、その他・中・多	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR8/2灰白	マメツ・ナデ	マメツ	口縁部小片	口:如意形 口脣:刻目	
998	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径25.0	長石・大・多、石英・大・多	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:2.5Y6/2灰黄	マメツ・指押さえ	マメツ	口縁部2/8	口:如意形	
999	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径26.1	長石・小・多、石英・小・多	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:2.5Y7/2灰黄	マメツ・指押さえ・ナデ	マメツ	口縁部小片	口:如意形	
1000	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径24.0	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・中・少、その他・大・少	内:2.5Y5/1黄灰 外:7.5Y8/3浅黄橙	マメツ・指押さえ	マメツ	口縁部1/8	口:如意形	
1001	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径24.4	長石・中・多、石英・中・多、赤色粒子・中・少、その他・中・多	内外:2.5Y7/3浅黄	マメツ	マメツ	口縁部1/8	口:如意形	
1002	弥・壺	I - 23	SRK03下層	-	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR8/2灰白 外:2.5Y6/2灰黄	マメツ	マメツ	口縁部小片	口:如意形	
1003	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径31.6	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR7/2にぶい黄橙	ヨコナデ・マメツ・指押 さえ・ナデ	ヨコナデ・ナデ・マメツ	口縁部1/8	口:如意形 文:ヘラ1(下のみ)ははっ きりしない段状	
1004	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径19.1	長石・中・多、長石・中・多	内外:10YR4/2灰黄褐	マメツ	マメツ	口縁部1/8	口:如意形 文:刺突	
1005	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径19.2	長石・大・普、石英・大・普	内:2.5Y7/3浅黄 外:10YR6/2灰黄褐	指押さえ・マメツ	マメツ	口縁部小片	口:如意形 文:刺突 文:刺4+α+刺突	
1006	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径23.4	長石・中・少、石英・中・少、その他・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:2.5Y2/1黒・10YR6/3 にぶい黄橙	ナデ・板ナデ後ヘラミ ガキ	ナデ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形	
1007	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径30.4	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR4/2灰黄褐	ナデ・板ナデ・ヘラミ ガキ・マメツ	ナデ・板ナデ後指ナデ	口縁部小片	口:逆L字形	
1008	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径17.5	長石・小・普、石英・小・普、その他・小・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:2.5Y4/1黄灰	ナデ・ハクリ・板ナデ	ナデ・ヘラミガキ	口縁部1/8	口:逆L字形	
1009	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径15.6	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR5/4にぶい黄褐 外:2.5Y7/6明黄褐	ナデ・ハクリ	ナデ・指押さえ後ヘラミ ガキ	口縁部1/8	口:逆L字形	櫛描きありか?
1010	弥・壺	I - 23	SRK03下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ・指押さえ	ナデ・マメツ・指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形	
1011	弥・壺	I - 23	SRK03下層	-	長石・大・普、石英・大・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ	マメツ	口縁部小片	口:逆L字形	
1012	弥・壺	I - 23	SRK03下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR6/2灰黄褐 外:10YR4/1褐灰	ヨコナデ・ハケメ・マ メツ	ヨコナデ・マメツ	口縁部小片	口:逆L字形	

図 報 文 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 連 続 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
1013	弥・壺	I - 23	SRK03下層	-	長石・中・少、石英・中・少、赤色粒子・小・少	内外:10YR7/2にぶい黄橙	ナデ	板ナデ・マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 文:へラ4(2本/cm)+α	
1014	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径19.6	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内:10YR5/3にぶい黄褐 外:10YR4/1褐灰	ナデ・マメツ	板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:へラ7(2本/cm)	
1015	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径20.4	長石・小・普、石英・小・普	内外:2.5Y7/2灰黄	ナデ・マメツ	ナデ・指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:櫛5(3本/cm)+α	
1016	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径21.8	長石・中・普、石英・中・普、その他・中・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR4/1褐灰	マメツ・へラミガキ	マメツ・指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:櫛(4本+α)+刺突	
1017	弥・壺	I - 23	SRK03下層	-	長石・大・少、石英・大・少	内外:10YR5/3にぶい黄褐	ナデ・ハケメ?	ナデ・へラミガキ・マメツ	体部1/8	口:如意形 文:櫛18(6本/1.1cm)+刺突	
1018	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径17.2	長石・大・少、石英・大・少、赤色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	指押さえ・ナデ・マメツ	板ナデ・指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:櫛7(5本/cm)+α	
1019	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径16.2	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR5/4にぶい黄褐 外:10YR4/2灰黄褐	ナデ	ナデ・指押さえ後板ナデ	口縁部2/8	口:逆L字形 文:櫛19(5本/0.7cm)+波状	
1020	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径15.1	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ	板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛11(5本/0.8cm)+α	
1021	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径18.6	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ハクリ・へラミガキ・マメツ	板ナデ・マメツ	体部小片	口:逆L字形 文:櫛20(5本/cm)	
1022	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径21.2	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR4/1褐灰	へラミガキ・指押さえ・へラミガキ	へラミガキ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:櫛24(4本/0.8cm)+三角刺突	
1023	弥・壺	I - 23	SRK03下層	-	長石・中・少、石英・中・少	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR5/2灰黄褐	ナデ・指押さえ	板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛13(5本/0.7cm)+α	
1024	弥・壺	I - 23	SRK03下層	-	長石・小・普、石英・小・普	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:N3暗灰	ナデ・ハケメ	ナデ・へラミガキ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛13(3本/0.6cm)	
1025	弥・壺	I - 23	SRK03下層	口径16.0	長石・中・少、石英・中・少、角閃石・小・少、赤色粒子・中・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR5/3にぶい黄褐	ナデ・ハケメ	ナデ・指押さえ後板ナデ	口縁部3/8		
1026	弥・底部	I - 23	SRK03下層	-	長石・大・普、石英・大・普	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:5YR7/3にぶい黄橙	マメツ・ハクリ	ナデ・マメツ・指押さえ	底部4/8		
1027	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径15.6	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・中・少	内外:2.5Y8/3淡黄	ナデ	ナデ	底部2/8		
1028	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径7.1	長石・大・多、石英・大・多	内:2.5Y7/2灰黄 外:2.5Y4/1黄灰	マメツ・指押さえ・へラミガキ	マメツ	底部完存		
1029	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径8.6	長石・大・多、石英・大・多、赤色粒子・小・少、その他・小・少	内:10YR8/2灰白 外:10YR8/2灰白 2/1黒	マメツ・へラミガキ後指押さえ	マメツ・ハクリ	底部完存		
1030	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径7.7	長石・大・普、石英・大・普、その他・小・少	内外:10YR4/2灰黄褐	指押さえ後ハケメ・ナデ	指押さえ後板ナデ	底部完存		
1031	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径10.4	長石・大・多、石英・大・多	内外:2.5Y7/2灰黄	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ	底部6/8		

図 報 文 版 番 号	器 種	地 区 名	報 告 選 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
1032	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径7.5	長石・中・普, 石英・中・普	内外:10YR6/4にぶい黄橙	板ナデ後指押さえ・マメツ	マメツ	底部6/8		
1033	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径7.8	長石・大・普, 石英・大・普	内外:10YR5/3にぶい黄褐	板ナデ・ナデ・指押さえ	板ナデ	底部2/8		
1034	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径6.0	長石・中・普, 石英・中・普	内:10YR4/1褐灰 外:10YR6/2黄褐	指押さえ後板ナデ・ナデ・マメツ	マメツ・指押さえ	底部4/8		
1035	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径6.0	長石・中・少, 石英・中・少, 赤 色粒子・小・少	内:10YR6/4にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	板ナデ・ナデ	板ナデ後指押さえ	底部3/8		
1036	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径6.0	長石・中・普, 石英・中・普, 赤 色粒子・中・少	内:2.5Y7/2灰白 外:2.5Y6/2灰黄	マメツ・指ナデ	指ナデ・指押さえ	底部2/8		
1037	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径8.0	長石・小・多, 石英・小・多, 赤 色粒子・中・少, その他・小・普	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:2.5Y6/2灰黄	マメツ・ナデ・指押さえ	指押さえ	底部2/8		
1038	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径7.4	長石・小・多, 石英・小・多	内外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ	マメツ	底部4/8		
1039	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径9.0	長石・中・多, 石英・中・多	内外:10YR6/3にぶい黄橙	板ナデ後指押さえ・ナデ・板ナデ	ナデ・マメツ	底部4/8		
1040	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径7.0	長石・大・多, 石英・大・多	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:2.5Y6/3にぶい黄橙	ナデ	指ナデ	底部完存		
1041	弥・底部	I - 23	SRK03下層	-	長石・中・普, 石英・中・普	内外:2.5Y7/3淺黄	板ナデ・ハクリ	板ナデ	底部小片		
1042	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径11.6	長石・中・少, 石英・中・少	内外:2.5Y3/2黒褐	ハラミガキ・ナデ	マメツ	底部2/8		
1043	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径9.0	長石・小・普, 石英・小・普	内:10YR5/2灰黄褐 外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ・板ナデ・ナデ後指押さえ	板ナデ	底部3/8		底部焼成後穿孔
1044	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径8.0	長石・中・多, 石英・中・多, 赤 色粒子・小・少	内:2.5Y7/3淺黄 外:2.5Y6/3にぶい黄	マメツ・板ナデ・ナデ	マメツ	底部6/8		底部焼成後穿孔
1045	弥・底部	I - 23	SRK03下層	底径6.8	長石・中・多, 石英・中・多	内外:2.5Y7/3淺黄	マメツ・ナデ	ナデ・指ナデ	底部完存		底部焼成後穿孔
1046 54	弥・蓋	I - 23	SRK03下層	天井部5.8 器高14.3 底径22.0	長石・中・普, 石英・中・普, 赤 色粒子・小・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・ハクリ・指押さえ 後板ナデ・マメツ	指押さえ後板ナデ・マメツ	底部2/8		
1047	弥・鉢	I - 23	SRK03下層	口径30.2	長石・大・普, 石英・大・普, 赤 色粒子・中・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR7/4にぶい黄	マメツ	マメツ・板ナデ	口縁部小片		
1048	弥・鉢	I - 23	SRK03下層	口径24.0	長石・中・普, 石英・中・普	内:2.5Y6/3にぶい黄 外:5Y2/1黒	ナデ・ハケメ	ナデ・指押さえ	口縁部小片		
1049 54	弥・ミニ チュア土器	I - 23	SRK03下層	底径4.7	長石・小・少, 石英・小・少, 赤 色粒子・小・普	内外:2.5Y7/3淺黄	指押さえ後板ナデ・ナデ	指押さえ後板ナデ	底部完存		
1050	弥・ミニ チュア土器	I - 23	SRK03下層	底径2.6	長石・中・普, 石英・中・普	内外:2.5Y5/2暗灰黄	指ナデ・ナデ	ハクリ	底部完存		
1051	弥・ミニ チュア土器	I - 23	SRK03下層	底径4.7	長石・中・普, 石英・中・普	内外:2.5Y8/2灰白	ナデ・マメツ	指押さえ・マメツ	底部完存		
1052	弥・ミニ チュア土器	I - 23	SRK03下層	底径2.6	長石・小・少, 石英・小・少, 角 閃石・小・少	内外:7.5YR6/4にぶい橙	指押さえ・ナデ	指押さえ	底部4/8		

図 版 番 号	報 文 番 号	器 種	地 区 名	報 告 選 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
1063		弥・壺	I - 26	SRK03下層	口径14.0	長石・小・少, 石英・小・少, 角閃石・小・普	内外: 2.5Y3/2黒褐	回転ナデ	回転ナデ	口縁部1/8		
1064		弥・壺	I - 26	SRK03下層	口径14.8	長石・大・普, 石英・大・普	内外: 2.5Y6/2灰黄	ハラミガキ	ハラミガキ	口縁部1/8		
1065		弥・壺	I - 26	SRK03下層	口径22.0	長石・中・少, 石英・中・少, 赤色粒子・小・少, その他・中・少	内: 2.5Y4/1黄灰 外: 2.5Y6/2灰黄	ナデ	マメツ・指ナデ	口縁部小片	口唇: 刻目	
1066		弥・壺	I - 26	SRK03下層	口径14.8	長石・中・普, 石英・中・普, 赤色粒子・小・少	内: 7.5YR5/4にぶい黄褐 外: 10YR5/3にぶい黄褐	ナデ・指押さえ後ハケメ 後ハラミガキ	指押さえ後ハケメ・板ナデ	口縁部1/8	頸: ヘラ3(3本/cm)	
1067		弥・壺	I - 26	SRK03下層	-	長石・大・少, 石英・大・少, 赤色の他・大・多	内: 10YR7/3にぶい黄橙 外: 10YR3/2黒褐	ハケメ・マメツ	マメツ	頸部1/8	頸: 櫛12(4本/0.7cm)+α	
1068		弥・壺	I - 26	SRK03下層	口径25.4	長石・大・普, 石英・大・普, 赤色粒子・小・少	内: 5Y6/3にぶい黄橙 外: 2.5YR7/4淡赤橙	ハクリ・ハケメ	ハクリ	口縁部1/8	口唇: 凹線 頸: (内面) 貼凸2条+α	
1069	55	弥・壺	I - 26	SRK03下層	-	長石・大・普, 石英・大・普	内外: 10YR5/2灰黄褐	マメツ	マメツ	頸部1/8	頸: 貼凸4条+α, 縦方向貼凸	
1070	55	弥・壺	I - 26	SRK03下層	-	長石・中・多, 石英・中・多	内外: 10YR7/2にぶい黄橙	ハクリ・ハケメ後板ナデ・板ナデ	板ナデ・マメツ	頸部1/8	頸: 貼凸2条, 縦方向貼凸	
1071		弥・壺	I - 26	SRK03下層	-	長石・中・普, 石英・中・普	内: 2.5Y6/2灰黄 外: 2.5Y7/2灰黄	ナデ・マメツ	ナデ・指押さえ・マメツ	口縁部小片	口: 如意形	
1072	55	弥・壺	I - 26	SRK03下層	-	長石・中・少, 石英・中・少	内: 10YR6/3にぶい黄橙 外: 10YR4/2灰黄褐	ナデ・ハケメ	ナデ・板ナデ	口縁部小片	口: 如意形 文: 櫛20(5本/0.9cm)+波状4条	
1073		弥・壺	I - 26	SRK03下層	-	長石・中・少, 石英・中・少	内: 2.5Y5/3黄褐 外: 2.5Y5/2暗灰黄	ナデ・ハケメ・板ナデ・ハケメ後ハラミガキ	ハラミガキ・指ナデ	体部1/8	口: 如意形	
1074		弥・壺	I - 26	SRK03下層	口径34.7	長石・中・多, 石英・中・多, 赤色粒子・小・少	内外: 2.5Y6/2灰黄	マメツ	マメツ	口縁部小片	口: 逆L字形	
1075		弥・壺	I - 26	SRK03下層	口径30.6	長石・中・少, 石英・中・少, 赤色粒子・小・少	内: 10YR7/3にぶい黄橙 外: 10YR5/3にぶい黄褐	マメツ・ハクリ	マメツ	口縁部1/8	口: 逆L字形	
1076		弥・壺	I - 26	SRK03下層	口径21.6	長石・中・普, 石英・中・普, 赤色粒子・中・少	内: 10YR6/3にぶい黄橙 外: 2.5Y5/2暗灰黄	ナデ・指押さえ・ハケメ	ナデ・指ナデ	口縁部1/8	口: 逆L字形	
1077		弥・壺	I - 26	SRK03下層	口径17.2	長石・小・普, 石英・中・普	内: 10YR5/3にぶい黄褐 外: 10YR4/1褐灰	指押さえ後板ナデ	指押さえ後板ナデ	口縁部1/8	口: 逆L字形	
1078		弥・壺	I - 26	SRK03下層	口径17.6	長石・大・普, 石英・大・普	内: 2.5Y6/3にぶい黄 外: 2.5Y5/2暗灰黄	ナデ・指押さえ	ナデ・ハクリ	口縁部1/8	口: 逆L字形	
1079		弥・壺	I - 26	SRK03下層	-	長石・中・多, 石英・中・多	内: 2.5Y4/1黄灰 外: 2.5Y6/3にぶい黄	マメツ	マメツ・指押さえ	口縁部小片	口: 逆L字形	
1080		弥・壺	I - 26	SRK03下層	口径29.1	長石・中・普, 石英・中・普	内外: 2.5Y5/2暗灰黄	ナデ	ナデ	口縁部小片	口: 逆L字形 口唇: 刻目	
1081	55	弥・壺	I - 26	SRK03下層	口径22.9	長石・中・普, 石英・中・普	内: 2.5Y7/4黄 外: 10YR5/3にぶい黄褐	ナデ・ハケメ後ハラミガキ キ・ハケメ・マメツ	ナデ	口縁部小片	口: 逆L字形 口唇: 刻目	
1082		弥・壺	I - 26	SRK03下層	-	長石・中・普, 石英・中・普, 赤色の他・中・少	内: 2.5Y8/3淡黄 外: 2.5Y7/3黄	ナデ・マメツ	マメツ	口縁部小片	口: 逆L字形 口唇: 刻目	
1083		弥・壺	I - 26	SRK03下層	-	長石・小・普, 石英・小・普	内外: 10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ・板ナデ	ナデ・マメツ・板ナデ	口縁部小片	口: 逆L字形	外面煤付着

図 報 文 番 号	器 種	地 区 名	報 告 選 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
1084	弥・甕	I - 26	SRK03下層	口径21.4	長石・小・少、石英・小・少	内:10YR5/3にぶい黄褐 外:5Y2/1黒	ナデ・ハケメ	ナデ・指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形 口:磨・刻目 文:ヘラ7(3本/cm) + α	
1085	弥・甕	I - 26	SRK03下層	-	長石・中・少、石英・中・少	内外:10YR4/2灰黄褐	ナデ・ハケメ	ヘラミガキ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ10(4本/cm) + α	
1086	弥・甕	I - 26	SRK03下層	-	長石・大・普、石英・大・普	内外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ	マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 文:櫛11(4本/0.6cm) + α	
1087	弥・甕	I - 26	SRK03下層	口径15.0	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・普、雲母・小・少	内:2.5Y3/2黒褐 外:10YR5/4にぶい黄橙	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ・板ナデ後 指押さえ	口縁部1/8		
1088	弥・底部	I - 26	SRK03下層	底径12.6	長石・大・多、石英・大・多	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	ハケメ・マメツ・ナデ	指押さえ・板ナデ・マメ ツ	底部完存		
1089	弥・底部	I - 26	SRK03下層	底径7.6	長石・大・普、石英・大・普	内外:10YR4/1褐灰	マメツ・指押さえ・ナデ	マメツ・指押さえ後板ナ デ	底部6/8		
1090	弥・底部	I - 26	SRK03下層	底径6.2	長石・小・普、石英・小・普	内:2.5Y4/1黄灰 外:2.5Y5/2暗灰黄	ハケメ・マメツ・ナデ	ナデ・指押さえ	底部完存		
1091	弥・底部	I - 26	SRK03下層	底径7.1	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR2/1黒 外:10YR4/2灰黄褐	ハケメ	板ナデ	底部完存		
1092	弥・底部	I - 26	SRK03下層	底径10.0	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・少	内外:2.5Y4/1黄灰	指押さえ後板ナデ・マメ ツ	マメツ	底部完存		
1093	弥・底部	I - 26	SRK03下層	-	長石・小・少、石英・小・少	内外:10YR4/1褐灰	板ナデ後指押さえ・ハク リ	板ナデ後指押さえ	底部付近2/8		
1094	弥・底部	I - 26	SRK03下層	底径6.0	長石・小・普、石英・小・普	内外:10YR5/2灰黄褐	板ナデ	指押さえ	底部6/8		
1095	弥・底部	I - 26	SRK03下層	底径8.2	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR4/1褐灰 外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ・ナデ・ハケメ	指押さえ・指ナデ	底部完存		底部焼成後穿孔
1096	弥・蓋	I - 26	SRK03下層	底径6.7	長石・大・多、石英・大・多	内外:2.5Y7/3浅黄	マメツ	マメツ	天井部完存	天井:穿孔1	
1097	弥・蓋	I - 26	SRK03下層	-	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・中・普	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:2.5Y4/1黄灰	ハクリ・ハケメ	マメツ・指ナデ	天井部完存		
1098	弥・鉢	I - 26	SRK03下層	-	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR8/9清草橙 外:10YR5/2灰黄褐	指押さえ・マメツ・ヘラ	指押さえ・マメツ	口縁部小片		外面煤付着
1101	弥・壺	I - 28	SRK03下層	口径14.6	長石・小・少、石英・小・少、角 閃石・小・普、赤色粒子・小・普	内外:7.5YR5/4にぶい褐	ナデ・ハケメ	ナデ・指押さえ	口縁部4/8		
1102	弥・壺	I - 28	SRK03下層	底径7.2	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・中・普、その他・大・普	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ハケメ後ヘラミガキ・マ メツ	指ナデ・マメツ	底部完存		
1103	弥・甕	I - 28	SRK03下層	-	長石・小・普、石英・小・普、赤 色粒子・小・普	内:2.5Y5/2暗灰黄 外:2.5Y8/2灰白	ナデ	ヘラミガキ・ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ7(2本/cm)	
1104	弥・底部	I - 28	SRK03下層	底径9.1	長石・中・普、石英・中・普	内:2.5Y6/1黄灰 外:2.5Y5/2暗灰黄	ナデ・マメツ	指ナデ・指押さえ・マメ ツ	底部1/8		
1105	弥・底部	I - 28	SRK03下層	底径5.8	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・少	内:10YR6/2灰黄褐 外:2.5Y7/3浅黄	マメツ	マメツ	底部完存		
1106	弥・底部	I - 28	SRK03下層	底径6.3	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR5/2灰黄褐 外:7.5YR7/3にぶい黄	板ナデ・マメツ	マメツ	底部完存		

図 版 号	部 文 番 号	器 種	地 区 名	報 告 構 造 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
1110		弥・壺	I - 23	SRK03その他	-	長石・大・多、石英・大・多	内外:2.5Y6/3にぶい黄	ナデ・マメツ	マメツ	頸部1/8	胴:貼凸3条+α	
1111		弥・壺	I - 26	SRK03その他	口径4.0	長石・小・普、石英・小・普	内:10YR3/1黒褐 外:10YR5/2灰黄褐	指押さえ・ヘラミガキ	指押さえ・ナデ・指ナデ	口縁部完存		
1112		弥・甕	I - 26	SRK03その他	口径22.1	長石・大・少、石英・大・少	内外:2.5Y7/4浅黄	ナデ・指押さえ	ナデ・指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ5(2本cm)+α	
1113		弥・底部	I - 23	SRK03その他	底径7.7	長石・大・多、赤色粒子・中・少	内:10YR4/2灰黄褐 外:5YR7/6橙	ヘラミガキ・マメツ・指押さえ	指押さえ後板ナデ・マメツ	底部6/8		
1114		弥・底部	I - 23	SRK03その他	底径7.2	長石・中・普、石英・中・普	内:10YR4/2灰黄褐 外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・ハケメ	指押さえ後板ナデ	底部2/8		
1115		弥・底部	I - 26	SRK03その他	底径7.5	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・中・少	内:10YR7/4にぶい黄橙 外:10YR5/2灰黄褐	ヘラミガキ・マメツ	指押さえ後板ナデ	底部2/8		
1120 57		土・小皿	I - 24	トレンチ2	口径8.4 器高1.2 底径6.4	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・普	内外:10YR8/3浅黄橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部4/8		
1121 57		土・小皿	I - 24	トレンチ2	口径8.8 器高1.0 底径5.9	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少	内外:7.5YR7/4にぶい橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部2/8		
1122		土・小皿	I - 24	トレンチ2	口径8.8 底径6.2	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・普	内外:7.5YR7/4にぶい橙	ナデ・回転ヘラ切り	ナデ	口縁部2/8		
1123		土・坏	I - 24	トレンチ2	底径7.2	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	回転ナデ・マメツ・回転ヘラ切り	回転ナデ・マメツ	底部2/8		
1124		土・坏	I - 24	トレンチ2	底径7.2	長石・小・少、石英・小・少	内:2.5Y8/3淡黄 外:2.5Y8/2灰白	回転ナデ後ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ後ナデ	底部2/8		
1125		土・坏	I - 24	トレンチ2	口径12.6	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・普	内:2.5Y7/3浅黄 外:10YR8/3浅黄橙	回転ナデ・マメツ	回転ナデ	口縁部1/8		
1126		土・碗	I - 24	トレンチ2	底径6.4	長石・小・普、石英・小・普、赤色粒子・小・普	内:2.5Y8/2灰白 外:10YR8/3浅黄橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ・マメツ	底部2/8		
1127		土・足釜	I - 24	トレンチ2	口径22.4	長石・小・普、石英・小・普、赤色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR6/2灰黄褐	ヨコナデ・指押さえ後板ナデ・マメツ	ナデ	口縁部小片		
1128 57		須・碗	I - 24	トレンチ2	底径5.5	砂粒・あまり含まない	内外:5Y7/1灰白	回転ナデ後ヘラミガキ・回転ヘラ切り	ヘラミガキ	底部5/8		
1129 57		平瓦	I - 24	トレンチ2	現存長9.3 厚さ1.7	長石・中・普、石英・中・普	凸:2.5Y7/2灰黄 凹:5Y8/1灰白	(凸面)縄タタキ目	(凹面)布目瓦痕	-		
1130 57		軒丸瓦 (土師質)	I - 24	トレンチ2	現存長7.3 厚さ2.6	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・中・普	凸凹:5YR6/6橙	(凸面)ナデ・マメツ	(凹面)指ナデ	-		珠文?
1132		弥・甕	I - 27	旧水路	口径24.6	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	マメツ	マメツ	口縁部1/8	口:逆L字形	
1133		弥・甕	I - 27	旧水路	-	長石・大・多、石英・大・多	内外:5YR5/6明赤褐	マメツ	マメツ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目	

図 版 号	朝文 番号	器種	地区名	報告遺構番号	法量 (cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
1134		弥・蓋	I-27	旧水路	天井部5.4	長石・中・多、石英・中・多	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:5YR6/4にぶい黄橙	指押さえ・マメツ	指押さえ後板ナデ・マメツ	天井部完存		
1135		陶器・鉢	I-27	旧水路	底径7.6	赤色粒子・砂粒・細	内:2.5YR6/2灰赤 外:2.5Y5/2暗黄	回転ヘラ削り・施釉	回転ナデ・施釉	底部1/8	肥前系	高台内面施釉せず
1136		磁器・碗	I-27	旧水路	口径10.5 器高6.4 底径3.7	精緻	呉須:5B3/1暗青灰 生地:2.5Y8/1灰白	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	口縁部1/8 底部完存	肥前系	
1137		弥・底部	I-27	包含層	底径5.2	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・中・少、その他・中・赤	内:10YR7/2にぶい黄橙 外:10YR6/4にぶい黄橙	板ナデ	板ナデ	底部完存		
1138		土・小皿	I-27	包含層	口径6.5 器高1.0 底径5.6	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:10YR8/3浅黄橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部3/8 底部3/8		
1139		土・足釜	I-27	包含層	-	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・小・少	内:10YR8/3浅黄橙 外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ・マメツ・指押さえ	マメツ	口縁部小片		
1140		土・足釜 (脚部)	I-27	包含層	厚さ3.4	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・中・普	内外:7.5YR6/6橙	指押さえ・指ナデ・マメツ	指押さえ	脚部4/8		
1141		土・足釜 (脚部)	I-27	包含層	厚さ2.8	長石・大・多、石英・大・多、赤 色粒子・小・少	内外:10YR7/3にぶい黄橙	ナデ・指ナデ・マメツ・指 押さえ	ナデ・指ナデ・マメツ・指 押さえ	脚部5/8		
1142		土・足釜 (脚部)	I-27	包含層	厚さ2.6	長石・小・多、石英・小・多、赤 色粒子・小・少	内外:10YR5/4にぶい黄褐	指ナデ	指ナデ	脚部小片		
1143		土・足釜 (脚部)	I-27	包含層	厚さ3.3	長石・中・多、石英・中・多、赤 色粒子・中・普	内外:10YR8/3浅黄橙	指ナデ	指ナデ	脚部小片		
1144		須・坏	I-27	包含層	底径8.0	長石・小・少、石英・小・少	内外:N6/灰	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部1/8		
1145		須・高台 付坏B	I-27	包含層	底径13.0	長石・小・少、石英・小・少	内外:N7/灰白	回転ナデ	回転ナデ	底部1/8		
1146	57	須・壺	I-27	包含層	口径19.8	長石・小・少、石英・小・少	内:N6/灰 外:N4/灰	回転ナデ	回転ナデ	頸部4/8		
1147	57	須・壺	I-27	包含層	口径3.2	砂粒・微・少	内外:2.5Y6/1黄灰	指押さえ(片口部分)・ヨ コナデ	ヨコナデ	口縁部6/8		内外面コマ状降灰
1148		須・壺	I-27	包含層	-	砂粒・あまり含まない	内:2.5Y7/1灰白 外:7.5Y4/2灰赤	回転ナデ	回転ナデ	肩部1/8		上面部自然釉
1149		須・底部	I-27	包含層	底径10.8	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内外:2.5Y7/2灰黄	回転ナデ	回転ナデ	底部1/8		焼成不良
1150		須・壺	I-27	包含層	-	長石・小・普、石英・小・普	内外:2.5Y7/1灰白	平行タタキ目後カキ目	当具痕	体部小片		
1151	57	須・埴鉢	I-27	包含層	-	長石・小・少、石英・小・少	内:N7/灰白 外:5B5/1青灰	ナデ後指押さえ・マメツ・ 指押さえ・指ナデ	指押さえ・指ナデ・ナデ	口縁部小片	東播系	
1152	57	須・埴鉢	I-27	包含層	-	長石・小・普、石英・小・普	内外:7.5Y6/1灰	回転ナデ	回転ナデ	口縁部小片	東播系	
1153	57	備前焼・ 指鉢	I-27	包含層	口径24.0	長石・小・少、石英・小・少	内:5YR5/2灰褐 外:2.5Y5/1黄灰	回転ナデ	回転ナデ	口縁部小片		
1154		弥・底部	I-23	包含層	底径8.8	長石・中・普、石英・中・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR3/2黒褐 外:10YR6/3にぶい黄橙	マメツ	板ナデ・マメツ	底部4/8		

図版番号	報文番号	器種	地区名	報告遺構番号	法量 (cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
1155		土・坏D	I - 23	包含層	底径8.4	長石・小・普、石英・小・普、赤色粒子・中・多	内外:5YR7/6橙	回転ナデ・回転ヘラ切り 後ナデ	回転ナデ	底部5/8		底部:板圧痕
1156		須・坏A	I - 23	包含層	底径11.0	長石・小・少、石英・小・少	内外:2.5Y7/1灰白	回転ナデ	回転ナデ	底部2/8		
1157		須・高台 付坏B	I - 23	包含層	底径9.8	赤色粒子・小・少、砂粒・細	内外:2.5Y7/1灰白	回転ナデ	回転ナデ	底部1/8		
1158		須・蓋	I - 23	包含層	口径27.8	長石・小・少、石英・小・少	内外:N6/灰	回転ナデ	回転ナデ	口縁部小片		
1159		須・底部	I - 23	包含層	底径19.9	長石・小・少、石英・小・少、黒色粒子・小・普	内:5PB6/1青灰 外:5PB5/1青灰	ヘラ削り・ナデ	指押さえ・ヘラ削り	底部1/8		
1160		白磁・碗	I - 23	包含層	口径19.2	堅緻	内外:5Y7/2灰白 生地:5Y7/2灰白	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	口縁部小片		
1161	57	白磁・碗	I - 23	包含層	底径6.0	堅緻	内外:2.5GY7/1明オリ・7灰	施釉	施釉	底部3/8	外:鏽 内:ヘラ2	
1162		丸瓦	I - 23	包含層	底径6.4	長石・中・普、石英・中・普、赤色粒子・小・少	凸:2.5Y7/2灰黄 凹:2.5Y8/2灰白	(凸面)ヘラ削り	(凹面)布目圧痕	—		土師質
1163		土・坏D	I - 23	包含層	底径6.4	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・中・普	内外:10YR8/4浅黄橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部3/8		
1164		土・坏	I - 23	包含層	底径5.9	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少	内外:10YR6/2灰黄褐	回転ナデ・回転系切り	回転ナデ	底部ほぼ完存		
1165	57	須・坏	I - 23	包含層	口径11.5 器高4.0 底径6.6	長石・小・普、石英・小・普、黒色粒子・小・多	内外:5Y7/1灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り 後ヘラ削り	回転ナデ	口縁部6/8		内面自然釉
1166		須・坏	I - 23	包含層	底径10.6	砂粒・あまり含まない	内外:N6/灰	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部2/8		
1167		須・坏A	I - 23	包含層	底径8.0	長石・小・少、石英・小・少	内外:N6/灰	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部1/8		内外面火瘃
1168	58	須・高台 付坏B	I - 23	包含層	口径15.0 器高4.3 底径9.9	長石・小・少、石英・小・少、黒色粒子・小・少	内外:N7/灰白	回転ナデ・ナデ	回転ナデ	底部2/8		
1169		須・高台 付坏B	I - 23	包含層	底径10.2	長石・小・少、石英・小・少	内外:N7/灰白	回転ナデ	回転ナデ	底部1/8		
1170		須・碗	I - 23	包含層	底径3.3	長石・中・少、石英・中・少	内外:N8/灰白	マメツ・ナデ	マメツ	底部1/8		マメツ著しい
1171		瓦器・碗	I - 23	包含層	底径5.2	砂粒・あまり含まない	内外:N4/灰	ナデ	ヘラミガキ	底部2/8	和泉型	
1172		白磁・碗	I - 23	包含層	底径6.2	堅緻	内:7.5Y7/1灰白 外:5Y7/1灰白	削り出し高台	回転ナデ・施釉	底部2/8		
1173		白磁・碗	I - 23	包含層	口径17.0	堅緻	内外:10Y7/1灰白	施釉	施釉	口縁部1/8		
1180		土・坏	I - 26	包含層	口径9.6 器高2.4 底径5.8	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・少	内外:2.5Y8/1灰白	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	口縁部2/8		底部:板圧痕
1181		土・坏	I - 26	包含層	口径15.6 器高3.3 底径8.8	長石・小・少、石英・小・少、赤色粒子・小・普	内外:7.5YR7/4にぶい橙	回転ナデ・回転ヘラ切り	回転ナデ	底部2/8		

報文番号	器種	地区名	報告遺構番号	法量 (cm)	胎土	色調	外面調整	内面調整	残存量	形態上の特徴	備考
1182	58 丸瓦	I - 26	包含層	現存長7.2 幅径10.4 厚さ1.5	長石・中・普, 石英・中・普	凸:N5/灰 凹:N4/灰	(凸面)ヘラ削り・ナデ	(凹面)布目圧痕	—		
1186	弥・壺	I - 25	包含層	口径13.6	長石・中・普, 石英・中・普, 赤 色粒子・中・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:7.5YR6/4にぶい橙	ナデ・マメツ	指押さえ・板ナデ・マメ ツ	口縁部1/8		
1187	59 弥・壺	I - 25	包含層	口径21.4	長石・大・多, 石英・大・多	内:7.5YR6/4にぶい橙 外:7.5YR4/3褐	マメツ	マメツ	体部4/8	口: 逆L字形 文:楕15(3本/0.6cm)+三 角刺突	
1188	弥・底部	I - 25	包含層	底径6.4	長石・小・普, 石英・小・普, そ の他・中・普	内外:10YR7/4にぶい黄橙	板ナデ・ナデ	指押さえ後板ナデ	底部完存		
1189	須・埴鉢	I - 25	包含層	口径23.6	長石・小・少, 石英・小・少	内外:5B5/1青灰	回転ナデ	回転ナデ・板ナデ	口縁部小片	東播系	
1190	大・把手 付鍋	I - 27	包含層	口径18.0	長石・小・少, 石英・小・少, 赤 色粒子・小・少	内外:7.5YR8/4浅黄橙	ナデ・指押さえ	ナデ・指押さえ・板ナデ	口縁部1/8		煤付着
1191	須・蓋	I - 27	包含層	口径15.6	長石・小・少, 石英・小・少	内外:N6/灰	回転ナデ	回転ナデ	口縁部1/8		
1192	丸瓦	I - 27	包含層	現存長7.9 厚さ1.3	長石・小・少, 石英・小・少	凸凹:2.5Y8/2灰白	ヨコ方向(短辺)ヘラ削 り タテ方向(長辺)ナデ 側:タテ方向ヘラ削り	布目圧痕	—		
1193	弥・壺	I - 23	包含層	口径18.0	長石・小・多, 石英・小・多, 赤 色粒子・小・少	内外:7.5YR5/6明褐	マメツ	マメツ	口縁部1/8		
1194	須・壺	I - 23	包含層	口径18.2	長石・小・少, 石英・小・少	内:N5/灰 外:N4/灰	回転ナデ・指押さえ	回転ナデ	口縁部1/8		
1195	59 須・平瓶 (口縁部)	I - 23	包含層	口径6.0	長石・小・少, 石英・小・少	内外:5Y7/1灰白	回転ナデ	回転ナデ	口縁部完存		
1196	青磁碗	I - 23	包含層	底径5.5	堅緻	釉:7.5GY6/1緑灰 生地:N7/灰白	回転ナデ・施釉	回転ナデ・施釉	底部2/8		
1197	平瓦	I - 23	包含層	現存長9.0 厚さ1.8	長石・小・少, 石英・小・少	凸:2.5Y6/1黄灰 凹:10YR6/3にぶい黄橙	(凸面)縄タタキ目	(凹面)布目圧痕	—		
1198	平瓦	I - 23	包含層	現存長9.0 厚さ2.0	長石・中・普, 石英・中・普	凸:5Y8/1灰白 凹:5B4/1暗青灰	(凸面)縄タタキ目	(凹面)布目圧痕	—		
1199	平瓦	I - 23	包含層	現存長8.1 幅径8.3 厚さ2.5	長石・大・普, 石英・大・普, 赤 色粒子・大・普	凸:10YR8/4浅黄橙 凹:7.5YR7/6橙	(凸面)縄タタキ目	(凹面)ナデ	—		
1200	59 軒丸瓦	I - 23	包含層	現存長14.6 厚さ0.9	長石・小・少, 石英・小・少, 赤 色粒子・中・少	内外:7.5Y2/1黒	表:三巴文 裏:丸取付付け時ナデ・ 指押さえ・円弧沿う ナデ	上:ヨコ方向ナデ 側:ヨコナデ	—		
1201	59 弥・壺	I - 26	包含層	口径39.0	長石・小・少, 石英・小・少, 赤 色粒子・小・少	内:10YR6/3にぶい黄橙 外:10YR7/3にぶい黄橙	指押さえ・指押さえ後板 ナデ	ナデ・指押さえ・指ナデ	口縁部小片	口:如意形 口唇:刻目 文:ヘラ3(2本/cm)	

図 版 番 号	報 文 番 号	器 種	地 区 名	報 告 遺 構 番 号	法 量 (cm)	胎 土	色 調	外 面 調 整	内 面 調 整	残 存 量	形 態 上 の 特 徴	備 考
1202	59	弥・甕	I-23	包含層	口径22.6	長石・大・普、石英・大・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR7/3にぶい黄橙 外:10YR5/2灰黄褐	ナデ・マメツ・指押さえ・ ハケメ	ナデ・マメツ	体部1/8	口:逆L字形	
1203	59	弥・甕	I-26	包含層	-	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR6/3にぶい黄橙	ナデ	板ナデ後指押さえ	口縁部小片	口:逆L字形 口唇:刻目 文:ヘラ14(2本/cm)+α	
1204	59	弥・甕	I-26	包含層	口径17.4	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内:2.5Y7/4浅黄 外:2.5Y7/2灰黄	ナデ	ナデ・指押さえ	口縁部1/8	口:逆L字形 文:ヘラ14(3本/cm)	
1205	59	弥・甕	I-26	包含層	口径21.6	長石・中・普、石英・中・普	内外:2.5YR7/3浅黄	ナデ・マメツ	ナデ・マメツ・板ナデ	口縁部小片	口:逆L字形 文:ヘラ15(5本/1.0cm)+三 角刺突	
1206		弥・底部	I-26	包含層	底径6.3	長石・小・普、石英・小・普、赤 色粒子・小・少	内:10YR4/2灰黄褐 外:10YR6/2灰黄褐	ナデ	指押さえ	底部4/8		
1207	59	弥・鉢	I-26	包含層	底径5.3	長石・中・普、石英・中・普、そ の他・中・少	内:10YR4/2灰黄褐 外:7.5YR3/1黒褐	ナデ・マメツ	ナデ・板ナデ	底部完存		
1208		土・小皿	I-26	包含層	口径8.6 器高1.4 底径6.4	長石・小・普、石英・小・普、赤 色粒子・小・少	内:7.5YR8/4浅黄橙 外:7.5YR7/6橙	回転ナデ・マメツ・回転 ヘラ切り	回転ナデ	口縁部2/8		
1209		土・碗	I-26	包含層	-	長石・中・普、石英・中・普	内外:10YR8/2灰白	ナデ	ナデ	底部小片		
1210		須・甕	I-26	包含層	口径23.0	長石・小・少、石英・小・少、黒 色粒子・小・普	内:N7/灰白 外:5Y7/1灰白	回転ナデ・カキ目	回転ナデ	口縁部小片		口縁(内面)・体部 (外面):一部自然 粗
1211		弥・甕	I-28	包含層	口径33.8	長石・小・普、石英・小・普、赤 色粒子・小・少	内外:10YR6/3にぶい黄橙	マメツ	ヘラミガキ・マメツ	口縁部小片	口:如蓋形 文:櫛7(5本/cm)+α+刺 突	
1212		土・皿	I-28	包含層	口径7.6 器高1.7 底径4.5	長石・小・少、石英・小・少、赤 色粒子・小・少	内:7.5YR4/4褐 外:10YR4/1褐灰	回転ナデ・ヘラ切り	回転ナデ	口縁部2/8		
1213		須・坏蓋	I-28	包含層	口径7.4	砂粒・細	内外:N8/灰白	ヘラ削り・回転ナデ	回転ナデ	口縁部1/8		

報文番号	図版番号	地区名	報告遺構番号	器種	現存長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	石材	形態・手法の特徴
89	23	I-28	SDk05	打製石鏃	2.0	1.5	0.4	0.9	サヌカイト	凹基式
90	23	I-28	SDk05	打製石鏃	3.5	2.0	0.5	3.2	サヌカイト	凹基式
91	23	I-28	SDk05	打製楔形石器	3.2	2.3	0.6	4.5	サヌカイト	
92	23	I-28	SDk05	打製石斧	6.4	4.2	0.8	34.5	サヌカイト	
118	24	I-28	SDk06	打製スクレイパー	6.0	5.5	0.9	32.5	サヌカイト	
119	24	I-28	SDk06	打製楔形石器	4.4	3.4	0.9	17.4	サヌカイト	
190	26	I-28	SDk12	打製石鏃	2.5	1.3	0.4	0.9	サヌカイト	
191	26	I-28	SDk12	打製石鏃	3.1	1.5	0.4	1.6	サヌカイト	凹基式
192	26	I-28	SDk12	打製石鏃	3.4	1.9	0.5	2.8	サヌカイト	凹基式
193	26	I-28	SDk12	打製石鏃	2.9	2.4	0.6	3.2	サヌカイト	未製品 (凹基式)
194	26	I-28	SDk12	打製石鏃	3.3	1.6	0.4	2.3	サヌカイト	有茎式
195	26	I-28	SDk12	打製石鏃	3.3	1.8	0.6	2.4	サヌカイト	有茎式
196	26	I-28	SDk12	打製スクレイパー	3.1	4.8	0.5	10.5	サヌカイト	
197	26	I-28	SDk12	打製石庖丁	8.7	5.2	1.4	58.0	サヌカイト	
198	26	I-28	SDk12	打製楔形石器	2.3	3.6	1.4	14.1	サヌカイト	
199	26	I-28	SDk12	打製楔形石器	2.6	2.3	0.9	6.9	サヌカイト	
200	26	I-28	SDk12	打製剥片	1.6	2.3	0.5	2.1	サヌカイト	
201	26	I-28	SDk12	打製剥片	1.7	1.8	0.4	0.9	サヌカイト	
202	26	I-28	SDk12	勾玉	4.3	1.7	1.1	15.9	碧玉	
278	29	I-27	SKk11	打製スクレイパー	4.6	5.4	0.7	15.0	サヌカイト	
292	30	I-23	SXk11	不明	5.9	3.7	1.9	62.6		
391	33	I-27	SRk01上層	打製石鏃	1.9	2.3	0.4	1.5	サヌカイト	平基式
392	34	I-27	SRk01上層	打製石庖丁	4.5	4.0	1.0	17.0	サヌカイト	金山産?
393	33	I-27	SRk01上層	打製楔形石器	3.6	3.9	1.1	17.7	サヌカイト	
394	34	I-26	SRk01上層	打製磨製石庖丁	5.5	4.4	0.7	15.7	千枚岩	未製品
602	38	I-25	SRk01下層	打製スクレイパー→石斧	10.4	7.2	1.7	109.4	サヌカイト	敲打痕
603	39	I-25	SRk01下層	打製スクレイパー	5.7	3.9	1.1	17.1	サヌカイト	
604	39	I-25	SRk01下層	打製スクレイパー	3.4	2.7	0.5	4.7	サヌカイト	
605	39	I-25	SRk01下層	打製スクレイパー	10.5	6.4	0.9	58.2	サヌカイト	
606	39	I-25	SRk01下層	打製打製石斧の基部	5.0	4.4	1.3	26.3	サヌカイト	
607	39	I-25	SRk01下層	打製石鏃	7.2	6.1	2.5	119.1	サヌカイト	
608	39	I-25	SRk01下層	打製楔形石器?	3.0	4.8	1.0	16.7	サヌカイト	
609	39	I-25	SRk01下層	磨製石庖丁	6.0	5.1	0.8	36.4	流紋岩	
610	39	I-25	SRk01下層	磨製石庖丁	4.7	5.2	0.7	18.0	安山岩	未製品
611	40	I-25	SRk01下層	磨製環状石斧(石鏃に転用)	11.8	7.0	3.2	337.6	半深成岩	
612	40	I-25	SRk01下層	磨製石斧	5.3	3.7	3.0	84.3		
694	44	I-27	SRk01下層	打製スクレイパー	7.3	5.6	0.9	27.3	サヌカイト	
695	44	I-27	SRk01下層	磨製石庖丁	6.6	5.7	0.8	41.2	安山岩	未製品
810	47	I-26	SRk01下層	打製スクレイパー	3.7	6.6	0.9	12.4	サヌカイト	
811	47	I-26	SRk01下層	打製スクレイパー	3.8	3.8	0.9	13.7	サヌカイト	
812	39	I-26	SRk01下層	打製スクレイパー	5.4	3.2	0.6	11.0	サヌカイト	
813	47	I-26	SRk01下層	磨製石斧	4.2	3.1	1.5	28.2	緑色片岩	
891	49	I-25	SRk01その他	打製石鏃	2.5	1.2	0.2	0.3	サヌカイト	凹基式
892	49	I-25	SRk01その他	打製石鏃	4.8	0.8	0.4	1.8	サヌカイト	
893	49	I-25	SRk01その他	打製石鏃	8.0	4.8	0.5	22.5	サヌカイト	
894	49	I-25	SRk01その他	打製スクレイパー	4.5	3.2	0.7	10.6	サヌカイト	
895	49	I-25	SRk01その他	打製スクレイパー	4.4	4.8	0.5	12.8	サヌカイト	
896	49	I-25	SRk01その他	打製石庖丁	4.4	3.4	0.7	8.2	サヌカイト	
897	49	I-25	SRk01その他	打製石庖丁→楔形石器	6.1	4.3	0.9	23.2	サヌカイト	
904	50	I-27	SRk01その他	磨製石庖丁	8.4	5.0	0.9	51.2	流紋岩	2孔目あけかけ?
959	52	I-23	SRk03上層	打製石庖丁	11.3	5.2	1.2	58.5	サヌカイト	
983	52	I-23	SRk03中層	打製石鏃	2.1	1.5	0.4	0.6	サヌカイト	凹基式
984	52	I-23	SRk03中層	打製打製石斧	3.5	4.8	1.1	21.0	サヌカイト	
985	52	I-23	SRk03中層	打製スクレイパー	8.5	5.1	1.6	59.0	サヌカイト	
986	52	I-23	SRk03中層	扁平片刀石斧	4.8	3.4	1.2	37.5	緑色片岩	
987	52	I-23	SRk03中層	大型蛤片石斧	12.4	5.7	4.5	534.9	緑色片岩	
1053	54	I-23	SRk03下層	打製スクレイパー	4.8	3.0	0.7	10.1	サヌカイト	
1054	54	I-23	SRk03下層	打製スクレイパー	5.1	3.9	0.6	11.1	サヌカイト	
1055	54	I-23	SRk03下層	打製石斧	4.0	4.0	1.5	23.3	サヌカイト	
1056	54	I-23	SRk03下層	打製石斧	5.9	5.1	1.4	50.5	サヌカイト	
1057	54	I-23	SRk03下層	打製石斧	9.5	6.4	1.6	132.8	サヌカイト	
1058	54	I-23	SRk03下層	打製石鏃	7.0	5.3	1.2	77.8	サヌカイト	
1059	55	I-23	SRk03下層	打製石鏃	5.9	3.3	1.5	28.2	サヌカイト	
1060	55	I-23	SRk03下層	打製石鏃	4.3	3.5	1.2	21.3	サヌカイト	
1061	54	I-23	SRk03下層	打製楔形石器	5.1	4.9	1.4	26.3	サヌカイト	
1062	54	I-23	SRk03下層	打製石庖丁	6.5	3.2	0.7	15.5	石英片岩	
1099	55	I-26	SRk03下層	打製石鏃	2.9	2.1	0.5	2.7	サヌカイト	平基式
1100	55	I-26	SRk03下層	打製石斧	7.0	5.7	1.4	69.7	サヌカイト	
1107	56	I-28	SRk03下層	打製スクレイパー	3.2	2.2	0.8	4.5	サヌカイト	
1108	56	I-28	SRk03下層	打製スクレイパー	7.9	4.9	1.0	35.1	サヌカイト	
1109	56	I-28	SRk03下層	不明	7.6	6.3	0.7	29.3	安山岩	擦痕多数,磨製石器の未製品か?3面ワレ
1116	56	I-23	SRk03その他打製	打製石鏃	3.1	1.4	0.4	1.7	サヌカイト	凹基式
1117	56	I-23	SRk03その他打製	打製スクレイパー	7.7	4.5	0.9	30.5	サヌカイト	
1118	56	I-28	SRk03その他打製	打製スクレイパー	2.0	4.2	0.6	7.3	サヌカイト	
1119	56	I-28	SRk03その他	打製石庖丁	6.2	3.5	1.2	37.1	紅簾片岩	
1131	58	I-24	包含層T1/F2	打製楔形石器	3.4	2.7	1.2	12.9	サヌカイト	
1175	58	I-23	包含層(下層)	打製石鏃	1.8	1.8	0.4	1.2	サヌカイト	凹基式
1176	58	I-23	包含層(下層)	打製楔形石器	2.9	2.3	0.8	5.2	サヌカイト	
1177	58	I-23	包含層(下層)	打製楔形石器	5.1	4.2	0.8	25.2	サヌカイト	
1178	58	I-23	包含層(下層)	打製石庖丁	6.0	1.4	0.4	4.3	石英片岩	
1179	58	I-23	包含層(下層)	磨製石庖丁未製品	7.0	6.3	0.8	53.8	安山岩	
1183	58	I-28	包含層	打製スクレイパー	2.1	1.7	0.5	1.7	サヌカイト	
1184	58	I-26	包含層	打製スクレイパー	8.3	4.7	0.8	28.6	サヌカイト	
1185	58	I-26	包含層	打製石鏃	3.4	5.0	0.5	10.3	サヌカイト	平基式

報文番号	図版番号	地区名	報告遺構番号	種類	樹種	木取り	全長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	備考
4	19	I-26	SKk05	加工木	コナラ属クヌギ節		34.2	4.9	2.8	
5	19	I-26	SKk05	なすび型膝柄又鋏	コナラ属アカガシ亜属	柁目	38.2	3.7	1.0	
279	29	I-27	SKk11	板状木製品	ツガ		23.2	8.1	0.6	表面に浅い擦痕が多く残る

報文番号	図版番号	地区名	報告遺構番号	種類	材質	直径(cm)	孔径(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	備考
1174	58	I-23	包含層	永楽通寶	銅銭	2.5	0.6	0.1	2.8	

写真図版



遺跡より北を臨む



遺跡より西を臨む



I-23 航測写真（上が北）



I-25・27 航測写真（左が北）



I-26 航測写真（上が北）



I -28 航測写真（上が北）



I-23 全景 (北から)



I-25 全景 (北から)



I-26 北部全景（東から）



I-26 南部全景（南から）

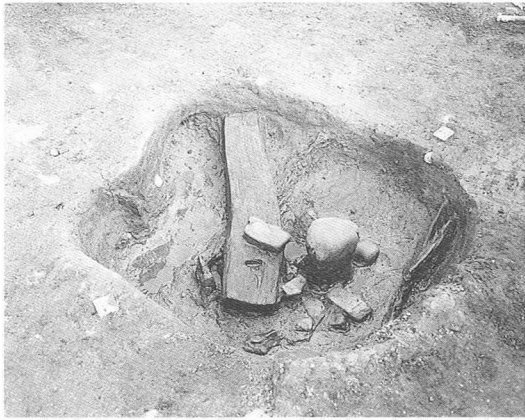


I-27 全景 (西から)



I-28 全景 (東から)

図版8



I -26 SKk04遺物出土状況 (西から)



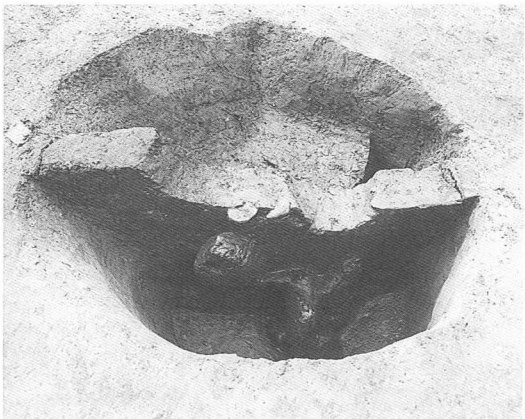
I -23 SKk01土層断面 (西から)



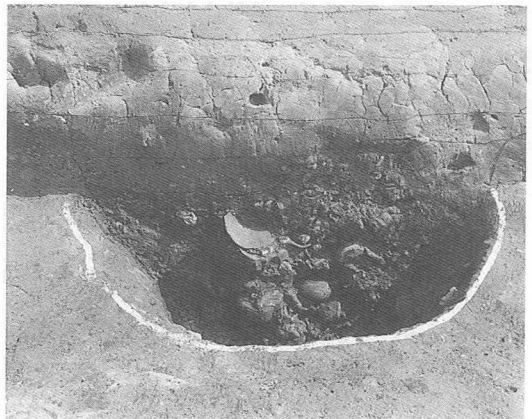
I -26 SKk05遺物出土状況 (北東から)



I -23 SKk01遺物出土状況 (西から)



I -28 SKk06土層断面 (北西から)



I -23 SKk02土層断面 (西から)



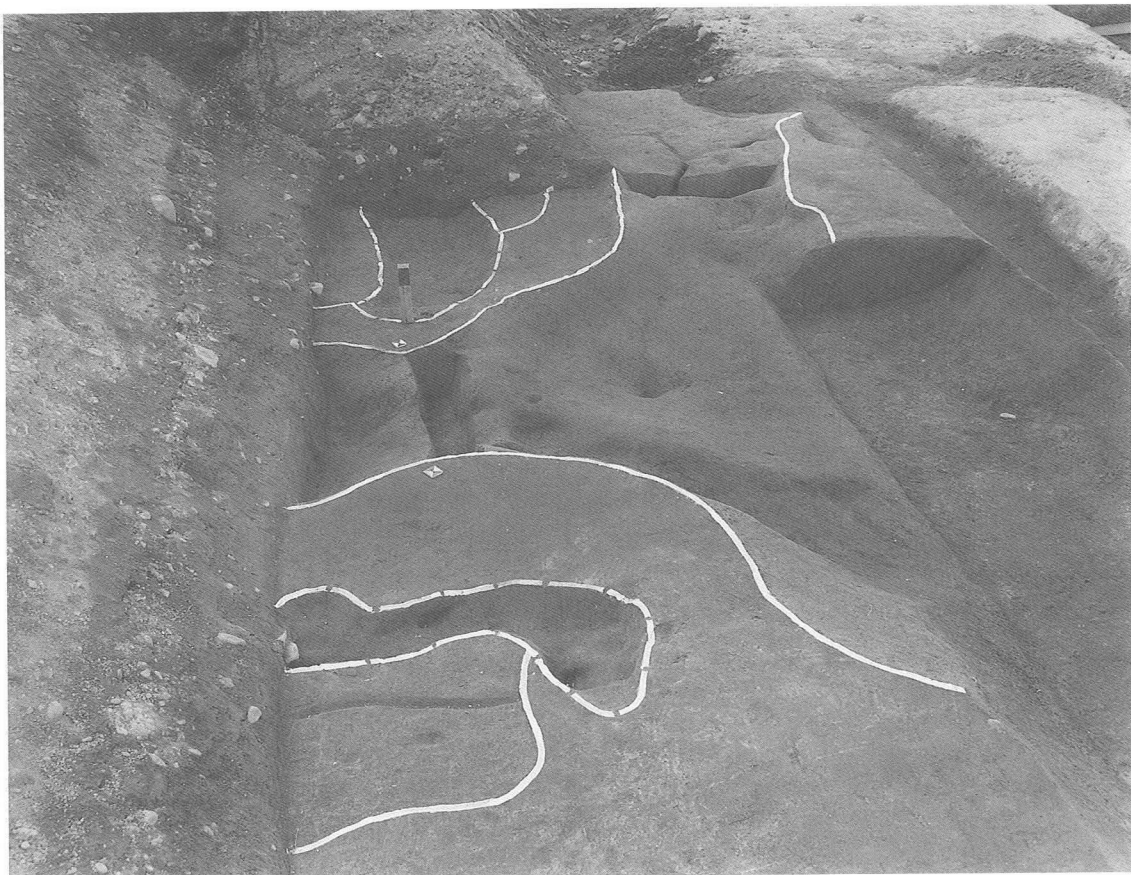
I -28 SKk06遺物出土状況 (北西から)



I -23 SDk04遺物出土状況 (北から)



I -23 SDK03遺物出土状況（東から）



I -23 SDK03完掘（東から）